

取扱説明書について

この度は、マツダ純正ナビゲーションをお買い上げいただき、
ありがとうございます。

マツダ純正品番と取扱説明書の品番について、ご案内いたします。

お間違えのないようにしてください。

Z 9 N B V 6 6 5 0 ⇒ C N - F Z 8 B 6

※ C N - F Z 1 0 B 7 はマツダ純正用品として設定しておりません。



AV一体型ナビゲーション 取扱説明書

品番

CN-FZ10B7 / CN-FZ8B6

このたびは、純正用品 AV一体型ナビゲーションをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

ご使用前に、この取扱説明書をお読みいただき、いつもお手元において、正しい取扱方法により、長くご愛用くださるようお願い申し上げます。



※代表としてCN-FZ8B6を記載しています。

事故防止のため運転中は絶対に操作しないでください。

本機の故障、誤動作または不具合によりメモリーに記録できなかったデータ、消失したデータ、メモリー内の保存データについては補償できません。

HD画質・快適操作

表現力が向上し鮮明で見やすく・わかりやすくなった地図と、操作レスポンスの高速化で、使いやすくなりました。地図やメニュー画面のスクロールはスムーズになり、ルート探索のスピードは早くなって、快適にご利用いただけます。

車両連携 (緊急通報サービス対応)

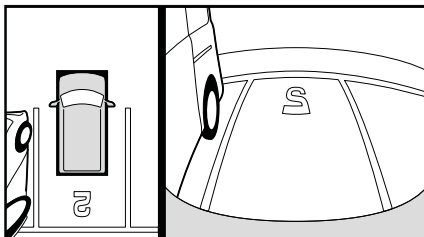
緊急通報が作動すると、本機から出力されるすべての音声が一時的に消音されます。

※ 緊急通報サービス対応車種の場合

全方位モニター対応

全方位モニターの映像を、本機のディスプレイに表示できます。

※ 全方位モニターが装備されている場合



ネット動画再生

本機をWi-Fi[®]経由でインターネットに接続し、動画配信サービスを車内でもお楽しみいただけます。

レコーダーリンク

本機をWi-Fi経由でインターネットに接続し、スマートフォンアプリ「DiXiM Play forレコーダーリンク」と連携して、自宅のレコーダーに録画した映像を車内でもお楽しみいただけます。

Apple CarPlay

本機と iPhone をWi-Fiで接続し、Apple CarPlay を本機のディスプレイでご利用いただけます。Siri (音声アシスタント機能) を使ってマイク*¹に話しかけることで、前を向いたまま音声操作できます。

ワイヤレス接続だけでなく、USBケーブル*²での有線接続にも対応しています。

Android Auto[™]

本機と Android[™] スマートフォンをWi-Fiで接続し、Android Auto を本機のディスプレイでご利用いただけます。

Google[™] アシスタント (音声アシスタント機能) を使ってマイク*¹に話しかけることで、前を向いたまま音声操作できます。

ワイヤレス接続だけでなく、USBケーブル*²での有線接続にも対応しています。

* 1 性能確保のため、車内に設置されている外付けマイクをご使用ください。

* 2 接続する機器のコネクターに適合したデータ通信可能なUSBケーブルをご使用ください。

最新地図

■ オンラインバージョンアップ

本機をWi-Fi経由でインターネットに接続し、最新地図を簡単にダウンロードして更新できます。Wi-Fiの環境が無くて、パソコンでインターネットに接続して地図をダウンロードし、microSDカードを利用して更新できます。

■ オンライン名称検索

本機をWi-Fi経由でインターネットに接続し、施設の名称などのキーワードで施設を検索できます。
検索した施設は、最新の施設情報を表示できます。(情報がある場合のみ)

スマートフォンの登録が必要な機能

以下は、あらかじめスマートフォンまたはWi-Fi機器を本機に登録し、BLUETOOTH®接続/Wi-Fi接続をして利用する機能です。必要な接続を行ってください。

○：必要 —：不要

機能	接続方法		
	BLUETOOTH	Wi-Fi	
		ステーションモード ^{※1}	アクセスポイントモード ^{※1}
オンライン名称検索	—	○	—
オンラインバージョンアップ	—	○	—
BLUETOOTH Audio	○	—	—
レコーダーリンク	○	○	—
ネット動画	—	○	—
ハンズフリー	○	—	—
NaviCon	○	—	—
CarAV remote S	○	—	—
Apple CarPlay (ワイヤレス)	○	—	○
Android Auto (ワイヤレス)	○	—	○

※ 1 本機のWi-Fiモード (P.35)

● 接続方法については、下記をご覧ください。

- ・BLUETOOTH接続 P.30～32
- ・Wi-Fi接続 P.33～35
- ・Apple CarPlay を利用する (ワイヤレス接続) P.130
- ・Android Auto を利用する (ワイヤレス接続) P.136

本書の読みかた

- 製品の品番は、パナソニック品番 (末尾を一部省略) で表記しています。
- 本書では、CN-FZ8B6を例に説明しています。
品番ごとに仕様異なる場合は、下記のアイコンで区分しています。
CN-FZ10B7 **CN-FZ8B6**
- 本書では、操作スイッチを下記のように描き分けています。
例) **案内スタート** **決定** : タッチキー (画面上のスイッチ)
AUDIO **MENU** **MAP** : ハードキー (本体のボタンスイッチ、ステアリングオーディオスイッチ)
- 本書では特にことわりの無い限り、iPod / iPhone を「iPod」と表記しています。
- 本書では特にことわりの無い限り、Android スマートフォン / iPhone を「スマートフォン」と表記しています。
- 本書では特にことわりの無い限り、SDメモリーカードを「SDカード」と表記しています。
ただし、「microSDカード」と記載している場合は、microSDXCカード/microSDHCカード/microSDカードを指します。(本機で利用できるSDカードについて→P.190)
- 本書では別売のオプション品を、下記のように区分しています。
 - ・別売：純正のオプション品
 - ・市販：市販 (純正品以外) のオプション品

もくじ

安全上のご注意

安全上のご注意	6
---------------	---

はじめに

ナビゲーション

オーディオ

ハンズフリー

スマホ連携

その他の機能

外部機器・連携

設定

困ったとき

必要なとき

はじめに

11

ご使用前に知っておいていただきたいこと	12
各部のなまえとはたらき	15
タッチパネルの操作について	16
メニューの使いかた	18
トップメニューを編集する	21
本機の電源を入れる	22
初期設定をする	23
基本操作・準備(確認・調整)	25
取り付け・配線の確認	28
スマートフォンを本機と接続する	30
Wi-Fi機器を本機と接続する	33
セキュリティに関する設定をする	36

ナビゲーション

38

地図の紹介	40
地図画面の表示内容について	44
地図の操作	50
探索・案内・地図・VICSをアレンジする(ナビチューン)	56
行き先までのルートを作るには	58
行き先を探す	60
検索した施設を目的地・経由地に設定する	65
全ルート図から確認・設定する	66
ルートを編集する	67
ルート探索について	69
ルート案内について	71
地点を登録する(登録地)	75
VICS情報を見る	78

オーディオ

84

オーディオの基本操作	86
テレビを見る	88
ラジオを聞く	94
交通情報を聞く	95
SDカード・USBメモリーを再生する	96
BLUETOOTH Audioを再生する	100
iPodを再生する	102
自宅のレコーダーのコンテンツを車内で見る(レコーダーリンク)	106
ネット動画を見る	112
音質・音場を調整する(オーディオチューン)	114
映像を調整する	121
現在地画面にオーディオの映像を表示する	122

ハンズフリー・スマホ連携	123
ハンズフリーで通話する	124
NaviCon を利用する	128
スマートフォンをリモコンとして使う (CarAV remote S)	129
Apple CarPlay を利用する	130
Android Auto を利用する	136
その他	142
車両メンテナンスの通知を設定する	144
本機の情報を確認する	145
無料地図更新について (ダウンロード更新)	146
本機のデータを更新する	147
ETC 車載器 / ETC 2.0 車載器と接続して使う	150
カメラと組み合わせる	152
ナビ連動ドライブレコーダーと組み合わせる	153
HDMI® 入力の映像を見る	162
後席用のモニターで本機の映像を見る	163
車両連携	164
利用に応じた設定に変える	165
故障かな！？と思ったら	170
文字入力のしかた	188
SDカード・USB メモリーについて	190
データ作成時の留意点	191
無線通信について	196
テレビ・ラジオの受信について	198
ナビゲーションシステムとは	199
VICS について	202
地図ソフトについて	204
地図上に表示される主なマーク	205
さくいん	206
商標・ライセンスなど	212
仕様	214
ソフトウェア、およびオープンソースソフトウェアについて	216
保証とアフターサービス	217
ステアリングオーディオスイッチの操作について	218

安全上のご注意 (必ずお守りください)

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

取り付けや配線をするとき



警告



本機はDC 12 V ⊖アース車専用です

DC 24 V 車には使用できません。火災や故障の原因となります。

説明書に従って、取り付けや配線をする

作業は手順どおりに正しく行ってください。火災や故障の原因となります。

作業前に、車体のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認する

車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないようにし、加工部にサビ止め・浸水防止処置をしてください。火災や感電の原因となります。

作業前に、必ずバッテリーの⊖端子を外す

外さずに作業をすると、ショートによる感電やけがの原因となります。

使用しないコードの先端などは、テープなどで絶縁する

被覆が無い部分が金属部に接触すると、ショートによる火災や感電、故障の原因となります。

アースコードを車両側のアース部分に確実にねじ止めする

アースコードが確実にねじ止めされていないと、火災や感電、故障の原因となります。

サイドブレーキコードを正しく配線する

安全機能が働かず、交通事故の原因となります。

コード類は、運転を妨げないように引き回す

ステアリング・セレクトレバー・ブレーキペダルなどに巻きつくと、交通事故の原因となります。

取り付け(取り外し)や配線は、専門技術者に依頼する

誤った取り付けや配線をした場合、車に支障をきたすことがありますので、お買い上げの販売店にご依頼ください。

取り付けや配線をするとき



警告

**作業後は、車の電装品*の作動確認をする**

正常に作動しないと、火災や感電、交通事故の原因となります。

* ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウinkerなど



視界や運転を妨げる場所*、同乗者に危険をおよぼす場所には、取り付けない
交通事故やけがの原因となります。

* ステアリング・セレクトレバー・ブレーキペダル付近など

車両メーカーが指定する禁止エリアに、取り付けや配線をしない

カメラ装置などの作動を妨げるおそれがあり、交通事故の原因となります。

車両メーカー・カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。

エアバッグの作動を妨げる場所には、取り付けや配線をしない

エアバッグが正常に作動しなくなったり、作動時に機器や部品が飛ばされ、死亡事故につながる原因となります。車両メーカー・カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。

取り付けやアース配線に、車の保安部品*を使わない

制動不能や発火、交通事故の原因となります。

* ステアリング、ブレーキ系統、タンクなどのボルトやナット

ねじなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って、飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

コードを破損しない

断線やショートによる火災や感電、故障の原因となります。

- 傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものを載せる、熱器具へ近づける、車の金属部や高温部に接触させるなどしないでください。
- 車体やねじ、可動部(シートレールなど)へ挟み込まないように配線してください。
- ドライバーなどの先で押し込まないでください。

**分解や改造をしない**

分解禁止

- 交通事故や火災、感電、故障の原因となります。
- コードの被覆を切って他の機器の電源をとるのは、絶対におやめください。
- アースコードの改造や、他の機器とのアース接続は絶対におやめください。

取り付けや配線をするとき

注意



必ず、付属品や指定の部品を使用する

機器の損傷や確実に固定できず、事故や故障、火災の原因となります。

しっかり確実に取り付け

走行中の脱落や破損などで、交通事故やけがの原因となります。

取り付ける場所の水気や汚れ(ほこりや油など)は、取り除いてください。

取り付けの状態(接着やねじのゆるみなど)を、ときどき点検してください。

板金やエッジ、樹脂バリおよび可動部に干渉しないように配線する

断線やショートによる火災や感電、故障の原因となります。



本機の通風孔をふさがない

内部に熱がこもり、火災や故障の原因となります。

ご使用になるとき

警告



ルート案内中でも、常に、実際の交通規制に従う

交通事故の原因となります。

ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門技術者に依頼する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。

ヒューズ交換や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

スピーカーは、本機の仕様に適合したもの*を使用する

火災や発煙、発火、故障の原因となります。

* 最大入力が50 W以上のハイパワー用で、インピーダンスが4 Ω～8 Ω

外部機器*は、運転やエアバッグの作動などに支障がないように使用する

ご使用の機器および接続するケーブルが、運転やエアバッグの作動を妨げたり、同乗者に危険をおよぼさないよう、適切に取り扱ってください。(配線の処理や機器の固定など)交通事故の原因になることがあります。

* 本機に接続する iPod などの音楽プレーヤー、USB メモリー、スマートフォン、モバイルWi-Fiルーター、ビデオカメラなど

医療用電気機器などへの影響を確認する

本機は、無線機能を搭載しています。心臓ペースメーカー、その他医療用電気機器をご使用になる場合は、当該の各医療用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響について必ずご確認ください。

ご使用になるとき



警告



ナビ連動ドライブレコーダー(別売品)は、本体の温度を確認してからmicroSDカードを抜き差しする

高温環境での放置(直射日光が長時間あたっていた場合)や連続使用した場合などは、高温になりやけどをするおそれがあります。その場合、温度が低下するまで使用を控えるようにしてください。



運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視しない

必ず安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。

大きな音量で使用しない

車外の音が聞こえないことによる交通事故の原因となります。

換気の悪いところでエンジンをかけたままにしない

エンジンをかけたまま、換気の悪い場所(周囲が囲まれた車庫や屋内など)で長時間使用しないでください。排気ガスにより、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。

故障や異常な状態のまま使用しない

画像が映らない、音が出ない、異常(異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がするなど)が起きた場合は、ただちに使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。事故や火災、感電の原因となります。お客様による修理は、絶対におやめください。

microSDカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って、飲み込むおそれがあります。

万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

機器内部に、水や異物を入れない

特に、傘による雨水や、飲み物などがかからないようご注意ください。

水や、湿気・ほこり・油煙、金属物や燃えやすいものなどが機器内部に入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電、故障の原因となります。



雷が鳴りだしたら、アンテナコードや本機に触らない

落雷による感電のおそれがあります。

接触禁止

ご使用になるとき



本機を車載用以外には、使用しない

発煙や発火、感電、けがの原因となります。

落下させる、たたくなど、強い衝撃を与えない

故障や火災の原因となります。

はじめに

ご使用前に知っておいていただきたいこと	12
ご使用上の注意事項など	12
免責事項について	14
著作権について	14
各部のなまえとはたらき	15
タッチパネルの操作について	16
メニューの使いかた	18
トップメニューを表示する	18
各種情報を見る・設定をする	19
全機能一覧から機能を選ぶ	20
トップメニューを編集する	21
トップメニューに表示させるショートカットを選ぶ	21
ショートカットの配置を変更する(トップメニューカスタマイズ)	21
本機の電源を入れる	22
初期設定をする	23
初期セットアップを行う	23
自宅を登録する	24
基本操作・準備(確認・調整)	25
自転車位置を確認する	25
GPS情報を確認する	25
音量を調整する	26
車両を後退させるときに	
オーディオの音量を下げる	27
オーディオの音声を一時的に消音する(ミュート)	27
画面を一時的に消す	27
自転車位置を変更する	27
取り付け・配線の確認	28
車両信号情報を確認する	28
拡張ユニット情報を確認する	29
スマートフォンを本機と接続する	30
スマートフォンを本機にBLUETOOTH機器登録する	30
BLUETOOTH接続する機器で使用する機能を変更する	31
BLUETOOTH機器登録を消去する	32
携帯電話未接続案内の設定をする	32
本機のBLUETOOTH機能のOFF/ONを切り替える	32
Wi-Fi機器を本機と接続する	33
Wi-Fi機器を本機にWi-Fiネットワーク登録する	33
Wi-Fi接続する機器を変更する	34
Wi-Fiネットワーク登録を消去する	34
本機のWi-Fiモードを切り替える	35
アクセスポイントモードの設定を変更する	35
セキュリティに関する設定をする	36
セキュリティコードを設定する	36
起動時にセキュリティコード認証画面が表示されたら	37
セキュリティコードの設定を解除する	37
盗難多発地点案内の設定をする	37

ご使用前に知っておいていただきたいこと

ご使用上の注意事項など

走行中の操作制限・視聴制限について

- 安全のため、走行中は一部の操作ができなくなっています。また、走行中は映像（TVなどの動画）を見ることができなくなっています。操作および映像を視聴するときは、安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてください。

車のエンジン停止中／アイドリング中のご使用について

- エンジンを止めたまま使用し続けると、車のバッテリーが消耗します。必ずエンジンをかけてご使用ください。なお、アイドリングが禁止されている地域もありますので、地域の条例等に従ってください。
- エンジンをかけたまま、換気の悪い場所（周囲が囲まれた車庫など）で長時間使用しないでください。排気ガスにより、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。

本機に接続する外部機器* について

- 接続する機器の説明書もよくお読みください。
- ご使用の機器および接続するケーブルが、運転やエアバッグの作動を妨げたり、同乗者に危険をおよぼさないよう、適切に取り扱ってください。（配線の処理や機器の固定など）
- 温度が高くなる場所（直射日光や暖房機器の温風があたり続けるところなど）に放置しないでください。

* iPodなどの音楽プレーヤー、USBメモリー、スマートフォン、モバイルWi-Fiルーター、ビデオカメラなど

液晶パネルについて

- 先端が尖ったものや硬いもの（ペン、ピン、爪の先など）は使わず、必ず指で触れて操作してください。また、たたいたり、強く押さないでください。傷や破損、誤動作の原因となります。
- 車から離れるとき（本機を使用しないとき）は、本機に直射日光が当たらないように、車のサンシェードなどをご使用ください。
- 低温になると、映像が出ない、映像が出るのが遅い、動きに違和感がある、画質が劣化したことがあります。
- 冷暖房を入れた直後など、水蒸気で画面がくもったり、露（水滴）で、正常に動作しないことがあります。約1時間放置してからご使用ください。
- 高温になると、画面の明るさを自動調整したり、本機の起動を停止する場合があります。
- 液晶パネルの画素は、99.99 %の精度で管理されていますが、0.01 %以下で画素欠けるものがあります。そのため、黒い点が現れたり、赤・緑・青の点が常時点灯する場合がありますが、故障ではありません。
- 液晶保護シートを使用すると、視認性や操作性が損なわれる場合があります。（暗くなる、タッチパネルの反応が悪くなるなど）

本体・液晶パネルのお手入れ

- お手入れは、必ず車のエンジンを止めた状態 (ACC OFF)で行ってください。
- 本体の汚れは、きれいな柔らかい布で、軽く乾拭きしてください。

液晶パネルのお手入れの際には、次のことをお守りください。

- 表面の汚れなどは、乾いたきれいな柔らかい布で、軽く拭いてください。
- 次のものを使用しないでください。
 - ・ 汚れや砂、硬いゴミがついた布
 - ・ 濡れた布 (ウェットティッシュ含む)
 - ・ 硬い布
 - ・ 液晶パネル以外を拭いた布
 - ・ ティッシュペーパー
 - ・ 研磨剤
 - ・ 洗剤 (ガラス用クリーナー含む)
 - ・ シンナー、ベンジン、アルコール、ガソリンなどの有機溶剤、酸性やアルカリ性の溶剤
- 液晶パネルを強くこすらないでください。爪を立てたり、布の角や折り目でこすらないでください。

本機と車のバッテリーとの接続が断たれたとき*は

- オーディオに関する一部の設定などがお買い上げ時の状態に戻ります。(P.169)
- セキュリティコードを設定している場合、次回起動時にセキュリティコードの入力が必要になります。(P.37)
- 本機を別の車に載せかえた場合や、タイヤを交換またはローテーションした場合は、「センサー学習値初期化」を行ってください。(P.28)

* 車から本機を取り外したり、バッテリー交換やヒューズ交換を行った場合など

万一、故障や異常が起これたら

- 車を安全な場所に停車させて電源を切り、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は、絶対におやめください。
- 故障や異常の状況は、できるだけ具体的にご連絡ください。

本機を廃棄 / 譲渡するときは

- 本機に記録された情報 (登録地、走行軌跡などの履歴、自宅や電話番号等の個人情報など)を必ず消去し、出荷時の状態に戻してください。(P.169)
- 廃棄する際は、各自治体の指示に従ってください。

その他

- 本機は日本国内専用です。海外では使用できません。また、法令により許された場合を除き、本機を日本国外に持ち出してはいけません。

ご使用前に知っておいていただきたいこと

免責事項について

- 本機は、必ずしもお客様の使用目的または要求を満たすものではありません、また、本機のソフト（収録されている地図データや安全支援機能など）が完全・正確であることを、保証するものではありません。
- 本機は各種規格に基いた製品仕様になっておりますが、接続する機器やソフト/アプリなどによっては、期待どおりに動作しない場合があります。
- 各種アプリが提供するサービスは、予告なく変更・終了される場合があります。
- 本機に接続する機器については、すべての動作を保証するものではありません。
- 車の運転は、必ず実際の道路状況や交通規制に注意し、それらを優先してください。交通事故や交通違反の罰則などに対して、当社は一切の責任を負いかねます。
- 火災や地震または気象による自然災害、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤使用、異常な条件下での使用により故障および損害が生じた場合、補償はできません。
- 本機の使用や使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など）に関して、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本機の使用中にメディアや接続している機器のデータが変化・消失した場合の補償はできません。
- 本機を業務用のバスやトラック、タクシー、商用車などに使用した場合の保証はできません。
- 本機に記録された個人情報（登録地、走行軌跡などの履歴、電話番号など）は、お客様の責任において管理（消去など）してください。当社は一切の責任を負いかねます。
- 次の場合、補償はできません。
大切な情報（登録地など）は、万が一に備えてメモなどをとっておくことをおすすめします。
 - ・誤使用や、静電気などの電氣的なノイズを受けたことにより本機が正常に動作しなくなった場合
 - ・誤使用や、静電気などの電氣的なノイズを受けたとき、または故障・修理のときなどに、本機に記録されていた情報が変化・消失した場合
 - ・本機の地図データ更新で、道路や地形に変化のあった地域に関連するルートや地点のデータが消失した場合
 - ・本機のソフトウェアをバージョンアップする際に、記録されていた情報が変化・消失した場合

著作権について

- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- お客様が録音・録画したものは、個人として楽しむ場合を除き、著作権法上権利者に無断で使用できません。また、営利目的または公衆に視聴されることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

お知らせ

- 製品の仕様、画面表示、外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 画面やイラストはイメージであり、実際と異なる場合があります。
- URLは、予告なく変更になることがあります。

CN-FZ8B6



各部のなまえとはたらき

* 1 Apple CarPlay または Android Auto の接続がされていない状態で 0.5 秒以上押すと、BLUETOOTH 接続待機画面 (P.30) が表示されます。

A technical diagram showing a power window motor being connected to a vehicle's electrical system. A circular inset provides a close-up view of the motor's electrical connector, which is being plugged into a corresponding port on the vehicle's wiring harness. The background shows a simplified line drawing of a car's interior, including the steering wheel and dashboard.

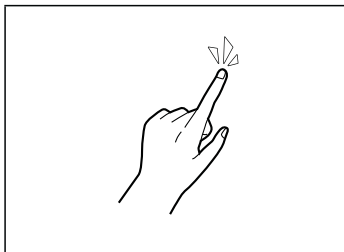
タッチパネルの操作について

本機のタッチパネルは、必ず指で触れて操作してください。
先端が尖ったものや硬いもの（ペン、ピン、爪の先など）で操作したり、たたく、強く押すなどして液晶パネルに負担がかかると、傷や破損、および誤動作の原因となります。

本機のタッチパネルの操作のしかたは、下記のとおりです。

はじめに

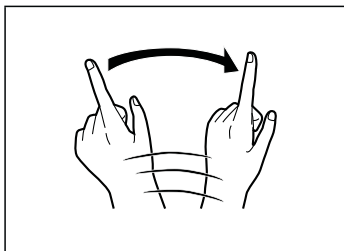
タッチパネルの操作について



■ タッチ

指で画面に軽く触れる。

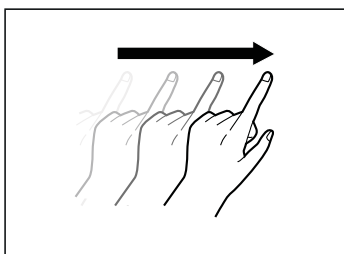
- 本書で「○○を選ぶ」と記載している場合は、タッチで項目を選んでください。
- 本書で「○秒以上タッチする」「タッチし続ける」と記載している場合は、長くタッチしてください。



■ フリック

指で画面をはらう。

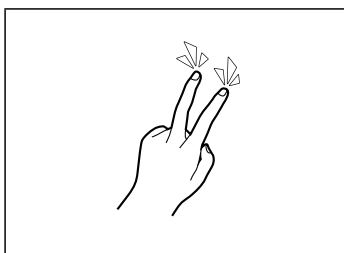
- メニュー画面をフリックした方向に切り替える。
- リストの項目をフリックした方向に移動させる。
- 地図画面をフリックした方向にスクロールする。



■ ドラッグ

指で画面をタッチしたまま、なぞる。

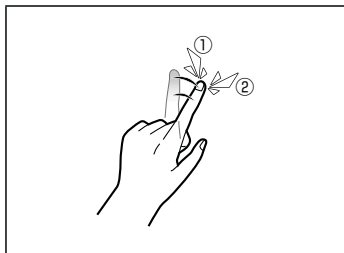
- メニュー画面をドラッグした方向に切り替える。
- リストの項目をドラッグした方向に移動させる。
- 地図画面をドラッグした方向にスクロールする。
- スライダーをドラッグして、イコライザーなどを調整する。



■ 2点タッチ（同時に2か所をタッチ）

同時に2か所をタッチする。

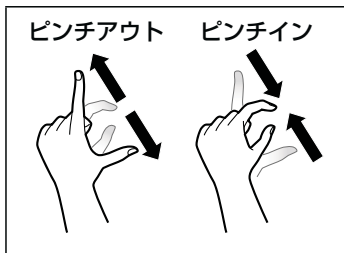
- 地図の縮尺を「広域」に切り替える。



■ ダブルタップ(連続して2回タッチ)

同じ場所を連続して2回タッチする。

- 地図の縮尺を「詳細」に切り替える。



■ ピンチ

2本の指で、間隔を広げる／狭めるようになぞる。

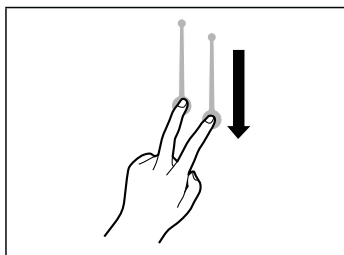
● ピンチアウト(広げる)

地図の縮尺を「詳細」に切り替える。

- ・ 指の間をぴったりつけずに、指1本分くらい間隔をあけてください。

● ピンチイン(狭める)

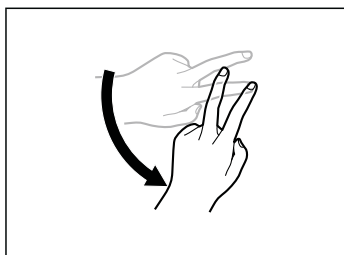
地図の縮尺を「広域」に切り替える。



■ 2点ドラッグ(上下のみ)

2点タッチしたまま、上下にドラッグする。

- 地図の傾きを調整する。



■ 回転ドラッグ

2本の指で円弧を描くようにドラッグする。

- 地図モード画面で、地図を回転させる。

メニューの使いかた

トップメニューを表示する

MENU  を押す

- トップメニューを表示します。

■ トップメニュー



-  All Apps(全機能一覧) 20

- Audio ON/OFF 87
- ハンズフリー 126
- Android Auto 138
- Apple CarPlay 132
- 情報・設定 19
- ルート 66

■ ショートカット

全機能一覧 (P.20) から、よく使う項目をショートカットとして登録できます。(P.21)

- 画面が複数ある場合は、  を選ぶか、ショートカット周辺を左右にフリックまたはドラッグすると、左右の画面に切り替わります。(タッチパネルの操作について→P.16)
- お買い上げ時は、下記の機能がショートカットに登録されています。



- | | | |
|----------------------|--------------------------|---------------------|
| ● レコーダーリンク 106 | ● BLUETOOTH Audio... 100 | ● 住所 63 |
| ● HDMI * 1 162 | ● TV 88 | ● ジャンル 63 |
| ● AM 94 | ● ネット動画 112 | ● マップコード 63 |
| ● SD * 2 97 | ● FM 94 | ● ドライブレコーダー ... 156 |
| ● iPod 104 | ● 名称 60 | ● 電話番号 62 |
| ● 交通情報 95 | ● 名称 (オンライン) 61 | ● 登録地 63 |
| ● USB * 2 97 | ● 履歴 62 | ● 周辺施設 64 |
| | ● 自宅 63 | |

* 1 機器が接続されていなくても表示されます。選ぶとHDMIに切り替わり、黒い画面が表示されます。

* 2 パソコンなどで保存したデータ (音楽/動画) の再生

各種情報を見る・設定をする

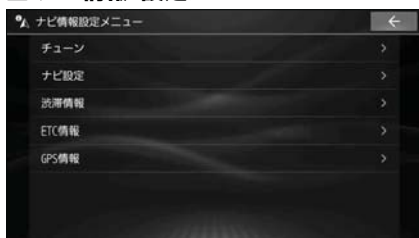
トップメニュー(P.18)から、
情報・設定を選ぶ

- 情報・設定メニューを表示します。

■ 情報・設定メニュー*1



■ ナビ情報・設定メニュー*1



- チューン 56~57
- ナビ設定 165~167
- 渋滞情報 82
- ETC 情報 151
- GPS 情報 25

■ スマートフォン接続設定メニュー*1



- BLUETOOTH 設定 30
- Wi-Fi 設定 33
- Android Auto 設定 139
- Apple CarPlay 設定 133

■ オーディオ情報・設定メニュー*1



- オーディオチューン 114
- オーディオ出力 87
- リバース時のオーディオ音量ダウン 27

■ システム情報・設定メニュー*1



- 操作音 168
- 時計表示 168
- 案内音声設定 168
- 音量設定 26
- 画質調整 121
- 画面 OFF 27
- トップメニューカスタマイズ 21
- セキュリティ設定 36
- メンテナンス通知設定 144
- ドライブレコーダー設定 158
- オプションスイッチ設定 168
- ダイレクトボタン設定 168
- 休憩案内 168
- バージョン情報 145
- 車両信号情報 28
- 拡張ユニット情報 29
- ソフトウェア・地図 更新 148
- 初期化 169
- 端末情報 145
- 初期セットアップ 23
- 取付店ダイヤグ
使用しません(取付店が設定します)

*1 を選ぶと、トップメニューに戻ります。

メニューの使いかた

全機能一覧から機能を選ぶ

1 トップメニュー(P.18)から、

☰ All Appsを選ぶ

- All Apps(全機能一覧)を表示します。

2 All Apps(全機能一覧)から、 項目(機能)を選ぶ

- 選んだ項目の画面に切り替わります。

※ 以降、All Appsを「全機能一覧」と表記して説明します。

■ All Apps(全機能一覧)



全機能一覧から選択できる項目

■ スマートフォン連携

- Android Auto 138
- Apple CarPlay 132
- ハンズフリー 126

■ 目的地

- 周辺施設 64
- 名称(オンライン) 61
- 自宅 63
- ジャンル 63
- 住所 62
- 電話番号 62
- 登録地 63
- マップコード 63
- 名称 60
- 履歴 62

■ Audio(オーディオ)

- AM 94
- BLUETOOTH Audio 100
- FM 94
- HDMI * 1 162
- iPod 104
- SD 97
- TV 88
- USB 97
- 交通情報 95
- ネット動画 112
- レコーダーリンク 106

■ システム連携

- ドライブレコーダー 156

■ 情報・設定

- オーディオ情報・設定 19
- システム情報・設定 19
- スマートフォン接続設定 19
- ナビ情報・設定 19

* 1 機器が接続されていなくても表示されます。選ぶとHDMIに切り替わり、黒い画面が表示されます。

トップメニューを編集する

全機能一覧(P.20)の項目から、お好みの項目をショートカットとしてトップメニューに表示できます。(1画面あたり最大8項目、7画面まで)

トップメニューに表示させるショートカットを選ぶ

全機能一覧(P.20)から、
トップメニューに表示させたい項目の
「メニューに表示」チェックボックスを
ONにする

- タッチするごとにON/OFFが切り替わります。
- チェックした項目が、トップメニューにショートカットとして表示されます。



はじめに

トップメニューを編集する

ショートカットの配置を変更する(トップメニューカスタマイズ)

1 システム情報・設定メニュー(P.19)から、**トップメニューカスタマイズ**を選ぶ

- トップメニューカスタマイズ画面が表示されます。
- トップメニュー(P.18)でショートカットを約1秒以上タッチしても、表示できます。

2 配置を変更したい項目をドラッグして、移動させる

■ 画面内を移動させる

ドラッグした位置に移動します。

■ 他の画面に移動させる

画面の左端/右端までドラッグすると、左となり/右となりの画面に移動します。

■ 削除する

□までドラッグすると、ショートカットから削除されます。



- ドラッグした位置に他の項目がある場合は、自動的にドラッグした項目を避けて再配置されます。
- すでに8項目すべて配置されている画面には、他の画面から項目を移動できません。
不要な項目を他の画面に移動させるか削除してから移動してください。

3 **決定**を選ぶ

- トップメニューカスタマイズを完了します。

お買い上げ時の設定に戻すには

トップメニューカスタマイズ画面から、**初期化** ▶ **はい**を選ぶ

本機の電源を入れる

1 車のエンジンをかける (ACC を ON にする)

- 本機の電源が入り、ボタン照明が点灯します。
- セキュリティコード認証画面が表示されたら→P.37
- 使用環境により起動時のオープニング画面表示が遅れる (黒い画面が表示される) ことがあります。故障ではありません。
- 全方位モニターが装備されている場合は、3Dビュー画面*が表示されます。

* 全方位モニターのオープニング表示

- ・ ON/OFF の切り替えができます。詳しくは、車両のオーナーズマニュアルをご覧ください。
- ・ 本機の初期セットアップ (P.23) が完了していない場合は表示されません。

2 警告画面の注意事項を確認して、**OK**を選ぶ

- 現在地画面 (自車位置) が表示されます。
- オーディオ画面が表示されたときは、**MAP** を押すとナビゲーション画面 (現在地) に切り替わります。
- 約 10 秒間何も操作しないと、警告画面は消去されます。
- ETC 車載器 / ETC 2.0 車載器を接続すると、ETC カードの状態などをお知らせします。
- スマートフォンを本機に接続しているときは、スマートフォンとの接続確認のメッセージが表示される場合があります。
- 車両のメンテナンス通知を設定している場合は、メンテナンスが必要な時期になると通知されます。(P.144)
- 本機が Wi-Fi 経由でインターネットに接続していない、または自動バージョンアップ設定が [手動で確認する] に設定されている場合、本機のデータをバージョンアップするためのお知らせ画面が表示されることがあります。(P.149)

■ 初めて本機を起動したときは

初期設定を促す「初期セットアップ画面」が表示されます。画面の案内に従って初期セットアップを行ってください。(P.23)

電源を切るには

車のエンジンを止める (ACC を OFF にする)

- 本機の電源が切れます。
- ETC 車載器 / ETC 2.0 車載器を接続している場合は、カード抜き忘れ案内が行われます。(P.167)

初期設定をする

初期セットアップを行う

初めて本機を起動したときは、初期設定を促す「初期セットアップ画面」が表示されます。最初に設定しておくとお利便な項目をまとめて設定できます。

1 初期セットアップをはじめると選ぶ

- 音量設定画面が表示されます。
- **次回表示する**
初期セットアップを中止します。
次回起動時に、再度初期セットアップ画面が表示されます。
- **次回以降表示しない**
初期セットアップを中止します。
次回以降、起動時には初期セットアップ画面が表示されません。

■ 初期セットアップ画面



はじめに

初期設定をする

2 音量設定 (P.26) を行い、**次へ**を選ぶ

3 自宅登録 (P.24) を行い、**次へ**を選ぶ

4 現在時刻が表示されていることを確認して、**はい**を選ぶ

- 利用開始日が登録されます。
- 現在時刻が「ー：ー」と表示される場合は、見晴らしの良い場所へ移動して再度初期セットアップを行ってください。

5 オンラインバージョンアップ確認画面から、本機の利用登録を行い、**次へ**を選ぶ

- ① 画面に表示された二次元コードをスマートフォンで読み取る
- ② Webサイトにアクセスする
- ③ Webサイトの案内に従って、スマートフォンでナビCafeにユーザー登録する
 - ・ユーザー登録をせずに無料地図更新の申し込みのみ行うこともできます。
- ④ 無料地図更新サービスの申し込みをする



6 自動バージョンアップ設定を行い、**次へ**を選ぶ

- **自動で確認する**：本機とWi-Fi機器（スマートフォン、Wi-Fiルーターなど）がWi-Fi接続されると自動的にWeb上のサーバーにアクセスして更新データを検索し、更新データがある場合はお知らせ画面が表示されます。（P.149）[お買い上げ時の設定]
- **手動で確認する**：更新データを確認したいときに、手動で検索して更新できます。お知らせ画面は表示されません。（P.149）

7 **Wi-Fi ▶ 利用する**を選び、**次へ**を選ぶ

- Wi-Fiを利用しない場合は、**Wi-Fi ▶ 利用しない**を選び、**次へ**を選んでください。→手順9へ

8 Wi-Fi設定 (P.33) を行い、**次へ**を選ぶ

9 BLUETOOTH設定 (P.30) を行い、**終了**を選ぶ

- 初期セットアップを終了し、現在地画面が表示されます。

（お知らせ）

- システム情報・設定メニュー (P.19) から **初期セットアップ** を選んでも、初期セットアップできます。

自宅を登録する

- 1 自宅が登録されていない状態で、
トップメニュー(P.18)または全機能一覧(P.20)から、**自宅 ▶ はい**を選ぶ
● 自宅登録メニューが表示されます。

- 2 自宅の場所を検索する

- 検索方法は「行き先を探す」と同じです。
(P.60～64)
 - **現在地付近**：現在地付近の地図を表示^{*1}
 - **出発地付近**：出発地付近の地図を表示^{*2}
 - **目的地付近**：目的地付近の地図を表示^{*2}
 - **地図**：最後に表示していた地図を表示
- *1 ルート未設定時のみ
*2 ルート案内中のみ



- 3 **設定 ▶ 保存**を選ぶ

- カーソルの地点が、自宅として登録されます。
- 引き続き、自宅へのルートが探索されます。
- 自宅を登録すると、地図上に自宅のアイコン(🏠)が表示されます。

お知らせ

- 自宅の編集・消去は、登録地リストから行ってください。(P.76)

基本操作・準備(確認・調整)

自車位置を確認する

初めて起動したときなどに、自車位置と異なる地図が表示される場合がありますが、GPS衛星からの信号を受信し、しばらくすると自車位置付近の地図(現在地画面)が表示されます。

1 GPS信号を受信していることを確認する

- 受信すると、現在時刻が表示されます。未受信の場合は、--:--と表示されます。
- 走行すると受信や現在地測位に時間がかかるため、受信できるまで走行せずにお待ちください。

2 見晴らしの良い道路をしばらく(60分以上)走行して、GPS信号を受信させる

- 地図画面上の自車マークの位置と実際の自車位置との誤差が補正されます。
- 現在地の測位が完了すると、方位マークの色が赤から白に変わります。



お知らせ

- しばらく経過しても自車位置が表示されないときは、GPS情報(下記)から受信状態を確認してください。

GPS 情報を確認する

1 ナビ情報・設定メニュー(P. 19)から、GPS情報を選ぶ

2 GPS情報を確認する

- GPS/QZSS*:各測位システムの受信状態を表示
 - ・緑: 測位に使用中
 - ・青: 受信中
- 緯度: 現在位置の緯度を表示
- 経度: 現在位置の経度を表示
- 年 月 日: 現在の日付を表示
- 現在時刻: 現在時刻を表示

* 1 本機は、準天頂衛星システム「みちびき」に対応しています。(P. 199)



音量を調整する

本体ボタンで

調整したい音声が出力された状態で、**－** **＋** を押して調整する

- 出力中の音声の音量が調整されます。
ナビゲーションの音声案内（ナビ案内音）とオーディオまたはハンズフリーの音声と同時に出力されているときは、ナビ案内音が調整されます。
- 調整中はヘッダーに音量が表示されます。
- オーディオの音量は、ソースごと（個別）に記憶されます。

システム情報・設定メニューから

1 システム情報・設定メニュー（P. 19）から、**音量設定** を選ぶ

2 **－** **＋** で、各項目の音量を調整する

- 調整範囲 [太字: お買い上げ時の設定]
 - ・ナビ案内音: 0 ～ 5 ～ 11
 - ・音声認識音*: 1 ～ 6 ～ 11
 - ・ハンズフリー着信音: 0 ～ 20 ～ 40
 - ・ハンズフリー受話音: 0 ～ 20 ～ 40
 - ・ハンズフリー送話音: 1 ～ 4 ～ 7
- スライダーをドラッグしても、音量を調整できます。

* 1 Siri または Google アシスタント（音声アシスタント機能）の音量が調整されます。（P. 132、P. 138）

■ 音量設定画面



お知らせ

- ハンズフリー送話音の音量は、「0」には設定できません。
- ハンズフリー着信音、ハンズフリー受話音を「3」以下に設定していても、電話が着信するかハンズフリー通話を行うと「4」に変更されます。

お買い上げ時の設定に戻すには

音量設定画面（上記）から、**初期値** ▶ **はい** を選ぶ

ナビ案内音量について

- ナビ案内音の音量が「0」のときは、本体ボタンで音量を調整できません。
- 「案内音量の車速連動」が「ON」に設定されていると、走行する速度に応じてナビ案内音の音量が自動的に調整されます。
- ナビゲーションの音声案内に関する設定（案内音声設定）については→P. 168

車両を後退させるときに オーディオの音量を下げる

周囲の音や車両からの警告音、注意喚起音などが聞こえやすくなります。

[お買い上げ時の設定: ON]

オーディオ情報・設定メニュー(P.19)から、
リバース時のオーディオ音量ダウン

ONを選ぶ

- セレクトレバーをR(リバース)に入れると、オーディオの音量が下がります。

お知らせ

- ナビ案内音とハンズフリーの音声の音量は下がりにません。
- **OFF**を選ぶと、セレクトレバーをR(リバース)に入れてもオーディオの音量は下がりにません。

オーディオの音声を一時的に 消音する(ミュート)

ステアリングオーディオスイッチで

ステアリングオーディオスイッチに該当のボタンがある場合のみ、操作ができます。

ステアリングオーディオスイッチの

または  *1を押す

- 再度押すと、解除されます。

*1 ハンズフリー着信中/通話中に押すと、電話に出る/電話を切る操作となります。(P.124、125)

本体ボタンで

オプションスイッチの設定が「消音」で、セレクトビューバックアイカメラおよび全方位モニターがどちらも接続されていない場合のみ、操作ができます。(P.168)

OPTを押す

- 再度押すと、解除されます。

お知らせ

- ミュート中は、ヘッダーにと表示されます。
- ナビ案内音とハンズフリーの音声などはミュートされません。
- オーディオをOFFにするには→P.87

画面を一時的に消す

システム情報・設定メニュー(P.19)から、**画面OFF**を選ぶ

画面を再表示するには

AUDIO **MENU** **MAP** のいずれかを
押す、または画面をタッチする

自車位置を変更する

※ 通常はこの操作は必要ありません。

1 ナビ情報・設定メニュー(P.19)から、
ナビ設定 ▶ **表示設定** を選ぶ

2 **自車位置修正** を選ぶ

3 位置を調整し、**決定**を選ぶ

- 縮尺を詳細側にしておくと、より正確に自車位置を修正できます。



4   で自車マークを
進行方向に合わせ、**決定**を選ぶ

- セットした位置に自車位置が変更されます。



お知らせ

- 実際の自車位置とは異なる場所に自車位置を移動させても、GPS衛星からの信号を受信すると、実際の自車位置の地図に切り替わります。

取り付け・配線の確認

車両信号情報を確認する

1 システム情報・設定メニュー(P.19)から、**車両信号情報**を選ぶ

2 車両信号情報を確認する



項 目	確認内容
パーキングブレーキ信号	パーキングブレーキをかけると「ON」に、解除すると「OFF」に変わりますか？
リバース信号	セレクトレバーをリバース(R)に入れると「ON」、解除すると「OFF」に変わりますか？
イルミネーション信号 ^{*1}	車のスモールランプ(車幅等)を点灯させると「ON」、消灯させると「OFF」に変わりますか？
車速パルス	走行後、数字が変わりますか？
+B電圧	バッテリーの電圧が表示されます。12 V(11 V～16 V)になっていますか？
センサー学習レベル	走行後、数字や表示が変わりますか？ ● 距離: 「0」(レベル低)～「4」(レベル高) ● 回転: 「未補正」▶「補正中」▶「補正完」 ● 3D: 「補正中」▶「補正完」
センサー学習値初期化	センサー学習値初期化 ▶ はい ▶ はい : センサー学習レベルを初期化する

* 1 車種やグレードによっては、表示が車両のスイッチに連動しない場合があります。

お知らせ

- 次のようなコースでは、補正処理に時間がかかり、学習内容に誤差が出ることがあります。
 - ・渋滞・停車を頻繁に繰り返す
 - ・右左折が極端に少ない
 - ・右左折が多い
 - ・GPS信号を受信しにくい
- 次の場合にも「センサー学習値初期化」をしてください。
 - ・別の車に本機を載せかえた
 - ・タイヤを交換した
 - ・タイヤをローテーションした
- 「車速信号が検出できません」と表示された場合は、車速信号コードの接続を確認してください。
- 車種によっては、速度を上げると自車マークが動かなくなることがありますが、補正処理を行っている間は故障ではありません。
- 正常な状態にならない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

拡張ユニット情報を確認する

1 システム情報・設定メニュー(P.19)から、**拡張ユニット情報**を選ぶ

2 拡張ユニット情報を確認する



項 目	確認内容
iPod ^{*1}	iPod を接続すると、「接続済み」表示に変わりますか？
USB ^{*1}	USB メモリーを接続すると、「接続済み」表示に変わりますか？
ETC車載器	ETC車載器を接続している場合、「接続済み」表示になっていますか？
ETC2.0車載器	ETC2.0車載器を接続している場合、「接続済み」表示になっていますか？
ドライブレコーダー	ナビ連動ドライブレコーダーを接続している場合、「接続済み」表示になっていますか？

* 1 同時には接続できません。なお、iPod を接続時は、iPod とUSBが「接続済み」表示になります。

お知らせ

- 正しい表示に変わらない場合は、**更新**を選ぶと表示中の情報が更新されます。

スマートフォンを本機と接続する

スマートフォンを本機に BLUETOOTH 機器登録する

スマートフォンを本機に BLUETOOTH 機器登録すると、下記の機能を利用できます。

- BLUETOOTH Audio → P. 100
- CarAV remote S → P. 129
- レコーダーリンク → P. 106
- Apple CarPlay → P. 130
- ハンズフリー通話 → P. 124
- Android Auto → P. 136
- NaviCon → P. 128

※ 対応スマートフォンは、Web サイトでご確認ください。 <https://panasonic.jp/car/navi/genuine/>
※ スマートフォン側の操作はスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- 一度接続すると、次回からは自動的に接続されます。登録済みの別の機器を接続する場合は、「BLUETOOTH 接続する機器で使用する機能を変更する」を行ってください。(P. 31)
- スマートフォンは最大 6 台まで本機に BLUETOOTH 機器登録できますが、接続できるのは電話/スマートフォンアプリ、オーディオ、Apple CarPlay、Android Auto で各 1 台です。

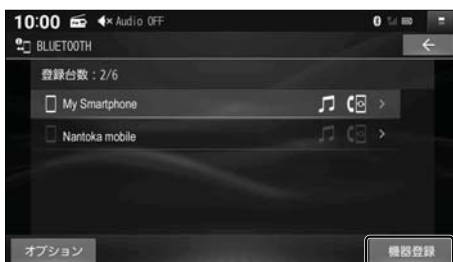
1 スマートフォン接続設定メニュー(P. 19)から、**BLUETOOTH 設定**を選ぶ

- 本機の BLUETOOTH 機能が「OFF」になっている場合は、「ON」にしてください。(P. 32)

2 **機器登録**を選ぶ

- BLUETOOTH 接続待機状態になります。
- すでに 6 台登録されているときは登録できません。メッセージが表示された場合は、「はい」を選んで登録済みの機器を消去してください。(P. 32)
- Apple CarPlay または Android Auto の接続中は登録できません。メッセージが表示された場合は、「はい」を選ぶと接続が解除され、機器登録できるようになります。

■ BLUETOOTH 設定画面



3 スマートフォンを操作して 機器登録する

- ① BLUETOOTH を ON に設定する
 - ② 周辺の BLUETOOTH 機器を検索する
 - ③ 検索結果から本機のデバイス名 (CAR MULTIMEDIA) を選び、ペアリングする
- スマートフォンに Apple CarPlay または Android Auto のワイヤレス接続許可を求める画面が表示される場合があります。利用する場合は許可してください。

■ BLUETOOTH 接続待機画面



4 Apple CarPlay または Android Auto の利用の確認画面が表示された場合、利用する機能に応じて **はい**/**いいえ** を選ぶ

- **はい** : Apple CarPlay または Android Auto を利用する
(自動的に Apple CarPlay または Android Auto の接続が行われます)
- **いいえ** : BLUETOOTH Audio/レコーダーリンク/ハンズフリー/NaviCon/CarAV remote S を利用する
- スマートフォンが BLUETOOTH 機器登録され、本機と BLUETOOTH 接続されます。
- BLUETOOTH 接続中の機器がある場合は、そちらの接続が解除されます。(登録は消去されません。)
- ハンズフリー 接続または Android Auto の接続をした場合は、スマートフォンの電話帳と発着信履歴の情報が、本機に転送されます。*¹ (携帯電話データの自動同期→P.127)
- Apple CarPlay または Android Auto の接続が完了すると、本機の Wi-Fi モード (P.35) は自動的にアクセスポイントモードに設定され、ステーションモードでの接続は切断されます。
- Apple CarPlay 用の iPhone または Android Auto 用の Android スマートフォンがすでに 6 台登録されているときは、登録できません。メッセージが表示された場合は、**はい** を選んで登録済の機器を消去してください。

* 1 機器や電波の状況によっては時間がかかる場合があります。

BLUETOOTH 接続する機器で使用する機能を変更する

1 BLUETOOTH 設定画面 (P.30) から、変更したい機器を選ぶ

2 使用する機能を選び、**決定**を選ぶ

- **電話/スマートフォンアプリ**: ハンズフリー接続
ハンズフリー通話、NaviCon、CarAV remote S、
レコーダーリンクを使用する *¹
- **オーディオ**: BLUETOOTH Audio 接続
BLUETOOTH Audio 再生を使用する
- **Apple CarPlay** *²: Apple CarPlay の接続
- **Android Auto** *²: Android Auto の接続
- 設定した内容で本機と BLUETOOTH 接続されます。
※ 接続中の機器がある場合は、そちらの接続が解除されます。(登録は消去されません。)
- 再度選ぶと、接続が解除されます。
- 「Apple CarPlay」または「Android Auto」を選択した機器は「電話/スマートフォンアプリ」や「オーディオ」を選ぶことはできません。
- ハンズフリー接続または Android Auto の接続をする機器を変更した場合、前の機器の電話帳と発着信履歴は消去され、新しく接続したスマートフォンの電話帳と発着信履歴の情報が、本機に転送 (上書き) されます。*³ (携帯電話データの自動同期→P.127)
- Apple CarPlay または Android Auto の接続が完了すると、本機の Wi-Fi モード (P.35) は自動的にアクセスポイントモードに設定され、ステーションモードでの接続は切断されます。

* 1 ハンズフリー通話、NaviCon、CarAV remote S は、Android Auto の接続をしているときにも利用できます。

* 2 Apple CarPlay / Android Auto のワイヤレス接続に対応したスマートフォンを接続した場合に表示されます。
接続したスマートフォンの種類によって表示が変わります。

* 3 機器や電波の状況によっては時間がかかる場合があります。

機能選択画面



スマートフォンを本機と接続する

BLUETOOTH 機器登録を消去する

削除したい機器の機能選択画面 (P.31) から、**消去 ▶ はい** を選ぶ

- 選んだ機器の登録が消去されます。

携帯電話未接続案内の設定をする

1 BLUETOOTH 設定画面 (P.30) から、**オプション** を選ぶ

2 携帯電話未接続案内の

ON / OFF を選ぶ

- 「ON」に設定すると、機能選択画面 (P.31) で「電話/スマートフォンアプリ」、「Android Auto」、「Apple CarPlay」のいずれかに設定されたスマートフォンが本機の起動時に BLUETOOTH 接続されていないとき、携帯電話未接続案内が行われます。

■ オプション画面



本機の BLUETOOTH 機能の OFF/ON を切り替える

オプション画面 (上記) から、BLUETOOTH の **OFF** を選ぶ

- BLUETOOTH 機能が OFF になります。
- **ON** を選ぶと、BLUETOOTH 機能が ON になります。

Wi-Fi機器を本機と接続する

Wi-Fi 機器を本機に Wi-Fi ネットワーク登録する

Wi-Fi機器（スマートフォン、モバイルWi-Fiルーターなど）を本機にWi-Fiネットワーク登録すると、下記の機能を利用できます。

● オンライン名称検索→P.61

● ネット動画の視聴→P.112

● レコーダーリンク→P.106

● ソフトウェア・地図の更新→P.149

※ スマートフォンでデザリングを利用するには事前のお申し込みが必要となり、利用料金は有料の場合があります。（キャリアや契約状況によって異なります）

※ Wi-Fi機器側の操作は各機器の取扱説明書をご覧ください。

準備

● Wi-Fiモードを「ステーション」に切り替えてください。（P.35）

1（スマートフォンの場合のみ）Wi-Fi デザリング（AP モード）の設定をする

① スマートフォンを操作して、Wi-Fi デザリング（APモード）をONにする

② Wi-Fi デザリング設定から、ネットワーク名（SSID）とパスワードを確認する

2 スマートフォン接続設定メニュー（P.19）から、**Wi-Fi 設定**を選ぶ

● 周辺のWi-Fi機器を検索し、検索結果がリストで表示されます。

3 リストから、接続する機器を選ぶ

● スマートフォンの場合は、手順1で確認したネットワーク名（SSID）を選択してください。

● 「アクセスポイント」または「OFF」と表示されている場合は、ステーションモードに切り替えてください。（P.35）

■ Wi-Fi設定画面（ステーションモード）



4 **パスワード**を選ぶ



5 パスワードを入力し、**✓**を選ぶ

● スマートフォンの場合は、手順1で確認したパスワードを入力してください。

● 文字入力のしかた→P.188



6 **接続**を選ぶ

● 選んだ機器がWi-Fiネットワーク登録され、Wi-Fi接続されます。

※ Wi-Fi接続中の機器がある場合は、そちらの接続が解除されます。（登録は消去されません）

● ：パスワードの文字を表示



お知らせ

● 使用する機器が対応しているセキュリティ方式によっては、本機とWi-Fi接続できない場合があります。（本機が対応するセキュリティ方式→P.197）

Wi-Fi 機器を本機と接続する

Wi-Fi 接続する機器を変更する

Wi-Fi設定画面(ステーションモード)(P.33)から、接続したい機器を選ぶ

- 選んだ機器が本機とWi-Fi接続されます。

※ Wi-Fi接続中の機器がある場合は、そちらの接続が解除されます。(登録は消去されません。)

Wi-Fi ネットワーク登録を消去する

1 Wi-Fi設定画面(ステーションモード)(P.33)から、**オプション**を選ぶ

2 **登録ネットワーク一覧**を選ぶ

- **新規ネットワーク登録**：
Wi-Fi機器を本機にWi-Fiネットワーク
登録できます。

■ Wi-Fiオプション画面



3 消去したい登録ネットワークを選ぶ

■ 登録ネットワーク一覧



4 **消去**を選ぶ

- 選んだ機器のWi-Fiネットワーク登録が
消去されます。



本機の Wi-Fi モードを切り替える

1 Wi-Fi 設定画面 (P. 33、下記) から、**モード変更** を選ぶ

2 モードを選ぶ

- **OFF** : Wi-Fi 機能が OFF になり、接続が解除されます。
- **ステーション** : ステーションモードになります。
本機を Wi-Fi 経由でインターネットに接続するためのモードです。
オンライン名称検索、レコーダーリンク、ネット動画、ソフトウェア・地図の更新ができます。
- **アクセスポイント** : アクセスポイントモードになります。(お買い上げ時の設定)
iPhone、Android スマートフォンとワイヤレス接続するモードです。
Apple CarPlay、Android Auto をワイヤレスで利用できます。

お知らせ

- Apple CarPlay または Android Auto の接続をすると、本機の Wi-Fi モードは自動的にアクセスポイントモードに切り替わります。本機がステーションモードの状態では接続した Wi-Fi 機器との接続は、解除されます。

アクセスポイントモードの設定を変更する

1 Wi-Fi モードを「アクセスポイント」にする (上記)

2 **オプション** を選ぶ

■ Wi-Fi 設定画面 (アクセスポイントモード)



3 各項目を設定する

- **SSID** :
本機の SSID を変更できます。
- **セキュリティ** :
対応するセキュリティ方式を表示します。
- **パスワード** :
Wi-Fi パスワードを変更できます。



4 **決定** を選ぶ

- 設定した内容に変更されます。

セキュリティに関する設定をする

万一盗難にあった場合でも、セキュリティコードを設定していれば、盗難後の使用や個人情報の漏洩を防ぐことができます。

セキュリティコードを忘れた場合、本機を使用できなくなりますので、お買い上げの販売店にご相談ください。
セキュリティコード解除に生じる費用は、お客様のご負担になります。

セキュリティコードを設定する

設定したセキュリティコードは、忘れないようにメモしておいてください。

1 システム情報・設定メニュー(P.19)から、**セキュリティ設定**を選ぶ

2 セキュリティ設定 **ON** を選ぶ

■ セキュリティ設定画面



3 (初めて設定する場合のみ)

下記の操作を行い、初期パスワードを解除する

- ① **OK** を選ぶ
- ② 初期パスワード「9876」を入力し、**決定** を選ぶ
- ③ **はい** を選ぶ

4 **OK** を選ぶ

5 任意のセキュリティコードを入力し、**決定** を選ぶ

-  : 1文字削除
 - 文字種: 数字・A～Fの大文字
 - 文字数: 4文字～12文字
- ※第三者から推測されやすい文字列
(例: 生年月日、0000のような同じ文字の繰り返し、わかりやすい並びの文字など)を避けて設定してください。



6 **はい** を選ぶ

- セキュリティコードが設定されます。

起動時にセキュリティコード認証画面が表示されたら

セキュリティコードが設定された状態で、バッテリーコードが外されたあとに本機を起動する / 出荷状態に戻す (P. 169) / 本体リセットを行う (P. 187) と、セキュリティコード認証画面が表示されます。

設定したセキュリティコードを入力し、**決定**を選ぶ

- ロックが解除されます。
- : 1 文字削除
- 文字種: 数字・A～Fの大文字
- 文字数: 4 文字～12 文字



セキュリティコードの設定を解除する

他人に譲渡する場合などは、セキュリティコードの設定を解除してください。

1 セキュリティ設定画面 (P. 36) から、セキュリティ設定 **OFF** を選ぶ

2 設定したセキュリティコードを入力し、**決定**を選ぶ

- セキュリティコードの設定が解除されます。

盗難多発地点案内の設定をする

盗難多発地点のアイコンを地図上に表示し、注意を促します。

セキュリティ設定画面 (P. 36) から、各項目を設定する

[太字: お買い上げ時の設定]

項 目	設定内容
盗難多発地点 表示案内	「 O N 」: 盗難多発地点を地図に表示する 「 O F F 」: 盗難多発地点を地図に表示しない
市街地図での盗難多発地点表示案内	● 「盗難多発地点 表示案内」が「ON」の場合のみ設定できます。 「 O N 」: 盗難多発地点を市街地図に表示する 「 O F F 」: 盗難多発地点を市街地図に表示しない

ナビゲーション

地図の紹介	40
市街地図	40
広域地図	40
標高地図	40
ETCレーン案内	41
ハイウェイモード	41
案内拡大図	42
地図画面の表示内容について	44
現在地画面	44
地図モード画面	45
ランチャー	46
地点メニュー	46
案内ルート	47
走行軌跡	47
ヘッダー	48
安心運転サポート情報	49
地図の操作	50
地図をスクロールする	50
地図の縮尺を切り替える	51
地図の向き（ノースアップ/ヘディングアップ）を切り替える	52
地図の傾きを調整する	52
地図を回転させる	53
現在地画面の右側に地図を表示させる	53
SA・PAの情報を表示する	53
地図にランドマークを表示させる	54
拡大図・案内図表示を切り替える	55
探索・案内・地図・VICSをアレンジする（ナビチューン）	56
ルート探索をアレンジする	56
ルート案内をアレンジする	56
地図表示をアレンジする	57
VICS案内をアレンジする	57
行き先までのルートを作るには	58
ルート案内を中止する	59
ルートを消去する	59
行き先を探す	60
施設の名称で探す	60
インターネットに接続してキーワードから施設を探す（オンライン名称検索）	61
電話番号で探す	62
住所で探す	62
検索履歴から探す	62
自宅へ帰る	63
登録地から探す	63
ジャンルから探す	63
マップコードで探す	63
周辺の施設を探す	64

検索した施設を目的地・経由地に設定する	65
全ルート図から確認・設定する	66
手動で全ルート図を表示させる	66
デモ走行でルートを確認する	66
ルートを編集する	67
経由地を追加・消去する	67
目的地を追加・消去する	67
経由地・目的地の順番を並べ替える	68
区間ごとの探索条件を変更する	68
ルート探索について	69
探索条件について	69
ルート学習について	69
細街路探索について	69
曜日時間規制探索について	70
VICS 考慮について	70
スマートIC、ETC 専用料金所を通るルートについて	70
ルート案内について	71
音声案内について	71
次の交差点などの音声案内を聞く	72
ルート案内中の曜日時間規制探索	72
ルート案内中の VICS 自動再探索（スイテルルート案内）	72
ルートから外れたときの自動再探索	72
新しいルートと前のルート进行比较する（新旧ルート比較）	73
探索条件を変更してもう一度ルートを探索する	73
走行中の道路を誤って認識したとき（道路切替）	73
逆走注意アラーム・逆走検知警告	74
地点を登録する（登録地）	75
登録地について	75
登録地リストを表示する	75
地点を登録する	75
登録地リストから目的地・経由地を設定する	75
登録地を消去する	76
登録地の情報を見る	76
登録地を編集する	77
VICS 情報を見る	78
VICS について	78
文字表示型の VICS 情報（レベル 1）	78
図形表示型の VICS 情報（レベル 2）	78
地図表示型の VICS 情報（レベル 3）	79
ETC 2.0 サービスによる VICS 情報	81
VICS 情報を確認する	82
VICS 情報マークの内容を確認する	82
緊急情報（特別警報）を受信すると	83

地図の紹介

市街地図



5 m～25 m縮尺では、建物の形まで詳細に表した地図が表示されます。



- 地図を傾けると(P.52)、建物が立体的に表示されます。
- 有名施設の立体表示(ポリゴンランドマーク)は、50 m～200 m縮尺でも表示されます。

広域地図



50 m～2.5 km縮尺では、道路を線で表した、シンプルな地図が表示されます。

- 道幅が5.5 m以上の道路を走行中は、細街路は表示されません。
- 走行中に地図を動かすと、細街路は表示されません。

標高地図



5 km～100 km 縮尺では、衛星写真のようなリアルな地図が表示されます。

ETC レーン案内



ルート案内中に料金所手前でレーン拡大図を表示

- 約 1 km 手前から
- ETC 車載器 / ETC 2.0 車載器を接続して
いなくても、案内は表示されます。
- 表示する / しないの設定 → P. 166

※ 表示は実際のレーン運用と異なる場合があります。
必ず、実際の状況に従って運転してください。

ハイウェイモード



SA・PAの施設情報が表示されます。

SA・PA・IC・JCT・料金所の名称、自車からの距離、高速レーン情報、SA・PA の施設を
わかりやすく表示

- 都市高速道路 (首都高速道路、阪神高速道路
など)、都市間高速道路 (東名高速道路、東北
自動車道など) 一部の有料道路を走行すると
自動的に表示されます。
- **▲ ▼** : スクロール
- **現在区間** : 現在の区間に戻る
- **SA/PA** : 次のSA・PAを表示
- SA・PA を選ぶと、詳細な情報が表示されます。
(P. 53)
- ルート 案内をしていない場合、分岐点
(JCTで路線名が変わる箇所など) より先
のICやSA・PAなどの施設が表示されな
いことがあります。
- ルート案内をしていない場合、高速レーン
情報は表示されません。
- 表示する / しないの設定 → P. 166

地図の紹介

案内拡大図

- ルート案内中に自動的に表示されます。
- 直進でも表示される場合があります。
- 案内地点までに通過交差点がある場合、直前の通過交差点の情報が表示されます。
- 案内地点までに通過分岐点がある場合、直前の通過分岐点の情報が表示されます。
- 案内地点の先にさらに案内地点がある場合、次の案内地点の情報が表示されます。
- 案内拡大図を表示する/しないの設定→P.166
- 地図データの整備上、拡大図や看板などは表示されない場合があります。

交差点拡大図



交差点までの距離、交差点名称、曲がる方向を表示

- 約 300 m 手前から

側道拡大図



側道のある分岐点で表示

- 約 300 m 手前から

リアル 3D 拡大図



複雑な交差点では、リアルなビル表示とともに、交差点までの距離、曲がる方向を表示

- 約 300 m 手前から

高速入口拡大図



都市高速の入口付近で表示

- 約 300 m 手前から

高速分岐拡大図



■ 分岐案内

高速道路の分岐点までの距離、分岐方向を表示

- 約 1 km 手前から
- 高速道路や主要有料道路を走行中に表示されます。



■ ジャンクション案内

ジャンクションまでの距離、方面案内、分岐方向を表示

- 約 1 km 手前から
- 高速道路や主要有料道路を走行中に表示されます。



■ SA・PA入口案内

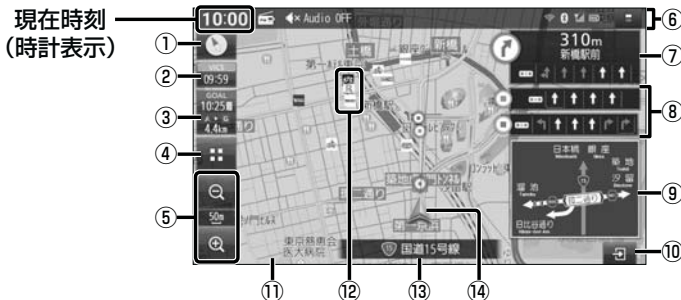
SA・PAまでの距離と進入方向を表示

- 約 1 km 手前から
- SA・PAを經由地または目的地に設定した状態で、高速道路や主要有料道路を走行すると表示されます。
- 拡大図の「ETC出口」の表示は、スマートICのあるSA/PAをあらわします。

地図画面の表示内容について

現在地画面

MAP を押すと、現在地画面が表示されます。



① 方位マーク

地図の向きが表示されます。
タッチすることにより向きが切り替わります。

- (白) : ノースアップ (北が上)
- (青) : ヘディングアップ (進行方向が上)

現在地の測位の状態が、方位マークの色で表示されます。

- (白) : 測位完了
- (赤) : 測位未完了 (測位計算中)

② VICSタイムスタンプ

VICS情報の提供された時刻が表示されます。
(現在時刻ではありません。)

タッチすると、渋滞・規制のある地点 (直近) のVICS情報が案内されます。(P.79)

③ 到着時刻 / 残距離表示

ルート案内中に、目的地または次の経由地までの距離と、到着する予想時刻が表示されます。
経由地がある場合、タッチすることにより表示が目的地 / 次の経由地に切り替わります。

④ (ランチャー)

ランチャーを表示します。(P.46)

⑤ 縮尺表示

現在の縮尺を表示します。

🔍 (広域) 🔍 (詳細) で、地図の縮尺を切り替えられます。(P.51)

⑥ ヘッダー

ステータスバー表示 / タッチキー表示を切り替えられます。(P.48)

⑦ 分岐交差点情報表示

ルート上の右左折する交差点について、名称、交差点までの距離、通るべき車線を案内します。

⑧ 通過交差点情報表示

直進する交差点について、通るべき車線を最大で2つ目まで案内します。

- (緑) : 1つ目の通過交差点
- (橙) : 2つ目の通過交差点

⑨ 方面看板表示

一般道を走行中に、交差点の方面看板が表示されます。

ルート案内中は、進むべき方向の矢印も表示されます。

● 表示する / しないの設定 → P.166

⑩ 案内図切替タッチキー

拡大図・案内図の表示 / 切替 / 消去に使用します。(P.55)

⑪ ゾーン30^{*1}

生活道路の安全な通行を確保するため、自動車の走行速度を30 km/hに規制した区域 (ゾーン30) が薄い緑色で表示されます。

● 表示する / しないの設定 → P.56

^{*1} 警察庁より提供される交通規制情報に基づき作成しています。ゾーン30エリア内でも制限速度が30 km/hではない道路が含まれる場合もありますので、常に実際の道路状況や交通規制標識・表示などを優先して走行してください。

⑫ ランドマーク

目印となる施設などが地図上にマークで表示されます。

● 表示させるランドマークの選択 → P.54

⑬ 道路名称

現在地の道路名称が表示されます。

⑭ 自転車マーク

自転車位置と進行方向を表示します。

● 色と大きさを変更できます。(P.57)

地図モード画面

現在地画面から地図をスクロール (P.50) すると、地図モード画面になります。



- ① **カーソル**
地図の中心を表します。
- ② **施設名称**
カーソルの地点に施設名の情報がある場合に表示されます。(詳細地図のみ)
● トップメニュー (P.18) または全機能一覧 (P.20) から検索した施設に施設名称の情報がある場合は、詳細地図以外の縮尺でも施設名称が表示されます。
- ③ **← (戻る)**
1つ前の画面に戻ります。
- ④ **現在地方向直線**
現在地の方向が直線で表示されます。
- ⑤ **設定**
地点メニューを表示します。(P.46)
- ⑥ **地点名称**
カーソルの位置の住所が表示されます。
- ⑦ **マップコード (P.201)**
カーソルの位置のマップコードが表示されます。

お知らせ

- 地図モード画面で、地図の向き・縮尺・傾きを切り替えても、現在地画面に戻すと、元の設定に戻ります。

ランチャー

現在地画面 (P.44) で **☰** を選ぶと、ランチャーが表示されます。
地図表示・地点検索・地点登録・ルート探索・ルート案内に関する設定ができます。



- 表示されていない項目は、**<** **>** をタッチするか、左右にフリック/ドラッグすると表示されます。

お知らせ

- 拡大図表示中は、**☰** タッチキーは表示されません。拡大図を非表示にしてから (P.55) 操作してください。

地点メニュー

地図モード画面 (P.45) で **設定** を選ぶと、地点メニューが表示されます。
目的地・経由地・登録地などを設定したり、ランドマーク表示中の施設の詳細情報を見ることができます。



- TUNE(チューン)..... P.56
- ルート消去..... P.59
- 案内スタート/案内ストップ..... P.59
- ルート編集..... P.67
- 再探索..... P.73
- 道路切替..... P.73
- 周辺施設..... P.64
- 右画面表示..... P.53、122
- 地点登録..... P.75
- ランドマーク表示/ランドマーク非表示.... P.54
- ランドマーク設定..... P.54

- ここに行く..... P.65
- 立寄る..... P.65
- 地点登録..... P.75
- 地点編集..... P.77
- 周辺検索..... P.64
- 閉じる: 地点メニューを終了します。

案内ルート



① 目的地マーク

目的地 (P.65) に設定した地点に表示されます。

② 経路地マーク

経路地 (P.65) に設定した地点に表示されます。

③ 案内ルート

目的地までの案内ルートが表示されます。

● 高速道路や有料道路は青色、一般道路は水色、細街路はピンク色で表示されます。

④ 目的地方向直線

現在地から見た目的地の方向が、直線で表示されます。

● 到着時刻 / 残距離を表示している目的地 (経路地) までの方向が表示されます。

● 表示する / しないの設定 → P. 165

⑤ 案内ポイントマーク (青)・通過ポイントマーク (緑・橙)

ルート上の分岐する交差点、通過する交差点にそれぞれ表示されます。

走行軌跡

自車が走行した軌跡を記録し、地図上に青い▲で表示します。(約50 mおきに、約1 000 kmまで)



● 走行軌跡が表示される間隔は、地図の縮尺によって異なります。

● 約 1 000 km を超えると、古い軌跡から消去されます。

● 表示する / しないの設定 → P. 165

● 走行軌跡が記録されるのは、走行軌跡表示が「ON」に設定されているときのみです。

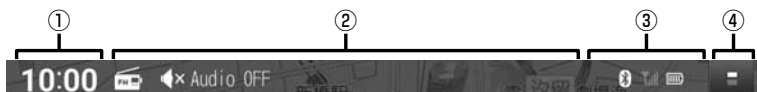
● 走行軌跡表示を「OFF」に設定すると、走行軌跡を非表示にして、記録を停止しますが、走行軌跡の記録そのものは消去されません。再度「ON」に設定すると、続きから走行軌跡の記録を開始します。

● デモ走行中は軌跡の記録を行いません。

● 走行軌跡の記録を消去するには → P. 165

ヘッダー

ステータスバー表示



① 現在時刻(時計表示)

GPSから受信した現在時刻が表示されます。(未受信の場合はー:ーと表示されます。)

●表示する/しないの設定→P.168

② オーディオ状態表示

選択中のオーディオソース、再生中のオーディオ情報が表示されます。

③ 外部機器状態表示

ETC車載器/ETC2.0車載器、ドライブレコーダー、USB機器、スマートフォン、モバイルWi-Fiルーターなど、本機と接続された機器の状態が表示されます。

● ETC 状態表示

- : 有効なETCカードが挿入済
- : ETCカード有効期限切れ
- : 利用不能(ETCカード未挿入など)

● ドライブレコーダー状態表示

- : 自動録画中
- : 手動録画中
- : 録画停止中

● データ更新状態表示

- : 更新データあり(準備完了)、
- : microSDカードの更新データを検知
更新データ受信・更新準備中
(矢印が点滅)
- : 更新準備中断、更新データ不備、通信切断

● 車両メンテナンス通知の情報あり

④ 表示切替

タッチキー表示に切り替えます。

- スマートフォンの電池残量(6段階)
- スマートフォンの電波状態(6段階)
- Wi-Fi(ステーションモード)の接続状態(5段階)
- Wi-Fiがアクセスポイントモードで動作中
- BLUETOOTH 接続あり
- USBメモリまたは iPod との接続あり

お知らせ

- 表示しきれないアイコンがある場合、が表示されます。下方向へフリックまたはドラッグすると、現在の状態が一覧表示されます。
- が表示された項目は、タッチすると、各機能の設定画面などが表示されます。

タッチキー表示



① オーディオ状態表示

選択中のオーディオソース、オーディオ音量が表示されます。

② 操作タッチキー

本体ボタンと同じ操作ができます。

③ 表示切替

ステータスバー表示に切り替えます。

安心運転サポート情報

運転中の状況に応じて表示と音声で注意を促し、運転をサポートします。

- 標識拡大表示や各案内は、ON(する)/OFF(しない)の設定ができます。(P.56)
- 必ず実際の道路状況や交通規制標識・標示などに従って運転してください。



道路上に表示



現在地名に割込み表示



標識拡大表示

案内内容について

- 音声案内の「太字の下線」部は、走行するルートによって案内が異なります。

状況	表示	音声
一般道で一時停止が必要な地点に近づくとき (一時停止案内)* ¹		この先、一時停止です。
高速道路で注意が必要な合流地点に近づくとき (合流案内)		この先、 左 からの合流車両に注意してください。
踏切付近では (踏切案内)* ¹ * ²		この先、踏切です。
制限速度が変わるとき (制限速度案内)* ¹		なし
ゾーン30のエリアに進入したときは* ¹ (ゾーン30案内)		なし
一般道の指定方向外進行禁止の交差点では (指定方向外禁止案内)* ¹ * ³ * ⁴		なし
レーンが減少する高速道路では (高速レーン減少案内)* ¹		この先、 左 車線が減少します。
一般道の専用レーンに近づくとき (専用レーン案内)* ¹ * ⁵	表示なし	表示なし この先、 左 折専用車線に注意してください。
急なカーブに近づくとき (カーブ案内)* ⁶		この先、カーブです。
一般道の事故多発地点に近づくとき (事故多発地点案内)* ¹		この先、事故多発地点です。 注意してください。
制限速度を超過して走行しているときは (速度超過警告)* ¹ * ⁷		速度超過です。
ゾーン30走行中に制限速度を超過したときは (ゾーン30速度超過警告)* ¹ * ⁷		速度超過です。

- * 1 情報のある区間・地点のみ
- * 2 踏切手前の道路の形状や走行する経路によっては、案内されない場合があります。
- * 3 時間規制や車種規制がある標識は、規制対象時間、規制対象車種に該当したときのみ案内されます。また、複雑な形状の標識は案内されません。
- * 4 ルート案内中は表示されません。

- * 5 一般道の、左折専用車線/右折専用車線
- * 6 カーブが連続する道路の場合は「この先カーブが連続します」と案内されます。また、カーブの形状や走行する速度によっては、案内されない場合があります。
- * 7 制限速度を超過していても、案内されない場合があります。

お知らせ

- 複数の安心運転サポート情報がある地点では、情報のいずれか1つが案内されます。
- 隣接する並行な道路があるときや高架下/立体交差などを走行する際に自車位置を誤認して、案内されなかったり、案内が実際と異なる場合があります。
- 車両に「標識認識機能」がある場合、本機の案内と車両側に表示される情報が異なる場合があります。
- 地図データの整備状況や走行中の状況などにより案内されなかったり、案内が実際と異なる場合があります。

地図の操作

地図をスクロールする

■ 地図画面をタッチする



- タッチした地点が画面の中心になります。



■ スクロールしたい方向にフリックする



- フリックした方向にスクロールします。



■ スクロールしたい方向にドラッグする



- 指の動きに合わせてスクロールします。



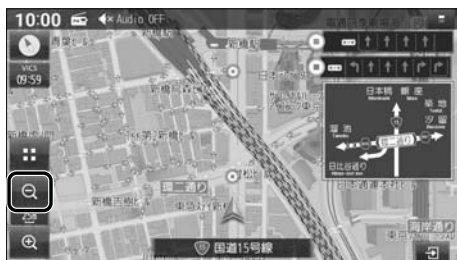
お知らせ

- 走行中は、フリック/ドラッグによるスクロールはできません。また走行中、市街地図が表示されている場合は、タッチによるスクロールもできません。
- フリック/ドラッグでスクロール中は、画面上で他の操作はできません。
- 指の動きより遅れてスクロールする場合があります。

地図の縮尺を切り替える

広域縮尺に切り替える

🔍 (広域) を選ぶ



- タッチし続けると、ズームアウトのイメージで縮尺が切り替わります。

2点タッチする



ピンチインする



お知らせ

- 走行中は、ピンチ操作で縮尺を切り替えることはできません。
- ピンチ操作での縮尺切替中は、画面上で他の操作はできません。
- 地図モード画面で地図の縮尺を切り替えても、現在地画面に戻ると、元の設定に戻ります。

詳細縮尺に切り替える

🔍 (詳細) を選ぶ



- タッチし続けると、ズームインのイメージで縮尺が切り替わります。

ダブルタップする



ピンチアウトする



地図の操作

地図の向き（ノースアップ / ヘディングアップ）を切り替える

方位マーク (P. 44) にタッチする

●ヘディングアップ（進行方向が上）



●ノースアップ（北が上）



お知らせ

●地図モード画面で、地図の向きを切り替えても、現在地画面に戻ると、元の設定に戻ります。

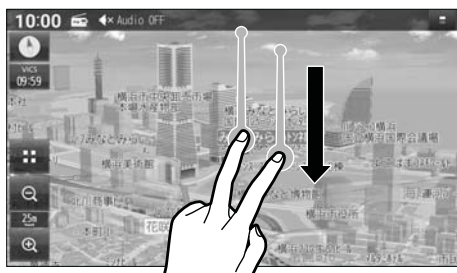
地図の傾きを調整する

上方向に2点ドラッグする



●傾きが大きくなります。

下方向に2点ドラッグする



●傾きが小さくなります。

●傾きを最も小さくすると、真上からの視点になります。

お知らせ

●走行中は、傾きを調整できません。

●傾きの調整中は、画面上で他の操作はできません。

●地図モード画面で、地図の傾きを調整しても、現在地画面に戻ると、元の設定に戻ります。

地図を回転させる

回転させたい方向に回転ドラッグする

- 指の動きに合わせて回転します。



お知らせ

- 走行中は地図を回転できません。
- 地図モード画面で、地図を回転させても、現在地画面に戻ると、元の設定に戻ります。

現在地画面の右側に地図を表示させる

ランチャー(P.46)から、
右画面表示 ▶ 地図を選ぶ



- 画面の右側に地図が表示されます。

右側の地図を消去するには

ランチャー(P.46)を表示させ、
右画面表示 ▶ OFFを選ぶ

- 右側の地図が消去されます。

SA・PAの情報を表示する

ハイウェイモード(P.41)から、
SA・PAを選ぶ



- SA・PAの情報が表示されます。
- 閉じる を選ぶと消去されます。

地図にランドマークを表示させる

表示させるランドマークを選ぶ

最大300件選択できます

1 ランチャー(P.46)から、**ランドマーク設定**を選ぶ

- ナビ設定(P.165)からランドマーク設定画面を表示させることもできます。

2 表示させたいランドマークの チェックボックスをONにする

- タッチするごとにON/OFFが切り替わります。
- 右側に**>**が表示された項目は、項目をタッチすると、さらに詳細な内容を選べます。
- 全解除**：すべての選択を解除する

■ ランドマーク設定画面



ランドマークを表示する

ランドマーク設定画面(上記)から、ランドマーク表示**ON**を選ぶ

- ランドマークが表示されます。[お買い上げ時の設定: ON]

■ランドマークを非表示にするには

ランドマーク設定画面(上記)から、ランドマーク表示**OFF**を選ぶ

- ランドマークが非表示になります。

お知らせ

- ランチャー (P.46) から **ランドマーク表示** / **ランドマーク非表示** を選んでも、表示・非表示を切り替えられます。

拡大図・案内図表示を切り替える

1 現在地画面 (P.44) から、

を選ぶ

- 表示できる拡大図・案内図が無い場合は、タッチキーは表示されません。

2 切り替えたい拡大図・案内図を選ぶ

- 選んだ拡大図・案内図に切り替わります。



拡大図・案内図を消去するには

拡大図・案内図を、右にフリックする

- 拡大図・案内図が消去されます。
- を選んで、拡大図・案内図を消去することもできます。



■表示できる拡大図・案内図が1つだけのときは

-  /  を選ぶと、表示 / 非表示が切り替わります。
- フリック操作で拡大図・案内図を消去することもできます。



探索・案内・地図・VICSをアレンジする(ナビチューン)

ルート探索をアレンジする

- 1 ランチャー(P.46)から**TUNE**またはナビ情報・設定メニュー(P.19)から**チューン**を選ぶ

- 2 **ルート**を選び、各項目を設定する

[太字: お買い上げ時の設定]



- **有料道路優先**^{*1} [低・中・高]
少しでも節約するか、割高でも有料道路を利用するかの度合い
- **道幅優先**^{*2} [狭・中・広]
できるだけ距離優先^{*3}にするか、多少遠回りでも車線の多い道を優先するかの度合い
- **渋滞回避** [低・中・高]
VICSの渋滞情報を考慮する度合い
- **ルート学習** (P.69) [OFF / ON / アクティブ]
学習した道を探索に反映させる度合い^{*4}
・ **アクティブ**を選ぶと、ONよりも学習しやすく、ルート探索に反映されやすくなります。
- **VICS考慮** (P.70)
[ON(考慮する)/OFF(しない)]
- **季節規制考慮**
[ON(考慮する)/OFF(しない)]
- **スマートインター考慮** (P.70)
[ON(考慮する)/OFF(しない)]

- *1 探索条件が「有料優先」または「一般優先」のときは考慮されません。(P.69)
- *2 探索条件が「距離優先」(P.69)のときは考慮されません。
- *3 狭い道や未舗装の道を案内する場合があります。
- *4 必ず学習した内容でルート探索することを保証するものではありません。

ルート案内をアレンジする

- 1 ランチャー(P.46)から**TUNE**またはナビ情報・設定メニュー(P.19)から**チューン**を選ぶ

- 2 **ガイダンス**を選び、各項目を設定する

[太字: お買い上げ時の設定]



- **分岐案内頻度** [低/中/高]
IC・JCT・交差点・料金所・目的地付近などでの案内の頻度

安心運転サポート情報 (P.49) の設定

- **標識拡大表示** [ON(案内する)/OFF(しない)]
- **一時停止案内** [ON(案内する)/OFF(しない)]
- **合流案内** [ON(案内する)/OFF(しない)]
- **踏切案内** [ON(案内する)/OFF(しない)]
- **制限速度案内**^{*1} [ON(案内する)/OFF(しない)]
- **指定方向外禁止案内** [ON(案内する)/OFF(しない)]
- **レーン案内**^{*2} [ON(案内する)/OFF(しない)]
- **カーブ案内** [ON(案内する)/OFF(しない)]
- **事故多発地点案内** [ON(案内する)/OFF(しない)]
- **有料道速度超過警告** [ON(案内する)/OFF(しない)]
- **一般道速度超過警告**^{*3} [ON(案内する)/OFF(しない)]

*1 ゾーン30案内を含みます。

*2 高速レーン減少案内、専用レーン案内

*3 ゾーン30速度超過警告を含みます。

地図表示をアレンジする

- 1 ランチャー(P.46)から**TUNE**またはナビ情報・設定メニュー(P.19)から**チューン**を選ぶ

2 マップを選び、各項目を設定する

[太字: お買い上げ時の設定]



- **昼の地図色/夜の地図色**
 - **ノーマル**: 標準的な地図
 - **道路強調**: 道路を見やすく強調した地図
 - **クラシック**: 従来のように道路を色分けした地図^{*1}
 - **ハイコントラスト**: 夕暮れや夜間などの暗い車内でも見やすいようにコントラストを高くした地図
- **文字サイズ**[小/中/大]
地図の文字サイズ
- **自転車マーク**
 - 色: 青/赤/黄/緑
 - 大きさ: 大/小
- **昼夜切替**
 - **時刻連動**: 日の出/日の入時刻に連動
 - **ライト連動**: ライトの点灯/消灯に連動
 - **昼画面**: 常に昼画面を表示
 - **夜画面**: 常に夜画面を表示

* 1 道路の色分け(昼画面の場合)
 く>内がクラシックの色分けです。
 緑系<青系>: 高速道路、有料道路
 茶系<赤系>: 国道
 茶系<緑系>: 主要地方道、県道
 灰系<灰系>: 一般道、細街路(道幅5.5 m未満)
 青(破線): フェリー航路

VICS 案内をアレンジする

- 1 ランチャー(P.46)から**TUNE**またはナビ情報・設定メニュー(P.19)から**チューン**を選ぶ

2 VICSを選び、各項目を設定する

[太字: お買い上げ時の設定]



- **VICS 有料道情報表示**
[ON(表示する)/OFF(しない)]
- **VICS 一般道情報表示**
[ON(表示する)/OFF(しない)]
- **VICS 駐車場情報表示**
[ON(表示する)/OFF(しない)]
- **VICS 規制マーク表示**
[ON(表示する)/OFF(しない)]
- **VICS 範囲表示**
[ON(表示する)/OFF(しない)]
- **VICS 渋滞・混雑情報表示**
[ON(表示する)/OFF(しない)]
- **VICS 渋滞なし情報表示**
[ON(表示する)/OFF(しない)]
- **VICS 統計情報表示**
[ON(表示する)/OFF(しない)]

行き先までのルートを作るには

1 行き先を探す

1 検索方法を選ぶ

■ トップメニュー (P.18)



■ 全機能一覧 (P.20)



- 名称..... P.60
- 名称(オンライン)..... P.61
- 電話番号..... P.62
- 履歴..... P.62
- 自宅..... P.63
- 登録地..... P.63
- 住所..... P.62
- ジャンル..... P.63
- マップコード..... P.63
- 周辺施設..... P.64

2 場所や施設を検索する

検索方法によって、表示される画面や
選択できるタッチキーは異なります。

- 五十音順で並んだリストに表示されます。
 - ・ 行(あ→か→さ→た→な...)ごとにリストを切り替えます。
 - ・ 同じタッチキーを連続して選べると、段(あ→い→う→え→お)を切り替えます。



- 上下にリストをスクロールします。
- リストをフリック/ドラッグしてもスクロールできます。(必ず、リストの内側をフリック/ドラッグしてください。)

リストから施設を選び、決定を選ぶ

■ 検索結果画面



- 選んだ施設に入出口や駐車場などの地点情報がある場合、さらに詳細な地点のリストが表示されます。
- **施設詳細**：検索した施設に詳細情報がある場合に表示されます。選べると、施設の詳細情報が表示されます。

2 行き先に設定する

1 地点メニュー(P.46)から 「ここに行く」を選ぶ



- ルート探索を開始します。
- **施設詳細**：検索した施設に詳細情報がある場合に表示されます。選ぶと、施設の詳細情報が表示されます。

2 全ルート図から、 「案内スタート」を選ぶ

走行距離・所要時間・料金

ルート上の高速出入口 探索条件 (P.69)



- 案内を開始します。
- 車を発進させても案内を開始します。
- 全ルート図でタッチキーを操作すると、車を発進させても案内は開始しません。

お知らせ

- ランチャー(P.46)からも、ルート案内中止/再開、ルート消去ができます。

ルート案内を中止する

1 トップメニュー(P.18)から 「ルート」を選ぶ

2 全ルート図から「案内ストップ」を選ぶ



ルート案内を中止し、ルート表示が消去されます。
(ルートそのものは消去されません。)

ルート案内を再開するには

ルート案内中止中に、
全ルート図から「案内スタート」を選ぶ



ルート案内が再開されます。

ルートを消去する

全ルート図から「ルート消去」▶「はい」を選ぶ

ルートそのものが消去されます。

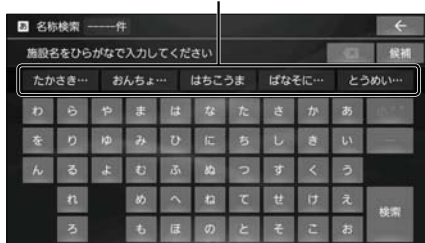
行き先を探す

施設の名称で探す

1 トップメニュー(P.18)または 全機能一覧(P.20)から**名称**を選ぶ

2 名称を入力し、**検索**を選ぶ

- 入力履歴から、候補を5件まで表示



- : 1文字削除
- ひらがなのみ入力できます。
- 候補: 入力履歴をリストで表示
 - ・リストから候補を選ぶと、その内容が入力欄に入力されます。
 - ・**全候補初期化** ▶ **はい** を選ぶと、すべての入力履歴が消去されます。
- 候補が10,000件を超える場合、メッセージが表示されます。**OK** を選ぶと、現在地から近い順に候補が10,000件まで表示されます。
- 文字入力のしかた→P.188

3 リストから施設を選び、**決定**を選ぶ

- : 入力した名称を修正

施設を絞り込むには

■ 地域で絞り込むには

- ① **絞り込み** ▶ **地域** を選ぶ
- ② 都道府県 ▶ 市区町村を選ぶ
 - **全国**: 地域絞り込みを解除

■ ジャンルで絞り込むには

- ① **絞り込み** ▶ **ジャンル** を選ぶ
- ② 絞り込むジャンルを選ぶ
 - **全ジャンル**: ジャンル絞り込みを解除

地図が表示されます。(P.65)

お知らせ

- 施設名の一部や略称では検索できない場合があります。
- 濁点「・」、半濁点「゜」、長音符「ー」の入力および小文字への変換を省いても検索できます。
例: とうきょうどーむ → とうきょうとむ
- 「ヴ」は入力できません。「ウ」に置き換えて入力してください。
例: ヴィーナス → ういーなす

インターネットに接続してキーワードから施設を探す(オンライン名称検索)

本機とWi-Fi接続したWi-Fi機器(スマートフォン、モバイルWi-Fiルーターなど)経由でインターネットに接続し、施設の名称などのキーワードで、施設を検索できます。

- ご利用時には通信費用がかかります。
- インターネットの通信速度が十分でない場合や通信状況によっては、検索できない場合があります。
- GPS信号を受信している状態でないと、検索できない場合があります。
- サービス提供の都合または仕様変更により、サービスが予告なく変更・停止・終了する場合があります。

準備

- 本機のWi-Fiモードをステーションモードにして、Wi-Fi機器を本機にWi-Fiネットワーク登録し、Wi-Fi接続してください。(P.33)

1 トップメニュー(P.18)または全機能一覧(P.20)から、**名称(オンライン)**を選ぶ

- 初めてご利用になるときは、「利用許諾契約の同意」画面が表示されます。内容をご確認ください。**同意する**を選ぶと、本機能をご利用いただけます。

2 検索するエリア・駅を入力する

①「エリア・駅」の枠を選ぶ

- キーボードが表示されます。
- 履歴がある場合は、100件までリストに表示されます。
- 現在地**：現在地周辺の施設を検索
- 履歴全消去**：履歴を消去

②エリア・駅を入力して、**OK**を選ぶ

- 住所、駅名を入力してください。
- リストに候補が最大300件表示されます。(エリア：最大200件、駅：最大100件)
- 検索**を選んでも検索できます。

③リストからエリア・駅を選ぶ

削除 / **クリア**：キーボード表示/消去

エリア・駅の入力内容を削除



3 キーワードを入力する

①「キーワード」の枠を選ぶ

- キーボードが表示されます。
- 履歴がある場合は、100件までリストに表示されます。
- 履歴全消去**：履歴を消去

②キーワードを入力して、**OK**を選ぶ

- リストに候補が最大500件表示されます。
- 検索**を選んでも検索できます。

③リストからキーワードを選ぶ

キーワードの入力内容を削除



4 リストから施設を選び、**決定**を選ぶ

- 現在地から近い順**：現在地から近い順に並べ替え
- 施設詳細**：施設の情報を表示(情報がある場合)
- 施設の詳細情報に二次元コードが表示されている場合は、スマートフォンなどで読み取ると情報を確認できます。

地図が表示されます。(P.65)

お知らせ

- エリア・駅を入力しない場合は全国を対象に検索されます。
- キーワードが何も入力されていない場合は検索できません。
- キーワードをスペースで区切って入力すると、複数のキーワードから検索できます。
- キーワードの入力内容によっては、意図したとおり検索されない場合があります。
- 文字入力のしかた→P.188

行き先を探す

電話番号で探す

- 1 トップメニュー(P.18)または全機能一覧(P.20)から**電話番号**を選ぶ
- 2 電話番号を市外局番から入力し、**検索**を選ぶ
 - **X** : 1文字削除
 - 該当する施設が複数ある場合は、リストから選んでください。

地図が表示されます。(P.65)

お知らせ

- 電話番号から個人宅を検索できません。
- 電話番号が一部しかわからない場合は、検索できません。

住所で探す

- 1 トップメニュー(P.18)または全機能一覧(P.20)から**住所**を選ぶ
- 2 都道府県▶市区町村▶町名▶丁目を選ぶ
 - 市区町村を選んだあと、大字・小字を選ぶ場合があります。
 - 住所が部分的にしかわからないときは、**代表地点**を選ぶと、その地域の代表地点地図を表示します。

- 3 番地・号を入力し、**検索**を選ぶ
 - 番地・号は、「-」で区切ってください。
 - **X** : 1文字削除
 - リストからも、番地・号を選べます。

地図が表示されます。(P.65)

お知らせ

- 郡名では検索できません。

検索履歴から探す

- 1 トップメニュー(P.18)または全機能一覧(P.20)から**履歴**を選ぶ
 - 以前、目的地・経由地に設定した地点が、新しい順に100件まで表示されます。
- 2 リストから履歴を選び、**決定**を選ぶ



地図が表示されます。(P.65)

お知らせ

- 履歴は100件まで自動的に保存され、100件を超えると古いものから自動的に削除されます。

検索履歴を手動で消去するには

- 1 リスト(上記)から**消去**を選ぶ
- 2 消去したい履歴を選び、**消去**▶**はい**を選ぶ



- 選んだ履歴が消去されます。
- **全選択** : すべての履歴が選択されます。

自宅へ帰る

準備

- 自宅を登録してください。(P.24)

トップメニュー(P.18)または
全機能一覧(P.20)から**自宅**を選ぶ

現在地から自宅までのルートが探索され、
全ルート図が表示されます。(P.66)

お知らせ

- セレクトビューバックアイカメラおよび
全方位モニターがどちらも接続されていない
状態で、オプションスイッチが「自宅」に
設定されている場合は、OPT を押しても、
現在地から自宅までのルートを探索でき
ません。(P.168)

登録地から探す

準備

- 地点を登録してください。(P.75)

1 トップメニュー(P.18)または
全機能一覧(P.20)から
登録地を選ぶ

2 リストから登録地を選び、
決定を選ぶ

- **登録順(昇順)**: 登録された順に昇順で表示
- **登録順(降順)**: 登録された順に降順で表示

地図が表示されます。(P.65)

ジャンルから探す

ジャンルから施設を検索できます。(最大100件)

1 トップメニュー(P.18)または
全機能一覧(P.20)から
ジャンルを選ぶ

2 ジャンル▶中分類▶小分類を選ぶ

- リストに▶が表示された項目は、さらに
詳細に選ぶことができます。

3 検索範囲の中心を選ぶ

- **現在地周辺**: 地図の中心周辺の施設
 - **目的地周辺**: 目的地周辺の施設*¹
 - **ルート沿い**: ルート沿いの施設*^{1*2}
 - **都道府県**: 選んだ地域の施設*³
- *¹ ルート案内中のみ
*² 現在地からルート沿いに左右約100m、
進行方向に約10km以内を検索
ただし、高速道路上にルートがあるときにSA/PA
を検索すると、左右400m以内を検索
*³ 都道府県・市区町村を選択してください。

4 リストから施設を選び、**決定**を選ぶ

- 選んだ施設に出入り口や駐車場などの
地点情報がある場合、さらに詳細な地点
のリストが表示されます。

地図が表示されます。(P.65)

マップコードで探す

マップコードについてはP.201をご覧ください。

1 トップメニュー(P.18)または
全機能一覧(P.20)から
マップコードを選ぶ

2 マップコードを入力し、を選ぶ

地図が表示されます。(P.65)

お知らせ

- 本機は高分解能マップコードにも対応して
います。(マップコードHR)

行き先を探す

周辺の施設を探す

現在地周辺、目的地周辺、ルート沿いの施設や、地図の中心地点周辺の施設を検索できます。
(最大100件)

現在地周辺 / ルート沿い / 目的地周辺の施設を探す

- 1 トップメニュー(P.18)または全機能一覧(P.20)から**周辺施設**を選ぶ

- 2 検索範囲の中心を選ぶ

- 現在地周辺：地図の中心周辺の施設
 - ルート沿い：ルート沿いの施設*1*2
 - 目的地周辺：目的地周辺の施設*1
- *1 ルート案内中のみ
*2 現在地からルート沿いに左右約100m、進行方向に約10km以内を検索
ただし、高速道路上にルートがあるときにSA/PAを検索すると、左右400m以内を検索

- 3 ジャンル▶中分類▶小分類を選び、**検索**を選ぶ

- リストに➤が表示された項目は、さらに詳細に選ぶことができます。
- チェックボックスのある中分類・小分類は、複数の項目を選ぶことができます。



- 全選択：すべての項目を選択する
- 全解除：すべての項目を解除する

- 4 リストから施設を選び、**決定**を選ぶ

地図が表示されます。(P.65)

お知らせ

- ランチャー(P.46)から**周辺施設**を選ぶと、現在地の周辺で検索できます。

地図の中心地点周辺の施設を探す

- 1 地図をスクロールして、検索範囲の中心にカーソルを合わせ**設定**を選ぶ

- 地点メニュー(P.46)が表示されます。

- 2 地点メニュー(P.46)から**周辺検索**を選ぶ

- 3 ジャンル▶中分類▶小分類を選び、**検索**を選ぶ

- リストに➤が表示された項目は、さらに詳細に選ぶことができます。
- チェックボックスのある中分類・小分類は、複数の項目を選ぶことができます。



- 全選択：すべての項目を選択する
- 全解除：すべての項目を解除する

- 4 リストから施設を選び、**決定**を選ぶ

地図が表示されます。(P.65)

検索した施設を目的地・経由地に設定する

1 地点を検索する

- 検索した地点の地図が表示されます。(検索のしかた→P.60～64)

■ 目的地に設定する場合

2 **ここに行く**を選ぶ

- カーソルの地点を目的地に設定してルート探索を開始し、完了後、全ルート図が表示されます。
- ルートが設定されている場合、前のルートは削除されます。



■ 経由地に設定する場合

立寄るを選ぶ

- カーソルの地点が経由地に設定されます。
- ルートが設定されていない状態では、経由地に設定できません。
- 経由地が5つ設定されているときは、それ以上経由地を追加できません。

3 (**立寄る**を選んだ場合のみ)

経由地を追加する区間の

+を選ぶ

- 選んだ区間に経由地を追加してルート探索を開始し、完了後、全ルート図が表示されます。
- 経由地・目的地の順番を入れ替えるには→P.68



4 (手順2で**ここに行く**を選んだ場合のみ)

全ルート図から、探索条件を選ぶ

- 5つの探索条件から選べます。(探索条件について→P.69)

5 **案内スタート**を選ぶ

- ルート案内を開始します。
- 走行を始めても、ルート案内を開始します。
- 全ルート図を表示後、他の画面を表示すると、ルート案内を開始します。
- 全ルート図のその他の操作は→P.66～68



お知らせ

- 経由地・目的地の近くに有料道路がある場合は、有料道路上に経由地・目的地を設定するかを確認するメッセージが表示されます。
- チェーン規制などの規制情報がある場合は、全ルート図表示時に、規制をお知らせするメッセージが表示されます。

全ルート図から確認・設定する

手動で全ルート図を表示させる

ルート案内中に、手動で全ルート図を表示させることができます。

トップメニュー(P.18)から

ルートを選ぶ

- 全ルート図が表示されます。

■ 全ルート図



○お知らせ

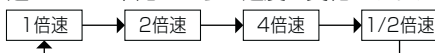
- 上記の方法では探索条件を選べません。ルート編集画面から設定してください。(P.67)

デモ走行でルートを確認する

探索したルートをデモ走行させ、実際に走行する前にルートを確認できます。

全ルート図から、**デモ走行**を選ぶ

- デモ走行を開始します。
- **1倍速**：デモ走行の走行速度を変更する
選ぶごとに下記のように速度が変化します。



- **II**：デモ走行を一時停止する
- **▶**：デモ走行に戻る

■ デモ走行中の画面



○お知らせ

- 走行速度が2倍速または4倍速のときは、ルート音声案内されません。

デモ走行を終了するには

デモ走行中に、**デモ走行中止**を選ぶ

- デモ走行を終了します。
- **AUDIO** **MENU** **MAP** を押してもデモ走行を中止します。

ルートを編集する

1 ランチャー(P.46)または全ルート図(P.66)から **ルート編集** を選ぶ

2 ルートを編集する (P.67~68)

- **ルート編集画面**から編集できる内容
 - ・ 経由地・目的地の追加・削除
 - ・ 経由地・目的地の順番の並び替え
 - ・ 各区間の探索条件の変更

3 **探索開始** を選ぶ

- 編集した条件でルート探索を開始し、完了後、全ルート図が表示されます。(P.66)

経由地を追加・消去する

経由地を追加する

1 ルート編集画面から、 経由地を追加したい区間の **+** を選ぶ

2 経由地にしたい場所を検索する (P.60~64)

- **出発地付近**：出発地付近の地図を表示
- **目的地付近**：目的地付近の地図を表示
- **地図**：最後に表示していた地図を表示

3 **立寄る** を選ぶ

- 検索した地点が経由地として追加されます。

経由地を消去する

1 ルート編集画面から、 消去したい経由地を選ぶ

2 **地点消去** ▶ **はい** を選ぶ

- 選択した経由地が消去されます。

■ ルート編集画面



目的地を追加・消去する

目的地を追加する

1 ルート編集画面から、 **目的地追加** を選ぶ

2 目的地にしたい場所を検索する (P.60~64)

- **出発地付近**：出発地付近の地図を表示
- **目的地付近**：目的地付近の地図を表示
- **地図**：最後に表示していた地図を表示

3 **ここに行く** を選ぶ

- 検索した地点が目的地として追加されます。
- 前の目的地は、目的地の直前の経由地になります。

目的地を消去する

1 ルート編集画面から、目的地を選ぶ

2 **地点消去** ▶ **はい** を選ぶ

- 目的地が消去されます。
- 消去した目的地の直前の経由地が、新しい目的地になります。

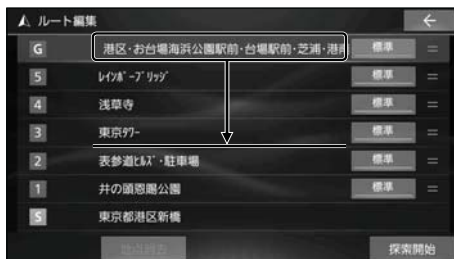
お知らせ

- 目的地を消去できるのは、ルートに経由地がある場合のみです。

ルートを編集する

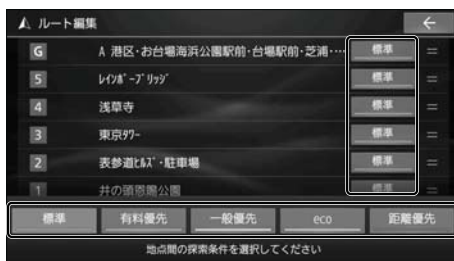
経由地・目的地の順番を並べ替える

- 1 ルート編集画面から、
並べ替えたい経由地・目的地を
タッチし続ける
- 2 「ピッ」という音が鳴ったら、
経由地・目的地をドラッグして、
順番を並べ替える
 - 希望の順番になるまで、ドラッグ操作を
繰り返して並べ替えてください。



区間ごとの探索条件を変更する

- 1 ルート編集画面から
変更したい区間の探索条件を選ぶ
- 2 探索条件を選ぶ
 - 選んだ探索条件に切り替わります。
 - 探索条件について→P.69



ルート探索について

探索条件について

下記の5つの探索条件からルートを選択できます。

探索条件は、全ルート図 (P.66)、ルート編集画面 (P.67) から変更できます。

- **標準**：高速道路・有料道路/一般道路の使用を自動で判断したルート (通常は「標準」で探索します。)
- **有料優先**：高速道路・有料道路を優先して通るルート
- **一般優先**：一般道路を優先して通るルート
- **eco**：燃料消費量と有料道路料金をトータルで節約するルート
- **距離優先**：距離が短くなるルート

お知らせ

- 「一般優先」で探索しても、有料道路を含むルートを探索する場合があります。
- 「eco」で探索したルートを走行しても、道路条件や運転のしかたで、燃料消費量が多くなる場合があります。
- 「eco」で探索されるルートの算出には、パナソニック独自の技術を使用しています。
- 表示金額は、割引などにより実際に請求される金額とは異なる場合があります。

ルート学習について

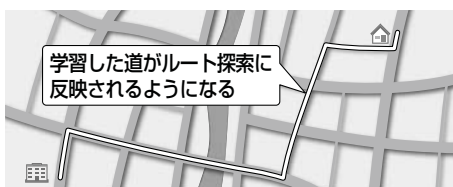
ルート案内中に同じ道で自動再探索が何度か起きると、実際に走行した道を学習してルート探索に反映されるようになります。(「距離優先」での探索を除く)

- 学習した道を探索に反映させる度合いの設定ができます。(P.56)
- ルート学習のデータは、以下の場合に消去されます。
 - ・「ルート学習結果の初期化」を行ったとき (P.165)
 - ・地図更新を行ったとき

■ 意図しないルートが探索されるときは

効率の良い道よりも、学習した道を優先してルート探索されている場合があります。

- 「ルート学習結果の初期化」(P.165)を行うと、効率の良い道を優先して通るルートが探索されるようになります。



細街路探索について

出発地・経由地・目的地周辺は、道幅3 m以上5.5 m未満の細い道路も含めてルートを探索します。

走行できない道路、または交通規制により通行を禁止している道路も含めたルートを探索する場合があります。必ず、実際の交通規制や道路標識などに従って運転してください。

- 細街路上のルートは、一般道のルートとは異なる色で表示されます。

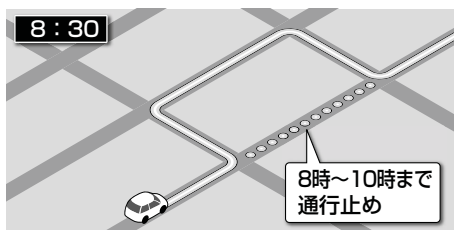


ルート探索について

曜日時間規制探索について

月・曜日・時間による規制を考慮したルートを探します。

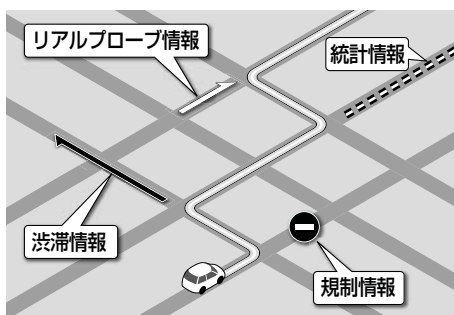
規制があっても案内することがありますので、必ず、実際の交通規制や道路標識などに従って運転してください。



VICS 考慮について

FM VICSの渋滞/規制情報を基に、渋滞/規制を避けたルートを探します。

- ETC2.0車載器を接続すると、ETC2.0の渋滞/規制情報も考慮して、渋滞/規制の場所を避けたルートを探します。
- 現在地から遠く離れた場所の渋滞/規制の情報は、考慮されない場合があります。
- 渋滞/規制情報を基にVICS考慮する/しないの設定ができます。
(VICS考慮→P.56)

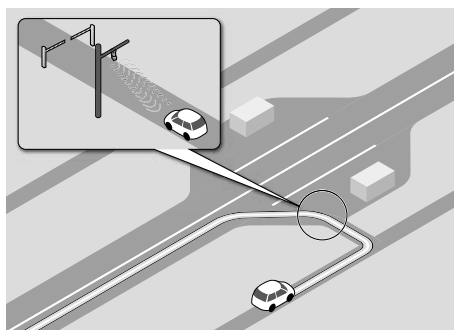


スマートIC、ETC 専用料金所を通るルートについて

スマートIC、ETC専用料金所の利用を考慮したルートを探します。その際、通行できる時間帯や入口/出口の情報は考慮されますが、通行できる車種の情報は考慮されません。

また、ETC車載器/ETC2.0車載器を装着していない車両や、ETCカードを挿入していない場合でも、スマートIC、ETC専用料金所を通るルートが探索される場合があります。必ず、実際のスマートIC、ETC専用料金所の状況に従って通行してください。

- スマートIC、ETC専用料金所を考慮する/しないの設定ができます。
(スマートインター考慮→P.56)



お願い

- スマートICおよびETC専用料金所は、ETC専用のインターチェンジや料金所です。ETC車載器/ETC2.0車載器を装着していない車両の場合は、スマートインター考慮を「OFF(しない)」に設定してください。

ルート案内について

音声案内について

音声案内の「**太字の下線**」部は、走行するルートによって案内が異なります。

一般道路走行中の音声案内

■ 交差点に近づくとき

◀ およそ **300 m** 先、**大手町** を **左方向** です。

◀ まもなく **大手町** を **左方向** です。

◀ **左方向** です。

● 細街路でも交差点で音声分岐案内されます。

■ 側道では

◀ まもなく **左方向**、側道です。

◀ **左方向**、側道です。

■ レーンのある道路では

◀ この先、**左折** 専用車線に注意してください。

● レーン案内する / しないの設定 → P. 56

高速道路・有料道路走行中の音声案内

■ 料金所付近では

◀ この先、料金所です。

■ 分岐地点に近づくとき

◀ およそ **1 km** 先、**左方向**、**外苑出口** です。

◀ まもなく、**左方向**、**外苑出口** です。

前方が渋滞していたら（VICS 案内）

渋滞や交通規制などの VICS 情報が案内されます。（前方約 10km 以内）

● ルート案内中：ルート上の情報

● ルート未設定：自車の進行方向の情報

◀ およそ、**3 km** 先、渋滞しています。

● VICS 案内する / しないの設定 → P. 166

長時間の運転中は（休憩案内）

本機を起動してから 2 時間おきに音声で休憩を促します。

◀そろそろ休憩しませんか。

● 休憩案内する / しないの設定 → P. 168

経由地・目的地の音声案内

■ 経由地付近では

◀ 経由地付近です。

■ 目的地付近では

◀ 目的地に到着しました。
ルートガイドを終了します。

ルート案内について

次の交差点などの音声案内を聞く

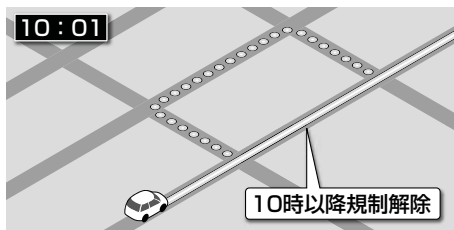
ルート案内中に、現在地画面 (P.44) で **MAP** を押す

- 次の分岐交差点などが案内されます。

ルート案内中の曜日時間規制探索

ルート上の現在地周辺の月・曜日・時間による規制を常に確認し、それを考慮したルートに変更されます。

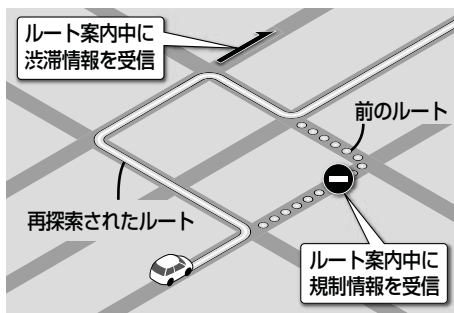
規制があっても案内することがありますので、必ず、実際の交通規制や道路標識などに従って運転してください。



ルート案内中の VICS 自動再探索 (スイテルルート案内)

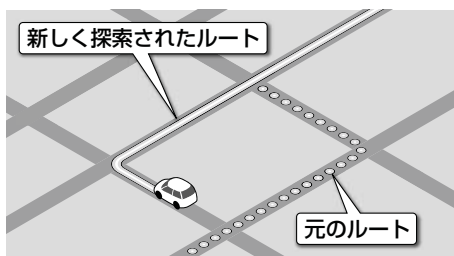
FM VICSの渋滞/規制情報 (P.80) を受信すると、渋滞/規制を考慮したルートに変更されます。

- ETC2.0車載器を接続すると、ETC2.0の渋滞/規制情報も考慮して、渋滞/規制を避けたルートを探します。
- 実際の道路状況によっては、早く着くとは限りません。
- 渋滞/規制情報を基にVICS考慮する/しないの設定ができます。
(VICS考慮→P.56)



ルートから外れたときの自動再探索

ルートを外れても、自動的に再探索します。



新しいルートと前のルートを比較する（新旧ルート比較）

VICS自動再探索が行われた場合は、変更後のルートと変更前のルートを約8秒間表示します。（新旧ルート比較）

表示中に、**新ルートで案内** / **元ルートで案内** でどちらのルートを案内させるかを選んでください。表示が消えるまで何も操作しないと、新旧ルート自動選択（P.165）で設定されたルートで案内を開始します。

- 新旧ルート比較をしない場合があります。
 - ・変更前のルートを通行できないとき（通行止め、規制など）
 - ・現在地から約30 kmより先のルートが変更されたとき
- 新旧ルート比較画面を表示する / しないの設定→P.165

距離・所要時間の元ルートからの比較、および次の分岐までの距離が表示されます。



探索条件を変更してもう一度ルートを探索する

1 ランチャー（P.46）から **再探索**を選ぶ

2 再探索条件を選ぶ

- 選んだ条件で再探索します。
- 経由地がある場合は、次の経由地までのルートが再探索されます。
- 探索条件について→P.69

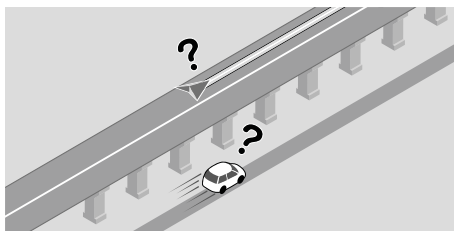


走行中の道路を誤って認識したとき（道路切替）

高速道路と一般道路が隣接しているときは、道路を誤認することがあります。

例：実際は高速道路を走行中なのに自車マークは一般道路を走行中と表示されている場合など

そのような場合に、下記の操作を行い、手動で地図のマッチングを切り替えて、正しい道路に修正します。



ランチャー（P.46）から**道路切替**を選ぶ

- そのまましばらく走行すると、道路（高速道路 / 一般道路）を切り替えて再探索されます。
- 道路切替は、隣接する並行な道路を対象としています。一般道路同士の切り替えはできません。

逆走注意アラーム・逆走検知警告

SA/PA に駐車したときは

駐車して車のエンジンを止めたあとに、再びエンジンをかけて発進させると、逆走しないよう事前に注意を促します。

- 逆走注意アラームの設定→P.166

お知らせ

- SA/PAによっては、案内されない場合があります。



高速道路や料金所などで逆走を検知すると

IC/JCTなどの合流部、SA/PAの入口・出口、高速道路の出口部などで逆走を検知すると、逆走のおそれがある旨を警告案内します。

- 逆走してしまった場合は、安全な場所（路側帯など）に停車し、路側帯に設置された非常電話などから、道路を管轄する管制センターなどに指示をあおいでください。
- 逆走注意アラームの設定に連動して、警告をする/しないの設定が切り替わります。（P.166）
- 詳しくは、P.200をご覧ください。



- 「ここでは案内しない」をチェックすると、次回からその地点での逆走検知警告は案内されなくなります。

逆走検知警告を消去するには

解除を選ぶ

お知らせ

- 逆走検知警告は、都市高速・都市間高速道路などで案内されます。
- SA/PAによっては、案内されない場合があります。
- すべての場所、すべての場合での逆走検知を保証するものではありません。
- 「出荷状態に戻す」（P.169）の操作を行うと、「ここでは案内しない」の設定もお買い上げ時の状態に戻ります。

地点を登録する(登録地)

登録地について

登録地は、最大900件まで登録できます。(自宅を含む)

- 登録された地点は、マークで表示されます。

登録地リストを表示する

登録地のリストから、登録地の地点の表示、編集、新規登録、削除ができます。

- 1 ナビ情報・設定メニュー(P.19)から
ナビ設定を選ぶ

- 2 ナビ設定メニューから
登録地を選ぶ

- 登録地リストが表示されます。

■ 登録地リスト



地点を登録する

カーソルの地点を登録する

- 1 地図モード画面から、
登録したい場所にカーソルを合わせ、
設定を選ぶ

- 2 地点メニュー(P.46)から
地点登録を選ぶ

- カーソルの位置(地点)が登録されます。

現在地を登録する

現在地画面を表示させ、
ランチャー(P.46)から
地点登録を選ぶ

- 現在地が登録されます。

登録地リストから地点を登録する

- 1 登録地リスト(上記)から**新規登録**を選ぶ

- 2 地点を検索する

- 検索方法は「行き先を探す」と同じです。
(P.60~64)
- 現在地付近**：現在地付近の地図を表示*1
- 出発地付近**：出発地付近の地図を表示*2
- 目的地付近**：目的地付近の地図を表示*2
- 地図**：最後に表示していた地図を表示

*1 ルート未設定時のみ

*2 ルート案内中のみ

- 3 登録したい場所にカーソルを合わせ、
設定を選ぶ

- 4 **保存**を選ぶ

- 地点が登録されます。

登録地リストから目的地・経由地を設定する

- 1 登録地リスト(上記)から目的地・経由地に設定したい登録地を選択して、**決定**を選ぶ
 - 地図が表示されます。
 - 登録地リスト(上記)のまたはが点灯している場合は、消灯させてから操作してください。

- 2 検索した施設を、目的地・経由地に設定する(P.65)

地点を登録する（登録地）

登録地を消去する

登録地リストから消去する

1 登録地リスト (P.75) から **面** を選ぶ

- **面** が点灯します。

2 消去したい登録地のチェックボックスをONにして、**消去** ▶ **はい** を選ぶ

- タッチするとON/OFFが切り替わります。
- 選択した登録地が消去されます。
- **全選択**：すべての登録地を選択する



地点編集画面から消去する

1 消去したい登録地の地点編集画面を表示させる（下記）

2 地点編集画面から **消去** ▶ **はい** を選ぶ

- 登録地が消去されます。

登録地の情報を見る

地点メニューから情報を見る

1 地図モード画面で登録地 (P.75) にタッチし、**設定** を選ぶ

2 地点メニュー (P.46) から **地点編集** を選ぶ

■ 地点編集画面



- 登録地の情報は編集できます。（P.77）

情報・設定メニューから情報を見る

1 登録地リスト (P.75) から **情報** を選ぶ

- **情報** が点灯します。

2 リストから登録地を選び、**編集** を選ぶ

■ 地点編集画面



- 登録地の情報は編集できます。（P.77）

登録地を編集する

各項目を編集し(下記)、**保存**を選ぶ

- 必ず、**保存**を選んで編集内容を保存してください。

名称を編集する

1 地点編集画面(P.76)から
「名称」の欄を選ぶ

2 地点を編集し、を選ぶ

- 全角64文字(半角128文字)まで
- 文字入力のしかた→P.188

位置を変更する

1 地点編集画面(P.76)から
「位置」の欄を選ぶ

2 地図をスクロールさせて
位置を変更し、**決定**を選ぶ

マークを変更する

1 地点編集画面(P.76)から
「マーク」の欄を選ぶ

2 リストからマークを選び、
決定を選ぶ

電話番号を変更する

1 地点編集画面(P.76)から
「TEL」の欄を選ぶ

2 電話番号を入力し、を選ぶ

■電話をかける(ハンズフリー接続中のみ)

地点編集画面から**発信**を選ぶ

- 登録地の電話番号に電話をかけます。
- 通話中の操作について(P.125)

アラームを設定する

設定した方向から、設定した距離まで近づくと、アラームでお知らせします。

■アラームの音を設定する

[お買い上げ時の設定: OFF(鳴らさない)]

1 地点編集画面(P.76)から
「アラーム 音」の欄を選ぶ

2 **アラーム1**～**アラーム9**から
アラームを選び、**決定**を選ぶ

- アラームを選ぶと、選んだアラームの音が出力されます。
- OFF**を選ぶと、アラーム音がOFFに設定されます。

■アラームを鳴らす距離を設定する

[お買い上げ時の設定: 50 m]

1 地点編集画面(P.76)から
「アラーム 案内距離」の欄を選ぶ

2 **50 m**/**100 m**/**300 m**/**500 m**
から距離を選ぶ

■アラームを鳴らす方向を設定する

[お買い上げ時の設定: OFF(全方向)]

1 地点編集画面(P.76)から
「アラーム 進入角度」の欄を選ぶ

2   で進入角度を選び、
決定を選ぶ



- 進入角度が設定された状態で「アラーム 進入角度」の欄を選ぶと、「OFF(全方向)」になります。

VICS 情報を見る

VICS について

渋滞・事故などの影響による規制、目的地までの所要時間などの道路交通情報をナビゲーションに送信するシステムです。

- **本機では、FM VICS(FM多重放送)を受信できます。**
 - ・選局した放送局からの電波が弱い場合は、FM-VICSを受信できません。
- **ETC2.0車載器を接続すると、ETC2.0サービス(電波ビーコン5.8 GHz)から VICS 情報を受信できます。**

※ 本機は光ビーコンに非対応です。また、ビーコン受信機の接続もできません。

お知らせ

- 渋滞情報に関する設定は→P.167
- 新しい情報を受信すると、情報が更新されます。
- GPSから現在時刻の情報を受信していないときは、VICS 情報を受信できません。
- 提供される VICS 情報は、あくまでも参考です。最新情報でない場合があります。
- 提供された情報と異なる場合は、実際の交通規制や道路状況に従ってください。

文字表示型の VICS 情報 (レベル 1)

■ FM 多重放送を受信すると

受信しても、自動的に表示されません。

- 受信した情報を手動で見るには→P.82



図形表示型の VICS 情報 (レベル 2)

■ FM 多重放送を受信すると

受信しても、自動的に表示されません。

- 受信した情報を手動で見るには→P.82



地図表示型の VICS 情報（レベル3）

渋滞、規制、駐車場、SA・PA情報（レベル3）を受信すると、自動的に表示されます。



VICS タイムスタンプ

VICS 情報の提供された時刻が表示されます。

- 受信した時刻ではありません。
- 現在時刻ではありません。

時計表示（現在時刻）— 10:00

VICS タイムスタンプ



- VICS タイムスタンプにタッチすると、渋滞・規制のある地点（直近）の VICS 情報が案内されます。

- ・ルート案内中：ルート上の情報
- ・ルート未設定：自車の進行方向の情報

お知らせ

- 遠方の渋滞情報は案内されません。

ハイウェイモード時は

- 渋滞・混雑区間：道路を色分けして表示
 - ・赤：渋滞
 - ・橙：混雑
 - ・緑：渋滞なし



- 規制情報：区間ごとにマークを表示

車線ごとの渋滞情報表示

色分けして地図上に表示されます。
（該当の情報が配信されているエリアのみ）
配信エリアについては VICS センターの Web サイト
(<https://www.vics.or.jp/>) をご覧ください。

色	車線ごとの渋滞情報	渋滞度
赤	— — —	渋滞
橙	— —	混雑
緑	—	渋滞なし

■ 表示例



VICS 範囲表示

気象・災害情報を受信すると、対象となる範囲が薄い黄色で表示されます。

緊急情報（特別警報）を受信すると、対象となる範囲が薄い赤色で表示されます。



- 表示する / しらないを設定できます。（P.57）

お知らせ

- 表示中の地図全体が VICS 情報の対象範囲内となっている場合は、画面全体が薄い黄色または薄い赤色で表示されます。対象範囲を確認するには、範囲全体が見えるまで地図の縮尺を広域にしてください。

地図表示型の VICS 情報（レベル3）（続き）

渋滞情報

色分けして地図上に表示されます。
（該当の情報が配信されているエリアのみ）
配信エリアについてはVICSセンターのWebサイト
（<https://www.vics.or.jp/>）をご覧ください。

色	リアルタイム情報		統計情報	渋滞度
	渋滞情報	リアルプローブ情報		
赤			=====	渋滞
橙			=====	混雑
緑			=====	渋滞なし
灰			=====	不明

- 表示のしかたを設定できます。（P.57）
- 渋滞情報（リアルタイム情報）
道路に設置の車両感知器などで収集した現在の情報
- リアルプローブ情報（リアルタイム情報）
タクシーなどから収集した現在の情報
- 統計プローブ情報（統計情報）
タクシーなどから収集した情報のデータを統計処理し、渋滞を予測した情報

※ プローブ情報とは走行している車から直接収集される「位置」と「時刻」のデータ（走行履歴）です。

駐車場マーク・SA/PA マーク

色	一般駐車場	SA	PA	状態
青				空車
橙				混雑
赤				満車
黒				不明
赤				閉鎖

- 表示する／しないを設定できます。（P.57）

VICS 情報マーク（例）

地図上の事象・規制マークが表示されます。

マーク	内容	マーク	内容
	事故		チェーン規制
	故障車		凍結
	路上障害		速度規制
	工事		徐行
	作業		進入禁止
	片側交互通行		通行止め
	対面通行		大型通行止め
	車線規制		雨
	入口制限		雪
	入口閉鎖		災害速報
	行事等		気象警戒警報
	火災		特別警報

- マークの内容を確認できます。（P.82）
- 表示する／しないを設定できます。（P.57）

ETC2.0 サービスによる VICS 情報

地図画面に、自動的に一定時間(約7秒～15秒間)割込み表示されます。音声情報がある場合は、音声情報も再生されます。

● 優先情報

下記の情報が提供されます。

- ・安全運転支援情報
- ・新緊急メッセージ情報^{*1}
- ・注意警戒情報^{*2}

● 一般情報

下記の情報が提供されます。

- ・センタ・ネットワーク障害通知情報
- ・多目的情報
- ・広域文字情報
- ・長文読み上げ情報
- ・電子標識情報

割込み画面(例)



- : 音声情報の停止
- : 音声情報の再生
- : 次のページに切替
- : 割込み画面消去

お知らせ

- ETC2.0車載器が必要です。
- 表示中の画面(拡大図表示など)によって、割込み表示や音声情報再生を中断したり、表示しない場合があります。
- ETC2.0の一般情報を割込み表示する/しない^{*3}の設定→P.167

* 1 災害発生時は停車や避難等の行動指示のための情報も提供されます。

* 2 気象急変箇所、路面凍結多発箇所などの注意喚起を文字や画像、音声情報などでお知らせします。

* 3 割込み表示する/しないの設定にかかわらず、優先情報は割込み表示されます。

VICS 情報を見る

VICS 情報を確認する

1 ナビ情報・設定メニュー(P.19)から **渋滞情報**を選ぶ

2 渋滞情報メニューから 見たい情報を選ぶ

- 選んだ情報が表示されます。



- **1～6** : 選んだページを表示*¹
- **▽** / **△** : ページ切替
- **目次** : もくじを表示*¹
- **概要** : 緊急情報の概要を表示
- **詳細** : 緊急情報の詳細情報を表示
- **▶** : ETC2.0の音声情報の再生
- **■** : ETC2.0の音声情報の停止

*¹ FM VICS文字情報、FM VICS図形情報のみ

VICS 情報マークの内容を確認する

1 VICS 情報マークをタッチする

- 情報が表示されます。

2 **詳細**を選ぶ

- 詳細情報が表示されます。
- 詳細情報が無い場合は、**詳細**は表示されません。



緊急情報（特別警報）を受信すると

地図画面を表示中に緊急情報を受信すると、ただちに表示されます。

×を選ぶと、緊急情報画面が消去され、地図画面に戻ります。



再度情報を表示するには

地図画面で **緊急情報 受信中** を選ぶ

- 緊急情報画面が表示されます。



- **↶** **↷** : 行を戻す / 送る
- **<** **>** : ページ切替
- **詳細** : 詳細情報を表示
- 走行中は、行を戻す / 送る、詳細の操作はできません。
- 情報の提供が無い場合は表示されません。

オーディオ

オーディオの基本操作.....	86
オーディオに切り替える.....	86
オーディオのソースを選ぶ.....	86
オーディオの音声を出力したままナビゲーションに切り替える.....	87
オーディオをOFFにする.....	87
テレビを見る.....	88
デジタルテレビ初期設定を行う.....	88
緊急警報放送(EWS)について.....	88
周波数再編(リバック)について.....	88
テレビの基本操作.....	89
選局する.....	89
テレビメニューを設定する.....	90
チャンネル設定を切り替える.....	91
番組表を見る.....	92
番組の内容を見る.....	92
テレビの設定・情報を見る.....	93
ラジオを聞く.....	94
交通情報を聞く.....	95
SDカード・USBメモリーを再生する.....	96
microSDカードを挿入する.....	96
USBメモリーを接続する.....	96
音楽(MP3/WMA/AAC/FLAC/WAV)を再生する.....	97
動画(MP4/AVI/MKV/ASF/WMV)を再生する.....	98
再生するファイルを選ぶ.....	99
BLUETOOTH Audioを再生する.....	100
iPodを再生する.....	102
iPodを接続する.....	102
iPodを再生する.....	104
自宅のレコーダーのコンテンツを車内で見る(レコーダーリンク).....	106
レコーダーリンクとは.....	106
ご利用の流れ.....	106
アプリに本機を登録して、スマートフォンおよびWi-Fi機器と本機を接続する.....	107
コンテンツを再生する.....	108
視聴設定を変更する.....	109
レコーダーリンクで使用したデータ通信量を確認する.....	110
接続するスマートフォンを変更する.....	111
再生するレコーダーを変更する.....	111
ネット動画を見る.....	112
コンテンツを再生する.....	112
ネット動画の再生について.....	113
動画サービスメニューを編集する.....	113

音質・音場を調整する(オーディオチューン)	114
オーディオチューンの基本操作	114
音質・音場モードを選ぶ	114
音響効果「音の匠」を設定する	115
音場「DSP」を設定する	116
より自然な音で聞く(ビット・周波数拡張)	116
車速連動音量を補正する	117
ノイズ連動音量を補正する	117
イコライザー設定の基本操作	118
イコライザープリセットから設定する	118
手動でイコライザーを設定する	118
フェーダー/バランスの出力レベルを設定する	119
スピーカー設定の基本操作	119
スピーカー出力レベルを設定する	120
スピーカーディレイを設定する	120
映像を調整する	121
現在地画面にオーディオの映像を表示する	122

オーディオの基本操作

- 走行中は、TV、SD(動画)、USB(動画)、レコーダーリンク、ネット動画、HDMIの映像は表示されません。安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてご覧ください。
- 走行中でも、後席用のモニターには映像が出力されます。
後席用のモニターに出力される映像について→P.163

オーディオに切り替える

AUDIO を押す

- オーディオ画面に切り替わります。
- オーディオ OFF の状態で AUDIO を押すと、オーディオソース一覧(下記)が表示されます。

オーディオのソースを選ぶ

- 1 オーディオ OFF の状態、またはオーディオ画面表示中に、AUDIO を押す
 - オーディオソース一覧が表示されます。
- 2 切り替えたいソースを選ぶ
 - 選んだソースに切り替わります。
 - 全機能一覧(P.20)から選ぶこともできます。

ステアリングオーディオスイッチで選ぶ

ステアリングオーディオスイッチのMODEを押す

- 押すごとにソースが切り替わります。(右記)

OPT ボタンで選ぶ

セレクトビューバックアイカメラおよび全方位モニターがどちらも接続されていない場合に操作できます。

準備

- オプションスイッチを「AVソース切替」に設定してください。(P.168)

OPT を押す

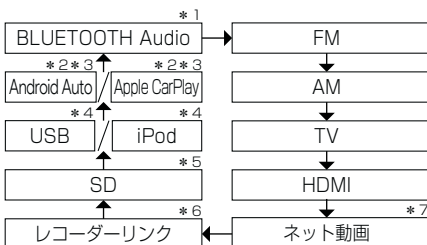
- 押すごとにソースが切り替わります。(右記)

■ オーディオソース一覧



■ ソースの切り替わりかた

- オーディオ OFF のときはFMに切り替わります。
- オーディオが交通情報のときは、TVに切り替わります。
- 交通情報に切り替えることはできません。



- *1 BLUETOOTH Audio機器接続時のみ
- *2 Apple CarPlay または Android Auto の接続時のみ(同時接続不可)
- *3 後席用モニターに出力できません。
- *4 USBメモリ、iPod 接続時のみ(同時接続不可)
- *5 microSDカード挿入時のみ
- *6 ハンズフリー接続時のみ
- *7 Wi-Fi接続時(ステーションモード)のみ

オーディオの音声を出力したままナビゲーションに切り替える

オーディオ画面表示中に、MAP を押す

- オーディオの音声を出力したまま、ナビゲーション（現在地画面）に切り替わります。
- オーディオ画面に戻るには、AUDIO を押してください。
- ナビゲーションの音声・映像のみを出力したいときは、オーディオ OFF にしてください。（下記）

お知らせ

- ナビゲーションの現在地画面に、オーディオ映像を表示させることができます。（P.122）

オーディオを OFF にする

本体ボタンで

AUDIO を約2秒以上押す

- オーディオが OFF になります。

■オーディオを ON にするには

オーディオ OFF の状態で、AUDIO を約2秒以上押す

- オーディオ OFF にしたときに選ばれていたソースに切り替わります。

トップメニューから

トップメニュー（P.18）から Audio ON/OFF を選ぶ

- オーディオが OFF になります。

■オーディオを ON にするには

オーディオ OFF の状態で、トップメニュー（P.18）から Audio ON/OFF を選ぶ

- オーディオ OFF にしたときに選ばれていたソースに切り替わります。

オーディオ情報・設定メニューから

オーディオ情報・設定メニュー（P.19）から、オーディオ出力 OFF を選ぶ

- オーディオが OFF になります。

■オーディオを ON にするには

オーディオ OFF の状態で、

オーディオ情報・設定メニュー（P.19）から、オーディオ出力 ON を選ぶ

- オーディオ OFF にしたときに選ばれていたソースに切り替わります。

お知らせ

- 以下の操作を行うと、オーディオが OFF になります。
その場合、上記操作でオーディオを ON にすると、FM に切り替わります。
 - ・ネット動画の動画選択画面から **×** を選んでネット動画機能を終了した。（P.112）
 - ・ネット動画の動画サービスメニュー画面から **初期化** を選んでネット動画のデータを初期化した。（P.112）
 - ・ドライブレコーダーの操作・設定中に、ドライブレコーダー以外の画面（現在地、トップメニュー、全機能一覧など）に切り替えた。

テレビを見る

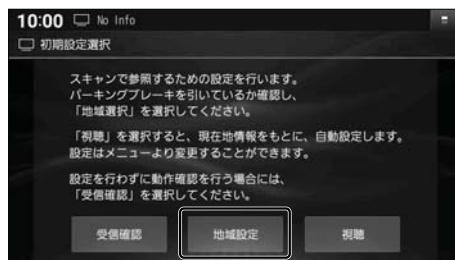
トップメニュー(P.18)、オーディオソース一覧(P.86)または全機能一覧(P.20)から**TV**を選べと、テレビに切り替わります。

デジタルテレビ初期設定を行う

初めてテレビに切り替えたときは、デジタルテレビ初期設定画面が表示されます。地上デジタルテレビ放送をご覧になる前に、必ずデジタルテレビ初期設定をしてください。

1 地域設定を選ぶ

- **視聴** を選べと、自転車マーク周辺の地域が自動的に登録されます。
 - **受信確認** を選べと、アンテナの受信感度を確認できます。
- ※販売店にて初期設定を行わずに動作確認を行う場合には、**受信確認** を選んでください。
- ・受信確認中は、**<** **>** で物理チャンネルを変更できます。



2 お住いの地域を選び、

保存 を選ぶ

- **デジタルテレビ初期設定完了です。**
地上デジタルテレビ放送をご覧になれます。

お知らせ

- 引越しなどで受信地域が変わった場合は、「地域設定」から受信地域を変更してください。(P.93)



緊急警報放送 (EWS) について

緊急警報放送 (EWS : Emergency Warning System) とは、大規模災害など緊急な出来事が発生した場合に、緊急警報放送を放送局より送信して、視聴者にいち早く情報を知らせる放送システムです。

緊急警報放送 (EWS) を受信したら

自動的に緊急警報放送に切り替わります。

- TV以外のソースを選んでも、緊急警報放送が開始されると、自動的に緊急警報放送に切り替わる場合があります。
- 緊急警報放送が終了しても、テレビ画面のままになります。(元のソースには戻りません。)元に戻すには、手動で切り替えてください。
- 走行中、緊急警報放送は表示できません。
車を安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてご覧ください。
- 視聴中の放送局以外で緊急警報放送を開始しても、自動的に切り替わりません。
- 緊急警報放送の試験放送では動作しません。

周波数再編 (リパック) について

周波数再編により、これまで視聴できたチャンネルが映らなくなった場合は、チャンネル設定をユーザープリセットに切り替えて「スキャン」を行ってください。(P.90)

テレビの基本操作

テレビ視聴中に画面をタッチすると、選局パネルが表示されます。

● 約5秒間何も操作しないと、選局パネルは自動的に消去されます。

■ 選局パネル



- ① 受信中の放送局・番組
- ② チャンネルリスト
- ③ チャンネルリストの切り替え
- ④ 番組表を表示 (P.92)
- ⑤ テレビメニューを表示 (P.90)
- ⑥ チャンネル設定の切り替え (P.91)

選局する

チャンネルリスト(上記)から選ぶ

- 選んだチャンネルに切り替わります。
- 同じチャンネルで複数の番組が放送されている場合は、チャンネルをタッチするたびに番組が切り替わります。

ステアリングオーディオスイッチで選局するには

ステアリングオーディオスイッチの < > または ∨ ∧ または ◀ ▶ を押す

- 押すごとに1チャンネルずつ切り替わります。

テレビを見る

テレビメニューを設定する

1 選局パネル(P.89)から

メニューを選ぶ

- テレビメニューが表示されます。

2 各項目を設定する

- **設定**：
テレビの設定・情報を見る (P.93)

■ テレビメニュー



[太字: お買い上げ時の設定]

項 目	設定内容/操作
受信モード 受信状態が良くないときは、ワンセグに切り替えると、比較的安定した画像を見ることができま。	「 自動切替 」: 受信状態に応じて地上デジタル放送/ワンセグを自動的に切り替える 「 ワンセグ 」: 受信状態にかかわらずワンセグを受信する 「 地 上 D 」: 受信状態にかかわらず地上デジタル放送を受信する ● 受信状況によっては、切り替え時に数秒間映像が途切れることがあります。 ● 放送局によっては、地上デジタル放送とワンセグの番組内容が異なる時間帯があるため、地上デジタル放送/ワンセグを切り替えた際、異なる番組になる場合があります。
オート放送局サーチ 移動などで受信状態が悪くなった場合に、自動的に受信状態の良い中継局、または同じ系列の放送局に切り替えます。	「 有 効 」: オート放送局サーチする 「 無 効 」: オート放送局サーチしない ● 県境を越えて移動した場合など、オート放送局サーチ設定中でも放送局を切り替えられない場合があります。そのときは、選局パネルから手動で選局してください。 ● 放送局によっては、同じ系列でも、番組内容が異なる時間帯があるため、オート放送局サーチで放送局を切り替えた際、異なる番組になる場合があります。
番組表サブチャンネル表示 サブチャンネルがあるときの番組表の表示のしかたを設定します。	「 し な い 」: 同じチャンネルに同じ時間に複数の番組(サブチャンネル)がある場合、代表の1番組だけ番組表に表示する ● 代表以外の番組を視聴中は、代表の番組と視聴中の番組の2つが表示されます。 「 す る 」: 同じチャンネルに同じ時間に複数の番組がある場合、すべての番組を番組表に表示する
地上D/ワンセグ切替設定 切り替わるときの時間のズレを、補正する/しないを設定します。 遅延補正ありに設定すると、地上デジタル放送からワンセグに切り替わる際、スムーズに切り替わります。	「 遅延補正あり 」: 音の連続再生を優先するため、受信状態が悪化すると、早めにワンセグ放送に切り替わる 「 遅延補正なし 」: 受信状態が悪化しても、地上デジタル放送での視聴を優先する ● 本設定は受信モード(上記)が「自動切替」のときに、有効となります。 ● 地上デジタル放送を十分に受信してからでない効果が表れない場合があります。 ● 「遅延補正あり」のときは、地上デジタル放送からワンセグに切り替わる際に音が途切れずに連続して再生されることを優先します。 ● そのため、受信環境が悪化すると、早めにワンセグに切り替わります。 ● 「遅延補正なし」のときは、受信環境が悪化しても可能な限り地上デジタル放送を優先して表示します。ワンセグへの切り替えが早いと感じる場合は、「遅延補正なし」に設定すると改善される場合があります。
ユーザープリセット設定 ユーザープリセットのチャンネル設定をします。	① ユーザープリセット設定 を選ぶ ● チャンネルのスクリーンを開始し、終了するとチャンネル設定画面が表示されます。 ② チャンネル設定画面で放送局を確認して、保存 を選ぶ(P.91) ● エリアプリセットでは設定できません。 ユーザープリセットに切り替えてください。(P.91)

チャンネル設定を切り替える

選局パネル(P.89)から

AREA.P / USER.Pを選ぶ

- **AREA.P** (エリアプリセット):
自動的に自転車位置周辺の放送局を表示する
チャンネルリスト[お買い上げ時の設定]
- **USER.P** (ユーザープリセット):
手動で放送局をスキャンして設定した
チャンネルリスト(P.90)



お知らせ

- エリアプリセットの場合、現在地や周辺の地形の影響により、設定された放送局が受信できない場合があります。その場合は、ユーザープリセットをご利用ください。

初めてユーザープリセットに切り替えたときは

「ユーザープリセットが未設定です スキャンしますか?」というメッセージが表示されます。下記の手順でチャンネルを記憶させてください。

1 **はい**を選ぶ

- チャンネルのスキャンを開始し、終了したらチャンネル設定画面が表示されます。

2 各チャンネルの放送局を確認する

**各チャンネルにお好みの放送局
を割り当てるには**

- ① 放送局を割り当てたいチャンネルを選ぶ
- ② **◀ ▶**で、割り当てたい放送局を変更する

3 **保存**を選ぶ

- チャンネルを記憶し、チャンネル設定を終了します。
- **終了**を選ぶと、「チャンネル設定の変更を破棄しますか?」というメッセージが表示されます。
はいを選ぶと、スキャン結果や変更した内容が破棄されます。

■ チャンネル設定画面



テレビを見る

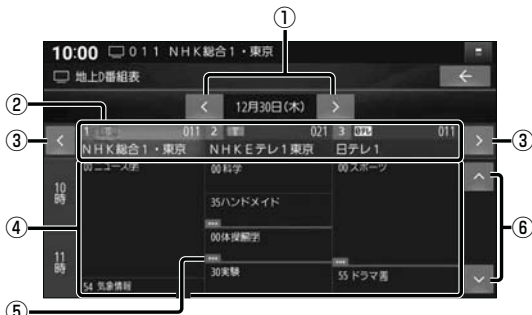
番組表を見る

選局パネル(P.89)から**番組表**を選ぶ

- 番組表が表示されます。

■ 番組表

番組表サブチャンネル表示の設定をすると、1番組のみ表示するか、すべての番組を表示するかを選べます。(P.90)



- ① 別の日の番組表を見る
- ② 視聴中の放送局を切り替える
- ③ 番組表に表示するチャンネルを切り替える
- ④ 選んだ番組の内容を見る(下記)
- ⑤ 放送時間の短い番組がある(青線部分)タッチすると番組が表示されます。
- ⑥ 時間帯を選ぶ

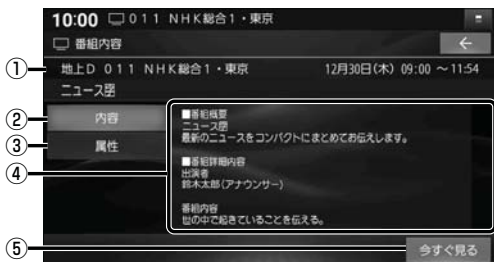
- 電源を入れた直後は、番組表が表示されるまで約1分かかる場合があります。
- 受信可能な放送局の番組表が表示されない場合は、その局を選ぶと表示されます。(数分かかることがあります。)
- 地上デジタル放送は7日分まで、ワンセグは10番組まで表示されます。

番組の内容を見る

番組表(上記)から、内容を見たい番組を選ぶ

- 選んだ番組の内容が表示されます。

■ 番組内容



- ① 放送局名・放送日時・番組名を表示
- ② 番組内容を表示
- ③ 番組属性(詳細な情報)を表示
- ④ 内容表示欄
- ⑤ 内容表示中の番組を見る(放送中の場合のみ)

テレビの設定・情報を見る

1 テレビメニュー画面 (P.90) から 設定を選ぶ

2 設定・確認したい項目を選ぶ

■ 設定画面

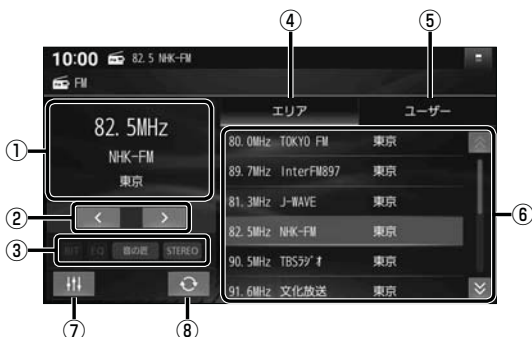


3 各項目を設定・確認する

項 目	設定内容
地域設定	お住まいの地域を変更します。 変更のしかたは、「デジタルテレビ初期設定」と同じです (P.88 手順2)
信号切替	各項目を設定します。 「マルチビュー」：主番組と副番組が放送されているときに選択できます。 「映像」：複数の映像があるときに選択できます。 「音声」：複数の音声があるときに選択できます。 「二重音声」：音声多重放送のときに音声を選択できます。 「字幕」：字幕の言語を選択できます。 「文字スーパー」：文字スーパー*1の言語を選択できます。 * 1 放送中の番組の画面上に文字で表示される情報
デバイスID表示	※通常はこの操作は必要ありません。お問い合わせの際に必要な場合があります。 ●受信機(本機)に記憶されている放送局に関する情報が表示されます。

ラジオを聞く

トップメニュー(P.18)、オーディオソース一覧(P.86)または全機能一覧(P.20)から**FM・AM**のいずれかを選ばと、ラジオに切り替わります。



- ① 受信中の放送局を表示
- ② 周波数切替
- ③ オーディオの設定などを表示
- ④ エリアモードに切替
- ⑤ ユーザーモードに切替
- ⑥ 放送局リスト
- ⑦ オーディオチューン(P.114)
- ⑧ エリア更新

リストから選局する

放送局リストから、放送局を選ぶ

- 選んだ放送局に切り替わります。

周波数で選局する

< >で周波数を切り替える

- 「ピッ」と音が鳴るまでタッチし続けると、自動的に選局を開始し、受信すると止まります。(シーク選局)

エリアモードに切り替える

エリアを選ぶ

- 自車位置周辺の放送局リストが表示されます。

ユーザーモードに切り替える

ユーザーを選ぶ

- プリセットした放送局リストが表示されます。
- お好みの放送局を登録できます。
(プリセットメモリー→右記)

お知らせ

- 受信したい放送局が放送局リストに無い場合は、周波数で選局してください。
- 受信電波の弱い地域では、シーク選局できないことがあります。
- エリアモードの放送局リストは本機に収録されている情報に基づいて表示されるため、下記のような場合があります。
 - ・ 放送局が表示されない / 実際とは異なる放送局が表示される
 - ・ リストに表示されている放送局を選択しても、切り替わらない(放送を受信できない)
 - ・ リストに表示されている放送局とは異なる放送局に切り替わる
- 周波数再編や運用休止などにより、これまで受信できた放送局が受信できなくなった場合は、ユーザーモードの放送局リストを更新してください。

放送局をリストに記憶させる (プリセットメモリー)

ユーザーモード(左記)で行ってください。

1 周波数で選局する(左記)

2 放送局リストの登録したい枠を 約1秒以上タッチする

- 選局された放送局が、選んだ枠に登録されます。

放送局リストを更新する

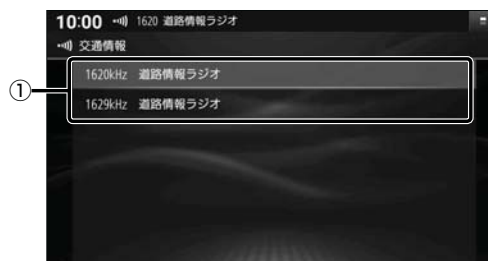
エリアモード(左記)で使用中、自車が走行したために、放送局が受信エリアから外れた場合は、下記操作で受信エリアを更新してください。

更新を選ぶ

- 自車位置周辺の放送局リストに更新されます。

交通情報を聞く

トップメニュー(P.18)、オーディオソース一覧(P.86)または全機能一覧(P.20)から**交通情報**を選ぶと、交通情報に切り替わります。[お買い上げ時の設定: 1 620 kHz]



① 交通情報の放送局

周波数を切り替える

1620kHz / 1629kHzを選ぶ

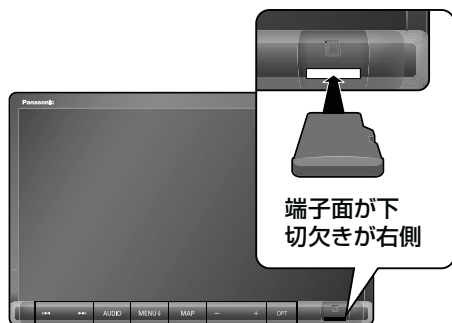
SDカード・USBメモリーを再生する

本機では、microSDカード・USBメモリーを使用して、パソコンなどで保存した音楽、動画の再生ができます。データ作成時の留意点については、P. 191～195をご覧ください。

microSD カードを挿入する

- 挿入する前に、他のカードが入っていないか確認してください。
- 正常に動作しないときは、再度カードを抜き差ししてください。

microSDカードを奥までまっすぐに
カチッと音がするまで挿入する

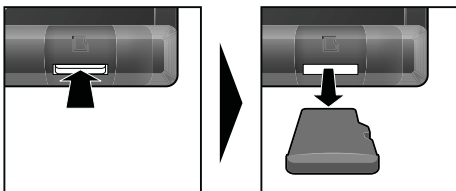


- カードの向きを確認して差し込んでください。

microSD カードを取り出す

microSDカードの中央部を押して、
押し出されたカードを取り出す

- カチッと音がしたら、カードに指を添えながら手前に戻して、ゆっくりと引き抜いてください。
- microSDカードが取り出しにくいときは
→ P. 171



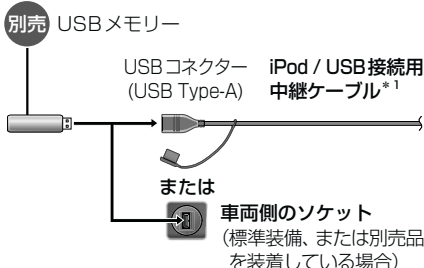
- 勢いよく飛び出ることがありますので十分注意し、紛失しないようにしてください。

お願い

- 再生中にmicroSDカードを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。

USB メモリーを接続する

- コネクターの向きに注意して確実に差し込んでください。
- 正常に動作しないときは、USBメモリーを本機から外して、約10秒経過してから再度接続してください。



* 1 グローブボックス等から出ている付属の iPod / USB 接続用中継ケーブルを引き出して接続してください。(ケーブルの設置場所は、車種により異なります。)

お願い

- オーディオがUSBのときに、USBメモリーの取り付け・取り外しをしないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する原因となる場合があります。
- USBメモリーの取り付け・取り外しをするときにケーブルを引っ張らないでください。
- 延長ケーブルを使用しないでください。音が悪くなる(音飛びする)原因となります。

お知らせ

- USBメモリーと iPod / iPhone / Android スマートフォンは、同時にはUSB接続できません。
- 長時間使用すると、USBメモリーが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。

音楽 (MP3/WMA/AAC/FLAC/WAV) を再生する

トップメニュー(P.18)、オーディオソース一覧(P.86)または全機能一覧(P.20)から**SD**を選ぶとSDに、**USB**を選ぶとUSBに切り替わります。

準備

- 音楽が保存されたmicroSDカード/USBメモリーを本機に挿入/接続してください。(P.96)
- 再生モード切替画面から「音楽」を選び、音楽再生モードに切り替えてください。(P.99)



- ① アルバムアートワーク*1
- ② オーディオの設定などを表示
- ③ アルバム名・アーティスト名・曲名
- ④ 順不同に再生 (ランダム)
- ⑤ オーディオチューン (P.114)
- ⑥ 繰り返し再生 (リピート)
- ⑦ 頭出し / 早送り・早戻し
- ⑧ 再生 / 一時停止
- ⑨ 再生モード切替画面を表示 (P.99)

曲を頭出しする

⏮ ⏭ を選ぶ

早送り・早戻しする

⏮ ⏭ をタッチし続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。

一時停止する

⏸ を選ぶ

- **▶** を選ぶと、再生を開始します。

フォルダを切り替える

ステアリングオーディオスイッチの

< > または **∧ ∨** または **⏮ ⏭** を約0.5秒以上押す

- フォルダを切り替えると、リピート、ランダムは解除され、通常の再生に戻ります。

お願い

- 再生中にmicroSDカード/USBメモリーを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。

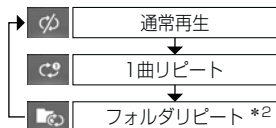
* 1 ジャケット写真が設定されたファイルを再生すると表示されます。
画像データのサイズが大きいと表示されない場合があります。未設定の場合は **🎵** が表示されます。

* 2 フォルダの内容は、選曲方法によって異なります。(P.99)

繰り返し再生する (リピート)

🔁 を選ぶ

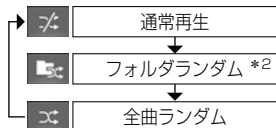
- 再生中の曲を繰り返し再生します。
- 選ぶごとに下記のように切り替わります。



順不同に再生する (ランダム)

🎵 を選ぶ

- リスト内の全曲を、順不同に再生します。
- 選ぶごとに下記のように切り替わります。



SD カード・USB メモリーを再生する

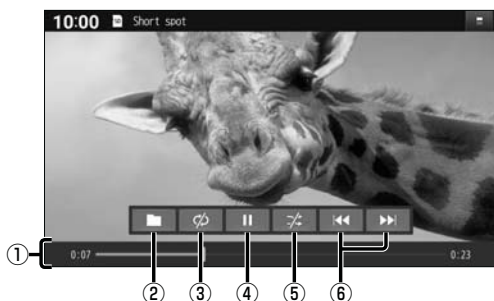
動画 (MP4/AVI/MKV/ASF/WMV) を再生する

トップメニュー(P.18)、オーディオソース一覧(P.86)または全機能一覧(P.20)から**SD**を選ぶとSDに、**USB**を選ぶとUSBに切り替わります。

準備

- 動画が保存された microSD カード/USB メモリーを本機に挿入/接続してください。(P.96)
- 再生モード切替画面から「動画」を選び、動画再生モードに切り替えてください。(P.99)

再生画面にタッチすると、動画操作画面が表示されます。



- ① 経過時間・総時間・タイムバー
- ② 再生モード切替画面を表示 (P.99)
- ③ 繰り返し再生 (リピート)
- ④ 再生/一時停止
- ⑤ 順不同に再生 (ランダム)
- ⑥ 頭出し/早送り・早戻し

動画を頭出しする

⏮ ⏭を選ぶ

早送り・早戻しする

⏮ ⏭をタッチし続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。

一時停止する

⏸を選ぶ

- **▶**を選ぶと、再生を開始します。

フォルダを切り替える

ステアリングオーディオスイッチの **< >** または **∧ ∨** または **⏮ ⏭** を約0.5秒以上押す

- フォルダを切り替えると、リピート、ランダムは解除され、通常の再生に戻ります。

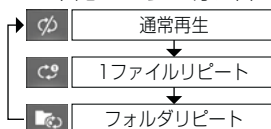
お願い

- 再生中に microSD カード/USB メモリーを抜かないでください。
データが破損するおそれがあります。

繰り返し再生する (リピート)

🔄を選ぶ

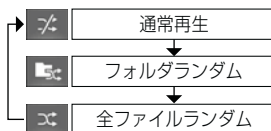
- 再生中の動画を繰り返し再生します。
- 選ぶごとに下記のように切り替わります。



順不同に再生する (ランダム)

🎲を選ぶ

- リスト内の全動画を、順不同に再生します。
- 選ぶごとに下記のように切り替わります。



再生するファイルを選ぶ

音楽再生の場合、リストを絞って選曲することができます。(アーティスト別、アルバム別など)

1 を選ぶ

2 ファイルの種類を選ぶ

-  **音楽** : 音楽再生
・手順3へ
-  **動画** : 動画再生
・続けて再生したいフォルダ・ファイルを選ぶ

■ 再生モード切替画面



いろいろな方法で選曲する（音楽再生の場合のみ）

3 選曲するリストを選ぶ

-  **アルバム** : アルバムのリストを表示
-  **アーティスト** : アーティストのリストを表示
-  **全曲** : 全曲を表示 (リストを絞らない)
-  **フォルダ** : フォルダのリストを表示



4 項目を選んでリストを絞る

-  **ALL** : 選んだリストの全曲を表示 (リストを絞らない)



- 例: アーティスト

5 リストから曲を選ぶ

- 選んだ曲を再生します。



お知らせ

- 保存曲数が多いと、リストの表示や選曲に時間がかかる場合があります。

BLUETOOTH Audioを再生する

トップメニュー(P.18)、オーディオソース一覧(P.86)または全機能一覧(P.20)から **BLUETOOTH Audio** を選ぶと、BLUETOOTH Audioに切り替わります。

準備

- BLUETOOTH Audio機器(スマートフォン)を本機に登録・接続してください。(P.30)



- ① アルバムアートワーク*1
- ② オーディオの設定などを表示
- ③ アルバム名・アーティスト名・曲名
- ④ 順不同に再生(ランダム)
- ⑤ オーディオチューン(P.114)
- ⑥ BLUETOOTH設定画面を表示(P.30)
- ⑦ 繰り返し再生(リピート)
- ⑧ 頭出し/早送り・早戻し
- ⑨ 再生/一時停止
- ⑩ 選曲方法のリストを表示

曲を頭出しする

◀▶ を選ぶ

早送り・早戻しする

◀▶ をタッチし続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。

リストから選曲する

1 ㊦ を選ぶ

- 選局方法のリストが表示されます。

2 リストからグループ▶曲を選ぶ



- 選んだ曲の再生を開始します。

一時停止する

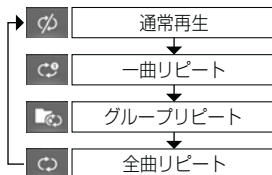
⏸ を選ぶ

- ▶ を選ぶと、再生を開始します。

繰り返し再生する(リピート)

🔄 を選ぶ

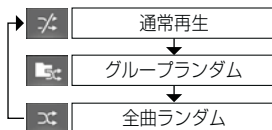
- 再生中の曲を繰り返し再生します。
- 選ぶごとに下記のように切り替わります。



順不同に再生する(ランダム)

🎲 を選ぶ

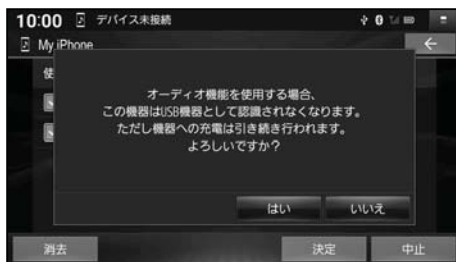
- すべてのフォルダの全曲を対象に、順不同に再生します。
- 選ぶごとに下記のように切り替わります。



* 1 ジャケット写真が設定されたファイルを再生すると表示されます。
画像データのサイズが大きいと表示されない場合があります。未設定の場合は ㊦ が表示されます。

お知らせ

- 接続機器や音楽再生アプリの説明などもご覧ください。
- 接続機器や音楽再生アプリによっては、接続できなかったり、意図したとおりの動作や表示をしない場合があります（下記は主な例です）。また、音質が低下することがあります。
 - ・ 音声出力や画面表示に時間がかかる
 - ・ 本機の表示内容が接続機器の表示と一致しない
 - ・ 曲名、アーティスト名、アルバム名が表示されない
 - ・ 画面表示が更新されない
 - ・ 画面表示や操作スイッチの一部が表示されない
 - ・ 機能の一部が動作しない
 - ・ 本機で操作できない（その場合は、接続機器で操作してください）
- 接続機器で複数のアプリを起動している場合、本機から操作できなかったり、音声出力と画面表示される楽曲が異なる場合があります。その場合は、BLUETOOTH Audioに切り替える前にすべてのアプリを終了して、BLUETOOTH Audioを接続しなおしてください。
- 接続機器や本機との接続状態によっては、BLUETOOTH Audioを使用する際に、接続機器側の音声出力先を本機に設定する必要がある場合があります。（例：iPhone をケーブルで接続している場合）
- BLUETOOTH Audio再生とハンズフリーを同時に使用すると、それぞれの通信の状態（接続や音声など）が不安定になることがあります。
- 接続機器にイコライザー機能がある場合には、イコライザーを「OFF」にしてください。音割れなどの原因となる場合があります。
- Apple CarPlay または Android Auto の接続をしている場合は、BLUETOOTH Audioを利用できません。
- iPod をP.102のようにケーブルで接続してBLUETOOTH Audio接続(P.30)すると、下記の画面が表示されます。
 - ・ **はい** : BLUETOOTH Audio接続されます。（「iPod」では再生できません）iPod は、ケーブルで接続している間は充電されます。
 - ・ **いいえ** : BLUETOOTH Audio接続されません。（「iPod」で再生できます）



iPod を再生する

本機で接続確認済みの iPod (2025年7月現在)

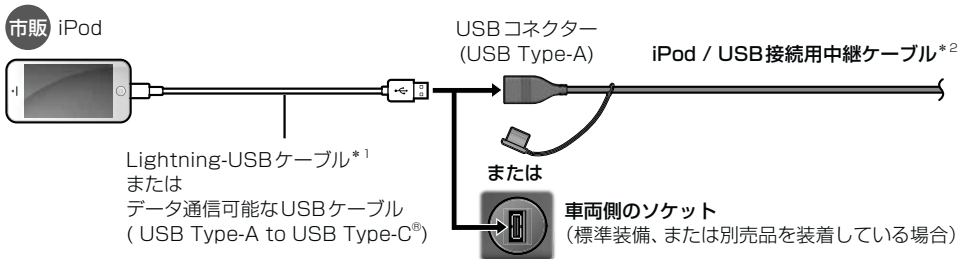
iPhone 16e	iPhone 14 Pro Max	iPhone 12 Pro Max	iPhone XS Max
iPhone 16 Pro Max	iPhone 14 Pro	iPhone 12 Pro	iPhone XS
iPhone 16 Pro	iPhone 14 Plus	iPhone 12	iPhone XR
iPhone 16 Plus	iPhone 14	iPhone 12 mini	
iPhone 16	iPhone SE (第3世代)	iPhone SE (第2世代)	
iPhone 15 Pro Max	iPhone 13 Pro Max	iPhone 11 Pro Max	
iPhone 15 Pro	iPhone 13 Pro	iPhone 11 Pro	
iPhone 15 Plus	iPhone 13	iPhone 11	
iPhone 15	iPhone 13 mini		

- 適合機種および接続情報については、Webサイトをご覧ください。
<https://panasonic.jp/car/navi/genuine/>

iPod を接続する

1 下図のとおり接続する

- iPod は、電源を入れたうえで本機と接続してください。
- オーディオが iPod のときに、iPod の取り付け・取り外しをしないでください。
雑音が発生し、スピーカーを破損する原因となる場合があります。
- 接続する機種のコネクタに適合するケーブルを使用してください。使用するケーブルによって、正しく動作しない場合があります。



* 1 Apple 純正品以外を使用すると正しく動作しない場合があります。

* 2 グローブボックス等から出ている付属の iPod / USB 接続用中継ケーブルに接続してください。
(ケーブルの設置場所は、車種により異なります。)

2 (iPhone を初回接続時のみ)

メッセージの内容を確認し、**いいえ**を選ぶ

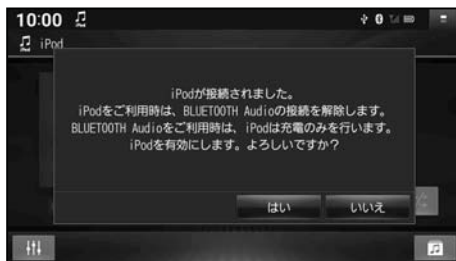
- iPhone が iPod として本機に接続されます。
- iPhone を、iPod としてではなく、Apple CarPlay 用の機器として有線接続する場合は、**はい**を選んでください。

お願い

- iPod のリモコンやヘッドホンなどは、接続しないでください。正しく動作しない場合があります。
- 取り付け・取り外しをするときにケーブルを引っ張らないでください。
- ACC を OFF にしたあとは、必ず iPod を取り外してください。iPod の電源が切れず、iPod の電池を消耗することがあります。
- iPod に楽曲を追加する操作を行う場合は、iPod を本機から取り外してください。
- 延長ケーブルを使用しないでください。音が悪くなる (音飛びする) 原因となります。

お知らせ

- コネクタの向きに注意して確実に差し込んでください。
- iPod と USB メモリーは、同時には接続できません。
- iPod の動作状態によっては、充電に時間がかかる、または充電されない場合があります。
- iPod の動作やバージョンアップされる iPod、ソフトウェアへの対応は、保証いたしかねます。
- iPod 本体のイコライザー設定は解除してください。音質が悪くなる場合があります。
- iPod ビデオ再生には対応していません。
- 正常に動作しないときは、本機から iPod を取り外してリセットし、再度接続してください。
- iPod または iPhone を P. 102 や P. 162 のようにケーブルで接続している場合は、iPhone ではレコーダーリンクおよびスマートフォン連携機能 (NaviCon / CarAV remote S) を利用できません。iPod または iPhone を取り外してください。
- Apple CarPlay または Android Auto の接続をしている場合は、iPod を利用できません。
- 本機と BLUETOOTH Audio 接続中の iPod をケーブルに接続してオーディオを iPod に切り替えると、下記のメッセージが表示されます。
 - ・ **はい** : 「iPod」で再生できます。
(BLUETOOTH Audio 接続は解除されます)
 - ・ **いいえ** : 「BLUETOOTH Audio」で再生できます。(「iPod」では再生できません) ケーブルで接続している間は iPod は充電されます。



iPod を再生する

iPod を再生する

トップメニュー(P.18)、オーディオソース一覧(P.86)または全機能一覧(P.20)から **iPod** を選べると iPod に切り替わります。



- ① アルバムアートワーク*¹
- ② オーディオの設定などを表示
- ③ 再生中のプレイリスト名・アーティスト名・曲名
- ④ 順不同に再生(ランダム)
- ⑤ オーディオチューン(P.114)
- ⑥ 繰り返し再生(リピート)
- ⑦ 頭出し/早送り・早戻し
- ⑧ 再生/一時停止
- ⑨ 選曲モード設定画面を表示(P.105)

曲を頭出しする

◀▶ を選ぶ

早送り・早戻しする

◀▶ をタッチし続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。

一時停止する

⏸ を選ぶ

- ▶ を選べると、再生を開始します。

お知らせ

- リピート再生、ランダム再生の切り替え順は iPod によって異なる場合があります。
- 正常に動作しないときは、本機から iPod を取り外してリセットし、再度接続してください。

* 1 表示サイズは iPod の仕様により異なります。画像データのサイズが大きいと表示されない場合があります。以下の場合、アルバムアートワークは表示されません。🎵 が表示されます。

- ・アルバムアートワークがない
- ・アルバムアートワーク取得中
- ・本機でアルバムアートワークを表示できない iPod を接続している

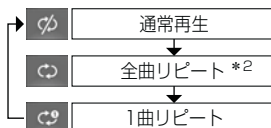
* 2 リピートのしかたは、選曲方法によって異なります。(P.105)

* 3 リストの内容は、選曲方法によって異なります。(P.105)

繰り返し再生する(リピート)

🔄 を選ぶ

- 選ぶごとに、下記のように切り替わります。



順不同に再生する(ランダム)

🎵 を選ぶ

- リスト内*³の全曲を順不同に再生します。
- 再度選べると、通常の再生に戻ります。

選曲方法を選ぶ（選曲モード）

全曲から選曲方法を選んで再生できます。（アルバム別、アーティスト別、ジャンル別など）

1 を選ぶ

2 選曲方法を選ぶ

- **再生中のプレイリスト**：
再生中のプレイリストから選曲
- **全 曲**：全アルバムの全曲から選曲
- **アルバム**：アルバム別で選曲
- **アーティスト**：アーティスト別で選曲
- **ポッドキャスト**：ポッドキャストから選曲
- **ジャンル**：ジャンル別で選曲
- **プレイリスト**：プレイリストから選曲
- **作 曲 者**：作曲者別で選曲
- **オーディオブック**：
オーディオブックから選曲

■ 選曲モード設定画面



3 項目を選んでリストを絞る

- **ALL**：選んだ選曲方法から全曲を表示



- 例：アーティスト

4 リストから曲を選ぶ

- 選んだ曲を再生します。



自宅のレコーダーのコンテンツを車内で見える(レコーダーリンク)

レコーダーリンクとは

自宅のレコーダーやNAS*に録画した番組などを、インターネット経由で本機に転送し、視聴する機能です。ご利用には、スマートフォンアプリ「DiXiM Play for レコーダーリンク」のインストールが必要です。

* NAS(Network Attached Storage)とは、ネットワーク上で共有することができるLAN接続の外付けハードディスクドライブです。

- 対応レコーダー、スマートフォンアプリに関する詳細(入手方法など)、レコーダーの登録や本機との接続の詳細など、詳しくは、Webサイトをご覧ください。

<https://www.digion.com/sites/recorder-link/>



- ご利用時には通信費用がかかります。
- インターネットの通信速度が十分でない場合や通信状況によっては時間がかかる場合があります。
必要通信速度 自宅: 上り 6 Mbps以上 Wi-Fi機器: 上り 1 Mbps以上 / 下り 3 Mbps以上
- Apple CarPlay または Android Auto の接続をしている場合は、レコーダーリンクを利用できません。

ご利用の流れ



自宅

1 アプリ「DiXiM Play for レコーダーリンク」をスマートフォンにインストールする(初回のみ)

2 アプリにレコーダーを登録する

- 事前にレコーダーのホームネットワーク機能を使えるようにしてください。
(接続する機器の取扱説明書をご覧ください)
- スマートフォンを自宅のWi-Fiに接続してください。
- レコーダーとスマートフォンは、必ず同じネットワークに接続してください。



車内

3 アプリに本機を登録して、スマートフォンおよびWi-Fi機器(スマートフォン、モバイルWi-Fiルーターなど)と本機を接続する→P.107

4 コンテンツを再生する→P.108

お知らせ

- アプリのレコーダー登録には3か月の期限があり、登録期限が過ぎると接続できなくなります。
 - ・登録期限が近付くと、登録期限をお知らせするメッセージが本機に表示されます。
 - ・自宅(スマートフォンがレコーダーと同じネットワークに接続された状態)でアプリを起動すると、自動で登録の更新処理が行われます。手動操作での更新もできます。
- アプリにレコーダーと本機を登録したあとに以下を行うと、レコーダーと本機の登録情報が消去される場合があります。その場合、再度レコーダーと本機の登録を行ってください。
 - ・「出荷状態に戻す」(P.169)の操作を行って本機をお買い上げ時の状態に戻した
 - ・本機を交換、あるいは別のナビゲーションに入れ替えた
 - ・本機以外のナビゲーションを登録した
 - ・本機のソフトウェアを更新した
 - ・アプリの更新をした

アプリに本機を登録して、スマートフォンおよび Wi-Fi 機器と本機を接続する

準備



- 自宅でレコーダーの登録 (P. 106「ご利用の流れ」手順2まで) を終わてください。
 - ・ アプリ「DiXiM Play for レコーダーリンク」をスマートフォンにインストールしてください。
 - ・ アプリにレコーダー登録をしてください。



- スマートフォンを本機に BLUETOOTH 機器登録し、ハンズフリー接続してください。 (P. 30)
- 本機の Wi-Fi モードをステーションモードに設定し、Wi-Fi 機器を本機に Wi-Fi ネットワーク登録し、Wi-Fi 接続してください。 (P. 33)

お知らせ

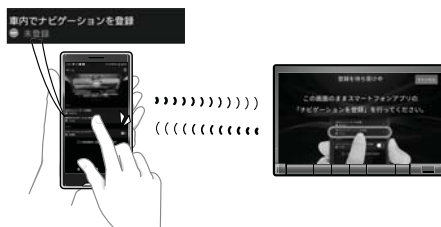
- GPS 信号を受信している状態でないと、レコーダーリンクを利用できません。
- iPod または iPhone を P. 102 や P. 162 のようにケーブルで接続している場合は、iPhone ではレコーダーリンクを利用できません。iPod または iPhone を取り外してください。

1 スマートフォンで、アプリ「DiXiM Play for レコーダーリンク」を起動する

2 スマートフォンがレコーダーリンクに登録されていない状態で、オーディオをレコーダーリンクに切り替える (P. 86)

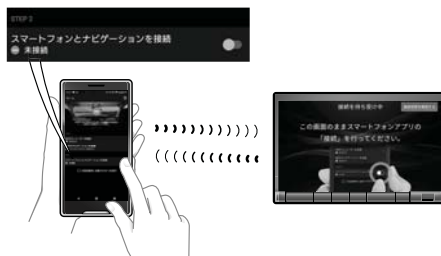
3 スマートフォンを操作して、「車内でナビゲーションを登録」を選択して、本機を登録する

- アプリに表示されたリストから、本機のデバイス名 (CAR MULTIMEDIA) を選択してください。
- 本機がアプリに登録されます。



4 スマートフォンを操作して、「スマートフォンとナビゲーションを接続」を ON にして、本機と接続する

- 接続が完了すると、コンテンツリストが表示されます。 (P. 108)



お知らせ

- レコーダーリンクに登録できるスマートフォンは 1 台だけです。
- アプリに複数のレコーダーを登録できます。レコーダーが複数登録されている場合は、アプリと本機の接続完了時、本機にレコーダー選択画面が表示されます。使用するレコーダーを選択してください。レコーダーを選択するとコンテンツリストが表示されます。
- 「次回起動時に自動で STEP 2 を実行」をチェックした場合、本機とハンズフリー接続、Wi-Fi 接続してアプリを起動した状態でオーディオをレコーダーリンクに切り替えると、自動的にスマートフォンと本機が接続され、コンテンツリストが表示されます。

自宅のレコーダーのコンテンツを車内で見る（レコーダーリンク）

コンテンツを再生する

トップメニュー(P.18)、オーディオソース一覧(P.86)または全機能一覧(P.20)から**レコーダーリンク**を選び、レコーダーリンクに切り替わります。

準備

- アプリに本機を登録して、スマートフォンと本機を接続してください。(P.107)

1 (レコーダーが選択されていない場合のみ)

レコーダーリストから、レコーダーを選ぶ

- 選んだレコーダーのコンテンツリストが表示されます。
- レコーダーリストは、アプリと本機を初めて接続した場合など、レコーダーが選択されていない場合に表示されます。

レコーダーが選択されている場合は

前回再生していたコンテンツまたはコンテンツリストが表示されます。

■ レコーダーリスト



2 項目を選んでリストを絞り、見たいコンテンツを選ぶ

- 選んだコンテンツが再生されます。
- **並べ替え**: 選んだ条件でリストの順を並べ替え*1
- **更新**: リストを最新の内容に更新
- **接続設定**: 接続設定画面を表示 (P.111)

- : コンテンツの詳細情報を表示

* 1 コンテンツの再生中にリストの順を並べ替えても、コンテンツは並べ替える前のリストの順序で再生されます。
並べ替えたリストの順で再生するには、並べ替えた後のリストからもう一度コンテンツを選んでください。

使用したモバイルデータの通信量の目安が表示されます。タッチすると詳細を確認できます。

レコーダーリストが表示されます。
(リストのトップ画面に戻ります)

■ コンテンツリスト



現在再生中のコンテンツが表示されます。
タッチすると、コンテンツの再生画面が表示されます。

お知らせ

- コンテンツリストが表示されるまで、しばらく時間がかかる場合があります。
- コンテンツの構成はレコーダーによって異なります。
- 本機で対応していないコンテンツは選択できません。
- コンテンツリストをタイトル順に並べ替えると、UTF-8の文字コード順で表示されます。(五十音順では表示されません。)
- 自宅のレコーダーまたは本機と接続しているWi-Fi機器のインターネットの通信速度が十分でない場合や、地下駐車場などGPS信号が受信されにくい場所では、コンテンツを再生できないことがあります。
- 再生中にレコーダーとの接続が切断された場合は、再度接続するか、レコーダーリストからレコーダーを再度選択してください。(P.107、111)

再生画面にタッチすると、レコーダーリンク再生操作画面が表示されます。

■ レコーダーリンク再生操作画面(例)



- ① 視聴設定画面を表示
- ② コンテンツのタイトル
- ③ 頭出し
- ④ 再生/一時停止
- ⑤ 経過時間・総時間・タイムバー

頭出しする

◀ ▶ を選ぶ

- フォルダをまたいでの頭出しはできません。

一時停止する

⏸ を選ぶ

- ▶ を選ぶと、再生を開始します。

お知らせ

- レコーダーによっては、一部の操作ができない場合や表示が異なる場合があります。
- コンテンツによっては、設定したとおりに再生されない場合があります。

視聴設定を変更する

1 レコーダーリンク再生操作画面(上記)または接続設定画面(P.111)から、**視聴設定**を選ぶ

2 各項目を設定する

[太字: お買い上げ時の設定]

項 目	設定内容
映像再生画質	「高画質」: 高画質で再生する(データ通信量は大きくなります) 「標準画質」: 標準画質で再生する(データ通信量は中程度になります) 「低画質」: 低画質で再生する(データ通信量は小さくなります)
映像再生バッファサイズ	受信した動画データを本機に一定量蓄積してから再生することで、Wi-Fi 機器が通信圏外でも一定時間再生できる余裕(バッファ)を持たせます。「最大」に設定すると映像が止まりにくくなりますが、再生開始までの時間が長くなります。 「標準」: 標準のバッファサイズ(通常は「標準」に設定してください) 「最大」: 最大のバッファサイズ(再生中に映像が頻繁に止まる場合に設定する)
字幕	「オフ」: 字幕を表示しない 「第1言語」: 第1言語の字幕を表示する 「第2言語」: 第2言語の字幕を表示する
音声	「主音声」: 主音声を出力する 「副音声」: 副音声を出力する 「主/副音声」: 主音声、副音声を両方とも出力する

レコーダーリンクで使用したデータ通信量を確認する

月々の請求期間の開始日を設定する

- 1 コンテンツリスト（P.108）から、
⇒ 94.8 GB を選ぶ



- 2 月々の請求期間の開始日を設定する

- 請求開始日から締日までの1か月の間の通信量の目安が表示されます。
- ご契約のプロバイダーの請求締日の翌日に設定してください。

レコーダーリンクで使用したデータ通信量の目安



データ通信量を確認する

レコーダーリンクで使用したデータ通信量の目安画面（上記）から、データ通信量を確認する。

- データ通信量の数値はあくまでも目安です。ご利用状況によっては、実際の通信量と異なる場合があります。



接続するスマートフォンを変更する

1 レコーダーリスト (P.108) またはコンテンツリスト (P.108) から、**接続設定** を選ぶ

2 **スマートフォンを変更** ▶ **登録解除** を選ぶ

- 現在接続されているスマートフォンの登録が解除されます。
- スマートフォンが登録されていない場合は、**スマートフォンを登録** と表示されます。

3 新しいスマートフォンをレコーダーリンクに登録して接続する (P.107)

- 新しいスマートフォンがレコーダーリンクに登録され、接続されます。

■ 接続設定画面



お知らせ

- 登録解除したスマートフォンを別のレコーダーリンク機能搭載ナビゲーションに登録する場合は、自宅でレコーダーを再登録する必要があります。

再生するレコーダーを変更する

1 接続設定画面 (上記) から、**レコーダーを変更** を選ぶ

2 レコーダーリスト (P.108) から、**レコーダーを選ぶ**

- 選んだレコーダーのコンテンツリスト (P.108) が表示されます。

ネット動画を見る

本機とWi-Fi接続したWi-Fi機器(スマートフォン、モバイルWi-Fiルーターなど)経由でインターネットに接続し、各種動画配信サービスを視聴できます。

- ご利用時には通信費用がかかります。
- インターネットの通信速度が十分でない場合や通信状況によっては、コンテンツを再生できなかったり、再生に時間がかかる場合があります。
- GPS信号を受信している状態でないと、ネット動画を利用できません。
- Apple CarPlay または Android Auto の接続をしている場合は、ネット動画を利用できません。

コンテンツを再生する

準備

- 本機のWi-Fiモードをステーションモードに設定し、Wi-Fi機器を本機にWi-Fiネットワーク登録し、Wi-Fi接続してください。(P.33)
- トップメニュー(P.18)、オーディオソース一覧(P.86)または全機能一覧(P.20)から**ネット動画**を選ぶとネット動画に切り替わります。

1 (初めてネット動画に切り替えたときのみ)

「ご利用時の注意点」、「使用許諾契約の同意」を確認して、**同意する**を選ぶ

- ネット動画の利用を開始します。
- 拒否する**を選ぶと、ネット動画をご利用いただけません。

2 視聴したい動画配信サービスを選ぶ

- 動画サービスメニューは、インターネットにアクセスして各動画配信サービスからダウンロードした後に表示されます。そのため、表示されるまでに時間がかかる場合があります。
- 動画サービスメニューのレイアウトと表示内容は、編集できます。(P.113)
- C** : 最新の状態に更新
- 初期化** : ネット動画のデータを初期化してネット動画機能を終了
- サービス一覧** : 動画サービス一覧を表示

■ 動画サービスメニュー



3 視聴したい動画を選び、再生する

- 選んだ動画が再生されます。
- C** : 最新の内容に更新
- ←** **→** : アクセス履歴に従って前/次の表示に切替
- ⌕** **等倍** **⊕** : 表示サイズを拡大/縮小
- 動画サービスメニュー** : 動画サービスメニューに戻る
- ×** : ネット動画機能を終了
・アクセス履歴が消去されます。
・オーディオOFFになります。

■ 動画選択画面



お知らせ

- 映像の下部が見切れる場合は、動画上に表示されるボタンで全画面表示にすると映像全体を表示できます。
- しばらく待っても動画が再生されないなどの異常が発生した場合は、**×**で本機能を終了させてトップメニューなどから再度ネット動画に切り替えてください。
- 全画面表示時に異常が発生した場合は、画面を下から上にフリックして全画面表示を終了してから、**×**で本機能を終了させてください。

- 動画配信サービスによって音量が異なりますのでご注意ください。
- ブラウザの「←」「→」で操作したときに音声ミュートされた場合は、音量を大きくしすぎないかを確認のうえ、動画サイトの仕様に従ってミュートを解除してください。
- 動画配信サービスのデザインや仕様は、パソコンやスマートフォンで視聴する場合と異なる場合があります。
- コンテンツによっては本機では視聴できない場合があります。コンテンツの画質設定を、より低画質に変更すると視聴できるようになる場合があります。
- 動画サービス一覧(下記)に表示されていない動画配信サービスは視聴できません。
- 視聴できる動画配信サービスは、予告なく変更される場合があります。また、動画配信サービス提供者の都合またはサービスの仕様変更により、サービスが予告なく変更・停止・終了する場合があります。
- 本機が使用しているシステムのサポート終了などによって、本機能が終了する場合があります。
- 当社は、本機における動画配信サービスの提供を保証するものではありません。本機能の変更、停止、中止、終了等に伴う損害について、当社は一切の責任を負いかねます。また、本機能の使用に伴う損害については、法令上責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いかねます。
- 視聴できる動画配信サービスの状況など、本機能の最新情報については、Webサイト(<https://panasonic.jp/car/navi/net-douga/index.html>)をご覧ください。

ネット動画の再生について

- 動画の再生、一時停止などの操作は、選択したコンテンツ内の表示に従って操作してください。
- 動画配信サービスによっては本書の説明したとおり(意図した動作や表示)にならない場合があります。
- 操作したいボタンなどが画面内に表示されていない場合、で縮小すると表示できることがあります。
- 動画配信サービスによってはユーザー登録/ログインが必要な場合があります。
あらかじめパソコンやスマートフォンでユーザー登録や決済情報登録を行ったうえで、本機で各サービス内のユーザーログイン画面に従って操作してください。
- 動画配信サービスによってはサービス内の検索機能を利用できますが、音声入力には利用できません。
- 本機が対応しているのはストリーミング再生のみです。ダウンロード再生はできません。
・アプリのインストール、映画やゲーム等のダウンロードなどには対応していません。
・動画配信サービスによっては動画視聴以外の機能をもっている場合がありますが、本機能を動画視聴以外の用途で使用された場合、当社は一切の責任を負いかねます。

動画サービスメニューを編集する

表示させる項目を選ぶ

- 1 動画サービスメニュー(P.112)から、**サービス一覧**を選ぶ
- 2 表示させたい項目の「メニューに表示」チェックボックスをONにする
 - タッチすることによってON/OFFが切り替わります。
 - チェックした項目が、動画サービスメニューに表示されます。(最大16項目)

■ 動画サービス一覧



項目の配置を変更する

- 1 動画サービスメニュー(P.112)で、**配置を変更したい項目**を1秒以上タッチする
- 2 項目をドラッグして、移動させる

- 画面の左端/右端までドラッグすると、左となり/右となりの画面に移動します。



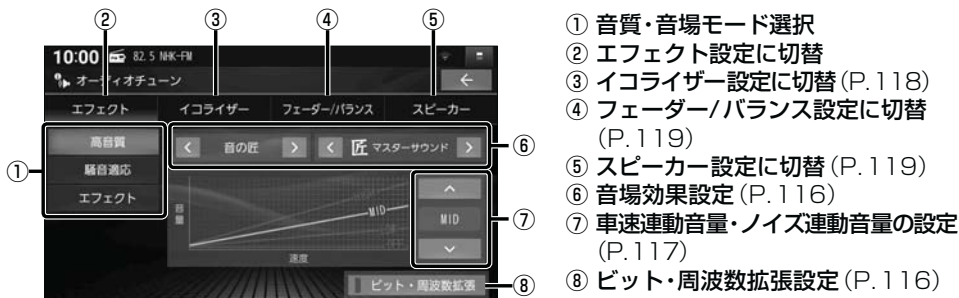
音質・音場を調整する(オーディオチューン)

オーディオチューンの基本操作

オーディオ情報・設定メニュー(P.19)で**オーディオチューン**を選ぶ

- オーディオチューン画面が表示されます。
- FM、AM、BLUETOOTH Audio、SD(音楽)、USB(音楽)、iPod から  をタッチしても、オーディオチューン画面が表示されます。

■オーディオチューン画面(エフェクト設定)



設定画面を切り替える

オーディオチューン画面で

エフェクト・イコライザー・フェーダー/バランス・スピーカーから設定画面を選ぶ

- エフェクト: 音質・音場効果に関する各種設定
- イコライザー: 13バンドのイコライザーによる音質設定
- フェーダー/バランス: 前後左右のスピーカーの出力バランスの設定
- スピーカー: 出力レベル・ディレイの設定

音質・音場モードを選ぶ

エフェクト設定画面から**高音質/騒音適応/エフェクト**を選ぶ

●高音質モード

高音質でオーディオを楽しむのに適したモードです。

ハイレゾ音源のFLAC・WAVの音楽データは、192 kHzの高音質で再生されます。また、通常の音質の音源も、補完してより自然な音で再生できます。(ビット・周波数拡張→P.116)

●騒音適応モード

車内でのオーディオの聴きやすさを重視したモードです。

ハイレゾ音源のFLAC・WAVの音楽データも、通常の音質(48 kHz)に変換されて再生されます。

●エフェクトモード

さまざまな音響効果を楽しむのに適したモードです。

ハイレゾ音源のFLAC・WAVの音楽データも、通常の音質(48 kHz)に変換されて再生されます。

お知らせ

- エフェクト設定の内容は、音質・音場モードごと(個別)に記憶されます。

音響効果「音の匠」を設定する

音の匠とは

レコーディングエンジニア集団^{ミキサーズラボ}MIXER'S LABが監修した音質で音楽を楽しめます。

- 「匠 マスターサウンド」: [お買い上げ時の設定]
レコーディングやマスタリングを手がける音のプロがチューニングした、よりスタジオサウンドに近い音を再現するモード(2 wayスピーカー向き)
- 「極 サラウンド」:
音場制御とサラウンドチューニングを施すことで、臨場感あふれる音楽を楽しめるモード(フルレンジスピーカー向き)
- 「和 会話重視」:
人の会話と周波数がぶつからないようにチューニングした、音楽を聞きながら車内の会話が楽しめるモード

1 エフェクト設定画面(P.114)から

◀ ▶で「音の匠」を選ぶ

- 選ぶごとに音響効果が切り替わります。

・高音質モードの場合

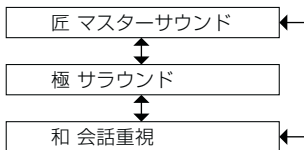


・騒音適応モード/エフェクトモードの場合



2 ◀ ▶でサラウンド効果を選ぶ

- 選ぶごとにサラウンド効果が切り替わります。



お知らせ

- オーディオOFFの状態では設定できません。
- 音の匠、DSPを同時に設定することはできません。

音質・音場を調整する（オーディオチューン）

音場「DSP」を設定する

疑似再現したい音場を設定できます。

準備

- 騒音適応モードまたはエフェクトモードに設定してください。(P.114)
高音質モードでは設定できません。

1 エフェクト設定画面 (P.114) から

◀ ▶で「DSP」を選ぶ

- 選ぶごとに音響効果が切り替わります。



2 ◀ ▶で音場を選ぶ

- 選ぶごとに音場効果が切り替わります。



お知らせ

- オーディオOFFの状態では設定できません。
- 音の匠、DSPを同時に設定することはできません。

より自然な音で聞く（ビット・周波数拡張）

音源を補完して、より自然な音で再生します。

準備

- 高音質モードに設定してください。(P.114)
騒音適応モードまたはエフェクトモードでは設定できません。

エフェクト設定画面 (P.114) から

ビット・周波数拡張を選ぶ

- 選ぶごとにON/OFFが切り替わります。



お知らせ

- 音源によっては、効果(音の変化)を感じ取りにくい場合があります。
- 車両の状態や環境によっては、効果(音の変化)を感じ取りにくい場合があります。
- ハイレゾ音源のFLAC・WAVの音楽データを再生するときは、余分な信号が音質に影響を与えないよう「OFF」にしてください。
- オーディオが交通情報の場合は、設定できません。

車速連動音量を補正する

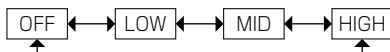
車両が走行する速度に連動してオーディオの音量を自動的に補正します。

準備

- 高音質モードまたはエフェクトモードに設定してください。(P.114)
騒音適応モードでは設定できません。

エフェクト設定画面(P.114)から
▼ ▲で車速連動音量の
補正量を選ぶ

- 選ぶごとに補正量が切り替わります。



ノイズ連動音量を補正する

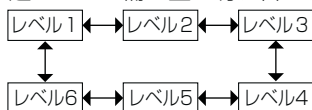
車内の走行騒音に連動してオーディオの音量や音質を自動的に補正します。

準備

- 騒音適応モードに設定してください。(P.114)
高音質モードまたはエフェクトモードでは設定できません。

エフェクト設定画面(P.114)から
▼ ▲でノイズ連動音量の
補正量を選ぶ

- 選ぶごとに補正量が切り替わります。



お知らせ

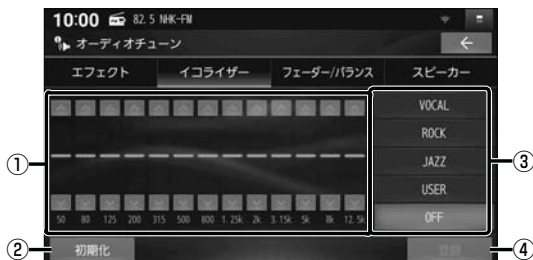
- 走行状態によっては、効果が大きくなる場合があります。
- 効果を大きく感じる場合は、より小さい補正量を選択してください。

音質・音場を調整する（オーディオチューン）

イコライザー設定の基本操作

オーディオチューン画面(P.114)から**イコライザー**を選ぶと、イコライザー設定画面が表示されます。

■ イコライザー設定画面



- ① 設定操作部
- ② お買い上げ時の設定に戻す
- ③ イコライザープリセット
- ④ 設定内容を登録

お知らせ

- オーディオOFFの状態では設定できません。

イコライザープリセットから設定する

あらかじめ設定されている内容呼び出して、かんたんに設定できます。

イコライザー設定画面から、呼び出したいイコライザープリセットを選ぶ

- **VOCAL**：中音域から高音域にかけて強調した音質
- **ROCK**：中音域をやや抑え、低音域・高音域を強調した音質
- **JAZZ**：中音域をやや抑え、低音域・高音域をやや強調した音質
- **USER**：手動でお好みに調整した音質（下記）
- **OFF**：フラットな音質（調整値 0 dB）

手動でイコライザーを設定する

手動でお好みの数値に設定することができます。

1 イコライザー設定画面から

USERを選ぶ

- **VOCAL** **ROCK** **JAZZ**の設定も、手動で変更できます。

2 周波数の値を▲ ▼で調整する

- 各周波数のスライダーをドラッグして調整することもできます。

3 調整が終わったら、**登録**を選ぶ

- 設定内容が登録されます。



お買い上げ時の設定に戻すには

イコライザー設定画面から
初期化 ▶ **はい**を選ぶ

フェーダー / バランスの出力レベルを設定する

オーディオチューン画面 (P.114) から **フェーダー/バランス** を選ぶと、フェーダー/バランス設定画面が表示されます。

フェーダー/バランス設定画面から
調整範囲を直接タッチして調整する

- ◀ ▶ ▲ ▼ で調整することもできます。
- **センター**：調整値が0 (中央)に戻ります。

お知らせ

- オーディオ OFF の状態では設定できません。

■ フェーダー/バランス設定画面



スピーカー設定の基本操作

スピーカー設定は車両に合わせて調整されていますので、通常はお客様による設定は必要ありません。備え付けの専用スピーカーから別のスピーカーに変更する場合には、お買い上げの販売店にご相談ください。

オーディオチューン画面 (P.114) から **スピーカー** を選ぶと、スピーカー設定画面が表示されます。

■ スピーカー設定画面



- ① 設定イメージ図
- ② 出力レベル設定に切替 (P.120)
- ③ ディレイ設定に切替 (P.120)
- ④ 設定操作部

お知らせ

- オーディオ OFF の状態では設定できません。

スピーカー出力レベルを設定する

- 1 ソースをFMまたはAMに切り替えて、放送局が無い周波数に合わせる
● ラジオの「ザー」という音が聞こえることを確認してください。

- 2 スピーカー設定画面から
出力レベルを選ぶ

- 3 **－** **＋**で、出力レベルを調整する

- 調整範囲: $-12\text{ dB} \sim \pm 0\text{ dB} \sim +12\text{ dB}$
- ラジオの「ザー」という音が、最も小さく聞こえるスピーカーを基準にして、他のスピーカーが同じ音量に聞こえるように調整してください。
- 各項目のスライダーをドラッグして調整することもできます。



スピーカーディレイを設定する

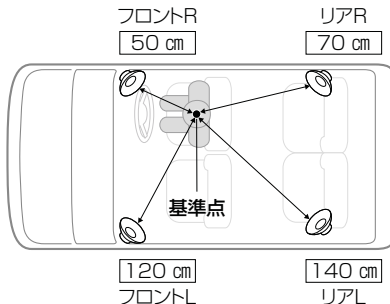
- 1 スピーカー設定画面から
ディレイを選ぶ

- 2 **－** **＋**で、ディレイを調整する

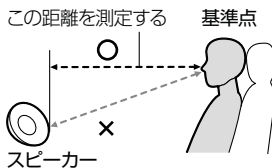
- 調整範囲: $0\text{ cm} \sim 100\text{ cm} \sim 500\text{ cm}$ (2 cm刻み)
- 距離を設定すると、基準点から最も離れたスピーカーに合わせて、他のスピーカーの音声出力タイミングを遅らせます。(10 cmあたり約0.3 ms)
- 各項目のスライダーをドラッグして調整することもできます。



- 視聴位置を基準点としてください。



- 距離は、水平に計測してください。



映像を調整する

1 画面調整(画質調整)画面が表示されるまで MAP を約2秒以上押す

- 調整したい映像を表示させてから、行ってください。
- ナビゲーション画面の画質調整は、システム情報・設定メニュー(P.19)から **画質調整** を選んでも調整できます。

2 映像を調整する

- 明るさ、コントラスト、色合い、色の濃さは、スライダーをドラッグして調整することもできます。

■ 画面調整(画質調整)画面



項 目	設定内容	
明るさ	● 調整範囲: 1～31 ■: 暗くなる ■+: 明るくなる CN-FZ10B7 [お買い上げ時の設定: 昼17 夜6] CN-FZ8B6 [お買い上げ時の設定: 昼24 夜8]	
コントラスト	● 調整範囲: 1～31 [お買い上げ時の設定: 16] ■: 明暗の差 小 ■+: 明暗の差 大	
色合い*1	● 調整範囲: 1～31 [お買い上げ時の設定: 16] ■: 緑みが強くなる ■+: 赤みが強くなる	
色の濃さ*1	● 調整範囲: 1～31 [お買い上げ時の設定: 16] ■: 薄くなる ■+: 濃くなる	
画面サイズ*2	アスペクト比を調整 ● ノーマル : 映像を 4: 3 で表示*3 (16: 9の映像は横方向に圧縮して表示されます) ● フル : 映像が画面全体で表示されるよう引きのばして表示 [お買い上げ時の設定] ● ワイド : 映像を 16: 9 で表示*3 (4: 3の映像は横方向に引きのばして表示されます) ※ 各オーディオの入力映像の縦横比によっては、設定を変更しても映像のサイズが変わらない場合があります。 ※ レコーダーリンク、カメラ、ドライブレコーダーは、映像のサイズを調整できません。	

3 OKを選ぶ

お知らせ

- 「明るさ」「コントラスト」「色合い」「色の濃さ」は、昼画面、夜画面でそれぞれ個別に設定できます。
- カメラ映像(バックアイカメラ/セレクトビューバックアイカメラ/全方位モニター*4、ナビ連動ドライブレコーダー)の画質も調整できます。
- 元の映像によっては、明るい部分の諧調表現がつぶれる場合があります。

- *1 「色合い」「色の濃さ」の調整ができる映像は、TV、SD(動画)、USB(動画)、レコーダーリンク、ネット動画、HDMI、およびカメラ、ドライブレコーダーです。
- *2 「画面サイズ」の変更ができる映像は、TV、SD(動画)、USB(動画)、HDMIです。
- *3 映像の比率が本機画面の比率と異なるため、画面の一部が黒く表示されます。
- *4 全方位モニターは調整の手順が異なる場合があります。車両のオーナーズマニュアルも併せてご確認ください。

お買い上げ時の設定に戻すには

画面調整(画質調整)画面から、**初期値**を選ぶ

現在地画面にオーディオの映像を表示する

現在地画面に、TV・SD(動画)・USB(動画)・レコーダーリンク・ネット動画・HDMIの映像を表示できます。

ランチャー(P.46)から

右画面表示 ▶ 映像を選ぶ

- 画面の右側にオーディオの映像が表示されます。
- オーディオの映像をタッチすると、全画面で表示されます。



お知らせ

- 走行中および拡大図表示中は、消去されて非表示になります。
- 表示の大きさや位置は変更できません。
- ハンズフリー通話時は右画面の映像が以下になりますが、故障ではありません。
 - ・SD(動画) / USB(動画) / ネット動画を表示している場合は静止画となります。
 - ・レコーダーリンクを表示している場合は黒い画面となります。

オーディオの映像を消去するには

ランチャー(P.46)から **右画面表示 ▶ OFF**を選ぶ

- オーディオの映像が消去されます。

ハンズフリー・スマホ連携

ハンズフリー	124
ハンズフリーで通話する	124
電話を受ける	124
通話中の操作	125
電話をかける	126
ハンズフリー通話の設定をする	127
スマホ連携	128
NaviConを利用する	128
「NaviCon」とは	128
スマートフォンをリモコンとして使う (CarAV remote S)	129
「CarAV remote S」とは	129
Apple CarPlay を利用する	130
Apple CarPlay とは	130
本機と iPhone をワイヤレスで接続する	130
本機と iPhone をUSB接続する	131
Apple CarPlay を起動する	132
Apple CarPlay の接続を切断する	133
Apple CarPlay の有効/無効を切り替える	134
iPhone の登録を消去する	134
Apple CarPlay の利用について	135
Android Auto を利用する	136
Android Auto とは	136
本機と Android スマートフォンをワイヤレスで接続する	136
本機と Android スマートフォンをUSB接続する	137
Android Auto を起動する	138
Android Auto の接続を切断する	139
Android Auto の有効/無効を切り替える	140
Android スマートフォンの登録を消去する	140
Android Auto の利用について	141

ハンズフリーで通話する

安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてご使用ください。

スマートフォンによっては、本書の説明どおりに動作しない場合があります。
スマートフォン側の操作はスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

準備

- スマートフォンを本機に登録し、ハンズフリー接続してください。(P.30)

お知らせ

- スマートフォンを待受画面にしないとハンズフリー通話ができない場合があります。
- スマートフォンによっては、本機とBLUETOOTH接続中に、スマートフォンを操作して電話をかけても(電話に出ても)ハンズフリー通話になる場合があります。
- BLUETOOTH Audio 再生とハンズフリーを同時に使用すると、それぞれの通信の状態(接続や音声など)が不安定になることがあります。
- オーディオの音声を出力中に電話がかかってくると、オーディオの音声を一時消音し、ハンズフリー画面に切り替わります。(SD、USB、BLUETOOTH Audio、iPod、レコーダーリンクは再生を一時停止します)通話が終了すると、音声の出力および再生を再開します。通話が終了しても映像は切り替わりません。AUDIO を押して切り替えてください。
- 割込通話や三者通話には対応していません。

■ 電話帳・発信履歴について

- スマートフォンを本機とハンズフリー接続すると、その時点の電話帳と発信履歴の情報が、自動的に本機に転送されます。手動で個別に選んで登録することはできません。(携帯電話データの自動同期→ P.127)
- 本機に登録された電話帳の内容(電話帳、氏名など)は、編集できません。電話帳の内容を変更するときは、スマートフォン側で編集してください。
- 電話帳は、2 000 件まで表示できます。また、電話番号は1 件につき5 つまで表示できます。
- 発信履歴は、発信履歴・着信履歴・不在着信でそれぞれ100 件ずつ表示できます。
- 本機と接続しているときにスマートフォンで電話帳の更新を行った場合は、本機側の電話帳には反映されません。接続が解除され、再度接続されたときに(本機の電源を切り、再度電源を入れたときなど)に反映されます。
- スマートフォンの設定などによっては転送できない場合があります。スマートフォン側の設定はスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

電話を受ける

電話がかかって来ると、自動的に着信画面が表示されます。

電話に出る を選ぶ

- かかってきた電話に応答します。
- 電話を切る を選ぶと、応答せずに終了します。

お知らせ

- スマートフォンの機種によっては、電話を切る を選んでも電話に出る場合があります。

■ 着信画面



通話中の操作

通話が始まると、通話中画面が表示されます。

- 通話が聞き取りやすいように、車の窓を閉めてください。
- 大きな声ではっきりと話してください。

■ 通話中画面



- ① 電話を切る
- ② テンキー(10キー)を表示
- ③ 送話音を消音
- ④ 通話切替(スマートフォン/ハンズフリー)
- ⑤ 通話相手の電話番号または氏名
- ⑥ 通話時間

一時的に送話音を消音する

■ ミュートを選ぶ

- 再度選ぶと、ミュートが解除されます。

トーン信号(ピッポッパ)を送る

プッシュホンサービスを利用する場合などに使用します。

1 キーパッドを選ぶ

- テンキー(10キー)が表示されます。

2 数字を選び、トーン信号を送る

通話をスマートフォンに切り替える

■ 携帯電話切替を選ぶ

- スマートフォンで通話できます。

■ ハンズフリー通話に戻るには ハンズフリー切替を選ぶ

電話を切る

■ 電話を切るを選ぶ

- 通話を終了します。

ハンズフリーで通話する

電話をかける

トップメニュー(P.18)または全機能一覧(P.20)から**ハンズフリー**を選ぶ

- ハンズフリー画面が表示されます。



電話帳から電話をかける

- 1 ハンズフリー画面から、**電話帳**を選ぶ
- 2 連絡先リストから、**電話をかける相手**を選ぶ
- 3 **電話番号**を選ぶ

- 選んだ電話番号に電話をかけます。

■ ハンズフリー画面(電話帳)



電話番号を入力して電話をかける

- 1 ハンズフリー画面から、**ダイヤル**を選ぶ
- 2 電話番号を入力し、**発信**を選ぶ
 - 選んだ電話番号に電話をかけます。
 - X** : 1文字削除

■ ハンズフリー画面(ダイヤル)



前回発信した番号に電話をかける（リダイヤル）

セレクトビューバックアイカメラおよび全方位モニターがどちらも接続されていない場合に操作できます。

準備

- オプションスイッチを「電話リダイヤル発信」に設定してください。（P.168）

1 OPT を押す

2 発信を選ぶ

- 前回発信した番号に電話をかけます。

発着信履歴から電話をかける

■ ハンズフリー画面（発着信履歴）



① 表示する履歴を選択

② 発着信履歴リスト

1 ハンズフリー画面（P.126）から、履歴を選ぶ

2 発着信履歴リストから、電話をかける相手を選ぶ

- 選んだ相手に電話をかけます。

■ 表示する履歴を選ぶには

ハンズフリー画面（発着信履歴）から、**発信履歴** **不在着信** **着信履歴** を選ぶ

ハンズフリー通話の設定をする

1 ハンズフリー画面（P.126）から、設定を選ぶ

2 各項目を設定する

[太字: お買い上げ時の設定]

項 目	設定内容
機器選択	ハンズフリー接続・BLUETOOTH Audio接続・Apple CarPlay の接続・Android Auto の接続をする機器を選択する（P.31）
携帯電話データの自動同期	「ON」: スマートフォンがハンズフリー接続または Android Auto の接続をしたとき、その時点の電話帳と発着信履歴の情報を自動的に本機に転送する 「OFF」: スマートフォンがハンズフリー接続または Android Auto の接続をしても、電話帳と発着信履歴の情報を本機に転送しない ● 「OFF」にすると、本機に転送された電話帳と発着信履歴の情報が消去されます。また、ハンズフリー画面の「履歴」「電話帳」を選択できなくなります。 ● 「OFF」から「ON」にした時点の電話帳と発着信履歴の情報がスマートフォンから本機に転送されます。（スマートフォン側で転送許可が必要な場合があります。）

NaviConを利用する

「NaviCon」とは

NaviConは多彩な連携アプリで探した行き先をワンタッチで本機に転送し、目的地に設定できるおでかけサポートアプリです。

- アプリの入手方法や対応スマートフォンなど、詳細は下記サイトをご覧ください。
NaviConサポートサイト: <https://navicon.com/>



準備

- アプリ「NaviCon」をスマートフォンにインストールしてください。(無料)
- スマートフォンを本機にBLUETOOTH機器登録し、ハンズフリー接続してください。(P.30)

お知らせ

- ご利用時には通信費用がかかります。
- iPod または iPhone をP.102やP.162のようにケーブルで接続している場合は、iPhone ではNaviConを利用できません。iPod または iPhone を取り外してください。
- Apple CarPlay の接続をしている場合は、NaviConを利用できません。

「NaviCon」で検索した地点を本機に送信する

スマートフォンで「NaviCon」から地点を検索し、目的地として本機に送信する

- 本機で地点情報を受信し、現在地から受信した地点までのルートが探索されます。
ルート探索が完了すると、全ルート図が表示されます。(P.66)

■「NaviCon」のルート探索について

- ルートが設定されている場合は、前のルートは消去されます。
- スマートフォンから受信した地点は、本機の検索履歴(P.62)に保存されます。
登録地(P.75)には保存されません。

「NaviCon」で本機の地図の位置を変更する

1 本機の現在地画面または地図モード画面を表示させる

2 スマートフォンで「NaviCon」の地図をスクロールする

- 「NaviCon」でスクロールさせた地点の地図が、本機の地図画面に表示されます。

「NaviCon」で本機の地図の縮尺を変更する

1 本機の現在地画面または地図モード画面を表示させる

2 スマートフォンで「NaviCon」の地図の縮尺を変更する

- 本機の地図の縮尺が、「NaviCon」で変更した縮尺に切り替わります。

■「NaviCon」での地図操作(位置・縮尺の変更)について

- 縮尺は、30 m / 37.5 m / 50 m / 100 m / 200 m / 500 m / 1 km / 2.5 km / 5 km / 10 km / 25 km / 100 km / 250 kmのいずれかに切り替わります。
- 「NaviCon」で250 kmよりも広域な縮尺に切り替えた場合、本機の地図は250 km縮尺に切り替わります。30 mよりも詳細な縮尺に切り替えた場合、本機の地図は30 m縮尺に切り替わります。

スマートフォンをリモコンとして使う (CarAV remote S)

「CarAV remote S」とは

CarAV remote S は当社が提供するスマートフォンアプリです。
スマートフォンで本機のオーディオ機能を操作できます。

- 詳細は下記サイトをご覧ください。

<https://panasonic.jp/car/navi/caravremoteS/>

アプリの
ダウンロードは
こちらから



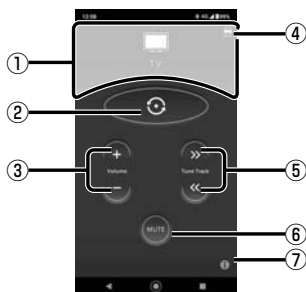
準備

- アプリ「CarAV remote S」をスマートフォンにインストールしてください。(無料)
- スマートフォンを本機に BLUETOOTH 機器登録し、ハンズフリー接続してください。(P.30)

お知らせ

- iPod または iPhone を P.102 や P.162 のようにケーブルで接続している場合は、iPhone では CarAV remote S を利用できません。iPod または iPhone を取り外してください。
- Apple CarPlay の接続をしている場合は、CarAV remote S を利用できません。

■ CarAV remote S 操作画面



- ① オーディオ表示部
- ② オーディオソースの選択 / Android Auto の Google アシスタント (音声アシスタント) 起動
- ③ 音量調整
- ④ 接続状態 Connected: 接続済
Disconnected: 未接続
- ⑤ 頭出し / 選局 / 早送り・早戻し
- ⑥ 消音
- ⑦ アプリ情報
バージョン情報・利用規約・操作ガイドなどを見ることができます。

オーディオのソースを選ぶ

オーディオ表示部を右から左にフリックする
または

🔍 をタッチする

- 操作するごとに、オーディオのソースが切り替わります。切り替わりかたは、ステアリングオーディオスイッチの MODE を操作したときと同じです。(P.86)

Android Auto の Google アシスタント (音声アシスタント) を起動する

🔍 を 0.5 秒以上タッチする

- Google アシスタントを起動します。

音量を調整する

- **+** **-** をタッチする
 - **+**: 大きくなる
 - **-**: 小さくなる

オーディオの音声を消音する(ミュート)

MUTE をタッチする

- 再度タッチすると、解除されます。

頭出し / 選局

⏮ ⏭ をタッチする

- ⏭: 送り方向
- ⏮: 戻し方向

- **[FM] [AM]** で「ピッ」と音が鳴るまでタッチし続けると、シーク選局します。

早送り・早戻し

⏮ ⏭ をタッチし続ける

- ⏭: 送り方向
- ⏮: 戻し方向

- 離すと通常の再生に戻ります。

お知らせ

- **[USB] [SD]** では、早送り・早戻しできません。約 0.5 秒以上タッチすると、アルバム・フォルダが切り替わります。

Apple CarPlay を利用する

Apple CarPlay とは

Apple CarPlay は車の中で iPhone を使うための、より優れた、より安全なシステムです。運転中に iPhone でしたいことを、カーナビゲーションの画面で操作できます。また、Siri (音声アシスタント) を使って、行き方を調べる、電話をかける、メッセージを送受信する、音楽を再生することなどができます。

- Apple CarPlay については、下記サイトや iPhone の説明書などをご覧ください。
<https://www.apple.com/jp/ios/carplay/>

お知らせ

- ご利用時には通信費用がかかります。
- iPhone の動作についてはすべてを保証するものではありません。
iPhone の機種や状態、電波状態などによって動作が制限される場合があります。
- 走行中は動作が制限される場合があります。
- Apple CarPlay 用の機器として本機に登録できるのは、ワイヤレス接続・USB 接続あわせて 6 台までです。
- Apple CarPlay は Apple Inc. が提供するアプリケーションであり、各機能は予告なく変更・終了することがありますので、あらかじめご了承ください。

本機と iPhone をワイヤレスで接続する

準備

- iPhone 側の設定を、Apple CarPlay を使用する設定にしてください。

1 本機に iPhone を BLUETOOTH 機器登録する (P.30)

- P.30 手順4で Apple CarPlay の利用の確認画面が表示されたら、**はい**を選んでください。

2 iPhone に表示される内容を確認し、画面の指示に従って iPhone を操作する

- 自動的に Apple CarPlay が起動し、Apple CarPlay の画面が本機に表示されます。
- Apple CarPlay の画面は、iPhone の種類やアプリのバージョンにより異なります。
- 接続が完了すると、本機の Wi-Fi モード (P.35) は自動的にアクセスポイントモードに設定され、ステーションモードでの接続は切断されます。
- ワイヤレス接続されている iPhone を本機と USB 接続すると、Apple CarPlay はワイヤレス接続のままで iPhone が充電されます。

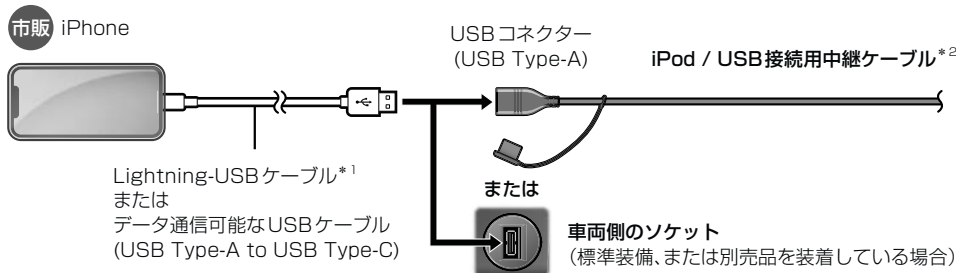
本機と iPhone を USB 接続する

準備

- iPhone 側の設定を、Apple CarPlay を使用する設定にしてください。

1 下図のとおり接続する

- コネクタの向きに注意して確実に差し込んでください。
- iPhone がロック画面のときは、ホーム画面を表示してください。



- * 1 純正品以外を使用すると、正しく動作しない場合があります。
 - コネクタの形が適合し、データ通信できるケーブルを使用してください。
 - データ通信できないケーブル (充電専用品など) では、Apple CarPlay を利用できません。
- * 2 グローブボックス等から出ている付属の iPod / USB 接続用中継ケーブルに接続してください。(ケーブルの設置場所は、車種により異なります。)

初回接続時のみ下記手順を行ってください

2 メッセージの内容を確認し、**はい**を選ぶ

- Apple CarPlay 用の機器として、本機に登録されます。
- 「このデバイスで Apple CarPlay の使用」は「有効」に設定されます。(P. 134)
- **いいえ**を選んだ場合は、Apple CarPlay 用の機器として本機に登録されず、登録を中止します。
- すでに6台登録されているときは、登録できません。
メッセージが表示された場合は**はい**を選んで登録済の機器を消去してください。

3 iPhone に表示される内容を確認し、画面の指示に従って iPhone を操作する

- 自動的に Apple CarPlay が起動し、Apple CarPlay の画面が本機に表示されます。
- Apple CarPlay の画面は、iPhone の種類やアプリのバージョンにより異なります。
- 本機が iPhone と BLUETOOTH 接続している場合は、Apple CarPlay の接続が完了すると切断されます。

お知らせ

- iPhone と本機を USB 接続した後、iPhone 側でワイヤレス接続を許可すると、ワイヤレス接続のための BLUETOOTH 機器登録が自動的に行われます。
ただし、機器登録後も Apple CarPlay への USB 接続が維持されます。

※ iOS のバージョンによっては自動登録を利用できない場合があります。

Apple CarPlay を起動する

トップメニュー(P.18)または全機能一覧(P.20)から **Apple CarPlay** を選ぶ

- Apple CarPlay の画面が本機に表示されます。
- Apple CarPlay の画面は、iPhone の種類やアプリのバージョンにより異なります。
- 本機が iPhone と Apple CarPlay の接続がされていないときは、**Apple CarPlay** は暗い色で表示されます。この状態で **Apple CarPlay** を選ぶと、iPhone 選択画面(P.133)が表示されます。Apple CarPlay 用の iPhone が登録されていないときは、BLUETOOTH接続待機画面(P.30)が表示されます。

Siri (音声アシスタント) を起動する

Apple CarPlay 以外の画面からも操作できます。

MENU を 0.5 秒以上押す

- オーディオが Apple CarPlay に切り替わり、Siri が起動します。
- Apple CarPlay の接続がされていない状態で 0.5 秒以上押すと、BLUETOOTH 接続待機画面(P.30)が表示されます。

Apple CarPlay 再生画面から音楽を再生する

オーディオソース一覧(P.86)から、**Apple CarPlay** を選ぶ

または、**OPT** を押して切り替える*¹

または、ステアリングオーディオスイッチの **MODE** を押して切り替える

- Apple CarPlay の音楽再生画面が表示されます。

*¹ セレクトビューバックアイカメラおよび全方位モニターがどちらも接続されていない場合に操作できます。オプションスイッチ設定を「AV ソース切替」に設定してください。(P.168)

■ **OPT** またはステアリングオーディオスイッチの **MODE** を押して
Apple CarPlay に切り替えた場合、下記の画面が表示されます。



- ① アルバムアートワーク*²
- ② オーディオの設定などを表示
- ③ アルバム名・アーティスト名・曲名
- ④ 順不同に再生 (ランダム)
- ⑤ 繰り返し再生 (リピート)
- ⑥ 頭出し / 早送り・早戻し
- ⑦ 再生 / 一時停止
- ⑧ スマートフォンアプリ側の
Apple CarPlay の AV 再生画面に
切り替え

*² ジャケット写真が設定されたファイルを再生すると表示されます。
画像データのサイズが大きいと表示されない場合があります。未設定の場合は  が表示されます。

Apple CarPlay の画面から本機の画面に切り替える

MAP または MENU を押す

- MAP を押すと Apple CarPlay 利用中であっても、Apple CarPlay の地図画面の現在地ではなく、本機の地図画面の現在地を表示します。

■ 地図画面への切り替えについて

本機および iPhone (Apple CarPlay) の状態に応じて、ヘッダーのタッチキー表示 (P.48) から **MAP** を選んだときに切り替わる地図画面が異なります。

- Apple CarPlay のルート案内中: Apple CarPlay の地図画面に切り替わります。
- 本機のルート案内中: 本機の現在地画面に切り替わります。
- ルート案内していないとき: 前回表示していた地図画面に切り替わります。

Apple CarPlay の接続を切断する

Apple CarPlay の接続中は、iPhone を iPod として使用できません。
Apple CarPlay の接続を切断すると、iPhone を iPod として使用できるようになります。

1 スマートフォン接続設定メニュー (P.19) から、**Apple CarPlay 設定** を選ぶ

2 接続を切断する iPhone の

切断 を選ぶ

- iPhone の Apple CarPlay の接続が切断されます。
- **接続** を選ぶと、再接続されます。
- 上記操作で接続を切断すると、本機を再起動したときに Apple CarPlay の接続は行いません。
- 接続されていない iPhone の **接続** を選ぶと、選んだ iPhone との Apple CarPlay の接続を行います。それまで接続されていた iPhone との接続は切断されます。
- Apple CarPlay 設定画面 (P.134) から **切断** を選んでも切断できます。

■ iPhone 選択画面



Apple CarPlay の有効 / 無効を切り替える

1 iPhone 選択画面 (P.133) から、Apple CarPlay の有効 / 無効を切り替えたい iPhone を選ぶ

2 「このデバイスで Apple CarPlay の使用」を設定する

- **有効** : iPhone を Apple CarPlay 用の機器として使用する
- **無効** : iPhone を iPod として使用する
- 接続中の機器の設定を「無効」から「有効」に変更した場合は、引き続き**接続**を選んで Apple CarPlay の接続をしてください。

■ Apple CarPlay 設定画面



iPhone の登録を消去する

Apple CarPlay 用の機器として登録できるのは、6 台までです。

上限まで登録された状態で、新たに iPhone を Apple CarPlay の接続をする場合は、登録された機器を消去してください。

1 iPhone 選択画面 (P.133) から、消去したい iPhone を選ぶ

2 Apple CarPlay 設定画面 (上記) から、**消去** ▶ **はい** を選ぶ

- 選んだ iPhone が消去されます。

Apple CarPlay の利用について

Apple CarPlay の接続中は下記の機能は使用できません。

- 本機の iPod 再生機能
- 本機と Apple CarPlay の接続をした iPhone のBLUETOOTH接続を利用した機能（ワイヤレス接続した Apple CarPlay の機能を除く）
- Apple CarPlay のワイヤレス接続中の、本機をWi-Fi経由でインターネットに接続する機能（ワイヤレス接続中の Apple CarPlay の機能を除く）

お知らせ

- iPhone が正しく動作しないときは、本機から iPhone を取り外して電源を入れなおし、再度接続してください。
- Apple CarPlay で地図を表示させたり、ルートを探索する場合は、本機の地図データは使用しません。
- 本機のルート案内中に、Apple CarPlay でルートを設定すると、本機のルート案内は停止します。
- Apple CarPlay は、後席用モニターに出力できません。
- Apple CarPlay で音楽再生中に車のエンジンを切り (ACC OFF)、再度エンジンをかけると (ACC ON)、曲が自動で再生されない場合があります。
そのときは、手動で操作して再生してください。
- Apple CarPlay のルート案内が終了しても、本機の割込み案内を行わない場合があります。
そのときは、本機でルートを設定するか、または、Apple CarPlay の地図画面上に表示される「経路を終了」を選んでください。
- USB接続した場合、Apple CarPlay の接続を切断、または iPhone の登録を消去しても、本機とUSB接続している間は、iPhone は充電されます。
また、iPod として使用することはできます。(P.102)
- USB接続している場合でも、iPhone の動作状態によっては、充電に時間がかかる、または充電されない場合があります。
- Apple CarPlay の接続中は、iPhone が受信した時刻がヘッダーに表示されます。(P.48)

Android Auto を利用する

Android Auto とは

Android Auto は使い慣れたアプリやサービスをカーナビゲーションの画面で利用できるシステムです。

必要な情報を運転中でも安全かつ簡単に入手できるよう設計されています。

ナビ、音楽、電話、SMSのアプリに簡単にアクセスできます。タッチパネルのほか、音声認識での簡単な操作もできるので、運転に集中したままご利用いただけます。

- Android 11 以降、最新バージョンのOSを搭載した Android スマートフォンをご用意ください。

※ OS およびファームウェアは最新バージョンをご使用ください。

バージョンによっては動作しない場合があります。

- 使用するスマートフォンが Android Auto に対応しているかどうかをご確認ください。

- スマートフォンの説明書などをご覧ください。

<https://www.android.com/auto/>

お知らせ

- ご利用時には通信費用がかかります。
- Android スマートフォンの動作についてはすべてを保証するものではありません。
Android スマートフォンの機種や状態、電波状態によって動作が制限される場合があります。
- 走行中は動作が制限される場合があります。
- Android Auto 用の機器として本機に登録できるのは、ワイヤレス接続・USB接続あわせて6台までです。
- Android Auto は Google LLC が提供するアプリケーションであり、各機能は予告なく変更・終了することがありますので、あらかじめご了承ください。
- Android Auto アプリの制約により、音楽再生などの操作に制限がかかる場合があります。

本機と Android スマートフォンをワイヤレスで接続する

準備

- Android スマートフォンの「位置情報」の設定をONにしてください。

1 本機に Android スマートフォンを BLUETOOTH 機器登録する (P.30)

- P.30 手順4で Android Auto の利用の確認画面が表示されたら、**はい**を選んでください。

2 Android スマートフォンに表示される内容を確認し、画面の指示に従って Android スマートフォンを操作する

- 自動的に Android Auto が起動し、Android Auto の画面が本機に表示されます。
- Android Auto の画面は、Android スマートフォンの種類やアプリのバージョンにより異なります。
- 接続が完了すると、本機の Wi-Fi モード (P.35) は自動的にアクセスポイントモードに設定され、ステーションモードでの接続は切断されます。
- ワイヤレス接続されている Android スマートフォンを USB 接続すると、Android Auto はワイヤレス接続のままで Android スマートフォンが充電されます。

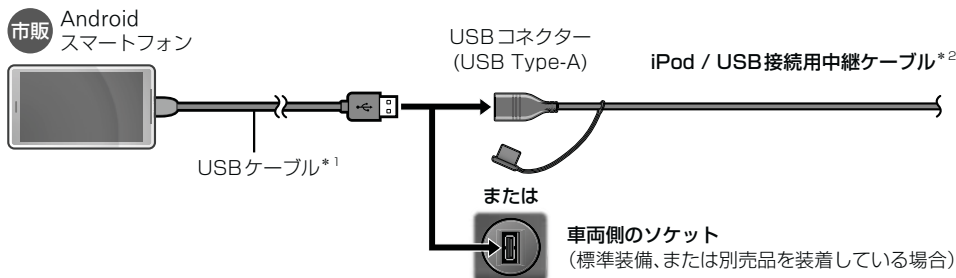
本機と Android スマートフォンを USB 接続する

準備

- Android スマートフォンの「位置情報」の設定をONにしてください。

1 下図のとおり接続する

- コネクタの向きに注意して確実に差し込んでください。
- Android スマートフォンがロック画面のときは、ホーム画面を表示してください。



- * 1 Android スマートフォンに付属、または Android スマートフォン用として推奨されている市販のUSBケーブル
 - コネクタの形が適合し、データ通信できるケーブルを使用してください。
 - データ通信できないUSBケーブル(充電専用品など)では、Android Auto を利用できません。
- * 2 グローブボックス等から出ている付属の iPod / USB接続用中継ケーブルに接続してください。(ケーブルの設置場所は、車種により異なります。)

初回接続時のみ下記手順を行ってください

2 メッセージの内容を確認し、**はい**を選ぶ

- Android Auto 用の機器として、本機に登録されます。
- 「このデバイスで Android Auto の使用」は「有効」に設定されます。(P.140)
- **いいえ**を選んだ場合は、Android Auto 用の機器として本機に登録されず、登録を中止します。
- すでに6台登録されているときは、登録できません。
メッセージが表示された場合は**はい**を選んで登録済の機器を消去してください。

3 Android スマートフォンに表示される内容を確認し、画面の指示に従って Android スマートフォンを操作する

- 自動的に Android Auto が起動し、Android Auto の画面が本機に表示されます。
- Android Auto の画面は、Android スマートフォンの種類やアプリのバージョンにより異なります。
- 本機が Android スマートフォンとBLUETOOTH接続している場合は、Android Auto の接続が完了すると切断されます。

お知らせ

- Android スマートフォンと本機をUSB接続すると、BLUETOOTH機器登録が自動的に行われます。ただし、機器登録後も Android Auto へのUSB接続が維持されます。通話機能には、BLUETOOTH通信を利用します。

Android Auto を利用する

Android Auto を起動する

トップメニュー(P.18)または全機能一覧(P.20)から**Android Auto**を選ぶ

- Android Auto の画面が本機に表示されます。
- Android Auto の画面は、Android スマートフォンの種類やアプリのバージョンにより異なります。
- 本機が Android スマートフォンと Android Auto の接続がされていないときは、**Android Auto** は暗い色で表示されます。この状態で**Android Auto**を選ぶと、Android スマートフォン選択画面(P.139)が表示されます。Android Auto 用の Android スマートフォン が登録されていないときは、BLUETOOTH接続待機画面(P.30)が表示されます。BLUETOOTH設定画面(P.30)が表示されます。

Google アシスタント (音声アシスタント) を起動する

Android Auto 以外の画面からも操作できます。

MENU を 0.5 秒以上押す

- オーディオが Android Auto に切り替わり、Google アシスタントが起動します。
- Android Auto の接続がされていない状態で 0.5 秒以上押すと、BLUETOOTH接続待機画面(P.30)が表示されます。

Android Auto 再生画面から音楽を再生する

オーディオソース一覧(P.86)から、**Android Auto**を選ぶ

または、**OPT** を押して切り替える*1

または、ステアリングオーディオスイッチの **MODE** を押して切り替える。

- Android Auto の音楽再生画面が表示されます。

*1 セレクトビューバックアイカメラおよび全方位モニターがどちらも接続されていない場合に操作できます。オプションスイッチ設定を「AVソース切替」に設定してください。(P.168)

■ **OPT** またはステアリングオーディオスイッチの **MODE** を押して

Android Auto に切り替えた場合、下記の画面が表示されます。



- ① アルバムアートワーク*2
- ② オーディオの設定などを表示
- ③ アルバム名・アーティスト名・曲名
- ④ 頭出し/早送り・早戻し
- ⑤ 再生/一時停止
- ⑥ スマートフォンアプリ側の Android Auto のAV再生画面に切り替え

*2 ジャケット写真が設定されたファイルを再生すると表示されます。画像データのサイズが大きいと表示されない場合があります。未設定の場合は が表示されます。

Android Auto の画面から本機の画面に切り替える

MAP または **MENU** を押す

- **MAP** を押すと Android Auto 利用中であっても、Android Auto の地図画面の現在地ではなく、本機の地図画面の現在地を表示します。

Android Auto の接続を切断する

1 スマートフォン接続設定メニュー(P.19)から、**Android Auto 設定**を選ぶ

2 接続を切断する Android スマートフォンの **切断**を選ぶ

- Android スマートフォンの Android Auto の接続が切断されます。
- **接続**を選ぶと、再接続されます。
- 上記操作で接続を切断すると、本機を再起動したときに Android Auto の接続は行いません。
- 接続されていない Android スマートフォンの **接続**を選ぶと、選んだ Android スマートフォンとの Android Auto の接続を行います。それまで接続されていた Android スマートフォンとの接続は切断されます。
- Android Auto 設定画面(P.140)から **切断**を選んででも切断できます。

■ Android スマートフォン選択画面



Android Auto の有効 / 無効を切り替える

1 Android スマートフォン選択画面 (P.139) から、Android Auto の有効/無効を切り替えたい Android スマートフォンを選ぶ

2 「このデバイスで Android Auto の使用」を設定する

- 有効：Android Auto が有効になる
- 無効：Android Auto が無効になる
- 接続中の機器の設定を「無効」から「有効」に変更した場合は、引き続き **接続** を選んで Android Auto の接続をしてください。

■ Android Auto 設定画面



Android スマートフォンの登録を消去する

Android Auto 用の機器として登録できるのは、6 台までです。
上限まで登録された状態で、新たに Android スマートフォンの Android Auto の接続をする場合は、登録された機器を消去してください。

1 Android スマートフォン選択画面 (P.139) から、消去したい Android スマートフォンを選ぶ

2 Android Auto 設定画面 (上記) から、**消去** ▶ **はい** を選ぶ

- 選んだ Android スマートフォンが消去されます。

Android Auto の利用について

Android Auto の接続中は下記の機能は使用できません。

- 本機の iPod 再生機能
- Android Auto のワイヤレス接続中の、本機を Wi-Fi 経由でインターネットに接続する機能（ワイヤレス接続中の Android Auto の機能を除く）

お知らせ

- Android スマートフォンが正しく動作しないときは、本機から Android スマートフォンを取り外して電源を入れなおし、再度接続してください。
- Android Auto で地図を表示させたり、ルートを探索する場合は、本機の地図データは使用しません。
- 本機のルート案内中に、Android Auto でルートを設定すると、本機のルート案内は停止します。
- Android Auto は、後席用モニターに出力できません。
- Android Auto で音楽再生中に車のエンジンを切り (ACC OFF)、再度エンジンをかけると (ACC ON)、曲が自動で再生されない場合があります。そのときは、手動で操作して再生してください。
- Android Auto のルート案内が終了しても、本機の割込み案内を行わない場合があります。そのときは、本機でルートを設定するか、または、Android Auto の地図画面上に表示される完了ボタンを選んでください。

その他

その他の機能

144

車両メンテナンスの通知を設定する.....	144
本機の情報を確認する.....	145
製造番号・バージョン・更新期限などを確認する.....	145
端末情報を確認する.....	145
無料地図更新について(ダウンロード更新).....	146
本機のデータを更新する.....	147
データ更新時の留意点.....	147
パソコン(microSDカード)でソフトウェアを更新する.....	147
パソコン(microSDカード)で地図を更新する.....	148
インターネット接続してソフトウェア・地図を更新する(オンラインバージョンアップ).....	149

外部機器・連携

150

ETC車載器/ETC2.0車載器と接続して使う.....	150
ETCについて.....	150
ETC2.0について.....	150
料金履歴を見る.....	151
ETC管理情報を見る.....	151
カメラと組み合わせる.....	152
カメラ使用時の留意点.....	152
全方位モニター.....	152
セレクトビューバックアイカメラ.....	152
バックアイカメラ.....	152
カメラ映像の画質を調整する.....	152
ナビ連動ドライブレコーダーと組み合わせる.....	153
常時録画(動画).....	153
駐車録画(動画).....	154
監視録画(動画).....	154
後方検知録画(動画).....	155
手動録画・静止画撮影.....	155
ドライブレコーダーの基本操作.....	156
ドライブレコーダーのカメラの映像を見る.....	156
手動で動画を録画する.....	157
手動で静止画を撮影する.....	157
ドライブレコーダーの設定をする.....	158
動画・静止画を再生する.....	160
HDMI [®] 入力映像を見る.....	162
後席用のモニターで本機の映像を見る.....	163
車両連携.....	164
緊急通報サービスとの連携.....	164

設定

165

利用に応じた設定に変える	165
地図表示に関する設定	165
ルート探索に関する設定	165
ルート案内に関する設定	166
渋滞情報案内 (VICS) に関する設定	167
ETC 情報の案内に関する設定	167
本機のシステムに関する設定・確認	168
各種設定をお買い上げ時の状態に戻す	169

困ったとき

170

故障かな!?と思ったら	170
よくあるお問い合わせ	170
● 電源・共通	171
● ナビゲーション	173
● オーディオ [TV]	174
● オーディオ [FM][AM]	175
● オーディオ [SD]/[USB]	175
● オーディオ [iPod]	176
● オーディオ [レコーダーリンク]	176
● オーディオ [ネット動画]	176
● BLUETOOTH	177
● Wi-Fi	181
● Apple CarPlay	181
● Android Auto	182
● HDMI	182
● ドライブレコーダー	183
● ソフトウェア・地図更新	183
● こんなメッセージが出たときは	183

必要なとき

188

文字入力のかた	188
SDカード・USBメモリーについて	190
データ作成時の留意点	191
無線通信について	196
テレビ・ラジオの受信について	198
ナビゲーションシステムとは	199
VICSについて	202
地図ソフトについて	204
地図上に表示される主なマーク	205
さくいん	206
商標・ライセンスなど	212
仕様	214
ソフトウェア、およびオープンソースソフトウェアについて	216
保証とアフターサービス	217
ステアリングオーディオスイッチの操作について	218

その他の機能

外部機器・連携

設定

困ったとき

必要なとき

車両メンテナンスの通知を設定する

GPSからの日付情報と車速信号を使用して車のエンジンオイルや消耗部品の交換時期などを通知します。

1 システム情報・設定メニュー(P.19)から、**メンテナンス通知設定**を選ぶ

2 通知する項目の**ON**を選ぶ

- 設定項目[お買い上げ時の設定: OFF]
 - ・車検
 - ・定期点検
 - ・エンジンオイル交換
 - ・エンジンオイルフィルター交換
 - ・エアエレメント交換
 - ・エアコンフィルター交換
 - ・発炎筒交換
 - ・パンク修理剤交換
 - ・カスタマイズ1~3
- すでに条件が設定済みの場合は、変更したい項目の**>**を選んでください。
- OFF**▶ **はい**を選ぶと、設定が解除されます。

■ メンテナンス通知設定画面



3 通知する条件を選ぶ

- **日付で設定**: 設定した日付になると通知する
- **距離で設定**: 設定した時点以降に設定した距離を走行すると通知する

4 通知する日付または距離を設定して**決定**を選ぶ

- 距離の設定範囲:
500 km~20 000 km(500 kmステップ)
- カスタマイズ1~3を設定する場合は、名称を変更できます。
 - ・全角12文字(半角24文字)まで
 - ・文字入力のしかた→P.188



メンテナンスの通知について

■ 日付で設定した場合

設定した日付の1か月前以降の初回起動時に一度だけ通知されます。
設定した日付以降は、毎日初回起動時に通知されます。

■ 距離で設定した場合

設定した距離まであと500 km以下になると、初回起動時に一度だけ通知されます。
設定した距離以上走行すると、毎日初回起動時に通知されます。

■ メンテナンス通知(例: 車検)



メンテナンス通知を閉じる

お知らせ

- 通知するメンテナンス時期はあくまでも目安です。実際にメンテナンスが必要な時期は車の使用状況によって異なる場合があります。
- メンテナンス通知で計測される走行距離と実際の走行距離は異なる場合があります。
- 毎日初回起動時にメンテナンス通知されるのを止めるには、設定を解除するか、条件の日付または距離を変更してください。

本機の情報を確認する

製造番号・バージョン・更新期限などを確認する

本機の子機ID・製造番号や、各種ソフトウェアのバージョンを確認できます。

1 システム情報・設定メニュー(P. 19)から、バージョン情報を選ぶ

2 各種情報を確認する

- 子機ID
- 製造番号
- ソフトバージョン
- 地図データバージョン
 - ・道路地図: 道路地図データ
 - ・画像: 案内画像データ
 - ・音声: 音声案内データ
 - ・索引: 索引データ(地点検索)
 - ・市街図: 市街地図データ
- 地図更新期限
- ドライブレコーダーバージョン



端末情報を確認する

本機の端末情報を確認できます。

1 システム情報・設定メニュー(P. 19)から、端末情報を選ぶ

2 端末情報を確認する

- 端末の状態
 - ・IPアドレス
 - ・Wi-Fi MACアドレス
 - ・稼働時間
 - ・位置情報
- 法的情報: 各種ライセンス情報など
- モデル番号: 本機の機種品番
- Android バージョン
- カーネル バージョン
- ビルド番号



無料地図更新について(ダウンロード更新)

ダウンロード更新を選択した場合は、パソコンまたはWi-Fi機器(スマートフォン、モバイルWi-Fiルーターなど)を使用して、お客様ご自身で地図データをダウンロードする更新を最長5年間ご利用いただけます。詳しくは、別添のチラシおよびWebサイトをご覧ください。 <https://panasonic.jp/car/navi/genuine/>
※ インターネットを利用できる環境などが必要です。通信費用はお客様のご負担となります。

- 「SDカードの送付」をご希望の場合は、別添のチラシをご覧ください。
- データ更新の手順については、P.148、149をご覧ください。
- 年度更新版地図の販売については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

■お申し込み方法

本機の利用登録を行う際に、オンラインバージョンアップ確認画面に表示される二次元コードをスマートフォンで読み取ってWebサイトにアクセスし、案内に従ってお申し込みください。(P.23)

- パソコン(Windows[®])で、専用のアプリ「地図更新アプリ2」から申し込むこともできます。
- お申し込みは、スマートフォン/パソコンのいずれかから1回行えば完了します。以降は、登録したアカウント情報を使用してスマートフォン・パソコンのどちらからも無料地図更新サービスを利用できます。

■申込受付期限: 本製品の使用開始日から最大5年後まで

- 使用開始日の判定は自動的に行われ、無料地図更新期限が設定されます。お申し込みが遅くなると、ご利用いただける期間が短くなりますのでご注意ください。

■利用可能期間: 本製品の使用開始日から最大5年間

- お申込み日から5年間ではありません。
使用開始日から5年未満でも、データ提供期限にて終了いたします。
(無料地図更新期限を確認するには→P.145)
- 更新データの配信予定時期については、Webサイトをご覧ください。
(配信は延期・中止される場合があります。)
- 部分地図更新: 期間中 最大30回(年6回)可能
- 全地図更新: 期間中 最大2回可能

■更新範囲

○ 更新されます × 更新されません

内容	種別	全地図更新	部分地図更新
道路地図(縮尺50m～250km、細街路含む)※逆走検知データを含む		○	○
案内画像(3D交差点・ジャンクションビュー・方面看板など)		○	○
音声案内		○	○
索引(地点検索・施設情報・電話番号情報など)		○	○
市街地図		○	×

※ ソフトウェア更新がある場合は、併せて更新されます。

■データサイズの目安

定期的に更新している場合の目安です。実際のサイズは、更新の頻度などにより異なります。

	内容(提供頻度)	容量
部分更新	道路データ(2か月ごと)*1	35 MB
	索引データ(4か月ごと)	600 MB
	全地図更新(年1回)	7 GB
	ソフトウェア更新(不定期)	200 MB

* 1 逆走検知データは4か月ごとに更新

本機のデータを更新する

データ更新時の留意点

- 車のバッテリーがあがるおそれがあるため、必ずエンジンをかけた状態で更新作業を行ってください。また、アイドリングストップ搭載車の場合、作業前にアイドリングストップ機能をOFFにしてください。
- 更新データ書き込み中は、絶対に車のエンジンを止めないでください。故障の原因となります。

パソコンを使用して更新するときは → P.147 ~ 148

microSDカードを利用してソフトウェア・地図の更新をします。

地図データ更新には、下記環境が必要です。

- 対応パソコン(OS): Windows 11
- Microsoft® .NET Framework 4.8のインストール
- SD規格に準拠した16 GB以上のmicroSDカード
- 専用のアプリ「**地図更新アプリ2**」
Webサイトからダウンロードして、インストールしてください。
<https://panasonic.jp/car/navi/genuine/>
※「地図更新アプリ」は、本製品ではご使用になれません。

本機をWi-Fi経由でインターネット接続して更新するときは → P.149

Wi-Fi機器(スマートフォン、モバイルWi-Fiルーターなど)と本機をWi-Fi接続し、Web上のサーバーにアクセスしてデータをダウンロードして更新します。

- 地図データは大容量のため、ダウンロードに時間がかかる場合があります。
- Wi-Fi接続をする際は、必ずWi-Fi機器の電池残量を確認してください。
- 更新データのダウンロード中に車のエンジンを切ってしまったときは
再度エンジンをかけ、Wi-Fi接続した後にダウンロード再開の確認のメッセージが表示されたら「はい」を選んでください。更新データのダウンロードを再開できる場合があります。

パソコン (microSD カード) でソフトウェアを更新する

詳しくは、Web サイトをご覧ください。 <https://panasonic.jp/car/navi/genuine/>

1 パソコンでWebサイトから更新データ(zipファイル)をダウンロードする

2 ダウンロードしたデータを解凍し、microSDカードに保存する

- 解凍してできたフォルダのまま、microSDカードのルートフォルダに保存してください。

3 更新データを保存したmicroSDカードを本機に挿入する (P.96)

- ステータスバーにが表示されます。

4 システム情報・設定メニュー(P.19)から、 **ソフトウェア・地図 更新 ▶ 更新 ▶ はい ▶ 更新する**を選ぶ

- 更新を開始します。更新中は、本機を操作できません。
- 途中で黒い画面が約1分~2分間表示されたり、何度か再起動する場合があります。

5 更新完了のメッセージが表示されたら、**OK**を選ぶ

本機のデータを更新する

パソコン（microSD カード）で地図を更新する

詳しくは、Web サイトをご覧ください。 <https://panasonic.jp/car/navi/genuine/>

本機で更新用 SD カードを作成する

- microSD カードはパソコンで「SD メモリカードフォーマッター」を用いて初期化してから使用してください。（P.190）
- 屋外など見晴らしの良い場所で、GPS 信号を受信している状態で行ってください。GPS 信号を受信できない場所では作成できません。

1 使用する microSD カードを本機に挿入する（P.96）

2 システム情報・設定メニュー（P.19）から、 ソフトウェア・地図 更新 ▶ 更新用SDカード作成 を選ぶ

3 表示されるメッセージに従って、はい を選ぶ

4 更新用 SD カードの作成が完了したら、OK を選ぶ

5 更新用 SD カードを本機から取り出す（P.96）

パソコンで地図データをダウンロードして更新する

1 作成した更新用 SD カードをパソコンに挿入する

2 パソコンで「地図更新アプリ2」を起動し、ログインする

3 「地図更新アプリ2」で更新データをダウンロードし、 更新用 SD カードに保存する

4 更新用 SD カードをパソコンから取り出し、本機に挿入する（P.96）

- ステータスバーに  が表示されます。

5 システム情報・設定メニュー（P.19）から、 ソフトウェア・地図 更新 ▶ 更新 ▶ はい を選ぶ

- 更新準備を開始します。（ステータスバーの  が点滅します）
- 更新準備中も本機を使用できます。
- 更新準備が完了すると、ステータスバーの表示が  に変わります。

6 システム情報・設定メニュー（P.19）から、 ソフトウェア・地図 更新 ▶ 更新 ▶ はい ▶ 更新する を選ぶ

- 更新を開始します。更新中は、本機を操作できません。
- 更新中に再起動する場合があります。

7 更新完了のメッセージが表示されたら、OK を選ぶ

インターネット接続してソフトウェア・地図を更新する(オンラインバージョンアップ)

詳しくは、Web サイトをご覧ください。 <https://panasonic.jp/car/navi/genuine/>

- 地図を更新する場合は、本機がGPS信号を受信している状態で作業してください。
- 定期的に更新している場合でも、ダウンロードデータの容量が1 GB以上になる場合があります。
- Apple CarPlay または Android Auto の接続時は、オンラインバージョンアップできません。
- 本機のWi-Fi機能をステーションモードに設定してください。(P.35)

自動で更新データを検索して更新する

自動バージョンアップ設定(P.23)が「自動で確認する」(お買い上げ時の設定)の場合は、本機がステーションモードの状態でも、本機とWi-Fi機器(スマートフォン、モバイルWi-Fiルーターなど)がWi-Fi接続されると自動的にWeb上のサーバーにアクセスして更新データを検索し、更新データがある場合はお知らせ画面が表示されます。

1 オンラインバージョンアップのお知らせ

画面から、更新するデータを選ぶ

- **ソフト更新** : ソフトウェア更新をする
- **部分地図更新** : 部分地図更新をする*1
- **全地図更新** : 全地図更新をする*1*2
- **今はしない** : 更新せずに終了する

再度更新するには、手動で行ってください。(下記)

- *1 ソフトウェアの更新がある場合は、地図の更新と同時にソフトウェアの更新も行います。
- *2 無料の全地図更新は、利用可能期間内に2回まで可能です。(P.146)

■ オンラインバージョンアップのお知らせ画面



2 表示されるメッセージに従って、**はい**または**OK**を選ぶ

- 更新データのダウンロードを開始し、完了すると更新を開始します。
- 更新中は本機を操作できません。更新中に再起動する場合があります。

手動で更新データを検索して更新する

自動バージョンアップ設定(P.23)を「手動で確認する」に設定した場合は、お知らせ画面は表示されません。

システム情報・設定メニュー(P.19)から、

ソフトウェア・地図 更新 ▶ オンラインバージョンアップ確認 ▶ 更新データ確認を選ぶ

■ バージョンアップリマインド機能

長期間バージョンアップしていないとき*1
や地図更新期限が近いとき*2は、リマインド
のお知らせが表示されます。

バージョンを確認を選ぶ

- Web上のサーバーにアクセスして更新データを検索し、更新データがある場合はお知らせ画面が表示されます。
- 「次回以降表示しない」にチェックすると、次回以降表示されなくなります。

- *1 利用開始日から6か月以上一度もバージョンアップの確認をしていない場合や、前回バージョンを確認した日またはリマインドのお知らせが表示された日から12か月以上経過している場合
- *2 本機にダウンロードされた道路地図の配信月から3か月以上経過し、地図更新期限の1か月前になった場合

■ リマインドのお知らせ画面



ETC車載器/ETC2.0車載器と接続して使う

接続する機器の説明書もよくお読みください。

ETCについて

ETC車載器/ETC2.0車載器を接続すると、車載器からの情報に連動して、本機から料金案内や、料金所で支払った料金の履歴を見ることができます。

- ETCカードまたはETC一体型クレジットカードをご使用ください。それ以外のカードを挿入すると、「ETCカードを確認してください。」と音声案内されます。

お知らせ

- 新しく設置されたETC料金所などでは、ETC拡大図が表示されない場合があります。そのときは、音声案内のみ行います。
- ETCゲートを通過してすぐに左右折するルートを通る場合などは、料金の音声案内を中断し、ルート音声案内を行う場合があります。
- 万一、利用できない場合は、「ETCを利用できません。」と音声案内されます。料金所に進入している場合、停車して料金所の係員の指示に従ってください。
- 表示金額は、割引などにより実際に請求される金額とは異なる場合があります。
- ETCカードの有効期限が近いまたは有効期限切れの場合、音声と画面表示でお知らせします。
- カードの有効期限は必ずカードを直接ご確認ください。
- 有効期限の案内は、ETCカードを挿入する、または挿入した状態で車のエンジンをかける(ACCをONにする)と行われます。

ETC2.0について

ETC2.0車載器を接続すると、VICSの情報提供サービスを受けることができます。

VICS 情報提供サービス (ETC2.0)

ITSスポット(道路に設置される路側無線装置)よりETC2.0サービス(電波ビーコン 5.8 GHz)のVICS情報を受信し、ナビゲーションで活用できます。(P.81)

- 高速道路ではドライブ中の注意を促すため、落下物情報、渋滞末尾情報、前方静止画像情報を案内します。(P.81)
- 広域な道路交通情報や安全運転支援情報の内容を画像や簡易図形などでわかりやすく表示したり、音声で通知したりします。(P.81)
- 県境を越える広域の渋滞・規制情報^{*1}を考慮したルート探索ができます。

* 1 走行する道路により情報の提供範囲が異なります。

ETC2.0 アップリンク

ETC2.0車載器に関する情報やナビゲーションで収集した情報(走行位置情報など)をITSスポットへ送信することをいいます。送信された情報は、道路交通情報の提供などに活用されます。

- 走行開始/終了地点など、個人情報に関わる情報は収集されません。
- アップリンクについては、ETC2.0車載器の説明書もご覧ください。
- ETC2.0アップリンクする/しないの設定ができます。(P.167)

料金履歴を見る

1 ナビ情報・設定メニュー(P.19)から ETC情報を選ぶ

2 ETC履歴を選ぶ

- ETCの料金履歴が、新しい順に100件まで表示されます。
- 100件を超えると古い順に削除されます。
- 件数が多いと、表示に時間がかかります。



ETC履歴 100件

20XX年11月02日 13時03分	利用料金: 6,690円
神田橋 ~ 伊那	
20XX年11月03日 10時31分	利用料金: 6,690円
伊那 ~ 神田橋	
20XX年11月13日 11時20分	利用料金: 6,930円
神田橋 ~ 二本松	
20XX年11月20日 10時35分	利用料金: 15,600円
宝町 ~ 青森中央	
20XX年11月22日 15時31分	利用料金: 15,600円

お願い

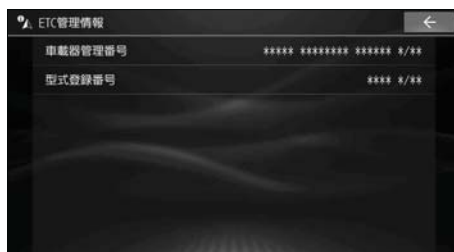
- 料金所付近では、料金履歴を確認しないでください。**ETC履歴**を選んでETC履歴画面(上記)が表示されるまでは、ETC車載器/ETC2.0車載器は路側アンテナと通信できません。料金所で開閉バーが開かず、事故の原因となります。

ETC管理情報を見る

1 ナビ情報・設定メニュー(P.19)から ETC情報を選ぶ

2 ETC管理情報を選ぶ

- ETC管理情報が表示されます。



カメラと組み合わせる

車に装着されているカメラによって、映し出せる映像が異なります。
詳しくは、車両のオーナーズマニュアルまたはカメラの説明書をご覧ください。

※ カメラによっては、本書の説明どおりに操作できない場合があります。
ガイド線については、カメラ側の説明書をご覧ください。

カメラ使用時の留意点

- カメラは、運転者の注意義務を軽減するものではありません。運転の補助としてご使用ください。
- カメラには死角（映らない部分）があります。また、カメラの映像は実際の形状とは異なって表示されます。後方・前方および周囲の安全は、必ず目視で確認してください。

全方位モニター

OPT は、カメラ側の説明書にある「カメラスイッチ」と同じ機能です。

後方の映像に切り替える

- 1 車のセレクトレバーを「R(リバース)」に入れる
 - カメラの映像が表示されます。
- 2 画面上の映像切り替えボタンを押す
 - 押すごとに、表示が切り替わります。
 - 車種によっては OPT を押して切り替える場合もあります。

前方の映像に切り替える

- 1 車のセレクトレバーが「R(リバース)」以外のときに、OPT を押す
 - カメラの映像が表示されます。
- 2 画面上の映像切り替えボタンを押す
 - 車種によっては OPT を押して切り替える場合もあります。

元画面に戻すには

AUDIO / MENU / MAP のいずれかを
を押す

お知らせ

- 「リバース時のオーディオ音量ダウン」が「ON」に設定されている場合、セレクトレバーを R(リバース)に入れると、オーディオの音量が下がります。(P.27)
- 全方位モニターのカメラ映像が表示されるまで時間がかかることがあります。
(車のセレクトレバーが「R(リバース)」のときに車の ACC を OFF にして再び ON にした場合など)
- 次のメッセージが表示された場合には、お買い上げの販売店に車両信号とカメラ設定の確認をご依頼ください。「車両信号設定、カメラ設定に誤りがある可能性があります。もしくは車両信号の受信ができません。」

セレクトビューバックアイカメラ

OPT は、カメラ側の説明書にある「ビュースイッチ」と同じ機能です。

- 1 車のセレクトレバーを「R(リバース)」に入れる
 - カメラの映像が表示されます。
- 2 OPT を押す
 - 押すごとに、表示が切り替わります。

バックアイカメラ

- 車のセレクトレバーを「R(リバース)」に入れる
- カメラの映像が表示されます。

カメラ映像の画質を調整する

- 1 カメラ映像に切り替える
- 2 画面調整(画質調整)画面が表示されるまで MAP を約2秒以上押す
- 3 画質を調整する (P.121)

※ 全方位モニターは調整の手順が異なる場合があります。
車両のオーナーズマニュアルも併せてご確認ください。

ナビ連動ドライブレコーダーと組み合わせる

接続する機器の説明書もよくお読みください。

ナビ連動ドライブレコーダーを接続すると、ドライブレコーダーで録画したファイルの再生や各種設定などを本機で行うことができます。

詳しくは、接続したドライブレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

- 記録ファイルはドライブレコーダーのmicroSD カードに保存されます。
- 本章では、ドライブレコーダーの機種ごとに仕様が異なる場合は、下記のアイコンで区分しています。

3 CH：ナビ連動ドライブレコーダー（前方・後方・車内録画タイプ）

2 CH：ナビ連動ドライブレコーダー（前方・後方録画タイプ）

1 CH：ナビ連動ドライブレコーダー（前方録画タイプ）

事故が起こったときは

記録された録画データが上書きされないように、必ずmicroSDカードを取り出してください。

※ 取り出すときは、必ず車のエンジンを止めて（ACC OFF）、LEDランプが消灯した状態をご確認ください。

常時録画（動画）

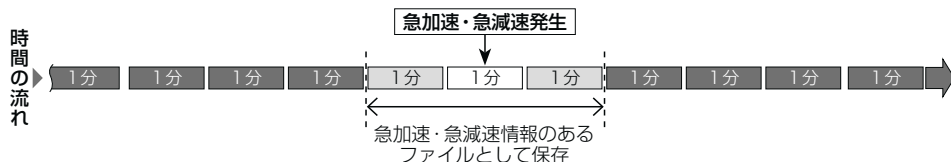
ドライブレコーダーの電源が入ると自動的に録画を開始し、一定時間ごとに記録ファイルをmicroSDカードへ保存します。

- 常時録画ファイルはmicroSDカードの空き容量がなくなると古い順に自動削除され、繰り返し保存し続けます。
- 残しておきたい記録ファイルは、保存フォルダへ移動させてください。（P. 160）

常時録画中に急加速・急減速を検知すると

急加速・急減速の検知の前後に録画された記録ファイルが、急加速・急減速情報のあるファイルとして記録されます。

- 通常は自動削除されませんが、ファイル数が上限に達すると古い順に自動削除されます。ファイル数の上限については、ドライブレコーダーの取扱説明書をご覧ください。



ナビ連動ドライブレコーダーと組み合わせる

駐車録画（動画）

エンジンを止めて駐車しているときに車両に他の車が当たったり、いたすなどの振動を検知すると、自動で録画を開始します。

- 「駐車録画」を「ON」に設定してください。（P.158）
- 2 CH** リヤカメラを接続している場合は、後方の映像も駐車録画に記録されます。
- 3 CH** リヤカメラ、車内カメラを接続している場合は、後方・車内の映像も駐車録画に記録されます。

お知らせ

- 「駐車録画」が「する」(ON)に設定されている場合、ドライブレコーダーは車のエンジンを止めた状態でも微量の電力を消費します。バッテリーの消耗にご注意ください。また、バッテリー保護のため、バッテリー電圧が低い状態では、「駐車録画」の機能を自動的に停止する場合があります。
- 「駐車録画の無効時間」が短い場合、車のエンジンを止めてから降車、荷物の出し入れ、車種によってはグローブボックスの開閉などを行うと、振動を検知して録画が開始される場合があります。そのときは、「駐車録画の無効時間」を長めに設定してください。（「駐車録画の無効時間」の間は、振動を検知しても録画を開始しません。）

■ 駐車中に駐車録画があったときは

車のエンジンをかけたとき、駐車録画があったことをお知らせする画面が表示されます。
[駐車録画のお知らせを「する」(ON)に設定した場合](P.158)

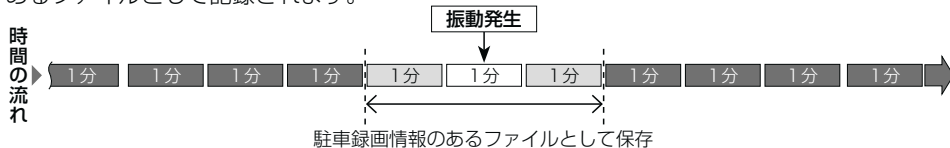
監視録画（動画） 3 CH

エンジンを止めたあともしばらくの間、録画を継続します。

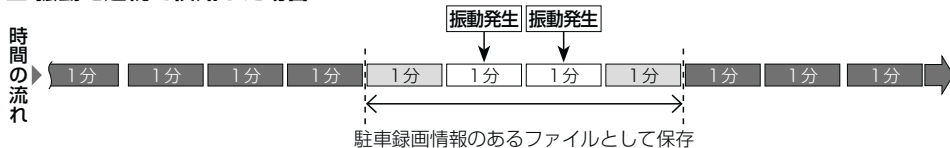
- 「監視録画」を「ON」に設定してください。（P.159）
- 監視録画をする時間を設定できます。（P.159）
- エンジンをかけると、設定時間が残っていても監視録画を終了します。
- リヤカメラ、車内カメラを接続している場合は、後方・車内の映像も監視録画に記録されます。

監視録画中に振動を検知すると

監視録画中に車両に他の車が当たったり、いたすなどの振動を検知すると、駐車録画情報のあるファイルとして記録されます。



■ 振動を連続で検知した場合



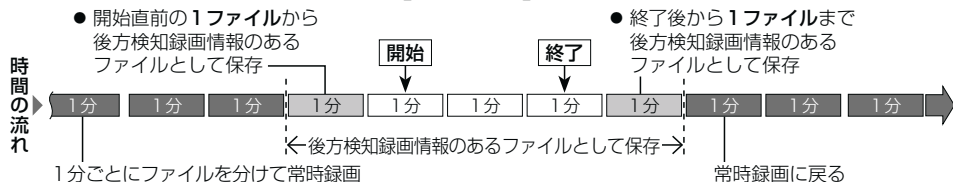
お知らせ

- 「監視録画」が「する」(ON)に設定されている場合、ドライブレコーダーは車のエンジンを止めた状態でも微量の電力を消費します。バッテリーの消耗にご注意ください。また、バッテリー保護のため、バッテリー電圧が低い状態では、「監視録画」の機能を自動的に停止する場合があります。

後方検知録画（動画） 3 CH

走行中に後続車の異常な接近を検知すると、後方検知の前後に録画された記録ファイルが後方検知録画情報のあるファイルとして記録されます。

- 「後方検知」を「ON」に設定してください。（P. 159）
- 「ドライブレコーダーリヤカメラ録画」が「しない」に設定されていると、検知できません。



お知らせ

- 検知が頻発する場合は、「後方検知速度」を速めに、「後方検知距離」を近めに設定すると、検知の頻度を下げることができます。
- 検知の対象は自動車のみです。人・自転車・オートバイなどは検知できません。
- 次のような場合には、動作しないまたは誤動作する場合があります。
 - ・悪天候や逆光により後方の視界が不明瞭
 - ・センターラインの無い道路を走行している
 - ・レンズの汚れやガラスへ映り込みにより、後方の映像を鮮明に撮影できない
 - ・後続車の色や周囲の光の加減により、後続車が認識できない
 - ・舗装の劣化や雪や雨などの悪天候により、車線が正しく認識できない
 - ・急カーブを走行している
 - ・信号待ちや、渋滞の中を走行している

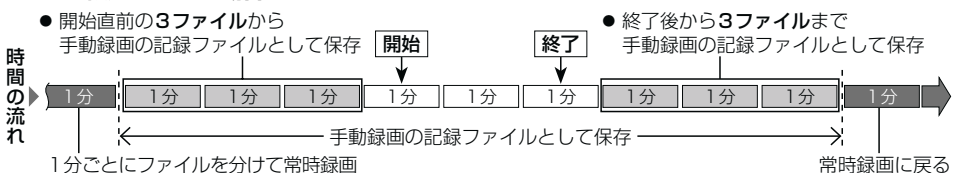
手動録画・静止画撮影

本機のタッチ操作でドライブレコーダーの動画を録画・静止画を撮影できます。（P. 157）

- 用途に応じて、「ダイレクトボタン設定」をしてください。（P. 168）

2 CH 「ドライブレコーダーリヤカメラ録画」が「する」に設定されている場合

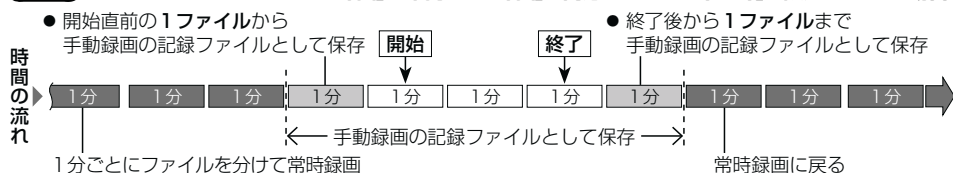
3 CH 「ドライブレコーダーリヤカメラ録画」、「車内カメラ録画」のいずれか、または両方が「する(ON)」に設定されている場合



1 CH

2 CH 「ドライブレコーダーリヤカメラ録画」が「しない」に設定されている場合

3 CH 「ドライブレコーダーリヤカメラ録画」、「車内カメラ録画」が両方とも「しない(OFF)」に設定されている場合



ナビ連動ドライブレコーダーと組み合わせる

ドライブレコーダーの基本操作

トップメニュー(P.18)または全機能一覧(P.20)から**ドライブレコーダー**を選ぶ

- ドライブレコーダー画面が表示されます。

■ドライブレコーダー画面



- ① ドライブレコーダー再生リストを表示 (P.160)
- ② ドライブレコーダーのカメラ映像を表示 (下記)
- ③ ドライブレコーダー設定画面を表示 (P.158)

お知らせ

- ドライブレコーダーの設定や記録ファイルの再生を行っているときは、録画を停止します。車を発進させると設定や再生を終了し、常時録画を再開します。
- ドライブレコーダーの操作・設定中に、ドライブレコーダー以外の画面(現在地、トップメニュー、全機能一覧など)に切り替えると、オーディオはOFFになります。

ドライブレコーダーのカメラの映像を見る

1 ドライブレコーダー画面から **カメラモニター**を選ぶ

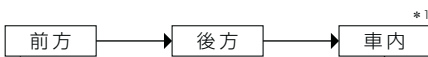
- ドライブレコーダーのカメラの映像が表示されます。



2 ドライブレコーダーの映像を確認する

3 CH 2 CH

- 切替: 複数のカメラが接続されている場合は、選ぶごとに下記のように切り替わります。



- 映像が正しく表示されない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

*1 **3 CH** のみ



お知らせ

- 本機に表示されるドライブレコーダーのカメラ映像と記録ファイルは、画質や色味が異なります。
- ドライブレコーダーのカメラ映像は画質を調整できます。(P.121)

手動で動画を録画する

手動で動画を録画すると、常時録画で保存されている記録ファイルが手動録画の記録ファイルに置き替わります。手動録画の記録ファイルは自動削除されません。

- **3 CH** リヤカメラ、車内カメラを接続している場合は、後方・車内の映像も手動録画に記録されます。
- **2 CH** リヤカメラを接続している場合は、後方の映像も手動録画に記録されます。

準備

- ダイレクトボタン設定を「ドライブレコーダー動画録画」に設定してください。(P.168)

現在地画面で をタッチする

- 動画の録画を開始します。
- 2分後に手動録画を終了し、常時録画に切り替わります。



手動で録画を終了させるには

現在地画面で をタッチする

- 動画の録画を終了します。



手動で静止画を撮影する

- **3 CH** リヤカメラ、車内カメラを接続している場合は、後方・車内の映像も静止画に記録されます。
- **2 CH** リヤカメラを接続している場合は、後方の映像も静止画に記録されます。

準備

- ダイレクトボタン設定を「ドライブレコーダー静止画撮影」に設定してください。(P.168)

現在地画面で をタッチする

- タッチした瞬間の静止画が撮影されます。



ナビ連動ドライブレコーダーと組み合わせる

ドライブレコーダーの設定をする

1 システム情報・設定メニュー(P.19)から**ドライブレコーダー設定**を選ぶ

- 録画を停止し、ドライブレコーダー設定画面が表示されます。
- ドライブレコーダー画面から**ドライブレコーダー設定**を選んでも、設定できます。

2 各項目を設定する

[太字: お買い上げ時の設定]

項 目	設定内容
ドライブレコーダー 接続設定	※通常はこの操作は必要ありません。取付店が行います。 「ON」: ドライブレコーダーとの接続を有効にする 「OFF」: ドライブレコーダーとの接続を無効にする ●ドライブレコーダーを接続している場合は「ON」に設定してください。 ●本機をお買い上げ時の状態に戻す操作*を行っても設定は変わりません。
画質	「高画質」: 高画質で記録する 「標準」: 標準画質で記録する
音声録音	「ON」: 動画に音声も録音する 「OFF」: 動画に音声を録音しない(映像のみ)
再生一覧表示	「古い順」: ドライブレコーダー再生リストの記録ファイルを古い順に表示する 「新しい順」: ドライブレコーダー再生リストの記録ファイルを新しい順に表示する
イベント情報表示	動画再生画面の動画情報(P.161)に表示させたいイベント(急加速・急減速、駐車録画、事故多発地点、合流地点、急カーブ、監視録画 3CH 、後方検知 3CH)のチェックボックスをONにする ●お買い上げ時は、すべての項目を表示するよう設定されています。
急加速・急減速の感度	「 - 」/「 + 」で、急加速・急減速の測定感度を調整する[調整範囲: 1(低感度)~3~5(高感度)]
急加速・急減速の感知音	「ON」: 急加速・急減速を感知すると、ブザーを鳴らす 「OFF」: 急加速・急減速を感知しても、ブザーを鳴らさない
起動音	「ON」: ドライブレコーダーの電源が入ると、ブザーを鳴らす 「OFF」: ドライブレコーダーの電源が入っても、ブザーを鳴らさない
センサー調整する	※通常はこの操作は必要ありません。取付店が行います。 調整する: ドライブレコーダーの加速度センサーを最適化する
SDカードを初期化する	SDカードを初期化する: ドライブレコーダーで使用しているmicroSDカードを初期化する ●microSDカードに記録ファイル以外のファイルが収録されている場合は、初期化するとそのファイルも消去されます。 ●microSDカードの初期化を促すメッセージが表示されたときや、microSDカード内のファイルが再生できないとき、microSDカードを交換したときなどに行ってください。
設定を初期化する	設定を初期化する▶はい: ドライブレコーダーの設定をお買い上げ時の状態に戻す(ドライブレコーダー接続設定を除く) ●録画・撮影された記録ファイルは消去されません。
駐車録画	「ON」: 駐車中に振動を感知すると、自動で録画する 「OFF」: 駐車中、録画しない ● 3CH リヤカメラ、車内カメラを接続している場合は、後方・車内の映像も駐車録画に記録されます。 ● 2CH リヤカメラを接続している場合は、後方の映像も駐車録画に記録されます。
駐車録画のお知らせ	「ON」: ACC ON後に駐車録画があったことを、メッセージ表示でお知らせする 「OFF」: メッセージ表示をしない

項 目	設定内容
駐車録画の感度	「 - 」/「 + 」で、振動を感知する感度を調整する[調整範囲: 1(低感度)~3~5(高感度)]
駐車録画の時間	駐車録画の記録時間を設定する[調整範囲: 10秒/30秒/1分]
駐車録画の無効時間	駐車録画モードになるまでの時間を設定する[調整範囲: 1分/3分/5分]
警告音量	ドライブレコーダーの音量を設定する[調整範囲: 1~3~5]
ドライブレコーダー リヤカメラ録画 ★ 3 CH 2 CH	※通常はこの操作は必要ありません。取付店が行います。 「する」: 後方録画用のカメラがある場合に選択する 「しない」: 後方録画用のカメラが無い場合に選択する ●本機をお買い上げ時の状態に戻す操作*を行った場合は接続したドライブレコーダーに応じて設定しなおしてください。
車内カメラ録画 ★ 3 CH	※通常はこの操作は必要ありません。取付店が行います。 「ON」: 車内録画用のカメラがある場合に選択する 「OFF」: 車内録画用のカメラが無い場合に選択する ●本機をお買い上げ時の状態に戻す操作*を行った場合は接続したドライブレコーダーに応じて設定しなおしてください。
監視録画 3 CH	「ON」: 車のエンジンを止めたあと、一定の時間録画する 「OFF」: 監視録画しない ●リヤカメラ、車内カメラを接続している場合は、後方・車内の映像も監視録画に記録されます。
監視録画の時間 3 CH	監視録画する時間を設定する[調整範囲: 30分/60分/90分]
後方検知 3 CH	「ON」: 後方から車両が接近したときに録画する 「OFF」: 後方検知録画をしない
後方検知のお知らせ 3 CH	「ON」: 後方検知時に後方注意の表示をする 「OFF」: 後方検知時に後方注意の表示をしない
後方検知速度 3 CH	後方検知録画が動作する速度を設定する[調整範囲: 40 km/h/60 km/h/80 km/h] ●設定した速度以上の速度で走行すると、車両接近時に後方検知録画されます。
後方検知距離 3 CH	「 - 」/「 + 」で、後方検知録画する車間距離を調整する[調整範囲: 1(近い)~3~5(遠い)]

お知らせ

- 本機をお買い上げ時の状態に戻す操作*を行った場合は
接続したドライブレコーダーに応じて「★印」の項目を必ず設定しなおしてください。

3 CH ★ドライブレコーダーリヤカメラ録画「する」 ★車内カメラ録画「ON」

2 CH ★ドライブレコーダーリヤカメラ録画「する」

*「設定を初期化する」(P. 158)および「出荷状態に戻す」(P. 169)

動画・静止画を再生する

走行中は再生できません。

安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてご覧ください。

ドライブレコーダー画面 (P. 156) から **再生** を選ぶ

- 録画を停止し、ドライブレコーダー再生リストが表示されます。



① リスト表示を切替

- **動画 全表示**：すべての動画を表示
- **動画 手動録画**：手動録画の動画のみを表示
- **静止画**：すべての静止画を表示

② ファイルリスト

③ リスト内のすべてのファイルを消去

④ 選んだファイルを保存フォルダへ移動

⑤ 選んだファイルを再生する

⑥ ファイルの動画情報をマークで表示

- 🚗：後方検知録画 **3 CH**
- 👤：手動録画
- P：駐車録画
- 📹：監視録画 **3 CH**
- ⚡：急加速・急減速情報がある
- ⚠️：事故多発地点情報がある
- 📍：合流地点情報がある
- 📐：急カーブ情報がある

記録ファイルを選んで再生する

ドライブレコーダー再生リストから
ファイルを選び、**再生** を選ぶ

- 選んだファイルが再生されます。
- 動画・静止画の再生画面→P. 161

動画ファイルを保存する

常時録画ファイル/監視録画ファイルは古い順に自動削除されますが、保存ファイルとして保存することで、自動削除されなくなります。

ドライブレコーダー再生リストから
動画ファイルを選び、

保存 ▶ はい ▶ OK を選ぶ

- 保存ファイルとして保存されます。

ファイルを消去する

■ ファイルを選んで消去する

消去したいファイルを再生し、
動画/静止画再生画面 (P. 161) から

消去 ▶ はい を選ぶ

- 選んだファイルが消去されます。

■ リスト内のファイルをすべて消去する

ドライブレコーダー再生リストから
消去したいリストを表示させ、

全消去 ▶ はい を選ぶ

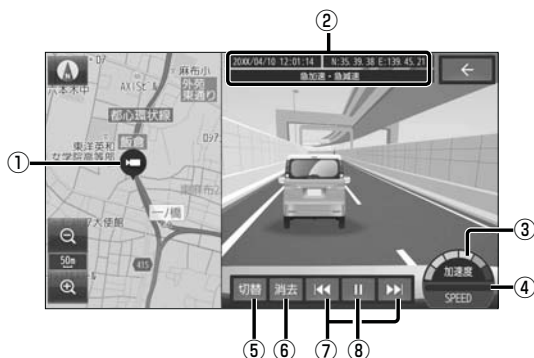
- リスト内のすべてのファイルが消去されます。

お知らせ

- ファイルを消去すると、動画/静止画は前方・後方 (**3 CH 2 CH**)・車内 (**3 CH**) すべてが消去されます。個別に消去することはできません。

お知らせ

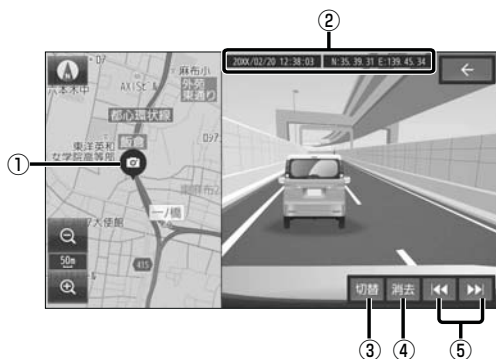
- 本機で再生される動画/静止画と記録ファイルは、画質や色味が異なります。
- 動画再生画面/静止画再生画面は画質を調整できます。(P.121)
「色合い」「色の濃さ」は、動画/静止画を全画面で表示しているときのみ調整できます。

動画再生画面

- ① 録画した地点
- ② 録画日時・位置情報・動画情報
- ③ 加速・減速メーター(6段階)
- ④ 速度メーター
- ⑤ 映像を切替
3 CH 前方/後方/車内
2 CH 前方/後方
- ⑥ 再生中のファイルを消去
- ⑦ 前/次のファイルに切替
(タッチし続けると早戻し/早送り)
- ⑧ 再生/一時停止

お知らせ

- 動画画面(右画面)をタッチすると、全画面で動画を表示します。
再度タッチすると、元の画面に戻ります。
- ③・④は、録画地点のおおよその値をグラフ表示したものです。

静止画再生画面

- ① 撮影した地点
- ② 撮影日時・位置情報
- ③ 静止画を切替
3 CH 前方/後方/車内
2 CH 前方/後方
- ④ 再生中のファイルを消去
- ⑤ 前/次のファイルに切替

お知らせ

- 静止画画面(右画面)をタッチすると、全画面で静止画を表示します。
再度タッチすると、元の画面に戻ります。

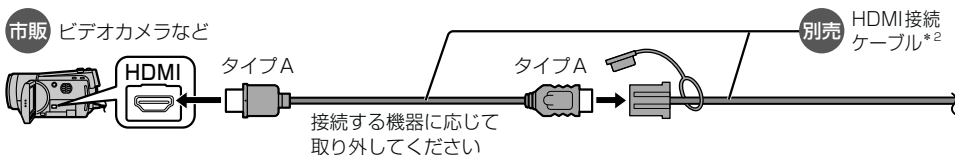
HDMI® 入力の映像を見る

接続する機器の説明書もよくお読みください。

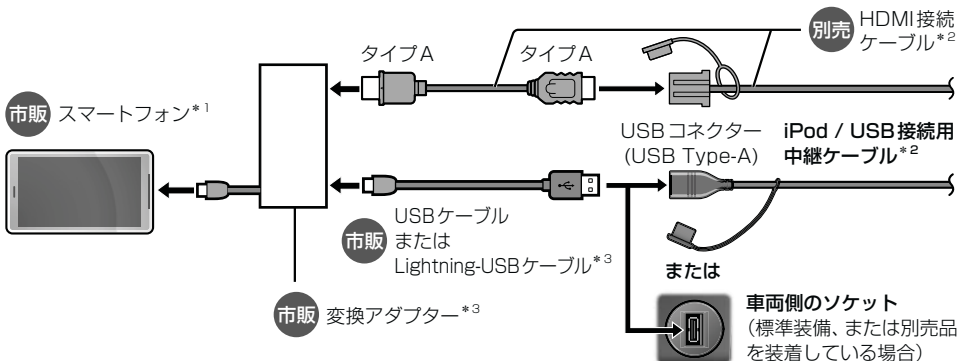
HDMI出力が可能なスマートフォン^{*1}やビデオカメラなどの映像を、本機に表示できます。
トップメニュー(P.18)、オーディオソース一覧(P.86)または全機能一覧(P.20)から**HDMI**を選ぶ

● 接続した機器の映像と音声が出力されます。

■ ビデオカメラを接続する(例)



■ 変換アダプターを使用してスマートフォン^{*1}を接続する(例)



お知らせ

- 接続する機器のコネクタに適合するケーブルやアダプターをご使用ください。使用する機器およびケーブルやアダプター、またはその組み合わせによって、正しく動作しない場合があります。
- コネクタの向きに注意して確実に差し込んでください。
- iPod または iPhone を上記や P.102 のようにケーブルで接続している場合は、iPhone ではレコーダーリンクおよびスマートフォン連携機能 (NaviCon / CarAV remote S) を利用できません。iPod または iPhone を取り外してください。
- Apple CarPlay / Android Auto 用の機器として接続しているスマートフォンと上記の接続をした状態で本機を HDMI に切り替えて使用した場合の動作は保証いたしません。
- USB Type-C 端子搭載のスマートフォンの場合は、USB Type-C to HDMI 変換ケーブルを使用して HDMI 接続ケーブルに直接接続することもできます。(USB 接続されないため、電源は供給されません。)
- 映像が表示されないときは→ P.182

*1 ケーブル接続でのミラーリング (画面が共有できる機能) に対応している Android スマートフォンまたは iPhone

*2 グローブボックス等から出ているケーブルに接続してください。
(ケーブルの設置場所は、車種により異なる場合があります。)

*3 iPhone を接続する場合は、Apple 純正品を使用してください。Apple 純正品以外を使用すると正しく動作しない場合があります。

後席用のモニターで本機の映像を見る

接続する機器の説明書もよくお読みください。

本機の映像[TV、SD(動画)、USB(動画)、レコーダーリンク、ネット動画、HDMI]を、後席用のモニターに表示できます。

準備

- 後席用のモニターを、「HDMI」(本機が接続されている入力モード)に切り替えてください。

オーディオのソースを切り替える (P.86)

- 本機および後席用のモニターに、選んだ映像が表示されます。
- **MAP** を押すと、後席用のモニターに映像を出力したまま、本機のディスプレイを現在地画面に切り替えることができます。
- 後席用のモニターには、走行中でも映像が出力されます。

お知らせ

- テレビなど、後席用のモニター以外の機器を接続することはできません。
- ハンズフリー通話時は後席モニターの映像が以下になりますが、故障ではありません。
 - ・ SD(動画) / USB(動画) / ネット動画を表示してる場合は静止画となります。
 - ・ レコーダーリンクを表示している場合は黒い画面となります。

車両連携

詳しくは、車両のオーナーズマニュアルをご覧ください。

緊急通報サービスとの連携

緊急通報サービス対応車は、緊急通報が作動すると、オペレーターとの通話を妨げないようにするためにオーディオやナビゲーションの音声など本機から出力されるすべての音声が一時的に消音されます。

- 車両の緊急通報が作動しているときは、本機の画面に「SOS」と表示されます。
後方のカメラ映像が表示されているときは表示されません。
画面OFFのときは、画面ONになり表示されます。
- 車両の緊急通報が終了すると解除され、現在地画面（自車位置）が表示されます。^{* 1}
音声は消音される前の音声に戻ります。

お知らせ

車両の緊急通報が作動すると

- ナビゲーション画面（現在地）に切り替わります。^{* 1}
- 本機の操作スイッチ（画面上のタッチキー、本体のボタンスイッチ、およびステアリングオーディオスイッチ）の操作が無効となり、「SOS」の表示を操作で消去することはできません。
カメラ映像への切り替えはできます。
- 接続されているBLUETOOTHが切断されます。終了すると消音される前の接続状態への復帰を試みますが、自動的に再接続されない場合には接続をやりなおしてください。

* 1 本機や車両の状態によっては、現在地画面に切り替わらない場合があります。

利用に応じた設定に変える

地図表示に関する設定

1 ナビ情報・設定メニュー(P. 19)から**ナビ設定**を選ぶ

2 **表示設定**を選び、各項目を設定する

[太字: お買い上げ時の設定]

項 目	設定内容
ランドマーク設定 (P. 54)	地図画面に表示するランドマークを選択できます。
走行軌跡を表示 (P. 47)	「 O N 」: 走行軌跡を表示する 「 O F F 」: 走行軌跡を表示しない
走行軌跡の記録を消去する (P. 47)	走行軌跡の記録を消去する ▶ はい : 走行軌跡の記録を消去する
目的地方向を表示 (P. 47)	「 O N 」: 目的地方向直線を表示する 「 O F F 」: 目的地方向直線を表示しない
ゾーン30エリアを表示 (P. 44)	「 O N 」: ゾーン30のエリアを表示する 「 O F F 」: ゾーン30のエリアを表示しない
自転車位置修正 (P. 27)	自転車位置を修正できます。(通常は、この操作は必要ありません)

ルート探索に関する設定

1 ナビ情報・設定メニュー(P. 19)から**ナビ設定**を選ぶ

2 **探索設定**を選び、各項目を設定する

[太字: お買い上げ時の設定]

項 目	設定内容
新旧ルート比較画面を表示 (P. 73)	「 O N 」: VICS自動再探索が行われた場合は、新旧ルート比較画面を表示する 「 O F F 」: 新旧ルート比較画面を表示しない
新旧ルート自動選択 (P. 73)	「 新ルート 」: 新旧ルート画面で約8秒間操作しないと、新ルートで案内する 「 元ルート 」: 新旧ルート画面で約8秒間操作しないと、旧ルートのままとする
到着予想時刻の計算方法	「 自 動 」: 自動で到着予想時刻を計算する 「 手 動 」: 手で設定した車速から到着予想時刻を計算する ●「 手動 」の場合は、一般道と有料道路それぞれの車速を設定できます。 設定範囲: 一 般 道: 5 km/h ~ 50 km/h ~ 80km/h(5 km/h ステップ) 高 速 道 路: 5 km/h ~ 80 km/h ~ 100km/h(5 km/h ステップ)
ルート学習結果の初期化	ルート学習結果の初期化 ▶ はい ▶ はい : 本機のルート学習機能を初期化する

利用に応じた設定に変わる

ルート案内に関する設定

1 ナビ情報・設定メニュー(P.19)からナビ設定を選ぶ

2 案内設定を選び、各項目を設定する

[太字: お買い上げ時の設定]

項 目	設定内容
案内拡大図の表示 (P.42)	「 O N 」: 案内拡大図を表示する 「 O F F 」: 案内拡大図を表示しない
ETCレーンの表示 (P.41)	「 O N 」: ルート案内中にETCレーン案内を表示する 「 O F F 」: ETCレーン案内を表示しない
方面看板の表示 (P.44)	「 O N 」: 方面看板を表示する 「 O F F 」: 方面看板を表示しない
ハイウェイモードの表示 (P.41)	「 O N 」: ハイウェイモードを表示する 「 O F F 」: ハイウェイモードを表示しない
Audio画面中の案内割込み	「 O N 」: オーディオ画面を表示中に割り込んで現在地画面に切り替えて案内する (ルート案内が完了すると、オーディオ画面に戻ります) 「 O F F 」: オーディオ画面を表示中に割り込んでルート案内しない
逆走注意アラーム (P.74)	「 O N 」: 逆走注意アラーム、および逆走検知警告を案内する 「 O F F 」: 逆走注意アラーム、および逆走検知警告を案内しない
VICS案内 (P.71)	「 O N 」: VICSの渋滞/規制情報がある区間に近づくと、音声で案内する 「 O F F 」: VICSの渋滞/規制情報がある区間に近づいても、音声で案内しない

渋滞情報案内（VICS）に関する設定

1 ナビ情報・設定メニュー(P. 19)から**ナビ設定**を選ぶ

2 **渋滞設定**を選び、各項目を設定する

[太字: お買い上げ時の設定]

項 目		設定内容
FM VICS 周波数	周波数の選局方法	「 自動選局 」: 自車位置に応じて、FM多重放送を受信する放送局を自動的に切り替える 「 手動選局 」: FM多重放送を受信する周波数を手動で設定する ●手動選局の場合は、選局した放送局が所在する都道府県のFM-VICS情報を受信します。隣接する都道府県については、県境付近など一部エリアのみ受信します。
	手動選局	[-] [+] : 周波数を設定する ※ 周波数の選局方法が「手動選局」のときのみ設定できます。
	エリア選局	FM VICSを受信したいエリア（放送局）を選ぶ ※ 周波数の選局方法が「手動選局」のときのみ設定できます。
ETC 2.0割込み設定	ETC 2.0受信音	「 ON 」: ETC 2.0サービスからVICS情報を受信すると、受信音を鳴らす 「 OFF 」: ETC 2.0サービスからVICS情報を受信しても、受信音を鳴らさない ※ 安全運転支援情報、ローカル安全運転支援情報、注意警戒情報、ローカル注意警戒情報、新緊急メッセージを受信したときは、設定にかかわらず受信音を鳴らします。
	ETC 2.0割込み (P. 81)	「 ON 」: ETC 2.0サービスからVICS情報を受信すると、割込み表示する 「 OFF 」: ETC 2.0サービスからVICS情報を受信しても、割込み表示しない ※ 安全運転支援情報、ローカル安全運転支援情報、注意警戒情報、ローカル注意警戒情報、新緊急メッセージを受信したときは、設定にかかわらず割込み表示します。
	ETC 2.0自動音声再生	「 ON 」: ETC 2.0サービスからVICS情報を受信すると、自動的に音声案内する 「 OFF 」: ETC 2.0サービスからVICS情報を受信しても、自動的に音声案内しない
	ETC 2.0アップリンク (P. 150)	「 ON 」: 本機で収集した情報を、ITSスポットに自動的に送信する 「 OFF 」: 本機で収集した情報を、ITSスポットに送信しない

ETC 情報の案内に関する設定

1 ナビ情報・設定メニュー(P. 19)から**ナビ設定**を選ぶ

2 **ETCの音声案内設定**を選び、各項目を設定する

[太字: お買い上げ時の設定]

項 目	設定内容
ETC 音声案内	「 ON 」: 利用料金などを、本機から音声で案内する 「 OFF 」: ETC 音声案内しない (ETC カード有効期限内案内は行います)
カード入れ忘れ案内	「 ON 」: 本機の電源がONになったときにETCカードが挿入されていない場合、本機から音声で案内する* ¹ 「 OFF 」: カード入れ忘れ案内しない
カード抜き忘れ案内	「 ON 」: 本機の電源がOFFになったときにETCカードが取り出されずに車載器に残っている場合、本機から音声で案内する* ¹ 「 OFF 」: カード抜き忘れ案内しない

* 1 ETC 音声案内を「OFF」に設定しても案内します。

利用に応じた設定に変える

設定

本機のシステムに関する設定・確認

システム情報・設定メニュー(P.19)から、各項目を設定・確認する

[太字: お買い上げ時の設定]

項 目		設定内容
操作音		「ON」: キー操作音を鳴らす 「OFF」: キー操作音を鳴らさない
時計表示		「ON」: 画面に時計を表示する 「OFF」: 画面に時計を表示しない
案内音声設定	本体音量スイッチ操作で案内音量調整を優先	「ON」: ナビゲーションの音声案内中に、   で案内音量を調整できる 「OFF」: ナビゲーションの音声案内中に、   で案内音量を調整できない
	案内音量の車速連動	「ON」: 案内音量を車速連動する (走行速度に応じて案内音量が自動的に調整されます。) 「OFF」: 案内音量を車速連動しない
	案内出力スピーカー	「左 前」: 案内音声を左のフロントスピーカーから出力する 「右 前」: 案内音声を右のフロントスピーカーから出力する
	案内時のAudio音量消音	「ON」: 音声案内時にオーディオ音声を消音する 「OFF」: 音声案内時にオーディオ音声を消音しない ※「OFF」に設定されている場合も、音声案内時はオーディオの音量が下がります。
音量設定 (P.26)		ナビゲーションの案内音、ハンズフリー着信音などを調整することができます。
画質調整 (P.121)		画面の明るさやコントラストなどを調整することができます。
画面OFF (P.27)		画面を一時的に消すことができます。
トップメニューカスタマイズ (P.21)		トップメニューを編集することができます。
セキュリティ設定 (P.36)		セキュリティコードや、盗難多発地点表示案内の設定ができます。
メンテナンス通知設定 (P.144)		GPSからの日付情報と車速信号を使用して車のエンジンオイルや消耗部品の交換時期などがきたことを、音声と画面で案内します。
ドライブレコーダー設定 (P.158)		ドライブレコーダーの設定ができます。
オプションスイッチ設定		「消 音」: オーディオの音声を消音する (P.27) 「AV ソース切替」: オーディオを切り替える (P.86) 「電話リダイヤル発信」: 前回発信した番号に電話をかける (P.127) 「自 宅」: 自宅までのルートを探索する (P.63) ●セレクトビューバックアイカメラおよび全方位モニターがどちらも接続されていない場合のみ、設定が有効になります。
ダイレクトボタン設定		「ドライブレコーダー動画録画」: 動画録画タッチキーを表示する (P.157) 「ドライブレコーダー静止画撮影」: 静止画撮影タッチキーを表示する (P.157) 「表 示 し な い」: ダイレクトボタンを表示しない
休憩案内 (P.71)		「ON」: 休憩を促す音声案内を行う 「OFF」: 休憩案内しない
バージョン情報 (P.145)		車載器ID、製造番号、ソフトウェア・地図のバージョンなどを確認できます。
車両信号情報 (P.28)		車両信号情報を確認できます。
拡張ユニット情報 (P.29)		iPod、USB、ETC車載器/ETC2.0車載器、ドライブレコーダーの接続状態を確認できます。
ソフトウェア・地図 更新 (P.147~149)		本機のソフトウェアや地図データの更新ができます。
初期化 (P.169)		本機の各種設定をお買い上げ時の状態に戻します。
端末情報 (P.145)		本機の端末情報を確認できます。
初期セットアップ (P.23)		初期セットアップ画面が表示されます。
取付店ダイアグ		使用しません。(取付店が設定します。)

各種設定をお買い上げ時の状態に戻す

1 システム情報・設定メニュー(P.19)から**初期化**を選ぶ

2 初期化する項目を選ぶ

項 目	設定内容
SDカードの初期化	microSDカード*1を初期化することができます。 ●記録されているすべてのデータが消去されます。 *1 NTFS ファイルシステムは初期化できません。
TVの初期化	デジタルテレビ初期設定で設定した内容を初期化することができます。(P.88)
キーボード学習結果の初期化	キーボードの学習内容(文字入力する際の漢字変換など)を初期化することができます。
出荷状態に戻す	本機のすべての設定をお買い上げ時の状態に戻すことができます。 ●オーディオがOFFに切り替わります。 ●ドライブレコーダーの設定が、お買い上げ時の状態に戻ります。(ドライブレコーダー接続設定を除く)

3 **はい**を選ぶ

- 「キーボード学習結果の初期化」を選んだ場合は、この手順で初期化されます。

4 **はい**を選ぶ

- 選んだ項目が初期化されます。
- 初期化した項目は、元に戻せません。
誤って大切なデータを消去しないように、ご注意ください。
- TVの初期化を行った場合は、車のエンジンを止め(ACC OFF)、ボタン照明が消えて約10秒経過してから、再度車のエンジンをかけてください(ACC ON)。

お 願 い

- 初期化中は他の操作(オーディオのソースを切り替えるなど)をしないでください。
故障の原因となります。

お知らせ

- 本機を譲渡または廃棄する際は、本機に記録された情報(登録地、走行軌跡などの履歴、自宅や電話番号等の個人情報、ネット動画のユーザー登録情報など)を必ず消去し、出荷時の状態に戻してください。
- 本機を別の車に載せかえた場合や、タイヤを交換またはローテーションした場合は、「センサー学習値初期化」を行ってください。(P.28)
- 本機と車のバッテリーとの接続が断たれると(車から本機を取り外したり、バッテリー交換やヒューズ交換を行った場合など)下記の設定がお買い上げ時の状態に戻ります。
 - ・オーディオ OFF/ON
 - ・AM・FMで受信中の周波数
 - ・USB・SDの再生位置
 - ・USB・SDの再生モード

故障かな!?と思ったら

修理を依頼される前に、まずはP.170～187の内容をご確認ください。
処置をしても解決/改善されないときや、他の症状のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

よくあるお問い合わせ

自転車マークが表示されない

- 地図モード画面になっている。
→ **MAP** を押してください。(P.44)

自転車位置が正しく表示されない

- GPS 信号を妨げる障害物などがある。
- ACC OFF の状態で車を移動した。(フェリーボート、駐車場のターンテーブルなど)
- GPS 衛星からの信号の誤差が大きい。/ 立体駐車場などの、GPS 信号を受信できない場所を走行した。
→ しばらく見晴らしの良い道路を走行してください。(60分以上)
- 距離、回転、3Dの補正が完了していない。
→ 「センサー学習レベル」を確認してください。(P.28)
距離が「1」の場合は、しばらく見晴らしの良い道路を走行してください。
- 本機を別の車に載せかえた。タイヤを交換またはローテーションした。
→ 「センサー学習値初期化」を行ってください。(P.28)
- 車速信号が正しく取得できていない。
→ 走行中の操作制限を解除/無効化する機器などを本機に取り付けていないことを確認してください。

地図の向き・縮尺・傾きを切り替えたのに、元に戻っている

- 地図モード画面で切り替えている。
→ 地図モード画面(P.45)で切り替えた地図の向き・縮尺・傾きは、現在地画面に反映されません。
現在地画面で切り替えてください。(P.44)

タッチキーが反応しない(表示が薄くなっている)

- 安全のため、走行中は一部の操作ができなくなっています。
→ 安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけると、操作できるようになります。

microSD カードを認識しない、正しく読めない

- microSD カードが汚れている。/ microSD カードに問題がある。
→ 汚れを取り除いてください。
→ microSD カードによっては認識しないものもあります。別の microSD カードが本機で再生できる場合は、microSD カードに問題がある可能性があります。(P.190)
- 本機以外でフォーマット(初期化)した microSD カードは、本機では認識しない場合があります。
→ 本機で初期化して使用してください。(P.169)
地図更新に使用する microSD カードは、パソコンで「SD メモリカードフォーマッター」を用いて初期化してから使用してください。(P.190)

地図の年度更新の方法について知りたい

- 本製品は無料地図更新サービスを提供しております。(P.146、別添チラシ)
- 年度更新版地図の販売については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

電源・共通

症 状	原 因 / 対 処	ページ
動 作		
電源が入らない/ 起動が遅い	車のエンジンがかかっていない。 ● エンジンをかけて (ACC を ON にして) ください。	22
	低温状態になっている。 ● 故障ではありません。内部が温まると、自動的に起動します。	—
	ナビゲーションの電源を切った直後にもう一度起動すると、起動に時間がかかる場合があります。	—
	ハイブリッド車などの特定の車種ではナビゲーションの起動に時間がかかる場合があります。	—
車のエンジンをかけた状態 (ACC ON) で、本機の電源 が切れる	バッテリー電圧が低くなっている。 ● バッテリー電圧を確認してください。バッテリー電圧が 11 V 以下の場合、ナビゲーションの電源が落ちる場合があります。	—
	● アイドリングストップ車の場合は、アイドリングストップ中のバッテリー電圧を確認してください。 バッテリー電圧が 11 V 以下の場合、車両メーカーにお問い合わせください。	—
ディスプレイの上下角度 が調整できない	障害物などに当たっていたり、コードを挟み込んでいないかを確認してください。	—
電源を切ってもボタン照明 が消えない	ボタン照明は電源を切ってもすぐには消えません。本機の処理により消灯までに時間がかかることがあります。故障ではありません。	—
タッチパネルの反応が悪い/ 反応しない	フリック/ドラッグ/ピンチ/2点タッチ/ダブルタップ/2点ドラッグ/回転ドラッグの操作をしている。 ● 画面によっては、上記の操作ができません。	16
	指の腹でタッチすると、2点タッチなどと誤動作することがあります。必ず、指の先でタッチしてください。	16
	爪でタッチすると、反応しない場合があります。必ず、指の先でタッチしてください。	16
	指の動きより遅れて反応する場合があります。故障ではありません。	—
	手袋をして操作すると反応しない場合があります。素手でご使用ください。	—
	金属を近づけたり、水滴が付いている場合は反応しないことがあります。	—
	お買い上げの販売店に依頼し、アースコードがしっかりと車体の金属部に接続されていることを確認してください。	—
本機が温くなる	長時間連続して使用している。 ● 正常に機能している場合は、故障ではありません。	—
microSD カードが取り出し にくい	microSD カードによっては、本機から取り出しにくい場合があります。 ● 挿入したカードの中央部に指を添えたまま、カードの押し戻しを繰り返してください。(4 回～5 回くらい)	—
	● 解消されないときは、さらにカードの押し戻しを繰り返してください。	—
表 示		
時計 (現在時刻) が表示 されない	ヘッダーがタッチキー表示になっている ● ステータスバー表示に切り替え则表示されます。 時計表示が「OFF」に設定されている。 ● 時計表示を「ON」に設定してください。	48 168
時計 (現在時刻) が正しく 表示されない	VICS タイムスタンプに表示される時刻は VICS 情報が提供された時刻です。現在時刻ではありません。 本機は GPS 信号を受信した時刻を表示しているため、テレビ番組の時刻表示とは異なる場合があります。	79
	Apple CarPlay の接続中は、接続している iPhone が受信した時刻が表示されます。	—

故障かな！？と思ったら

電源・共通

症 状	原 因 / 対 処	ページ
映像が暗い/白っぽい/ 色合いが悪い/色が薄い	画質調整が適切でない。 ●各項目を調整してください。	121
	本機が高温になると、画面の明るさを自動調整したり、画面の表示を停止する場合があります。 ●本機の温度が下がるまでお待ちください。	—
	本機が低温になっている場合、画面が白っぽくなる場合があります。 ●車の暖房を使用して室温を上げ、本機の温度が上がるまでお待ちください。	—
画面が曇る	冷暖房を使用した直後などには、結露のため画面が曇ったり、正しく表示されない場合があります。 ●結露が解消するまでお待ちください。	—
画面に赤、青または緑の点が表示される	液晶ディスプレイ特有の現象です。故障ではありません。	—
ディスプレイに何も表示 されない	本機が低温になっている場合、映像の表示に時間がかかる場合があります。 ●車の暖房を使用して室温を上げ、本機の温度が上がるまでお待ちください。	—
	HDMI入力に機器が接続されていない状態で、オーディオをHDMIに切り替えた。 ●HDMI入力に機器を接続してください。	162
	●HDMI入力に機器が接続されている場合は、接続した機器の電源が切れていないかを確認してください。	—
	●機器を接続しない場合は、HDMI以外の画面(ナビゲーションや他のソース)に切り替えてください。	86
	一時的に画面を消している(画面OFF) ●AUDIO/MENU/MAPのいずれかを押すか、画面をタッチしてください。	27
	お買い上げの販売店に依頼し、電源コード/接続ハーネスの接続を確認してください。	—
	アクセサリコード/電源コネクタのヒューズが切れている。 ●お買い上げの販売店にご相談ください。	—
映像が出ない (音声は出ている)	一時的に画面を消している(画面OFF) ●AUDIO/MENU/MAPのいずれかを押すか、画面をタッチしてください。	27
	安全のため、走行中は映像(テレビなどの画面)を見ることができないようになっています。 ●安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてください。	—
	お買い上げの販売店に依頼し、サイドブレーキコードの接続が外れていないか確認してください。	—
		—
音 声		
ステレオのとき左右の音が 逆になる	お買い上げの販売店に依頼し、スピーカーコードの接続を確認してください。	—
左右前後のいずれかの音が 出ない	フェーダー/バランスの設定を確認してください。	119
	お買い上げの販売店に依頼し、各コードの接続を確認してください。	—
雑音が出る	スマートフォンなどを本機から離してください。	—
	お買い上げの販売店に依頼し、アースコードがしっかりと車体の金属部に接続されていることを確認してください。	—
音量が勝手に変わる	「案内音量の車速連動」が「ON」に設定されていると、走行する速度に連動してナビ案内音の音量が自動的に調整されます。 ●「案内音量の車速連動」を「OFF」に設定してください。	168
	車速連動音量の補正やノイズ連動音量の補正が設定されていると、走行する速度に連動してオーディオの音量が自動的に補正されます。 ●補正量の設定を確認してください。	117

ナビゲーション

症 状	原 因 / 対 処	ページ
動 作		
登録地が登録されない/ 設定が変更されない/探索 したルートが削除された	操作のあと、すぐに電源を切った。 ● もう一度、地点登録・ルート探索などの操作をしてください。	—
◀ を選んでも、 前の画面に戻らない	画面によっては、◀ を選んでも前の画面に戻らない場合があります。	—
地図画面上でフリック/ ドラッグ以外の操作がで きない	フリック/ドラッグ操作でスクロール中は、画面上でそれ以外の操作は できません。 ● 約1秒間何も操作せずに、地図モード画面になってから操作してください。	—
表 示		
VICS情報が表示されない (FM VICS)	VICSを放送している放送局を受信しているか確認してください。	167
	FMの電波が弱い。	—
	● 障害物(トンネルやビル陰など)の無い場所に移動してください。 ● 電波の強い周波数の放送局を選局してください。	167
	地図に表示するVICS情報の保持時間が過ぎた。 ● 新しい情報を再受信するまでお待ちください。	—
	VICSのサービス外の地図を表示している。 ● VICSのサービスを行っている圏内の地図を表示し確認してください。	—
	お買い上げの販売店に依頼し、ラジオアンテナの接続を確認してください。	—
VICS情報が表示されない (ETC2.0)	ETC2.0車載器の取り付け状態が悪く受信できない。 ● アンテナの上に物を置かないでください。 ● 極端にフロントガラスが汚れている場合は、きれいにしてください。 ● お買い上げの販売店に依頼し、取り付け位置や接続を確認してください。	— — —
地図画面全体が 黄色または赤色で 表示される	表示中の地図全体がVICS情報の対象範囲内となっている。 ・薄い黄色: 気象・災害情報 ・薄い赤色: 緊急情報(特別警報) ● 地図の縮尺を広域にすると、対象範囲全体を確認できます。	51
案 内		
音声案内されない/ オーディオの音声は出力さ れるのに、ナビゲーション の音声案内が出力されない	音量設定で、「ナビ案内音」の音量が「0」に設定されている。 ● 「ナビ案内音」の音量を調整してください。	26
	「本体音量スイッチ操作で案内音量調整を優先」を「OFF」に設定している。 ● 設定を「ON」にしてください。	168
	フェーダー/バランスの調整値をセンターから離しすぎると音声案内が 小さくなってしまうことがあります。 ● フェーダー/バランスの出力レベル設定を確認してください。	119
	ルートから外れている。 ● 現在地画面で自車がルート上にあるかを確認し、ルートに戻ってください。 ● 再探索してください。	44, 47 73
	ルートに対して逆走行している。 ● 目的地の方向を確認してください。 ● 再探索してください。	47 73
	お買い上げの販売店に依頼し、各コードの接続を確認してください。	—
ルート設定時に料金が 表示されない	ルートが有料道路上から始まっている。 ● 有料道路上で探索してルートが有料道路上から始まっているときは、 料金が表示されない場合があります。	—
有料道路以外で有料案内 する	地図データで有料道路判定をするため、最近無料化された道路などは、 実際と異なり有料案内をすることがあります。 料金所が入口付近になくても、有料道路の手前で音声案内します。	— —

故障かな！？と思ったら

ナビゲーション

症 状	原 因 / 対 処	ページ
高速道路を走行中に一般道路の案内をする / 一般道路を走行中に高速道路の案内をする	高速道路と一般道路が隣接しているときは、誤った道路が案内される場合があります。 ●ランチャーから、 道路切替 を選んでください。	46, 73
一般道優先で探索しているのに、有料道路上にルートを作る	現在地と目的地の場所によっては、一般道優先で探索しても有料道路上にルートを作ることがあります。 ●通りたい一般道路上に経由地を設定してください。 (故障ではありません。)	65, 67

オーディオ [TV]

症 状	原 因 / 対 処	ページ
映像も、音声も出ない	本機が異常に高温になっている。 ●車内の温度を下げた後、本機の電源を入れなおしてください。	—
	受信状態が悪い。 ●車のある場所や方向により、受信状態が変化します。受信状態の良い場所に移動してください。	—
電源を入れても映像がすぐに出不い	ソフトウェアが起動して映像を表示するまでに時間がかかる場合がありますが、故障ではありません。	—
映像や音声が出ない (ときどき出なくなる) / 映像が静止する (ときどき静止する) / 音声が遅れて聞こえる	車のある場所や方向により受信状態が変化します。 視聴中に、受信状態により黒い画面になることがあります。故障ではありません。 車両の搭載機器 (電動ドアミラー、パワーウィンドウ、エアコン、HIDランプなど) によってノイズが発生し、アンテナレベルが低下することがあります。 自動車 / バイク / 高圧線 / ネオンサイン等の近くを車が通過したとき、アンテナレベルが低下することがあります。	— — —
	地上デジタル放送の受信状態が良くないときに、受信モードが「地上D」になっている。 ●地上デジタル放送の電波が弱い地域では、受信モードを「ワンセグ」に切り替えてください。(ワンセグに切り替わるときに、映像や音声が一時的にとぎれたり、遅れたりする場合があります。)	90
地上デジタル放送が受信できない / 受信状態が悪い	地上デジタル放送の放送エリア外にいる場合、受信できません。 また、受信障害がある環境では放送エリア内でも受信できない場合があります。 長距離移動などで現在のチャンネル設定では受信できない場所にいる。 ●ユーザープリセットのスキャンを行ってください。	— 90
	お買い上げの販売店に依頼し、地上デジタルアンテナの接続を確認してください。	—

オーディオ [FM][AM]

症 状	原 因 / 対 処	ページ
ラジオが受信できない / ノイズが多い	放送局の電波が弱い。 ●放送局を変えてください。	94
	ラジオアンテナが十分に伸びているか確認してください。	—
	周波数再編が実施された。(これまで受信できた放送局が受信できなくなった) ●新しい周波数をプリセットのリストに記憶させてください。	94
	ワイドFM非対応のラジオアンテナでFM補完放送を受信しようとした。 ●ラジオアンテナがワイドFMに対応していない場合は、FM補完放送を受信できません。	—

オーディオ [FM] [AM]

症 状	原 因 / 対 処	ページ
ラジオが受信できない/ ノイズが多い	エアコンやワイパーに連動したノイズが発生している。 ●車両側の電装品を止めてください。電装品が作動するとノイズが入る場合があります。	—
	お買い上げの販売店に依頼し、ラジオアンテナの接続・設定を確認してください。	—
	お買い上げの販売店に依頼し、ラジオアンテナのケーブルを他のコードからできるだけ離してください。(束ねたり・重ねたり・交差させたりしない)	—

オーディオ [SD] / [USB]

症 状	原 因 / 対 処	ページ
再生するまで時間がかかる	記録されているフォルダ/ファイル階層が多い。 ●本機で再生できないファイルや不要なフォルダなどは、書き込まないようにしてください。	—
	ファイルのサイズが大きすぎる。 ●サイズが大きいファイルは、読み込みに時間がかかります。	—
再生できない	本機に対応したメディアを再生してください。	190
	●microSDカード・USBメモリーによっては、認識しないものもあります。別のmicroSDカード・USBメモリーをお試しください。	—
	データが本機で再生できる規格かを確認してください。	191
	ファイルが破損している。 ●本機が再生できる形式で、ファイルを作りなおしてください。	191
音質が悪い(音が飛ぶ) 画質が悪い(画像が乱れる)	ファイルにはファイル形式に合った拡張子を必ず付けてください。	191~194
	音質・画質は、使用したエンコーダーソフトやオーサリングソフト、ビットレートなどの設定などにより異なります。詳しくは、エンコーダーソフトの説明書をご覧ください。	191, 194
音声のみ再生される / 映像のみ再生される	データが本機で再生できる規格かを確認してください。	191, 194
ファイル名・フォルダ名が 正しく表示されない/曲情 報が正しく表示されない	規格に準拠した文字種・文字数で入力してください。	—
再生経過時間の表示が実際 と一致していない	再生中、ACCをOFFにした。	—
	●他のファイルを選んで再生すると、正常に戻ります。 可変ビットレート(VBR)で記録されたファイルは、再生経過時間が正しく表示されない場合があります。	—

オーディオ [iPod]

症 状	原 因 / 対 処	ページ
iPod が正しく動作しない	iPod が正しく認識されていない。 ●接続を確認してください。 ●iPod をリセットしてから再接続してください。	102 —
	Apple CarPlay または Android Auto の接続をした状態で iPod を利用しようとした。 ●Apple CarPlay または Android Auto と iPod は、同時には利用できません。	—
	iPod が古い。 ●適合機種をご確認ください。 ●OSが最新のバージョンが確認してください。	102 —

故障かな！？と思ったら

オーディオ[レコーダーリンク]

症 状	原 因 / 対 処	ページ
レコーダーと接続できない	スマートフォンが本機とBLUETOOTH接続されていない。 または本機のWi-Fi設定がステーションモードの状態で、Wi-Fi機器が本機とWi-Fi接続されていない。 ●ヘッダーのステータスバー表示から、BLUETOOTHとWi-Fiの接続状態を確認してください。	48
	本機とスマートフォンまたはWi-Fi機器との通信が安定していない。 ●アプリで、スマートフォンと本機の接続をいったん解除し、再度接続してください。	107
	●Wi-Fi機器と本機の接続をいったん解除し、再度接続してください。	33, 34
	アプリのレコーダー登録の登録期限(3か月)が過ぎた。 ●自宅で、アプリからレコーダーの登録を更新してください。	—
再生が安定しない (止まる・途切れるなど)	Wi-Fi機器の通信圏外や電波の弱い地域で使用している。 ●電波の強い場所に移動してご使用ください。	—
	●映像再生画質を下げたり、映像再生バッファサイズを「最大」に設定すると、再生が安定する場合があります。	109
	自宅のレコーダーまたは本機と接続しているWi-Fi機器の通信速度が十分でない。 ●レコーダーリンクで安定した通信をするために必要な通信速度で通信されていることを確認してください。	106
	GPS信号を受信していない。 ●GPS信号を受信しないと、レコーダーリンクを利用できません。 GPS信号の受信状態を確認してください。	25

オーディオ[ネット動画]

症 状	原 因 / 対 処	ページ
再生が安定しない (止まる・途切れるなど)	Wi-Fi機器の通信圏外や電波の弱い地域で使用している。 ●電波の強い場所に移動してご使用ください。	—
再生できない	本機のWi-Fi設定がステーションモードの状態で、本機とWi-Fi機器がWi-Fi接続できていない。 ●Wi-Fiの接続状態を確認してください。	48

BLUETOOTH

対応スマートフォンは、Web サイトでご確認ください。

<https://panasonic.jp/car/navi/genuine/>

- スマートフォン側の操作はスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。
- 動作確認の対象は、国内3キャリア(docomo, au, SoftBank)の製品です。
一部、料金プランによってはスマートフォンの動作が変わるため対象外となる場合があります。
- すべての音楽再生アプリ、通話アプリでの動作を保証するものではありません。ハンズフリーは、通常の音声通話のみ動作を保証しております。

症 状	原 因 / 対 処	ページ
登 録		
スマートフォンを本機に 機器登録できない	スマートフォンを操作して、BLUETOOTHをONに設定してください。	—
	本機のBLUETOOTH接続がOFFになっている。 ●本機のBLUETOOTH接続をONに設定してください。	32
	A2DP(Advanced Audio Distribution Profile)に対応したスマートフォンを登録してください。	—
	HFP(Hands-Free Profile)に対応したスマートフォンを登録してください。	—
	スマートフォンのファームウェア(ソフトウェア)を最新にすると、登録できるようになる場合があります。	—

BLUETOOTH

症 状	原 因 / 対 処	ページ
BLUETOOTH対応機器の登録機器リストで本機の機器名称 (CAR MULTIMEDIA) を選択しても、本機を登録できない	BLUETOOTH対応機器に同じ機器名称で登録されている、別の機器を選択した。 ● 本機からBLUETOOTH対応機器の登録を消去し、BLUETOOTH対応機器の登録機器リストから本機 (CAR MULTIMEDIA) を消去してから、再度機器登録からやりなおしてください。	30, 32
音 声		
音質が悪い (音がひずむ・ノイズが発生する)	本機の近くに、他のスマートフォンや2.4 GHz帯を使用する機器がある。 ● 混信するため、他の機器を本機から離してください。 ● それでも混信する場合は、他の機器の電源を切ってください。 スマートフォンの電池残量が少ない場合は、充電してください。	196 — —
接 続		
本機に接続できない	スマートフォンが本機に機器登録されていない。 ● 機器登録してください。	30
	本機に対応したプロファイルでないと、本機と接続できません。 ● プロファイルを確認してください。	196
	スマートフォンを本機に近づけてください。	—
	見通しの良い状態でスマートフォンとの通信を行ってください。障害物等の影響で通信距離が短くなるおそれがあります。特に金属や人体 (ポケットなどに入れている時など) に近接すると途切れたり通信不能になる場合があります。	—
	BLUETOOTH対応の周辺機器 (ヘッドフォン等) や無線LAN、その他無線機器などの電波を発する機器が多い環境、その他電波状態の悪い環境で使用しないでください。接続が頻繁に途切れたり、通信不能になる場合があります。	—
	自動的にペアリング情報が削除された。 ● 本機からスマートフォンの登録を削除し、スマートフォンの登録機器リストから本機を削除して、機器登録からやりなおしてください。	30, 32
	自動接続が完了していない。 ● スマートフォンが本機と自動接続されるまで、しばらく時間がかかる場合があります。	—
	本機のBLUETOOTH接続がOFFになっている。 ● 本機のBLUETOOTH接続をONに設定してください。	32
	登録したスマートフォンが自動的に本機と再接続されない	—
	スマートフォンが省電力モードに設定されている。 ● 一定時間経過後に自動的にBLUETOOTH接続が解除される場合があります。スマートフォンを設定を変更してください。	—
	スマートフォンを操作して、本機とのBLUETOOTH接続を解除した。 ● 再度本機とBLUETOOTH接続してください。 ● それでもBLUETOOTH接続できない場合は、本機からスマートフォンの登録を削除し、スマートフォンの登録機器リストから本機を削除して、機器登録からやりなおしてください。	30 30, 32
	スマートフォンが操作待ちになっている。(機種によっては、本機からのBLUETOOTH接続に対し、確認操作が必要なものがあります。) ● スマートフォンを操作してBLUETOOTH接続を許可してください。	—
	本機の近くに、他のスマートフォンや2.4 GHz帯を使用する機器がある。 ● 混信するため、他の機器を本機から離してください。 ● それでも混信する場合は、他の機器の電源を切ってください。	196 —
	スマートフォンが金属物に触れている場合は、離してください。	—
	スマートフォンと本機の間に障害物がある場合は、取り除いてください。	—
	スマートフォンを本機に近づけてください。	—
		—

BLUETOOTH

症 状	原 因 / 対 処	ページ
登録したスマートフォンが自動的に本機と再接続されない	BLUETOOTHによる自動接続に失敗した。 ● いったんスマートフォンの電源を切り、再度電源を入れてください。 ● それでもBLUETOOTH接続できない場合は、本機からスマートフォンの登録を削除し、スマートフォンの登録機器リストから本機を削除して、機器登録からやりなおしてください。	— 30, 32
	スマートフォンがBLUETOOTH接続待機状態になっていない。 ● スマートフォンがBLUETOOTH接続待機状態でないと、本機とBLUETOOTH接続されません。スマートフォンを接続待機状態に設定してください。	—
	スマートフォンが自動接続に対応していない。 ● 本機から手動で接続してください。	30
	スマートフォンがハンズフリー接続待機状態になっていない。 ● スマートフォンがハンズフリー接続待機状態でないと、本機とハンズフリー接続されません。スマートフォンを接続待機状態に設定してください。	—
スマートフォン連携		
iPhone でスマートフォン連携を利用できない	iPhone または iPod をケーブルで接続した状態で iPhone でスマートフォン連携を利用しようとした。 ● iPhone または iPod をケーブルで接続すると、ケーブルでの接続が優先されるため、iPhone でスマートフォン連携機能 (NaviCon、CarAV remote S) を利用できません。iPhone または iPod をケーブルから取り外してください。	—
	本機と Apple CarPlay の接続をしている iPhone を BLUETOOTH 接続しようとした。 ● Apple CarPlay の接続をしている iPhone では、Apple CarPlay 以外の BLUETOOTH 接続を利用した本機の機能は利用できません。Apple CarPlay の接続を切断してから、BLUETOOTH 接続してください。	30
「NaviCon」のデータを本機で取得できない	スマートフォンが本機に正常に接続されていない。 ● BLUETOOTH 接続状態を確認してください。 ● スマートフォンをハンズフリー接続してください。 ● BLUETOOTH 接続をいったん解除してから、再接続してください。	— 30, 31 30, 32
スマートフォンアプリを終了しても BLUETOOTH 接続が解除されない	手動で BLUETOOTH 接続を解除してください。	32
スマホ連携の接続が完了しない	接続をいったん中止し、再接続してください。	30, 32
スマホ連携の切断が完了しない	スマートフォンを操作して切断してください。	—
ハンズフリー通話		
電話帳や発着信履歴が表示されない	機器や電波の状況によっては、ハンズフリー接続後の電話帳と発着信履歴の転送に時間がかかる場合があります。 ● 本機の BLUETOOTH 機能を OFF にして、再度 ON にしてください。 ● それでも表示されない場合は、スマートフォンとハンズフリー接続したままの状態でのエンジンを止め (ACC OFF)、ボタン照明が消えて約 10 秒経過してから再度エンジンをかけてください。	32 —
本機に機器登録されたスマートフォンでハンズフリー通話できない	通話がスマートフォンに切り替わっている。 ● ハンズフリー切替 を選択し、ハンズフリー通話に切り替えてください。	125
	スマートフォンのサービス圏外で使用している。 ● サービス圏内でご使用ください。	—
	BLUETOOTH による接続がされていない。 ● 再接続してください。	30, 32
	スマートフォンがマナーモードになっている。 ● 機種によっては、マナーモードに設定していると本機から着信音が出力されない場合があります。マナーモードを解除してください。	—
	スマートフォンのアプリによっては、着信中に電話に出ようとすると、操作が受け付けられず切れることがあります。故障ではありません。	—

BLUETOOTH

症 状	原 因 / 対 処	ページ
ハンズフリー通話中、エコーやハウリングが起こる	ハンズフリー受話音を下げてください。	26
通話中、相手の音声聞き取りにくい	自分と相手が同時に発声した。 ● 交互に話してください。	—
	ハンズフリー受話音を上げてください。	26
	通話がスマートフォンに切り替わっている。 ● ハンズフリー切替 を選択し、ハンズフリー通話に切り替えてください。	125
着信履歴から発信できない	番号非通知の相手にかけようとした。 ● 番号非通知の相手には発信できません。	—
	国際電話の着信履歴から発信しようとした。 ● スマートフォンの契約によっては、国際電話への発信ができない場合があります。	—
	スマートフォンの機種によっては、相手先の電話番号を本機に通知しないものがあります。 ● スマートフォンの着信履歴から直接発信してください。	—
		—
通話音量が大きすぎる・小さすぎる / 通話しにくい	マイクと話者の距離が近いまたは離れている。 ● 適切な距離でお話してください。	15
	エアコンの送風音をマイクが拾っている。 ● エアコンの送風を弱くするか、止めてください。	—
		—
スマートフォンの通話中に、自動的にハンズフリー通話に切り替わる / 本機と接続中、スマートフォンで通話できない	機種によっては、BLUETOOTHにより接続されると自動的にハンズフリー通話しかできなくなる場合があります。 ● スマートフォンで通話するときは、スマートフォンを操作して本機とのBLUETOOTH接続を解除してください。	—
走行中にハンズフリー通話していたら、回線切断のメッセージが表示された	スマートフォンの電波が弱い。 ● 電波の状態が良い場所でご使用ください。	—
着信していないのに突然通話中画面が表示され、しばらくすると通話終了する	スマートフォンのアプリによっては、通話していない場合でも、本機が通話中と認識し通話中画面を表示することがあります。	—
電話に出ていないのに通話中になった	故障ではありません。 通常の音声通話（電話回線を使用した通話）以外の場合、正常に動作しない場合があります。	176
通話相手の電話番号が正しく表示されない		—
電話帳転送ができない	スマートフォンがPBAP(Phone Book Access Profile)に対応していないと、電話帳転送できません。	—
BLUETOOTH Audio		
BLUETOOTH Audio画面から操作できない（再生はできる）	スマートフォンがAVRCP(Audio/Visual Remote Control Profile)に対応していない。 ● AVRCPに対応していないと、本機から操作できません。スマートフォンで操作してください。（機種によっては、AVRCPに対応していても一部の操作ができない場合があります。）	—
再生できない	接続機器や音楽再生アプリによっては、本機での操作を受け付けない場合があります。 ● 本機画面の  をタッチしても再生できない場合は、接続機器側の再生ボタンを押すことで、再生できる場合があります。	—
音量が小さい	スマートフォンの音量を調整してください。	—
音質が悪い（音がひずむ、音が途切れる、ノイズが発生する）	スマートフォンを本機に近づけてください。	—
	スマートフォンで不要なアプリが起動している場合は、終了してください。	—
	スマートフォンのBLUETOOTHアンテナを本機に向けてください。	—

故障かな！？と思ったら

BLUETOOTH

症 状	原 因 / 対 処	ページ
その他		
P.176～180の処置をしても問題が解決しない/ その他の問題がある	いったん車のエンジンを止めて、再度エンジンをかけてください。	—
	いったんスマートフォンの電源を切り、再度電源を入れてください。	—
	機器登録を削除し、再登録してください。	30, 32
	それでも解決しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。	—

Wi-Fi

症 状	原 因 / 対 処	ページ
Wi-Fi 機器を本機に 機器登録できない	本機のWi-Fi機能がアクセスポイントモードまたはOFFになっている。 ● 本機のWi-Fi機能をステーションモードに設定してください。	35
	スマートフォンのテザリングモードがOFFになっている。 ● スマートフォンを操作し、Wi-Fiテザリング (APモード) を設定してください。	—
	スマートフォンがテザリングに対応してない。 ● 本機でWi-Fi機能はご使用になれません。	—
	モバイルWi-FiルーターのWi-Fi機能が無効になっている。 ● モバイルWi-Fiルーターを操作して、Wi-Fi機能を有効にしてください。	—
	登録したWi-Fi機器が自動的に本機と再接続されない	35
本機に接続できない	本機のWi-Fi機能をステーションモードに設定し、Wi-Fi機器のWi-Fi機能を有効にしてください。	—
	スマートフォンの場合は、Wi-Fiテザリング (APモード) を設定してください。	—
	Wi-Fi 機器が本機に機器登録されていない。 ● 機器登録してください。 ● ステータスバーのWi-Fiの接続状態を確認してください。	33 48

Apple CarPlay

症 状	原 因 / 対 処	ページ
接 続		
Apple CarPlay との接続 ができない	同じ機器名称で登録されている、別の機器を選択した。 ● 本機で Apple CarPlay 用登録機器を消去し、iPhone の Apple CarPlay の設定からも本機 (CAR MULTIMEDIA) を消去してから、再度機器登録からやりなおしてください。	30
	iPhone 側で Apple CarPlay アプリが異常終了した。 使用中に iPhone の電源を切った。 ● ワイヤレス接続の場合 iPhone の電源を入れなおしてから、iPhone と本機をワイヤレス接続してください。	130
	● USB接続の場合 iPhone をケーブルから取り外し* ¹ 、iPhone の電源を入れなおしてから、ケーブルを再接続してください。	131
	ケーブルがしっかりと接続されていない。 ● Lightning-USB ケーブルまたはデータ通信可能なUSBケーブルを本機の車両側のソケットまたは iPod / USB接続用中継ケーブルにしっかりと接続しなおしてください。	131
	iPhone 側の Apple CarPlay の設定が OFF になっている。 ● iPhone 側の Apple CarPlay の設定を ON にしてください。	—

* 1 USBケーブルを残して iPhone だけを取り外すのではなく、車両側のコネクタからUSBケーブルごと取り外してください。

Apple CarPlay

症 状	原 因 / 対 処	ページ
Apple CarPlay との接続ができない	iPhone が Apple CarPlay に対応していない。 ● Apple CarPlay に対応した iPhone を使用してください。	—
動 作		
Apple CarPlay が正しく動作しない (動きや立ち上がりが遅い、地図を表示しようとしたら真っ白、など)	ケーブルがしっかりと接続されていない。 ● Lightning-USB ケーブルまたは USB ケーブルを本機の車両側のソケットまたは iPod / USB 接続用中継ケーブルにしっかりと接続しなおしてください。	131
	ケーブルが破損している。 ● 破損していない Apple 純正のケーブルを使用してください。	—
	iPhone 側で通信制限が発生している。 ● iPhone の契約データプランを確認してください。	—
	iPhone 側の動作が不安定になっている。 ● iPhone 側の性能、通信状況を確認し、iPhone の電源を OFF にし、再度 ON にしてください。状況が改善される場合があります。	—
Siri が起動しない	iPhone 側の Siri の設定が OFF になっている。 ● iPhone 側の Siri の設定を ON にしてください。	—
音声が出ない	Apple CarPlay の Siri が正常に終了していない ● ワイヤレス接続の場合 iPhone の電源を入れなおしてから、iPhone と本機をワイヤレス接続してください。	130
	● USB 接続の場合 iPhone をケーブルから取り外し* ¹ 、iPhone の電源を入れなおしてから、ケーブルを再接続してください。	131

* 1 USB ケーブルを残して iPhone だけを取り外すのではなく、車両側のコネクタから USB ケーブルごと取り外してください。

Android Auto

症 状	原 因 / 対 処	ページ
接 続		
Android Auto との接続ができない	同じ機器名称で登録されている、別の機器を選択した。 ● 本機で Android Auto 用登録機器を消去し、Android スマートフォンの BLUETOOTH の設定からも本機 (CAR MULTIMEDIA) を消去してから、再度機器登録からやりなおしてください。	30
	Android スマートフォン側で Android Auto アプリが異常終了した。使用中に Android スマートフォンの電源を切った。 ● ワイヤレス接続の場合 Android スマートフォンの電源を入れなおしてから、Android スマートフォンと本機をワイヤレス接続してください。	136
	● USB 接続の場合 Android スマートフォンをケーブルから取り外し* ¹ 、Android スマートフォンの電源を入れなおしてから、ケーブルを再接続してください。	137
	Android スマートフォンの USB 接続モードが、USB メモリーとして認識されるモード (例: 「外部メモリ」など) に設定されていない。 ● Android スマートフォンを操作して、USB 接続モードの設定を確認してください。 ※ 名称や設定のしかたは機器によって異なりますので、Android スマートフォンの説明書をご覧ください。 もしくは、スマートフォンメーカーにお問い合わせください。	—

* 1 USB ケーブルを残して Android スマートフォンだけを取り外すのではなく、車両側のコネクタから USB ケーブルごと取り外してください。

故障かな！？と思ったら

Android Auto

症 状	原 因 / 対 処	ページ
Android Auto との接続ができない	ケーブルがしっかりと接続されていない。 ● USBケーブルを本機の車両側のソケットまたは iPod / USB 接続用中継ケーブルにしっかりと接続しなおしてください。	137
	Android スマートフォン側の Android Auto の設定が OFF になっている。 ● Android スマートフォン側の Android Auto の設定を ON にしてください。	—
	Android スマートフォン側の Android Auto 設定に“拒否された車”として登録されている。 ● Android スマートフォン側の“拒否された車”から本機を削除したあと、接続をやりなおしてください。	—
	Android スマートフォンが Android Auto に対応していない。 ● Android Auto に対応した Android スマートフォンを使用してください。	—
動 作		
Android Auto が正しく動作しない (動きや立ち上がりが遅い、地図を表示しようとしたら真っ白、など)	ケーブルがしっかりと接続されていない。 ● USBケーブルを本機の車両側のソケットまたは iPod / USB 接続用中継ケーブルにしっかりと接続しなおしてください。	137
	ケーブルが破損している。 ● 破損していない USB ケーブルを使用してください。	—
	Android スマートフォン側で通信制限が発生している。 ● Android スマートフォンの契約データプランを確認してください。	—
	Android スマートフォン側の動作が不安定になっている。 ● Android スマートフォン側の性能、通信状況を確認し、Android スマートフォンの電源を OFF にし、再度 ON にしてください。状況が改善される場合があります。	—
Google アシスタントが起動しない	Android スマートフォン側の Google アシスタントの設定が OFF になっている。 ● Android スマートフォン側の Google アシスタントの設定を ON にしてください。	—
音声が出ない	Android Auto の Google アシスタントが正常に終了していない。 ● ワイヤレス接続の場合 Android スマートフォンの電源を入れなおしてから、Android スマートフォンと本機をワイヤレス接続してください。	136
	● USB 接続の場合 Android スマートフォンをケーブルから取り外し* ¹ 、Android スマートフォンの電源を入れなおしてから、ケーブルを再接続してください。	137

* 1 USBケーブルを残して Android スマートフォンだけを取り外すのではなく、車両側のコネクタから USB ケーブルごと取り外してください。

HDMI

症 状	原 因 / 対 処	ページ
音声が出ない	本機と接続した機器が、本機以外の機器と BLUETOOTH 接続している。 ● 本機以外の機器との BLUETOOTH 接続を解除してください。	—
映像が出ない	正しく接続されていない。 ● 接続を確認してください。特に、スマートフォンを本機と HDMI で接続している場合は、変換アダプタが正しく接続されていない場合があります。	162
	変換アダプターの解像度が本機で表示できる解像度と異なっている。 ● 本機で対応している解像度 (480p、720p) の変換アダプターを使用してください。1080i、1080p には対応していません。	—

ドライブレコーダー

症 状	原 因 / 対 処	ページ
ドライブレコーダーで録画できない	ドライブレコーダー接続設定が「OFF」に設定されている。 ●「ON」に設定してください。	158
後方の映像を録画できない 3 CH 2 CH	ドライブレコーダーリヤカメラ録画が「しない」に設定されている。 ●本機をお買い上げ時の状態に戻す操作*を行うと、ドライブレコーダーリヤカメラ録画の設定が「しない」になります。「する」に設定しなおしてください。	159
車内の映像を録画できない 3 CH	車内カメラ録画が「OFF」に設定されている。 ●本機をお買い上げ時の状態に戻す操作*を行うと、車内カメラ録画の設定が「OFF」になります。「ON」に設定しなおしてください。	159

*「設定を初期化する」(P.158)および「出荷状態に戻す」(P.169)

ソフトウェア・地図更新

症 状	原 因 / 対 処	ページ
地図を更新できない	本機がGPS衛星からの信号を受信していない。 ●GPS信号を受信していることを確認してください。 ●本機がGPS信号を受信している状態で更新を実施してください。	25 —
インターネットから、ソフトウェア・地図を更新できない	更新用SDカードが本機に挿入された状態でインターネットからソフトウェア・地図を更新しようとした。 ●更新用SDカードを取り出し、再度インターネットから更新してください。	149
	完了していない更新データがある状態で、ソフトウェア・地図を更新しようとした。 ●前回行った更新を完了させてから、再度ソフトウェア・地図を更新してください。	149

こんなメッセージが出たときは

文章で画面に表示される、主な確認／エラーメッセージの例です。

エラーメッセージが表示された場合は、処置の説明に従ってください。

メッセージ	内 容
	か
更新が中断されました。 再度更新処理を行ってください。	本機に送信した更新データと本機の情報が合っていない。 ●いったん本機とWi-Fi機器のWi-Fi接続を解除して、本機のWi-Fi設定がステーションモードの状態で、再度Wi-Fi接続してください。(P.35) ●Wi-Fi接続が確認できたら、再度、更新データのダウンロードからやりなおしてください。(P.149)
このファイルは再生できません。	再生できない形式の音楽データまたは動画データを再生した。 ●ファイルを確認してください。
	さ
サーバーから情報を取得できないため オンラインバージョンアップを利用できません。更新用SDカードを作成し、更新を実施してください。	本機の地図データにファイル破損などの異常がある。 ●パソコンを使用してソフトウェア・地図を更新してください。
サーバーと通信ができませんでした。	Wi-Fi機器と本機のWi-Fi接続ができない。 ●スマートフォンの場合は、テザリングをOFFにし、再度ONにして本機のWi-Fi設定がステーションモードの状態で、スマートフォンと本機をWi-Fi接続してください。(P.33) ●モバイルWi-Fiルーターの場合は、Wi-FiをOFFにし、再度ONにして本機のWi-Fi設定がステーションモードの状態、モバイルWi-Fiルーターと本機をWi-Fi接続してください。(P.33)

故障かな!?と思ったら
困ったとき

こんなメッセージが出たときは

メッセージ	内 容
サーバーとの通信が切断されました。 Wi-Fi接続を確認してください。 「情報・設定」>「システム情報・設定」 >「ソフトウェア・地図更新」 >「オンラインバージョンアップ確認」から 再度お試しください。	ダウンロード中にWi-Fi機器と本機のWi-Fi接続が切断された。 ● スマートフォンの場合は、テザリングをOFFにし、再度ONにして本機のWi-Fi設定がステーションモードの状態で、スマートフォンと本機をWi-Fi接続して(P. 33)、再度更新データのダウンロードからやりなおしてください。 ● モバイルWi-Fiルーターの場合は、Wi-FiをOFFにし、再度ONにして本機のWi-Fi設定がステーションモードの状態で、モバイルWi-Fiルーターと本機をWi-Fi接続して(P. 33)、再度更新データのダウンロードからやりなおしてください。
再生可能なファイルがありません。	異常のある動画を再生した。 ● ファイルを確認してください。 再生できるファイルが無い。 ● 再生できるファイルのあるメディアを挿入してください。
車速信号が検出できません。 車速信号コードの接続をご確認ください。	お買い上げの販売店に依頼し、車速信号コードまたは車速信号中継コードの接続を確認してください。
車両信号設定、カメラ設定に誤りがある 可能性があります。もしくは車両信号の 受信ができません。	お買い上げの販売店に依頼し、車両信号とカメラの設定を確認してください。
受信できません (0020)	地上デジタル放送/ワンセグの受信レベルが低い。
受信できません (E202)	地上デジタル放送/ワンセグの電波を受信できていない。
受信できません (E203)	地上デジタル放送/ワンセグの受信レベルが非常に低い。 放送休止のチャンネルを見ている。
情報を受信していません。	VICS情報が無い。 ● FM VICSチューナーの周波数設定を確認してください。
接続できませんでした。 接続機器を確認してください。	Android スマートフォンが本機との Android Auto の接続に対応していない。 ● 本機で Android Auto が使用できるスマートフォンをご確認ください。
走行中はスクロールできません。	市街地図を表示した状態で、走行中に地図をスクロールした。 ● 安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてご覧ください。 パーキングブレーキをかけているにもかかわらず、メッセージが表示される場合は、サイドブレーキコードが正しく接続されていない。 ● お買い上げの販売店に依頼し、サイドブレーキコードの接続を確認してください。
た	
地図/ソフトウェアの更新ができません でした。 再度更新処理を行ってください。	インターネットでのソフトウェア・地図の更新に失敗した。 ● スマートフォンの場合は、テザリングをOFFにし、再度ONにして本機のWi-Fi設定がステーションモードの状態で、スマートフォンと本機をWi-Fi接続して(P. 33)、再度更新データのダウンロードからやりなおしてください。 ● モバイルWi-Fiルーターの場合は、Wi-FiをOFFにし、再度ONにして本機のWi-Fi設定がステーションモードの状態で、モバイルWi-Fiルーターと本機をWi-Fi接続して(P. 33)、再度更新データのダウンロードからやりなおしてください。 パソコンを利用したソフトウェア・地図の更新に失敗した。 ● 再度、更新用SDカードの作成からやりなおしてください。(P. 148)
地図データの読み込みに失敗したため、 オンラインバージョンアップを利用 できません。 更新用SDカードを作成し、更新を実施 することで復旧する場合があります。	本機の地図データにファイル破損などの異常がある。 ● パソコンを使用してソフトウェア・地図を更新してください。(P. 148)

こんなメッセージが出たときは

メッセージ	内 容
電源を入れ直してください。 ※このメッセージが繰り返し表示される場合はお買い上げの販売店またはお近くのサービス窓口にご相談ください。	アンプに異常が発生した。 ●いったん車のエンジンを止めて、再度エンジンをかけてください。 ※このメッセージが繰り返し表示される場合はお買い上げの販売店にご相談ください。
電話帳データの件数が多すぎます。 最大2000件の電話帳データを読み込むことができます。	アドレス帳を、最大保存可能件数まで保存した。 ●これ以上保存できません。不要なアドレス帳を削除してください。
同期できませんでした。しばらくお待ちいただき、再度 Wi-Fi 接続してください。	インターネットでのソフトウェア・地図の更新に失敗した。 ●スマートフォンの場合は、テザリングを OFF にし、再度 ON にして本機の Wi-Fi 設定がステーションモードの状態、スマートフォンと本機を Wi-Fi 接続してください。(P.33) ●モバイル Wi-Fi ルーターの場合は、Wi-Fi を OFF にし、再度 ON にして本機の Wi-Fi 設定がステーションモードの状態、モバイル Wi-Fi ルーターと本機を Wi-Fi 接続してください。(P.33)
は	
本機に接続している USB ケーブルに異常がありました。 ケーブルを取り外して、電源を入れ直してください。	ケーブルが金属物に触れている。 ●金属物から離してください。 接続している機器や iPod / USB 接続用中継ケーブルに異常が無いことを確認してください。 ●それでも正常に戻らない場合は、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
ら	
ルート探索ができません。	極端に長い道のりのルートを探そうとした。 ●目的地、経由地を近くに設定して、もう一度ルートを探してください。
アルファベット	
(iPhone の端末名) の Apple CarPlay 機能が無効に設定されています。 設定を見直すか、BLUETOOTH 接続を使用してください。	Apple CarPlay を利用する場合は、iPhone 側の設定で Apple CarPlay を有効にして、本機と接続してください。 Apple CarPlay を利用しない場合は、iPhone を BLUETOOTH 対応機器として接続してください。
SD カードの書き込みができませんでした。 SD カードを確認してください。	microSD カードが壊れている。 ●書き込みが可能な microSD カードを使用してください。

こんなメッセージが出たときは

ドライブレコーダー ナビ連動用(別売品)

メッセージ	内 容
あ	
映像の一覧が読み込めませんでした。	ドライブレコーダーで使用している microSD カードのデータを読み込めなかった。 ● 再度、同じ操作をしても問題が解消されない場合は、本機を操作して microSD カードを初期化してください。(P. 158)
映像を削除できませんでした。	ドライブレコーダーで使用している microSD カードのデータを削除できなかった。 ● 再度、同じ操作をしても問題が解消されない場合は、本機を操作して microSD カードを初期化してください。(P. 158)
か	
このファイルはドライブレコーダーで録画されたファイルではないため再生できません。	本機では再生できないファイルを再生しようとした。 ● 再生可能な次のファイルへスキップします。
た	
調整できませんでした。 平らな場所に停車し、やり直してください。	ドライブレコーダーのセンサー調整が必要です。 ● ドライブレコーダー本体を正しく取り付けたとあと、水平で平らな振動の少ない場所に停車している状態でセンサー調整を実施してください。(P. 158)
ドライブレコーダーが高温のため動作できません。 温度が下がると動作を再開します。	ドライブレコーダーの内部温度が正常に戻るまでお待ちください。 ● 問題が解消されない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
ドライブレコーダーが動作できません。	車のエンジンを止めて、再度エンジンをかけると、改善される場合があります。 ● エンジンを再始動しても改善されない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
ドライブレコーダーで記録可能な領域が少ないためこれ以上、手動での録画ができません。 ドライブレコーダーのSDカードの内容を確認し手動録画や保存フォルダ内の不要な映像を削除したり大切な映像はパソコンに移動してください。	microSD カードの空き容量が少ないため、録画できない。 ● 手動録画した映像ファイルを削除してください。 削除したくない大切な映像は、パソコンなどに移動してください。
ドライブレコーダーとの接続を確認してください。	車のエンジンを止めて、再度エンジンをかけると、改善される場合があります。 ● エンジンを再始動しても改善されない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
ドライブレコーダーにSDカードが挿入されていません。 SDカードを挿入してください。	ドライブレコーダー本体に microSD カードが正しく挿入されていない、または未挿入です。 ● microSD カードが正しく挿入されていることを確認してください。
ドライブレコーダーのSDカードの交換時期になりました。 新しいSDカードへの交換をお勧めします。	microSD カードには寿命があります。 ● 新しい microSD カード(ドライブレコーダー用として別売設定されている microSD カード)に交換してください。
ドライブレコーダーのSDカードのパフォーマンスが低下しています。 大切な映像をパソコンに移動したあと、SDカードの初期化をしてください。	microSD カードのデータをパソコンなどに移動してから、本機を操作して microSD カードを初期化してください。(P. 158)
ドライブレコーダーの録画ができません。 ドライブレコーダーのSDカードを確認してください。	microSD カードを確認してください。 付属または使用可能な microSD カード(ドライブレコーダー用として別売設定されている microSD カード)を使用してください。

こんなメッセージが出たときは

メッセージ	内 容
は	
保存フォルダへ移動できません。 ドライブレコーダーのSDカードの内容を確認し保存フォルダ内の不要な映像を削除したり大切な映像はパソコンに移動してください。	記録できるファイル数の上限に達した。 ● 保存フォルダ内の映像ファイルを削除してください。 削除したくない大切な映像は、パソコンなどに移動してください。
ら	
リアカメラに切り替えることができません。 ドライブレコーダーの設定を確認してください。 3 CH 2 CH	ドライブレコーダーリヤカメラ録画の設定が「しない」に設定されている。 ● 本機を工場出荷状態に戻すと、ドライブレコーダーリヤカメラ録画の設定が「しない」になります。「する」に設定しなおしてください。(P.159)
アルファベット	
SDカードの初期化ができませんでした。 ドライブレコーダーのSDカードを確認してください。	再度、microSDカード初期化の実施が必要です。 ● 本機を操作してmicroSDカードの初期化してください。(P.158)

本体リセット機能について

画面が正しく表示されない、操作しても反応しないなど正常に動作しないときは、いったん車のエンジンを止めて、再度エンジンをかけてください。

それでも正常に戻らない場合は下記の操作で本体リセットを行い、再起動させてください。

AUDIO を約15秒以上押す

- バッテリー交換時と同様に一部の設定が初期化されます。(P.169)
- セキュリティコードを設定している場合、本体リセットを行うと再起動時にセキュリティコード認証画面が表示されます。(P.37)

文字入力のかた

- 入力できる文字の種類は、機能によって異なります。

例：名称検索（P.60）で入力できるのは「ひらがな」のみ、など

かな・漢字を入力する



- ① キー配列をスマホ風に切替
- ② 記号・顔文字入力に切替
- ③ 濁音・半濁音・促音・拗音に切替
- ④ 文字を切替（かな・英数・テンキー）
- ⑤ カーソルを左右に移動
- ⑥ 1文字削除
- ⑦ スペースを入力
- ⑧ 長音記号を入力
（タッチし続けると、記号入力）
- ⑨ 入力した内容に決定

変換のかた

1 文字（ひらがな）を入力する

2 候補から、文字を選ぶ

- ▼：すべての候補の一覧を表示



英数字を入力する



- ① キー配列を切替
（QWERTY/アルファベット順/スマホ風）
- ② 記号・顔文字入力に切替
- ③ 大文字/小文字を切替
- ④ 文字を切替（かな・英数・テンキー）
- ⑤ カーソルを左右に移動
- ⑥ 1文字削除
- ⑦ スペースを入力
- ⑧ @（タッチし続けると、記号入力）
- ⑨ 入力した内容に決定

テンキー（10キー）で数字を入力する



- ① 記号・顔文字入力に切替
- ② 文字を切替（かな・英数・テンキー）
- ③ カーソルを左右に移動
- ④ 1文字削除
- ⑤ スペースを入力
- ⑥ 入力した内容に決定

記号を入力する



① 記号のリストを切替

- ⌚: 入力履歴
- !? : 一般
- [] : 括弧
- ↵ : 矢印
- ◆ : マーク
- ① : 数字
- \$: 通貨

② 元のキーボードに戻る

③ 記号/顔文字に切替

④ 1文字削除

顔文字を入力する



① 顔文字のリストを切替

- ⌚: 入力履歴
- 😊 : ハッピー
- 😢 : 悲しい
- 😭 : びっくり
- 😓 : 困る
- 😡 : 怒る
- 😌 : あいさつ
- 💕 : ラブ・友情
- 🐶 : 動物・キャラクター

② 元のキーボードに戻る

③ 記号/顔文字に切替

④ 1文字削除

スマホ風のキー配列に切り替えて入力する

■ かな入力画面(例)



① キー配列を切替

(切り替わりかたは文字の種類によって異なります。)

② 記号・顔文字入力に切替

③ 文字を切替(かな・英数・テンキー)

④ カーソルを左右に移動

⑤ 1文字削除

⑥ スペースを入力

⑦ 入力した内容に決定

スマートフォンのタッチ入力・フリック入力と同じ感覚で入力できます。

● 同じタッチキーを繰り返しタッチすると、段(あ→い→う→え→お)が切り替わります。

● 「あ」の段の文字を続けて入力する場合(例:「ささやま」など)、1文字入力したあとに  を選んで、カーソルを移動させてから2文字目を入力してください。

SDカード・USBメモリーについて

本機で利用できる SD カード

- microSDXCカード (2 TB以下) *¹
- microSDHCカード (32 GB以下) *¹
- microSDカード (2 GB以下)

お願い

- 使用する前に本機で初期化してください。(P.169)
- 地図更新に使用するカードは、パソコンで「SDメモリカードフォーマッター」*²を用いて初期化してから使用してください。

お知らせ

- 規格に準拠した microSD カードでも、本機では使用できない場合があります。
- 正常に動作しないときは、不良品もしくは劣化が進んでいる場合があります。
- 本機は UHS 規格の転送速度には対応していません。

*¹ SD規格準拠カードのみ使用できます。

*² SDアソシエーションが提供しているフォーマットソフトウェアです。下記サイトをご覧ください。
<https://www.sdcard.org/ja/downloads-2/formatter-2/>

本機で利用できる USB メモリー

- USB マスストレージ規格準拠
- ファイルシステム: FAT16、FAT32、exFAT
- USB コミュニケーションフォーマット: USB 2.0
- パソコンと接続時、リムーバブルディスクとして認識されるもの
- USBメモリー本体にセキュリティがかかっていないもの

お知らせ

- 規格に準拠した USB メモリーでも、本機では使用できない場合があります。
- 正常に動作しないときは、不良品もしくは劣化が進んでいる場合があります。

microSD カード・USBメモリーの取り扱いについて

- 読み書きしているときに下記のことはいししないでください。
microSD カードを取り出す / USBメモリーを取り外す / 電源を切る
- microSDカード・USBメモリーの端子部を手や金属で触れたり、汚したりしないでください。
- 強い衝撃を与える、曲げる、落とす、水に濡らすなどしないでください。
- 長時間使用すると、microSDカード・USBメモリーが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- microSDカード・USBメモリーには寿命があり、長期間使用すると書き込みや削除などができなくなる場合があります。
- microSDカードにシールやテープ、作成したラベルを貼り付けしないでください。
- microSDカードの挿入・取り出しの際は、紛失にご注意ください。
- microSDカードは、本機から取り出したら、必ずケースに収納してください。
- メディアの破損やデータの変化・消失による損害に関して、当社は一切の責任を負いかねます。

データ作成時の留意点

本機で再生できる音楽データについて

本機は、microSDカードまたはUSBメモリーに保存した音楽データを再生できます。以下の規格から外れたファイルは、再生できなかったり、再生できても音飛びするなど、正常に再生できない可能性があります。

■ MP3

項 目	内 容
規格	MEPG-1 Audio Layer3、MPEG-2 Audio Layer3
拡張子	mp3
ビットレート	●MEPG-1 Audio Layer3 32 kbps / 40 kbps / 48 kbps / 56 kbps / 64 kbps / 80 kbps / 96 kbps / 112 kbps / 128 kbps / 160 kbps / 192 kbps / 224 kbps / 256 kbps / 320 kbps / VBR ●MPEG-2 Audio Layer3 8 kbps / 16 kbps / 24 kbps / 32 kbps / 40 kbps / 48 kbps / 56 kbps / 64 kbps / 80 kbps / 96 kbps / 112 kbps / 128 kbps / 144 kbps / 160 kbps / VBR ※free format bitstream / forbiddenは非対応
サンプリング周波数	●MEPG-1 Audio Layer3 32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz ●MPEG-2 Audio Layer3 8 kHz / 11.025 kHz / 12 kHz / 16 kHz / 22.05 kHz / 24 kHz
チャンネル数	2 CH、1 CH (Stereo / Joint Stereo / Dual Channel / Single Channel)
タグ情報	ID3タグVer.1 (Ver.1.0 / Ver.1.1)、ID3タグVer.2 (Ver.2.2 / Ver.2.3 / Ver.2.4) : タイトル、アーティスト名、アルバム名

● プレイリストフォーマット

項 目	内 容
フォーマット	M3U
拡張子	m3u、m3u8
記述方式	絶対パス、相対パス

■ WMA

項 目	内 容
規格	Microsoft Windows Media® Audio Decoder Ver.8 / Ver.9 std / Ver.9 Lossless / Ver.10 pro 2 CH準拠
拡張子	wma
ビットレート	CBR: 5 kbps ~ 320 kbps VBR: Peak 384 kbps
サンプリング周波数	8 kHz / 11.025 kHz / 16 kHz / 22.05 kHz / 32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz
チャンネル数	2 CH、1 CH (Stereo / Mono)
タグ情報	WMAタグ: タイトル、アーティスト名、アルバム名

■ AAC

項 目	内 容
規格	MPEG-4 / AAC LC (Low Complexity)、MPEG-2 / AAC LC (Low Complexity)、HE-AAC Ver.1、HE-AAC Ver.2、Enhanced Low Delay AAC
拡張子	aac、m4a ※iTunes 以外で作成されたファイルは動作保証外 ※DRM認証つきファイルは対象外
ビットレート	8 kbps ~ 320 kbps / VBR
サンプリング周波数	8 kHz / 11.025 kHz / 12 kHz / 16 kHz / 22.05 kHz / 24 kHz / 32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz
チャンネル数	2 CH、1 CH (Stereo / Mono)
タグ情報	AACタグ、ID3タグVer.1 (Ver.1.0 / Ver.1.1)、ID3タグVer.2 (Ver.2.2 / Ver.2.3 / Ver.2.4) : タイトル、アーティスト名、アルバム名

本機で再生できる音楽データについて（続き）

■ FLAC

項 目	内 容
規格	FLAC (Free Lossless Audio Codec)
拡張子	flac
量子化ビット	16 bit / 24 bit
ビットレート	最大 9 216 kbps
サンプリング周波数	16 kHz / 22.05 kHz / 24 kHz / 32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz / 88.2 kHz / 96 kHz / 176.4 kHz / 192 kHz
チャンネル数	2 CH, 1 CH (Stereo / Mono)
タグ情報	タイトル、アーティスト名、アルバム名

■ WAV

項 目	内 容
規格	RIFF waveform Audio Format
拡張子	wav
量子化ビット	16 bit / 24 bit
サンプリング周波数	8 kHz / 11.025 kHz / 16 kHz / 22.05 kHz / 24 kHz / 32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz / 88.2 kHz / 96 kHz / 176.4 kHz / 192 kHz

- MP3iフォーマット/MP3PROフォーマット/ディエンファシスには対応していません。
- ID3タグ Ver. 1、Ver. 2が混在するMP3ファイルの場合、Ver. 2のタグを優先します。
- WMA Voiceには対応していません。
- FLACファイルは 1 024 から 4 608 のブロックサイズに対応しています。
- WAVファイルはLPCM (整数型)に対応しています。AIFFフォーマット/WAVE64フォーマット/RF64フォーマット/ADPCMフォーマット等には対応していません。
- フリーフォーマット・可逆圧縮フォーマットには対応していません。
- 2 CHを超えるチャンネルを持つ音楽データは再生できません。
- 32 kHz以下のサンプリング周波数のMP3/WMA/AACファイルを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
- 64 kbps以下のビットレートで作成されたMP3/WMA/AACファイルを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
- 一般的にビットレートが高くなるほど音質は良くなります。一定の音質で音楽を楽しんでいただくためにはMP3では128 kbps以上、WMAではできるだけ高いビットレートで記録されたファイルの使用をおすすめします。
- ファイル作成の詳細はエンコーダーソフトや使用するオーディオ機器の説明書をご覧ください。
- ファイル作成ソフトやテキスト編集ソフト、ライティングソフトやその設定によっては正規のフォーマットと異なるデータが作成される場合があります、テキスト情報表示や再生ができない場合があります。
- エンコーダーの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。
- 不正なファイル(例えばMP3以外のファイルに“mp3”の拡張子を付けたファイル)は、誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。音楽データ以外のファイルに音楽データの拡張子を付けしないでください。MP3/WMA/AAC/FLAC/WAV以外の形式のファイルは動作を保証しておりません。

- ファイルのチェックを早く終わらせるためにMP3/WMA/AAC/FLAC/WAV ファイル以外のファイルや必要の無いフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。
- 極端にファイルサイズの大きいファイル、小さいファイルは正常に再生できないことがあります。
- 再生できないファイルがある場合、そのファイルはスキップします。(再生しません。)
- 音楽配信サイトで入手できる楽曲は著作権保護がかけられているものがあります。著作権保護された楽曲は有料・無料にかかわらず本機では再生できません。
- DRM(デジタル著作権管理)には対応していません。
- 著作権保護された音楽ファイル(SD-Audio規格など)は再生できません。
- ハイレゾ品質で音楽を聴くにはプレーヤーからスピーカーまですべてハイレゾ対応製品でカーオーディオシステムを構成することをお勧めします。

項 目	内 容
最大ファイル数	65 535 (プレイリスト、楽曲、映像すべての合計)
最大フォルダ数	700 (楽曲、映像すべての合計)
1フォルダ内の最大ファイル数	65 535
階層	8
使用可能文字	A～Z (全角/半角) 0～9 (全角/半角) _ (アンダースコア) 漢字 (JIS 第一水準) ひらがな カタカナ (全角/半角)

■ アルバムアートワーク(ジャケット写真)

項 目	内 容
容量	3 MB以下
ファイル形式	JPEG PNG BMP
拡張子	jpg png bmp

- 音楽ファイルに付けられている画像データのサイズや解像度が大きい場合、正常に再生や表示ができなかったり、音飛びの原因となる場合があります。
- 解像度が縦 130 × 横 130 未満の画像は、表示エリアに収まるサイズに拡大されます。
- 1つのファイルに複数の画像が登録されている場合、正常に表示できない場合があります。

本機で再生できる動画データについて

本機は、microSDカードまたはUSBメモリーに保存した動画データを再生できます。以下の規格から外れたファイルは、映像が表示されなかったり、音飛びしたりするなど、正常に再生できない可能性があります。

■ コンテナフォーマット

● MP4

項 目	内 容
拡張子	mp4、m4v
映像コーデック	MPEG-4 (ISO / IEC 14496 Part.2)、H.264 / MPEG-4 AVC
音声コーデック	MP3、AAC (規格の詳細は音楽データと同じ→P.191)

● AVI

項 目	内 容
拡張子	avi
映像コーデック	MPEG-4 (ISO / IEC 14496 Part.2)、H.264 / MPEG-4 AVC、VC-1
音声コーデック	MP3、AAC、WMA (規格の詳細は音楽データと同じ→P.191)

● MKV

項 目	内 容
拡張子	mkv
映像コーデック	MPEG-4 (ISO / IEC 14496 Part.2)、H.264 / MPEG-4 AVC、VC-1
音声コーデック	MP3、AAC (規格の詳細は音楽データと同じ→P.191)

● ASF・WMV

項 目	内 容
拡張子	asf、wmv
映像コーデック	H.264 / MPEG-4 AVC、VC-1
音声コーデック	WMA (規格の詳細は音楽データと同じ→P.191)

■ 映像コーデック詳細

● H.264/MPEG-4 AVC

項 目	内 容	
プロファイル/レベル	BaselineProfile / 3、MainProfile / 3.1	
最大解像度	720 × 480	1 280 × 720
最大ビットレート	10 Mbps	14 Mbps
最大フレームレート	30 fps	30 fps

● MPEG-4 (ISO/IEC 14496 Part.2)

項 目	内 容	
プロファイル/レベル	SimpleProfile / 5	
最大解像度	720 × 480	720 × 576
最大ビットレート	8 Mbps	8 Mbps
最大フレームレート	30 fps	25 fps

● VC-1

項 目	内 容		
プロファイル/レベル	AdvancedProfile / 2	MainProfile / Medium	SimpleProfile / Medium
最大解像度	1 280 × 720	720 × 480	352 × 288
最大ビットレート	20 Mbps	10 Mbps	384 kbps
最大フレームレート	30 fps	30 fps	15 fps

- ビットレートが低いと、十分な画質・音質を得られない場合があります。
- 可変ビットレート（VBR）で作成されている場合、部分的にビットレートが高くなる場合があります。そのような部分では音飛びやコマ落ちなどが起こる場合があります。
- 動画ファイルの作成方法・エンコーダーソフトなどによっては再生できなかったり、音声・映像が乱れる場合があります。
- 映像が含まれない動画ファイルは再生できません。
- 著作権保護された動画ファイル（SD-Video規格など）は再生できません。

項 目	内 容
最大ファイル数	65 535（プレイリスト、楽曲、映像すべての合計）
最大フォルダ数	700（楽曲、映像すべての合計）
1フォルダ内の最大ファイル数	65 535
階層	8
使用可能文字	A～Z（全角／半角） 0～9（全角／半角） _（アンダースコア） 漢字（JIS 第一水準） ひらがな カタカナ（全角／半角）

無線通信について

BLUETOOTHについて

- 本機の無線機能の使用周波数帯は2.4 GHz 帯です。変調方式としてFH-SS 変調方式を採用しています。想定干渉距離は10 m 以下です。本機は全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。
- 同じ周波数を使用している他の無線機器との電波干渉を防ぐため、下記事項に注意してください。

本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどでの移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略します。)が運用されています。

- 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
 - 万一、本機から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合は、すみやかに使用場所を変更して電波干渉を回避してください。
 - 何かお困りのことが起きたときは、お買い上げの販売店へご相談ください。
- 本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けています。
以下の行為を行うと法律で罰せられることがあります。
 - ・ 本機の分解や改造をする
 - ・ 本機に貼り付けてある製品銘板をはがす
 - 本機はすべてのBLUETOOTH対応機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。

- 接続する機器はBluetooth SIG. Incの定める規格に適合し、認証を取得している必要があります。規格に適合していても、接続する機器の特性や仕様によっては接続できない、表示や動作が異なる、などの場合があります。
- 使用する環境(車内および車両周辺の環境)によっては、通信の状態(接続や音声など)が不安定になることがあります。
- 本機との間に障害物があると、通信の状態が不安定になったり接続できない場合があります。
 - ・ 本機から隠れる場所にある(シートの後ろや下、グローブボックスやコンソールボックスの中など)
 - ・ 金属製のものに接触している／覆われている、身体に触れている(ポケットの中に入っている)
- スピード違反取り締まり用レーダーの逆探知機(レーダー探知機)を搭載していると、スピーカーから雑音が出ることがあります。
- 電波の状態によっては、音が途切れたり雑音が入ったりする場合があります。
- Wi-Fiと同時に使用すると、それぞれの通信の状態(接続や音声など)が不安定になることがあります。
- ワイヤレス通信時は使用環境などによりセキュリティが十分でない場合がありますので、ご注意ください。(BLUETOOTH標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しています。)
- ワイヤレス通信時に発生したデータや情報の漏洩について、当社は一切の責任を負いかねます。

■ BLUETOOTHの規格とプロファイルについて

対応規格			
Bluetooth Ver. 5.2			
対応プロファイル		本機の機能	
HFP (Hands-Free Profile)	Ver. 1.7	ハンズフリー通話	
PBAP (Phone Book Access Profile)	Ver. 1.2	電話帳・発着信履歴の転送および自動転送	
A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)*1	Ver. 1.3	BLUETOOTH Audio	
AVRCP (Audio / Video Remote Control Profile)	Ver. 1.6		
SPP (Serial Port Profile)	Ver. 1.2	レコーダーリンク、NaviCon、CarAV remote S	

* 1 SBC、AACのオーディオコーデックに対応しています。

Wi-Fi について

- 本機の無線機能の使用周波数帯は 2.4 GHz / 5.2 GHz 帯です。変調方式として DS-SS 変調方式、OFDM 変調方式を採用しています。想定干渉距離は 40 m 以下です。本機は全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。
- 同じ周波数を使用している他の無線機器との電波干渉を防ぐため、下記事項に注意してください。

本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどでの移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します。）が運用されています。

- 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
 - 万一、本機から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合は、すみやかに使用場所を変更して電波干渉を回避してください。
 - 何かお困りのことが起きたときは、お買い上げの販売店へご相談ください。
- 本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けています。
以下の行為を行うと法律で罰せられることがあります。
 - ・ 本機の分解や改造をする
 - ・ 本機に貼り付けてある製品銘板をはがす
 - 本機は、電気通信事業者（移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダーなど）の通信回線（公衆無線 LAN を含む）に直接接続することはできません。本機をインターネットに接続するときは、必ず電気通信事業法の認定を受けた端末設備（ルーター、回線端末装置など）を経由して接続してください。

- 本機はすべての Wi-Fi テザリング対応スマートフォンとのワイヤレス接続を保証するものではありません。
- 接続する機器は Wi-Fi Alliance® の定める規格に適合し、認証を取得している必要があります。規格に適合していても、接続する機器の特性や仕様によっては接続できない、表示や動作が異なる、などの場合があります。
- 使用する環境（車内および車両周辺的环境）によっては、通信速度が低下するなど通信の状態が不安定になることがあります。
- 障害物（壁や床など）があると、通信の状態が不安定になったり接続できない場合があります。
- 電波の状態によっては、音が途切れたり雑音が入ったりする場合があります。
- BLUETOOTH 機能と同時に使用すると、それぞれの通信の状態（接続や音声など）が不安定になることがあります。
- Wi-Fi 機器（スマートフォン、モバイル Wi-Fi ルーターなど）の電池残量低下により、Wi-Fi 通信の状態が不安定になることがあります。
- Wi-Fi エリア内から出た場合は、通信が切断されます。
- ワイヤレス通信の使用環境などによりセキュリティが十分でない場合がありますので、ご注意ください。
- ワイヤレス通信時に発生したデータや情報の漏洩について、当社は一切の責任を負いかねます。

■ Wi-Fi の規格とセキュリティ方式について

対応規格
IEEE 802.11 a/b/g/n/ac (2.4 GHz / 5.2 GHz)
対応セキュリティ方式
OPEN
WPA 2™ - Personal
WPA 3™ - Personal

テレビ・ラジオの受信について

車で移動して受信するため、家庭用のチューナーに比べて受信エリアが狭くなります。また、受信環境や電波状況（電波の強さの変化、障害物、他の電波などの影響）により、最適な受信状態を維持できない場合があります。

- 放送方式（フルセグ/ワンセグなど）や放送局により、受信状態やエリアが変化します。
- 下記のような場所または状況では受信状態が悪くなる場合があります。
 - ・放送局から遠い
 - ・電波が遮られやすい場所（トンネルの中、山の陰やビルの谷間など）
 - ・電車の架線、高圧線、テレビやラジオ放送の送信所、ネオンなどが近くにある
 - ・無線用の送信アンテナが近くにある
 - ・車の電装品（衝突被害軽減ブレーキ、パワーウィンドウ、ワイパー、電動ミラー、エアコンのファンなど）が作動している場合
 - ・本機の受信周波数帯域に妨害を与える電子機器（ドライブレコーダーなど）や無線利用機器など（パソコンや携帯電話など）を車内で使用したり、本機やアンテナおよびアンテナのコードに近づけた場合
- 受信状態が悪くなったときは次のような現象が起こることがありますが、故障ではありません。
 - ・映像や音声が乱れる（ノイズが発生したり、途切れる）
 - ・静止画面や黒い画面となり音声が出なくなる

お知らせ

- 本機は ARIB（電波産業会）規格に基いた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- 本製品は、B-CASカードを使用せずに地上デジタル放送を視聴できるコンテンツ権利保護専用方式を採用しているため、B-CASカードを付属していません。

ナビゲーションシステムとは

ナビゲーションシステムとは、地図上に目的地や目的地までのルートを登録することにより目的地までの道案内をするシステムのことです。本書では「ナビゲーション」または「カーナビゲーション」と表記しています。

自転車位置測位の仕組み

本機では、GPS衛星に加え「みちびき」の電波を受信して、自転車の位置を測位します。

※ 本書では特にことわりの無い限り、下記の衛星を「GPS」と表記し、衛星を利用する機能や受信する電波を「GPS情報」「GPS信号」などと総称して表記しています。

■ GPS(Global Positioning System)

アメリカ国防総省によって運用されている衛星測位システムです。

■ 準天頂衛星システム「みちびき」

内閣府により整備が進められている、日本の衛星測位システムです。GPSを補い、安定した測位を行います。

■ GPS信号を受信しにくい場所

次のような場所では受信できないことがあります。

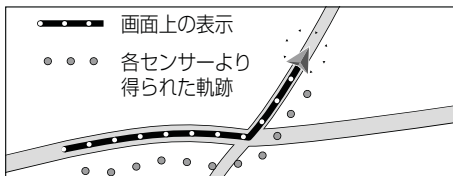
- トンネルの中
- 高層ビルなどの間
- 高架道路の下
- 樹木の間

■ 現在地を測位するまでの時間

通常は、本機を起動してから数分でGPS電波を受信します。ただし、初めてご使用になるときや車のバッテリーなど交換後、また長時間で使用にならなかったときは、現在地を表示するまでに15分～20分程度かかることがあります(GPS衛星から送られる衛星の軌道データの受信周期により、データの取り込みに時間がかかるため)。走行すると受信や現在地測位に時間がかかるため、受信できるまで走行せずにお待ちください。

■ マップマッチング

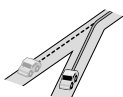
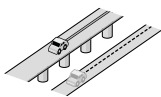
GPSやジャイロなどによる測位には誤差があるため、現在地が道路以外の場所になる場合があります。マップマッチングは、誤差を補正して地図データ上の道路に自転車マークを表示させる機能です。



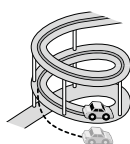
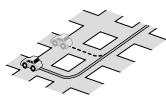
自転車位置精度について

■ 走行環境やGPS衛星の状態により、自転車マーク位置が正しく表示されない場合があります。

- 高速道路と一般道路が近くにある
- 角度の小さなY字路を走行している



- 碁盤目状の道路を走行している
- らせん状の道路などを走行している



そのまましばらく走行すると、マップマッチングやGPS衛星からの情報を利用して自転車マーク位置は自動的に補正されます。

■ 下記の場合も、自転車マーク位置が正しく表示されない場合があります。

- 車のエンジンスイッチON(電源ON)後、GPS信号を受信できるまで
- 本機を取り付けて初めて走行するとき
- タイヤを交換したとき、特に応急用タイヤを使用時
- フェリー、車両運搬車などで移動したあと
- 勾配の急な山岳などを走行しているとき
- 直線路を長い間走行したあとに、右左折したとき
- 道幅の広い道路で蛇行運転したとき
- 駐車するときや渋滞区間を走行中など、低速(数km/h)での走行状態が続くとき(車種によっては車速信号を検出できないことがあるため)
- 雪道・砂利道などの滑りやすい道路を走行しているとき、またはタイヤチェーン等を装着して走行しているとき
- 地下駐車場や立体駐車場で、らせん状の道路を走行したあと一般道に出たとき
- 車のエンジンスイッチOFF(電源OFF)状態で、ターンテーブルなどで旋回したとき

自車位置精度について（続き）

■ 衛星側の技術的トラブルや運営機関の事情により、精度が落ちたり電波を利用できなくなることがあります。このようなときは、自車マークがずれる場合があります。

■ 3Dセンサーによる高架判定について

自車が都市高速に入ったときなど車の上下移動を3Dセンサーで感知して、自車位置を測位します。（高架判定）

- 3Dセンサーによる高架判定は、センサーの補正が完了後に動作可能です。車両信号情報画面で「3D」の学習レベルの状態を確認してください。
- 高速道路など一定速度で走行が続くような場合、補正完了まで50 km程度の走行を要する場合があります。

- 道路状況や走行状況により正しく高架判定できない場合があります。（道路の傾斜がゆるやか、発進・停車の繰り返し、急ハンドルによる車の横揺れなど）
- 下記の場合には、必ず車両信号情報画面でセンサー学習値初期化を選んでください。（P.28）
 - ・ 別の車に載せかえた
 - ・ 取付位置を変更した
- 3Dセンサーの高架判定は、地図データと3Dセンサーからの情報で行います。（一部地域のみ）

逆走検知警告について

■ 下記のような場合などでは、逆走していても逆走検知警告が案内されないことがあります。

- 本機の地図に収録されていない道路、または形状が変わった道路を走行しているとき
- 形状が複雑なIC付近を走行しているとき
- スマートICのあるSA・PA、その他特定のSA・PA内を走行しているとき
- 本機が故障している、または車両信号情報が正常でないとき
- GPS信号を妨げる障害物があり、GPS信号が正常に受信できていないとき

- トンネル、高架橋、高層ビルなどの遮蔽物により、GPS信号が正常に受信できていないとき
- 本機の地図画面上の自車マークの位置と、実際の自車位置が異なるとき
- 直前に自車位置、または方位の補正が行われたとき
- 急なUターンをしたとき
- 対面通行など、順走/逆走の判別が困難な道路
- 以前、逆走検知警告が案内された地点で

ここでは案内しないをタッチしていた場合

■ 下記のような場合などでは、逆走してなくても逆走検知警告が案内されることがあります。

- 本機の地図に収録されていない道路、または形状が変わった道路を走行しているとき
- 本機の地図画面上の自車マークの位置と、実際の自車位置が異なるとき

- 本機が故障している、または車両信号情報が正常でないとき
- 駐車スペースがある料金所、または手前でUターン可能な料金所でUターンをしたとき
- 警察や道路管理会社の誘導によりUターンをしたとき

ルート探索・ルート案内について

探索されたルートは参考ルートであり、お客様の意図したものとは異なる場合があります。

■ 次のような場合は、故障ではありません。

- 通行不可能な歩道、階段などを含めたルートを作る場合があります。
- 新道の開通などにより通行できない場合があります。
- 点線で表示されている道路は、地図データ作成時点での建設予定道路のためルート探索できません。
- 実際に通行できない道を表示する場合があります。
- 再探索してもルートが変わらない場合があります。
- ルートが渋滞している場合があります。
- 目的地まで道路がなかったり、細い道しかない場合は、目的地から離れた所までしかルート表示しない場合があります。
- 高架下の一般道路の案内を行う場合があります。逆の場合もあります。
- Uターンするルートを表示する場合があります。

- 交差点で曲がるのに、案内されない場合があります。
- 交差点名称が案内されない場合があります。
- 右左折案内が実際の道路形状と異なる案内をすることがあります。
- 案内ルートを外れて手前の交差点等で曲がったときなどに音声案内される場合があります。
- 方面案内が表示/案内されない高速道路・有料道路があります。
- 交差点拡大図が実際の道路形状と合わないことがあります。
- 案内距離が多少ずれることがあります。
- フェリー航路はルートに考慮されない場合があります。フェリー航路は補助手段であり、すべてのフェリー航路が収録されているわけではありません。

名称・ジャンル・周辺施設検索・ 電話番号検索の精度について

検索される場所によっては、丁目・番地・号の情報(ピンポイント情報)が無いため、正確に検索できないことがあり、検索された場所と実際の場所が離れている場合があります。

マップコードとは

株式会社デンソーが、カーナビゲーションでかんたんに目的地を設定できるように開発した、日本全国のあらゆる場所を最大12桁の数字と* (アスタリスク) を用いてあらわしたものです。各種情報機器や各種情報メディアでかんたんに位置情報を伝達したり、住所や電話番号であらわせない場所を特定することができます。詳しくは、マップコード公式サイトをご参照ください。

<https://www.denso-solution.com/mapcode/>

FM 多重放送について

下記のような場所では受信できない場合があります。

- トンネルの中
- 高層ビルなどの間
- 高架道路の下
- サービス圏外

お知らせ

- 一定周期で情報が更新されるので表示するデータが揃うのに時間がかかる場合があります。(約3分)
- 車のエンジンをかけた(またはACCをONにした)あと、しばらくは情報が表示されません。

電波ビーコン 5.8 GHz について

受信するには、ETC 2.0 車載器が必要です。

下記のような状況では、受信できない場合や、誤って受信してしまう場合があります。

- 大型車と並走
- 雪などの悪天候
- フロントガラスの汚れ
- 高速高架道路の下(高速高架下の一般道を走行している場合に、高速道路の電波ビーコン 5.8 GHz を受信してしまう場合があります。)

VICSについて

- VICS車載機の動作、その他に関するもの
- VICSサービスの提供エリアに関するもの
- その他、上記に類するもの

これらの内容は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

VICSの概念、計画、または表示された情報内容に関することは、VICSセンターへお問い合わせください。
(ただし、地図表示型の表示内容は除く)

VICSセンター

受付時間 9:30～17:45
(土曜・日曜・祝日・年末年始休暇を除く)
電話番号 0570-00-8831
● 全国どこからでも市内通話料金でご利用
になります。
● PHS、IP電話等からはご利用いただけません。
FAX番号 03-3562-1719(24時間受付)

VICS削除リンクに関する告知

VICSによる道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)を地図上に表示するためあらかじめ本機に情報提供用の単位(以下、VICSリンクと称します)を設定しています。道路形状や交通施設の変化にともない、より正確な情報提供をするため、必要に応じ、毎年、VICSリンクの追加・変更が行われます。過去からのVICSリンクの情報を永続的に提供することは容量などの理由で不可能です。追加・変更が行われた場合、該当のVICSリンクについて3年間は情報提供が行われますが、それ以降は、情報提供が打ち切られることになっております。このため、VICSによる道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)の表示は「本製品」発売後、3年程度で一部の道路において情報が表示されなくなることがあります。

VICS情報有料放送サービス契約約款

第1章 総則

(約款の適用)

第1条 一般財団法人道路交通情報通信システムセンター(以下「当センター」といいます。))は、放送法(昭和25年法律第132号)第147条の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款(以下「この約款」といいます。))を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

第2条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)

第3条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

(1) VICS サービス

当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス

(2) VICS サービス契約

当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約

(3) 加入者

当センターとVICSサービス契約を締結した者

(4) VICS デスクランブラー

FM多重放送局からのスクランブル化(攪乱)された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章 サービスの種類等

(VICSサービスの種類)

第4条 VICSサービスには、次の種類があります。

(1) 文字表示型サービス

文字により道路交通情報を表示する形態のサービス

(2) 簡易図形表示型サービス

簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス

(3) 地図重畳型サービス

車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICSサービスの提供時間)

第5条 当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

第3章 契約

(契約の単位)

第6条 当センターは、VICSデスクランブラー1台毎に1のVICSサービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

第7条 VICSサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域(全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内)とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

第8条 VICSサービスは、VICS対応FM受信機(VICSデスクランブラーが組み込まれたFM受信機)を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

(VICSサービスの種類の変更)

第9条 加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第10条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第11条 当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。

- (1) 加入者がVICSデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
- (2) 加入者の所有するVICSデスクランブラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

第12条 当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。

- 2 第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章 料金

(料金の支払い義務)

第13条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章 保守

(当センターの保守管理責任)

第14条 当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

第15条 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICSサービスの利用を中止することがあります。

- 2 当センターは、前項の規定によりVICSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章 雑則

(利用に係る加入者の義務)

第16条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)

第17条 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。

但し、当センターは、当該変更においても、変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

- 2 VICSサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

〔別表〕

視聴料金 330 円(税込み)

ただし、車載機購入価格に含まれております。

地図ソフトについて

重要!!

本使用規定(「本規定」)は、お客様と株式会社ゼンリン(「(株)ゼンリン」)間の「本機」(「機器」)に格納されている地図データおよび検索情報等のデータ(「本ソフト」)の使用許諾条件を定めたものです。本ソフトのご使用前に、必ずお読みください。本ソフトを使用された場合は、本規定にご同意いただいたものとします。

使用規定

- 1.(株)ゼンリンは、お客様に対し、機器の取扱説明書(「取説」)の定めに従い、本ソフトを本ソフトが格納されている機器1台に限り使用する権利を許諾します。
- 2.(株)ゼンリンは、本ソフトの媒体や取説にキズ・汚れまたは破損があったときは、お客様から本ソフト購入後90日以内にご通知いただいた場合に限り、(株)ゼンリンが定める時期、方法によりこれらが無いものと交換するものとします。但し、本ソフトがメーカー等の第三者(「メーカー」)の製品・媒体に格納されている場合は、メーカーが別途定める保証条件によるものとします。
- 3.お客様は、本ソフトのご使用前には必ず取説を読み、その記載内容に従って使用するものとし、特に以下の事項を遵守するものとします。
 - (1)必ず安全な場所に車を停止させてから本ソフトを使用すること。
 - (2)車の運転は必ず実際の道路状況や交通規制に注意し、かつそれらを優先しておこなうこと。
- 4.お客様は、以下の事項を承諾するものとします。
 - (1)本ソフトの著作権は、(株)ゼンリンまたは(株)ゼンリンに著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属すること。
 - (2)本ソフトは、必ずしもお客様の使用目的または要求を満たすものではなく、また、本ソフトの内容・正確性について、(株)ゼンリンは何ら保証しないこと。(本ソフトにおける情報の収録は、(株)ゼンリンの基準に準拠しております。また、道路等の現況は日々変化することから本ソフトの収録情報が実際と異なる場合があります。)
 - (3)本規定に違反したことにより(株)ゼンリンに損害を与えた場合、その損害を賠償すること。
- 5.お客様は、以下の行為をしてはならないものとします。
 - (1)本規定で明示的に許諾される場合を除き、本ソフトの全部または一部を複製、抽出、転記、改変、送信すること。
 - (2)第三者に対し、有償無償を問わず、また、譲渡・レンタル・リースその他方法の如何を問わず、本ソフト(形態の如何を問わず、その全部または一部の複製物、出力物、抽出物その他利用物を含む。)の全部または一部を使用させること。
 - (3)本ソフトをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルすること、その他のこれらに準ずる行為をすること。
 - (4)本ソフトに無断複製を禁止する技術的保護手段(コピープロテクション)が講じられている場合、これを除去・改変その他方法の如何を問わず回避すること。
 - (5)その他本ソフトについて、本規定で明示的に許諾された以外の使用または利用をすること。

地図データの詳細情報やジャンル一覧につきましては、Webサイトをご覧ください。
<https://panasonic.jp/car/navi/genuine/>

地図上に表示される主なマーク

	都道府県庁舎・北海道支庁庁舎		サービスエリア		動物園
	市役所・特別区庁舎		パーキングエリア		植物園
	町村役場・政令指定都市区役所庁舎		インターチェンジ		水族館
	官公署・市町村役場支所(出張所)		スマートIC(本線直結型)*1		美術館・博物館
	消防署		ジャンクション		スタジアム・サッカースタジアム
	自衛隊		料金所		運動施設、グラウンド
	学校		ランプ(出入口)		ゴルフ場
	病院		ランプ(出口専用)		スキー場
	警察署・交番・駐在所		一方通行		キャンプ場
	図書館		交差点		海水浴場・(湖水、池)水泳場
	工場		冬季通行止め		マリーナ
	神社		盗難多発地点 (赤色、橙色、黄色)		山頂
	寺院(仏閣、地蔵)		郵便局		史跡・旧跡、観光名所
	教会		温泉		城跡
	墓地		デパート・スーパー・ショッピング施設		ホテル・旅館・宿泊施設
	バス停		遊園地・テーマパーク		公園
	飛行場・空港		テーマパークゲート		ウインズ
	港		タワー展望施設		その他目標施設
	フェリーターミナル				

* 1 SA・PA接続型のスマートICは、表示されません。

お知らせ

- 地図データの整備上、すべての施設等を表示していません。
- 改善のため予告なく変更することがあります。

さくいん

あ行

アクセスポイント	35
頭出し	97, 98, 100, 104, 109
アラーム	77
安心運転サポート情報	49
案内音声設定	168
案内音量の車速連動	168
案内拡大図の表示	166
案内時のAudio音量消音	168
案内出力スピーカー	168
案内図切替タッチキー	44
案内スタート	59, 65
案内設定	166
案内ポイントマーク	47
案内ルート	47
イコライザー設定	118
イコライザープリセット	118
位置	77
一時停止	97, 98, 100, 104, 109
一時停止案内	49, 56
一般情報	81
一般道速度超過警告	56
イベント情報表示	158
イルミネーション信号	28
映像再生画質	109
映像再生バッファサイズ	109
エフェクトモード	114
エリア選局	167
エリアプリセット	91
エリアモード	94
オーディオ	86
オーディオ情報・設定メニュー	19
オーディオソース一覧	86
オーディオチューン	114
オート放送局サーチ	90
音の匠	115
オプションスイッチ	168

音楽データ	191
音質・音場モード	114
音声	109
音声案内	71
音声録音	158
オンラインバージョンアップ	149
オンライン名称検索	61
音量	26
音量設定	26, 168

か行

カーソル	45
カード入れ忘れ案内	167
カード抜き忘れ案内	167
カーブ案内	49, 56
ガイドンス	56
回転ドラッグ	17
拡張ユニット情報	29, 168
画質	158
画質調整	121
傾き	52
画面OFF	27, 168
監視録画	154, 159
監視録画の時間	159
キーパッド	125
キーボード学習結果の初期化	169
機器選択	127
季節規制考慮	56
起動音	158
逆走注意アラーム	74, 166, 200
急加速・急減速の感知音	158
急加速・急減速の感度	158
休憩案内	168
緊急警報放送	88
緊急情報	83
緊急通報サービス	164
警告音量	159

携帯電話切替	125
携帯電話データの自動同期	127
経由地	65, 67
経由地マーク	47
現在地画面	44
現在地方向直線	45
広域地図	40
高音質モード	114
交差点拡大図	42
高速入口拡大図	43
高速分岐拡大図	43
高速レーン減少案内	49
交通情報	95
後方検知	159
後方検知距離	159
後方検知速度	159
後方検知のお知らせ	159
後方検知録画	155
合流案内	49, 56
ここに行く	59, 65
コンテンツリスト	108

さ行

細街路探索	69
再生一覧表示	158
再探索	73
市街地図	40
事故多発地点案内	49, 56
自車位置修正	27, 165
自車マーク	44, 57
システム情報・設定メニュー	19
自宅	24, 63
視聴設定	109
指定方向外禁止案内	49, 56
自動再探索	72
字幕	109
車速パルス	28

車速連動音量	117
車内カメラ録画	159
車両信号情報	168
ジャンクション案内	43
ジャンル	63
住所	62
渋滞回避	56
渋滞情報	80
渋滞設定	167
周波数再編	88
周波数の選局方法	167
周辺検索	64
周辺施設	64
縮尺	51
縮尺表示	44
受信モード	90
出荷状態に戻す	169
手動選局	167
手動録画	155
準天頂衛星システム	199
常時録画	153
情報・設定メニュー	19
ショートカット	18, 21
初期化	168, 169
初期セットアップ	23
初期パスワード	36
新旧ルート自動選択	165
新旧ルート比較	73
新旧ルート比較画面を表示	165
信号切替	93
スクロール	50
ステーション	35
ステータスバー表示	48
スピーカー出力レベル	120
スピーカー設定	119
スピーカーディレイ	120
スマートインター考慮	56
スマートフォン	30

さくいん

スマートフォン接続設定メニュー	19
制限速度案内	49, 56
静止画撮影	155
セキュリティ	36
セキュリティコード	36
セキュリティ設定	168
接続設定	111
設定を初期化する	158
セレクトビューバックアイカメラ	152
全機能一覧	58
選局パネル	89
選曲モード	105
センサー学習値初期化	28
センサー学習レベル	28
センサー調整する	158
全地図更新	146
全方位モニター	152
専用レーン案内	49
全ルート図	59, 66
騒音適応モード	114
走行軌跡	47
走行軌跡の記録	165
走行軌跡を表示	165
操作音	168
ゾーン30	44
ゾーン30案内	49
ゾーン30速度超過警告	49
側道拡大図	42
速度超過警告	49
ソフトウェア・地図更新	147, 148, 149, 168

た行

ダイヤル	126
ダイレクトボタン設定	168
ダウンロード更新	146
立寄る	65
タッチ	16
タッチキー表示	48
ダブルタップ	17
探索条件	68, 69
端末情報	145, 168
地域設定	93
地上D/ワンセグ切替設定	90
地図更新アプリ2	147
地図モード画面	45
地点登録	75
地点編集	76
地点名称	45
地点メニュー	46
チャンネル設定画面	91
駐車場マーク	80
駐車録画	154, 158
駐車録画のお知らせ	158
駐車録画の感度	159
駐車録画の時間	159
駐車録画の無効時間	159
昼夜切替	57
通過ポイントマーク	47
デジタルテレビ初期設定	88
デバイスID表示	93
デモ走行	66
テレビ	88
テレビメニュー	90
電波ビーコン5.8 GHz	201
電話帳	126
電話に出る	124
電話番号	62, 77
電話を切る	125

動画.....	98
動画サービス一覧.....	113
動画サービスメニュー.....	112
動画選択画面.....	112
動画データ.....	194
到着時刻/残距離表示.....	44
盗難多発地点案内.....	37
道路切替.....	73
登録地.....	75
トーン信号.....	125
特別警報.....	83
トップメニュー.....	18
トップメニューカスタマイズ.....	21, 168
トップメニュー(ナビ).....	58
ドライブレコーダー接続設定.....	158
ドライブレコーダー設定.....	158, 168
ドライブレコーダーリヤカメラ録画.....	159
ドラッグ.....	16
取付店ダイアグ.....	168

な行

ナビ情報・設定メニュー.....	19
ナビ設定.....	75
ナビチューン.....	56
ナビ連動ドライブレコーダー.....	153
ネット動画.....	112
ノイズ連動音量.....	117
ノースアップ.....	52

は行

パーキングブレーキ信号.....	28
バージョン情報.....	145, 168
ハイウェイモード.....	41
ハイウェイモードの表示.....	166
バックアイカメラ.....	152
発着信履歴.....	127
早送り.....	97, 98, 100, 104
早戻し.....	97, 98, 100, 104
番組内容.....	92
番組表.....	92
番組表サブチャンネル表示.....	90
ハンズフリー.....	124
ハンズフリー切替.....	125
ビット・周波数拡張.....	116
標高地図.....	40
標識拡大表示.....	56
表示設定.....	165
昼の地図色.....	57
ピンチ.....	17
フェーダー/バランス.....	119
部分地図更新.....	146
踏切案内.....	49, 56
プリセットメモリー.....	94
フリック.....	16
分岐案内.....	43
分岐案内頻度.....	56
分岐交差点情報表示.....	44
ヘッダー.....	48
ヘディングアップ.....	52
方位マーク.....	44
方面看板.....	44, 166
本体音量スイッチ操作で案内音量調整を優先.....	168

さくいん

ま行

マーク	77, 205
マップ	57
マップコード	45, 63, 201
右画面表示	53, 122
道幅優先	56
みちびき	199
ミュート	27, 125
無料地図更新	146
名称	60, 77
名称 (オンライン)	61
メンテナンス通知設定	144, 168
目的地	65, 67
目的地方向直線	47
目的地方向を表示	165
目的地マーク	47
文字サイズ	57
文字入力	188
戻る	45

や行

ユーザープリセット	91
ユーザープリセット設定	90
ユーザーモード	94
優先情報	81
有料道速度超過警告	56
有料道路優先	56
曜日時間規制探索	70, 72
夜の地図色	57

ら行

ラジオ	94
ランダム	97, 98, 100, 104
ランチャー	46
ランドマーク	54

ランドマーク設定	165
リアル3D拡大図	42
リバース時のオーディオ音量ダウン	27
リバース信号	28
リパック	88
リピート	97, 98, 100, 104
料金履歴	151
履歴	62
ルート	56, 59, 66
ルート学習	56, 69
ルート学習結果の初期化	165
ルート編集	67
レーン案内	56
レコーダーリスト	108
レコーダーリンク	106
レコーダーリンク再生操作画面	109
レコーダーリンクでを使用した データ通信量の目安	110
レコーダーを変更	111

記号・数字・アルファベット

+B電圧	28
2点タッチ	16
2点ドラッグ	17
All Apps(全機能一覧)	20
AM	94
Android Auto	136, 138
Android Auto 設定	139
Apple CarPlay	130, 132
Apple CarPlay 設定	133
BLUETOOTH	30, 196
BLUETOOTH Audio	100
CarAV remote S	129
DiXiM Play for レコーダーリンク	106
DSP	116
ETC	150
ETC2.0	150
ETC2.0アップリンク	150, 167
ETC2.0サービス	81
ETC2.0自動音声再生	167
ETC2.0車載器	150
ETC2.0受信音	167
ETC2.0割込み	167
ETC2.0割込み設定	167
ETC音声案内	167
ETC管理情報	151
ETCの音声案内設定	167
ETCレーン案内	41
ETCレーンの表示	166
EWS	88
FM	94
FM VICS周波数	167
FM多重放送	201
Google アシスタント	138
GPS	199
GPS 情報	25
HDMI	162

iPod	102
microSDカード	96, 190
NaviCon	128
SA・PA	53
SA・PA入口案内	43
SA/PAマーク	80
SDカード	96
SDカードの初期化	169
SDカードを初期化する	158
Siri	132
TVの初期化	169
USBメモリー	96, 190
VICS	57, 78, 202
VICS案内	166
VICS一般道情報表示	57
VICS規制マーク表示	57
VICS考慮	56, 70
VICS自動再探索	72
VICS渋滞・混雑情報表示	57
VICS渋滞なし情報表示	57
VICS情報提供サービス	150
VICS情報マーク	80, 82
VICS情報(レベル1)	78
VICS情報(レベル2)	78
VICS情報(レベル3)	79, 80
VICSタイムスタンプ	44, 79
VICS駐車場情報表示	57
VICS統計情報表示	57
VICS範囲表示	57, 79
VICS有料道情報表示	57
Wi-Fi	33, 197
Wi-Fi設定画面(アクセスポイントモード)	35
Wi-Fi設定画面(ステーションモード)	33

商標・ライセンスなど

- Microsoft, Windows and Windows Media are either registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.
- This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft.
- 「VICS」および「VICS WIDE」は一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。
- 「ETC」および「ETC 2.0」は、一般財団法人ITSサービス高度化機構の登録商標です。
- ITS スポットは、国土交通省道路局の登録商標です。
- “ゼンリン”および“ZENRIN”は株式会社ゼンリンの登録商標です。
- microSDXC ロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- 本製品は、MPEG-4 Patent Portfolio License、AVC Patent Portfolio License 及び VC-1 Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
 - ・ 画像情報を MPEG-4 Visual、AVC、VC-1 規格に準拠して (以下、MPEG-4/AVC/VC-1 ビデオ) を記録すること。
 - ・ 個人的活動に従事する消費者によって記録された MPEG-4/AVC/VC-1 ビデオ、または、ライセンスをうけた提供者から入手した MPEG-4/AVC/VC-1 ビデオを再生すること。詳細については MPEG LA, L.L.C. (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。
- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface という語、HDMI のトレードドレスおよび HDMI のロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。
- Wi-Fi® は Wi-Fi Alliance® の登録商標です。WPA2™、WPA3™ は Wi-Fi Alliance® の商標です。
- BLUETOOTH® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。
- NaviCon は、株式会社ミックウェアの登録商標です。
- 「マップコード」および「MAPCODE」は株式会社デンソーの登録商標です。
- USB Type-C® and USB-C® are registered trademarks of USB Implementers Forum.

- Google、Android、Android Auto は Google LLC の商標です。
- 互換性のある Android スマートフォンと、有効なデータ通信プランが必要です。
- Use of the Made for Apple badge means that an accessory has been designed to connect specifically to the Apple products identified in the badge and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with an Apple product may affect wireless performance.
- Use of the Apple CarPlay logo means that a vehicle user interface meets Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this vehicle or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this product with iPhone, iPod, or iPad may affect wireless performance.
- Apple, Apple CarPlay, iPhone, iPod, iTunes, Lightning, and Siri are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.
- The trademark "iPhone" is used in Japan with a license from Aiphone K.K.
- iOS is a trademark or registered trademark of Cisco in the U.S. and other countries and is used under license.
- 「docomo」は、NTT 株式会社の商標または登録商標です。
- 「au」は、KDDI 株式会社の商標または登録商標です。
- 「SoftBank」は、ソフトバンクグループ株式会社の商標または登録商標です。
- 「DiXiM」は株式会社デジオンの登録商標です。
- 「DiXiM Play」は、株式会社デジオンの商標です。
- 「DiXiM」は、株式会社デジオンが開発したマルチメディア・ホームネットワーク・ソリューションです。「DiXiM Play」はDiXiM を搭載した Google Play / App Store / Windows ストア 向けDTCP-IP 対応ホームネットワークプレーヤーアプリケーションです。
詳しくは、デジオンWeb サイト (<https://www.digion.com/>) をご覧ください。
- 本製品の説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは、各社の登録商標または商標です。
- 各社の商標および製品商標に対しては特に注記の無い場合でも、これを十分尊重いたします。



仕様

	CN-FZ10B7		CN-FZ8B6
電源			
電源電圧	DC 12 V (試験電圧 14.4 V) マイナスアース		
消費電流	2.0 A以下 (オーディオOFF時)		
液晶ディスプレイ			
画面サイズ 画面寸法 (幅×高さ×対角)	10V型ワイド 221 mm × 125 mm × 254 mm	8V型ワイド 177 mm × 99 mm × 203 mm	
映像入力	RGB (ナビゲーション画面)		
画素数	2 764 800画素 (縦 720 × 横 1 280 × 3)		
有効画素率	99.99 %		
表示方式	透過型カラーフィルター方式		
駆動方式	TFT (薄膜トランジスタ) アクティブマトリックス方式		
使用光源	内部光 (LED)		
タッチパネル	静電容量方式		
アンプ			
定格出力	18 W × 4		
最大出力	50 W × 4		
適合スピーカーインピーダンス	4 Ω (4 Ω ～ 8 Ω 使用可能)		
接続端子			
カメラ入力レベル	映像: NTSC 1.0 Vp-p(75 Ω) / LVDS ±350 mV (差動 100 Ω)		
HDMI入力	HDMI端子: 1系統 (19ピン typeE端子) 映 像 信 号: 480p、720p (59.94 Hz / 60 Hz) 音 声 信 号: リニアPCM (最大 2 CH、サンプリング周波数 32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz)		
	HDMI端子: 1系統 (19ピン typeE端子) 映 像 信 号: 480p、720p 音 声 信 号: リニアPCM		
HDMI出力	HDMI端子: 1系統 (19ピン typeE端子) 映 像 信 号: 480p、720p 音 声 信 号: リニアPCM		
ナビゲーションユニット			
外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	251 mm × 159 mm × 195 mm (取付奥行き寸法 160 mm)	202 mm × 125 mm × 191 mm (取付奥行き寸法 165 mm)	
質量	約 2.3 kg	約 2.0 kg	
動作温度	－ 10 ℃ ～ + 60 ℃		
FMチューナー			
受信周波数	76.0 MHz ～ 95.0 MHz		
実用感度 (SN比、30 dB)	15 dBμV以下		
SN比 (入力 54 dBμV)	50 dB以上		
ステレオ分離度 (入力 60 dBμV)	35 dB		
AMチューナー			
受信周波数	522 kHz ～ 1 629 kHz		
実用感度 (SN比、20 dB)	37 dBμV以下		
地上デジタルTVチューナー			
受信可能放送	地上デジタル放送 (ワンセグ対応)		
受信周波数	470 MHz ～ 710 MHz (13 CH ～ 52 CH)		
入力信号レベル	－ 75 dBm ～ － 20 dBm		
入力インピーダンス	50 Ω		

	CN-FZ10B7	CN-FZ8B6
iPod/USB接続用中継ケーブル接続端子		
通信方式	USB	
出力電圧	5 V	
出力電流	2 400 mA	
BLUETOOTH		
対応規格	Bluetooth Ver.5.2	
パワークラス	Class2	
対応プロファイル	HFP / A2DP / AVRCP / PBAP / SPP	
対応コーデック	SBC、AAC	
Wi-Fi		
対応規格	IEEE 802.11 a / b / g / n / ac (2.4 GHz / 5.2 GHz)	
対応チャンネル	1 CH ~ 13 CH / 36 CH ~ 48 CH	
対応セキュリティ方式	OPEN / WPA2-Personal / WPA3-Personal	

- 画面サイズのV型(8V型等)は、有効画素の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
- 寸法・質量はおおよその数値です。

ソフトウェア、およびオープンソースソフトウェアについて

本製品には、以下のソフトウェアが含まれています。

- (1) パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社（「パナソニック」）により、またはパナソニックのために開発されたソフトウェア
- (2) パナソニックにライセンスされた第三者所有のソフトウェア
- (3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2（「GPL」）に基づいてライセンスされたソフトウェア
- (4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1（「LGPL」）に基づいてライセンスされたソフトウェア
- (5) GPL、LGPL以外に基づいてライセンスされたオープンソースソフトウェア

■ 上記（3）、（4）に分類されるソフトウェアについては、それぞれ、以下のGPLおよびLGPL所定の条件をご参照ください。

GPL : <https://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html>

LGPL : <https://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html>

また、上記のGPL/LGPLソフトに対応したソースコードは、以下のWebサイトで、誰でも自由に入手することができます。

<https://car.panasonic.jp/oss/n07nfz10/>

■ 上記（5）に分類されるソフトウェアには、以下のWebサイトに掲載のライセンス条件が適用されるソフトウェアを含むさまざまなオープンソースソフトウェアのプログラム（OSS）が含まれています。

<https://car.panasonic.jp/oss/n07nfz10/>

これらのOSSについてのライセンス条件その他の事項に関しては、以下のURLをご参照ください。

<https://panasonic.jp/car/navi/genuine/>

なお、上記（1）から（5）を含めた本製品に搭載されるすべてのソフトウェアは、本製品に搭載され、本製品上で動作させることのみを想定しております。以下の①から④に定められる各行為について、その態様が直接的であるか間接的であるかを問わず、別途の書面による合意に基づく特別の許可がない限り、または各オープンソースソフトウェアのライセンス条件に基づき許可される範囲を越えて、行うことを固く禁じます。

- ①ソフトウェアの一部または全部を複製すること（ただし、許可された範囲内でのバックアップの取得を除く）
- ②法律上認められる範囲を超えて、ソフトウェアの一部または全部を、本製品から抽出し、もしくは分離させ、またはデコンパイルもしくはディスアセンブル等のリバースエンジニアリングをすること
- ③法律上認められる範囲を超えて、ソフトウェアの一部または全部を、改変、翻案、翻訳等し、またはこれらを売買、貸与、輸出入、頒布等すること
- ④ソフトウェアに付される著作権表示、権利表示、商標、レーベル等を除去または削除すること

保証とアフターサービス よくお読みください

修理のご依頼や、お取り扱い・お手入れ、その他ご不明の点などは、お買い上げの販売店にご相談ください。

修理を依頼されるときは

まず、「困ったとき」(P.170～187)をご覧ください。処置をしてもなおらないときは、ご使用を中止して、右の内容と故障の状況をできるだけ具体的にお買い上げの販売店へご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容
● 製品名: AV一体型ナビゲーション
● 品番: 「純正品番」をご確認ください。 「パナソニック品番」はナビゲーションユニット (本体の正面左上)でご確認ください。
● お取り付け車両名

■ 保証期間中は、保証書の記載内容に従って修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
製品を車両に取り付けた状態でお持ちいただき、保証書をご提示のうえ、修理をお申し付けください。

■ 保証期間終了後は、診断して修理できる場合はご要望により有償にて修理させていただきます。

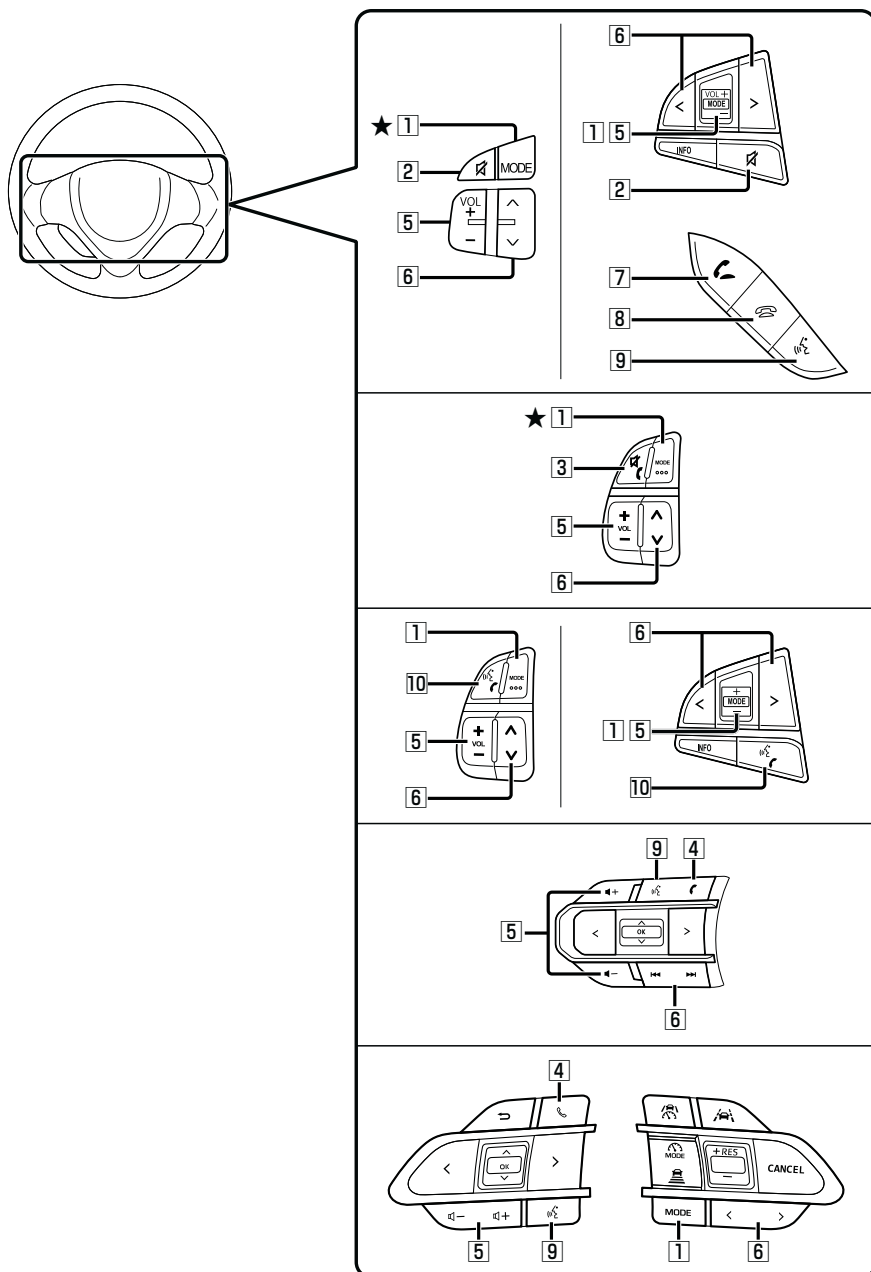
● 補修用性能部品の保有期間 6年

当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年保有しています。

ステアリングオーディオスイッチの操作について

車にステアリングオーディオスイッチが装備されている場合には、P.219の操作ができます。

●イラストは機能説明用です。スイッチの配置や形状は、車種により異なります。



①	モード MODE	●オーディオを切り替える (オーディオの切り替えについて→P.86) ・オーディオ OFF時はFMに切り替わります。 ・交通情報時は、TVに切り替わります。 ※ステアリングオーディオスイッチで交通情報に切り替えることはできません。											
		★①の場合 (⑨⑩が無い)	<table><tr><td>Apple CarPlay</td><td>●Siriを起動する (約0.5秒以上押す)</td></tr><tr><td>Android Auto</td><td>●Google アシスタントを起動する (約0.5秒以上押す)</td></tr></table>	Apple CarPlay	●Siriを起動する (約0.5秒以上押す)	Android Auto	●Google アシスタントを起動する (約0.5秒以上押す)						
Apple CarPlay	●Siriを起動する (約0.5秒以上押す)												
Android Auto	●Google アシスタントを起動する (約0.5秒以上押す)												
②	🔇	●オーディオの音声を一時的に消音する *2											
③	📞	●オーディオの音声を一時的に消音する *2 ●電話に出る (着信中) ●電話を切る (通話中) (約0.5秒以上押す)											
④	📞	●電話に出る (着信中) ●電話を切る (通話中) (約0.5秒以上押す)											
⑤	+ - 🔊+ 🔊- 🔊+ 🔊-	●オーディオ／ハンズフリーの音量調整											
⑥	^ v または <> または ⏮⏭	<table><tr><td>USB SD BLUETOOTH Audio iPod レコーダーリンク ネット動画 Apple CarPlay Android Auto</td><td>●曲・ファイル・コンテンツ・アクセス履歴の頭出し</td></tr><tr><td>BLUETOOTH Audio iPod Apple CarPlay</td><td>●早送り・早戻し (押し続ける)</td></tr><tr><td>USB SD</td><td>●アルバム・フォルダの切り替え (約0.5秒以上押す)</td></tr><tr><td>FM AM</td><td>●選局する ●シーク選局 (約0.5秒以上押す)</td></tr><tr><td>TV</td><td>●選局する</td></tr></table>		USB SD BLUETOOTH Audio iPod レコーダーリンク ネット動画 Apple CarPlay Android Auto	●曲・ファイル・コンテンツ・アクセス履歴の頭出し	BLUETOOTH Audio iPod Apple CarPlay	●早送り・早戻し (押し続ける)	USB SD	●アルバム・フォルダの切り替え (約0.5秒以上押す)	FM AM	●選局する ●シーク選局 (約0.5秒以上押す)	TV	●選局する
USB SD BLUETOOTH Audio iPod レコーダーリンク ネット動画 Apple CarPlay Android Auto	●曲・ファイル・コンテンツ・アクセス履歴の頭出し												
BLUETOOTH Audio iPod Apple CarPlay	●早送り・早戻し (押し続ける)												
USB SD	●アルバム・フォルダの切り替え (約0.5秒以上押す)												
FM AM	●選局する ●シーク選局 (約0.5秒以上押す)												
TV	●選局する												
⑦	📞	●電話に出る (着信中)											
⑧	📞	●電話を切る (通話中)											
⑨	📶 *1	●Apple CarPlay または Android Auto を起動する											
		Apple CarPlay	●Siriを起動する										
		Android Auto	●Google アシスタントを起動する										
⑩	📶 *1	●電話に出る (着信中) ●電話を切る (通話中)											
		Apple CarPlay	●Siriを起動する (約0.5秒以上押す)										
		Android Auto	●Google アシスタントを起動する (約0.5秒以上押す)										

* 1 Apple CarPlay または Android Auto の接続がされていない状態で0.5秒以上押すと、BLUETOOTH 接続待機画面 (P.30)が表示されます。

* 2 ナビゲーションの音声案内、ハンズフリーの音声は、ミュートされません。

使いかた・お手入れなどのご相談窓口

お客様ご相談室

電話  **0120-50-8729**

■上記番号がご利用いただけない場合

045-929-0511 (有料)

受付時間 9:00～17:00

年中無休(当社指定休日を除く)

FAX (有料) **045-938-1573**

受付時間 9:00～17:00

(土・日・祝日・当社指定休日を除く)

ご相談窓口におけるお客様の個人情報の お取り扱いについて

パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社
およびグループ関係会社は、お客様の個人情報を
ご相談対応や修理対応などに利用させていただき、
ご相談内容は録音させていただきます。また、折り
返し電話をさせていただくのために発信番号
を通知いただいております。なお、個人情報を適切
に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由
がある場合を除き第三者に開示・提供いたしま
せん。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談い
ただきました窓口にご連絡ください。
個人情報保護方針の詳細についてはWebサイトを
ご覧ください。

<https://automotive.panasonic.com/privacy-policy>

- 回線が混雑しているときは、呼び出し中に切れる場合があります。
- 本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。
- 上記の内容は、予告なく変更する場合があります。

おぼえのため、記入されると便利です。

製造番号 (Serial No.)	万一の故障や盗難時に必要です。「バージョン情報」(P.145)、もしくはナビゲーションユニットの製品銘板(本体の天面)で、9桁の番号をご確認ください。 ()
固有番号 (車載器ID)	製造番号が不明な場合(盗難時など)の確認用として、必要な場合があります。 「バージョン情報」(P.145)で、番号をご確認ください。 ()

製造元

パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社

〒224-8520 横浜市都筑区池辺町4261番地